応用編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MC860dn
MC860dtn

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 (64bit版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64版) ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称→ Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※特に記載がない場合は、Windows Vista と Windows Server 2008 と Windows XP と Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。

マーク

本機を正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

本機を使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

参照ページです。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

諸注意

■ 法律上の注意事項

・紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。
・以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。
　株券・手形・小切手などの有価証券
　公務員又は役所が作成した証明書などの文書
　契約書等、権利義務や事実証明に関する文書
　役所または公務員の印影、署名、記号
　私人の印影または署名
・著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律　刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

■ 電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。　取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

■ 高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

■ 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 本機に搭載のソフトウェアについて

MC860 は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

MC860 は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

この製品には、Heimdal Project によって開発されたソフトウェアが含まれます。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

VOC（揮発性有機化合物）の放散について

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジ（ブラック）を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angle RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。

⚠危険

本装置には CR2450 リチウム電池が使用されています。
通常使用において 10 年間の寿命を有します。
電池を廃棄する場合はテープなどで絶縁してください。
他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。
電池は地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScript および Reader は、米国及びその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様が本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に､この本契約書を必ずお読み下さい。お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます｡)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データ製品を所有する場合に限り、当該製品に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして､本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱わなければなりません。
(2)第 1 条に定めた複製を除いて､本ソフトウェアの一部または全部の複製､貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4)お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1)沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
   All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
   本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

1 いろいろな印刷のしかた 17

いろいろな用紙に印刷する 18

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい 18

ラベル紙、OHP フィルムに印刷したい..23

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）.......30

節約して印刷..34

複数ページを 1 枚に印刷したい..34

両面印刷したい..36

トナーを節約して試し印刷したい 38

大きさを変えて印刷..40

用紙サイズを変更したい..40

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）..41

小冊子を作りたい（製本印刷）..42

きれいに印刷..44

印刷品位を変更したい 44

オフィス文書の見やすさを保ちながら、
トナー消費量をセーブしたい 45

写真画像を鮮明に印刷したい（フォトモード）..46

細線がかすれるのを防ぎたい 47

プリンタフォントに置き換えて印刷したい..49

コンピュータのフォントで印刷したい..51

印刷結果を人に見られたくないとき..52

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）..52

機密文書や大切な書類を印刷したい（暗号化認証印刷）..................56

便利な機能を使って印刷する..59

ページ順に取り出したい..59

フェイスダウンスタッカに排出する 59

フェイスアップスタッカを使い、逆順に印刷する 59

トレイを自動的に選択したい 61

表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）..65

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）..66

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）..68

データを保存して繰り返し印刷したい..70

登録したフォームを重ねて印刷する..73

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい.............76

プリンタドライバの初期値を変更したい 78

こんなとき / その他 79

同じ用紙サイズを大量に印刷したい..79

コンピュータの開放を早くしたい（バッファ印刷）..83

モノクロ（白黒）の印刷速度を変更したい..84

印刷データをファイルに出力したい..87

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい..88

ポストスクリプトエラーを印刷したい..89

プリンタとして使うときの動作モードを変更したい 90

アプリケーション別の設定..92

Adobe PageMaker 7.0J/6.5J/6.0J（Windows 版）..92

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows 版、Macintosh 版）..93

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J（Windows 版、Macintosh 版）....93

Adobe Illustrator 10.0/9.0/8.0/7.0J（Windows 版、Macintosh 版）.. 93

Macromedia FreeHand9.0/8.0J（Macintosh 版）..93

2 いろいろなコピーのしかた 95

いろいろなコピーのしかた 96

用紙を仕分けする 96
印刷中に割り込んでコピーする 98
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）........................ 100
1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）........................ 104
2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）........................ 107
原稿の影を消す（枠消去）........................ 110
原稿の影を消す（センター消去）........................ 113
とじしろを付ける（とじしろ）........................ 116
長さの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）........................ 119
コピー機能組み合わせ一覧 122
組み合わせできない応用コピーの表示 123
組み合わせた応用コピーを個別に取り消すには 123

コピー機能設定 125

コピー機能設定 125
コピー機能設定例 125

3 いろいろなファクスのしかた 127

いろいろなファクスのしかた 128

原稿の読み取りを途中から変更する（混在送信）........................ 128
準備すること 128
原稿の読み取りを途中から変更する 129
記録のしかた 131
有効記録サイズについて 131
しきい値について 131
ページ分割について 132
回転受信について 132
記録のしかた一覧 132
用紙サイズの優先順位 133

多数の相手に一度に送信する 134
同報送信のしかた 134
入力した相手先を確認／削除する 135
グループを使用する（グループ送信）........................ 136
送信時刻を指定する（時刻指定送信）........................ 138
ダイヤルするときに番号を追加する（プレフィクス）........................ 140
プレフィクス番号を登録する 140
使用例 1　送信時に使用する 142
使用例 2　短縮ダイヤルに登録する 143
セキュリティ機能 145
セキュリティ機能とその特長 145
より確実な通信のために 146
ID チェック送信の設定　初期値：OFF 146
ID チェック送信のしかた 148
同報宛先確認の設定　初期値：ON 149
同報宛先確認の使いかた 150
ダイヤル 2 度押しの設定　初期値：OFF 152
ダイヤル 2 度押しの使いかた 153
ポーリング通信 155
ポーリング 155
F コード通信をする 157
F コード送信とは 157
サブアドレスとパスワード 157
暗証番号とは 157
F コード通信で使用できる機能 157
F コードボックスの登録（F コード親展通信）........................ 158
F コードボックスの登録（F コード掲示板通信）........................ 162
F コードボックスの削除 169
サブアドレスを使用した送信（F コード送信）........................ 171
サブアドレスを使用した受信（F コードポーリング）........................ 173
掲示板への原稿蓄積 175
蓄積原稿の印刷 177
蓄積原稿の削除 179

原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ）....181
ファクシミリ通信網及びサービスの利用について....184
ファクシミリ通信網サービス....184
新電電系（NCC 回線）の利用のしかた....185
銀行のファクスサービスなどの利用のしかた....185
ダイレクトメールを防止する....186
登録する　初期値：OFF....186
登録した番号の削除....189
コンピュータからファクスを送信する....191
アプリケーションからファクスを送信する....191
電話帳を使ってファクス番号を登録する....192
グループを使って管理する....193
グループを使って送信する....194
送付状を付加して送信する....195
電話帳のファクス番号のインポート、エクスポート....196
ファクスの機器設定....197
送信初期設定....197
設定例....197
その他の設定....200
設定例....200
4 いろいろなスキャンのしかた....203
いろいろなスキャンのしかた....204
スキャナドライバ（TWAIN ドライバ、WIA ドライバ）をインストールする....204
インストールする....204
TWAIN ドライバを使う....208
スキャンする....208
設定を変更する....209
WIA ドライバを使う....216
スキャンする....216
スキャナとカメラウィザードからスキャンする....217
ActKey アプリケーションを使う....220
動作環境....220
インストールする....220
起動する....220
スキャン To ローカル PC で ActKey が起動するように設定する....221
スキャンしたデータをファクス送信する（PC-FAX）....222
設定を変更する....223
スキャナの設定を変更する....226
読み取り条件などの初期値を変更する....226
初期値の設定....226
便利な機能（スキャン To メール）....229
送信者 / 返信先を設定する....229
定型文を使う....232
定型文を登録する....232
定型文を使う....237
便利な機能（スキャン To メール /USB）....239
ファイル名を指定する....239
ファイル形式を指定する....241
グレースケールを有効にする....243
スキャン画像の向きを変更する....245
圧縮レベルを指定する....247
その他の機能....249

5 コピー・ファクス・スキャナ共通設定 251

コピー・ファクス・スキャナ共通設定 252

ジョブメモリ機能 252
ジョブメモリ機能キーへの登録........................252
ジョブメモリ機能キーのタイトル変更 254
ジョブメモリ機能キーの削除..........................255
ジョブメモリ機能を実行する..........................256
ジョブメモリ機能の実行速度の設定 257

ご愛用スイッチを変更する 258

6 便利なユーティリティソフトウェア 261

ユーティリティの紹介 262

ユーティリティ一覧.......................................262
Windows/Macintosh 共通ユーティリティ 262
Windows 用ユーティリティ 262
Macintosh 用ユーティリティ 263

ユーティリティのインストール方法............................264

Windows をお使いの方 264

Macintosh をお使いの方 265

Windows ユーティリティ 266

Configuration Tool 266
動作環境...266
セットアップする 266
Configuration Tool を使用する 267
Device Info タブ 268
User Setting タブ....................................268
E メールアドレスマネージャー(User Setting タブ内)......269
短縮ダイヤルマネージャー 274
プロファイルマネージャー(User Setting タブ内)..........279
PIN マネージャー(User Setting タブ内)...................283
自動配信マネージャー(User Setting タブ内) 289
クローニング(設定の複製)............................292
Device Setting タブ 293
メニューの設定を変更する 294
クローニング(設定の複製)............................295
パスワードを変更する 295
Alert Info メニュー 296
基本設定...296
デバイス設定...297
フィルタ設定...298
ログの表示...299

Windows スクリーンフォント 301

ストレージデバイスマネージャ 302
動作環境...302
インストールする 302
起動する 302
フォームを登録する(フォームオーバーレイ)..............303
内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい(Windows)...........305
内蔵ハードディスクの不要なジョブを削除する 306

PDF Print Direct 307
動作環境...307
PDF ファイルを印刷する...............................307

プリントジョブアカウンティング Lite 309
動作環境...309
インストールする 309
起動する 309

プリントジョブアカウンティングクライアント................310
動作環境...310
ジョブアカウントモードの変更.........................310

プリンタ表示言語セットアップ..............................317
動作環境...317
起動します...317

Macintosh ユーティリティ 320
パネル言語セットアップ 320
操作パネルの表示言語を変更したい 320
プリントジョブアカウンティングクライアント 322
動作環境 322
ユーザ ID を登録する 322
複数のユーザを一度に登録するには 323
ユーザ ID、ユーザ名を変更するには 324
ユーザ ID、ユーザ名を削除するには 324

7 カラーを調整する 325

操作パネルで調整する 326
色ずれ補正調整をする 326
濃度補正調整をする 328
色ずれ補正を微調整したい 330
特定の色味を強くしたい、または弱くしたい 332
コピー・スキャンしたときのカラー調整 336
コントラストを変える 336
色相を調整する 337
彩度を調整する 338
赤・緑・青色を調整する 339
コンピュータから印刷したときのカラー調整 340
カラーマッチングについて 340
カラーマッチング 340
利用できるカラーマネージメントシステム 340
簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）......341
黒の部分の仕上りを変更したい 343
モノクロ（白黒）で印刷したい 345
文字と背景の間の白すじをなくしたい
（ブラックオーバープリント）......347
印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい 349
分版印刷をしたい 351
Macintosh の ColorSync を使いたい 352
プロファイルアシスタント 353
ICC プロファイルを本機にダウンロードする 353
ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする
（グラフィックプロ）......359
カラー調整ユーティリティ 362
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Windows）......362
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）......367
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Windows）......373
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）......376
カラー調整の設定をファイルに保存したい（Windows）......380
カラー調整の設定をファイルに保存したい（Macintosh）......382
カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Windows）......384
カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Macintosh）......386
カラー調整の設定を削除したい（Windows）......388
カラー調整の設定を削除したい（Macintosh）......389
色見本印刷ユーティリティ 390
色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい（Windows）......390
PS ハーフトーン調整ユーティリティ 392
写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）......392

8 操作パネルの設定項目 395

操作パネルの設定項目一覧 396

コピー待機画面 396
ファクス待機画面 399
オンフック状態のとき 399
オフフック状態のとき 400
スキャナ待機画面 401
スキャナメニュー選択画面 401
メールを選択したとき 401
USB メモリを選択したとき 404
ローカル PC を選択したとき 406
ネットワーク PC を選択したとき 406
プリンタ待機画面 409
<機器設定>キーを押したとき 410
機器設定　画面 410
［アドレス帳］を押したとき 410
［用紙］を押したとき 411
［原稿蓄積設定］を押したとき 414
［プロファイル］を押したとき 414
［装置情報］を押したとき 416
［管理者設定］を押したとき 418
［ジョブメモリ設定］を押したとき 439
［シャットダウン］を押したとき 439

9 操作パネルを使うとき 441

操作パネルで設定を変更する 442

管理者パスワードを変更する 442
節電モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい 444
印刷をキャンセルしたい 446
<ストップ>キーを押してをキャンセルする 446
ジョブリストからキャンセルする 447
内蔵ハードディスクを初期化したい 448
内蔵ハードディスクを初期化する 448
特定のパーティションをフォーマットする 450
フラッシュメモリの空き容量を確保したい 452
フラッシュメモリを初期化する 452

レポート印刷キー 454

印刷できるレポート一覧 454
装置の設定に関するリスト 455
機器設定印刷 455
装置情報に関するリスト 456
ネットワーク情報印刷 456
ファイルリスト印刷 457
デモページ印刷 458
エラーログ印刷 459
スキャン To ログ印刷 460
印刷集計結果印刷 461
ファクスに関するリスト 462
短縮ダイヤルリスト印刷 462
宛先グループリスト印刷 463
通信管理レポート印刷 464
F コードボックスリスト印刷 466
ダイレクトメール防止印刷 467
蓄積原稿リスト印刷 468
スキャナに関するリスト 469
E メールアドレスリスト印刷 469
プリンタに関するリスト 470
フォントリスト印刷 470
カラー調整パターン印刷 471
カラープロファイルリスト印刷 472

10 ネットワークに関する設定..473

ネットワークについて..474
ネットワーク設定項目の一覧..474
ネットワーク機能を初期化する..490
DHCP/BOOTP を使用する..491
DHCP サーバの設定..491
BOOTP サーバの設定..493
本機の設定..493
SNMP を使用する..495
IPv6 について..496

Windows/Macintosh 用ユーティリティ..497
Web ブラウザ..497
動作環境..497
起動する..497
管理者としてログインする..498
項目一覧..499
パスワードの設定..506
コンピュータから装置の状態を確認する..507
コンピュータから装置の設定を変更したい..508
通信を暗号化する（SSL/TLS）..508
通信を暗号化する（IPSec）..515
IP アドレスでのアクセス制限機能（IP フィルタ）を使用する..530
MAC アドレスでのアクセス制限機能を使用する..532
エラーをメールで通知する..535
SNMPv3 を使用する..542
IPv6 を使用する..544
IEEE802.1X を使用する..546
LDAP サーバ設定をする..550
セキュアプロトコル設定をする..553
メール送信設定をする..554
EtherTalk プリンタ名を変更したい（Macintosh をお使いの方）..556
EtherTalk ゾーンを変更したい（Macintosh をお使いの方）..556
PDF ファイルを印刷する..557
メールに添付されたファイルを印刷する..558

Windows 用ユーティリティ..562
AdminManager..562
動作環境..562
起動する..562
ネットワークの設定をする..563
ネットワーク設定項目..565
環境を設定する..566
Quick Setup..567
動作環境..567
起動する..567
設定する..568
OKI LPR ユーティリティ..570
動作環境..570
起動する..570
リモートプリントの設定..571
ファイルのダウンロード..571
ジョブの表示、削除と手動転送..572
プリンタのステータス..572
装置の追加..573
ジョブの自動転送..573
複数の装置で同時に印刷する..575
Web ブラウザを起動する..576
コメントを追加する..577
自動的に IP アドレス再設定する..578
削除（アンインストール）する..579
Network Extension..580
動作環境..580
装置の設定を確認する..580
オプションの自動設定をする..581
削除（アンインストール）する..582
TELNET..583
設定する..583

Macintosh 用ユーティリティ 584
NIC Setup Utility....584
動作環境....584
起動する....584
Oki Device の設定....585

11 UNIX、Linux で使用する場合 587
LPD プロトコルを利用する 588
LPD について....588
論理プリンタについて 588
UNIX を設定し印刷する....589
HP-UX9.X および 10.X の場合....590
FTP プロトコルを利用する....591
FTP について....591
論理ディレクトリについて....591
印刷する....592

12 こんなときには 593
ドライバの削除 / 更新....594
プリンタ・ファクスドライバを削除する 594
Windows をお使いの方....594
Mac OS X をお使いの方....596
プリンタ・ファクスドライバを更新する 598
Windows をお使いの方....598
Mac OS X をお使いの方....599
スキャナドライバの削除 / 更新 600
スキャナドライバを削除する....600
スキャナドライバを更新する....602

日常のお手入れ 604
装置の表面を清掃する 604
原稿ガラス・ガラス面を清掃する 606
原稿押さえパッドを清掃する 607
原稿搬送ローラと原稿押さえローラを清掃する....608
給紙ローラとパッドを清掃する....610
LED ヘッドを清掃する....611

移動する 613
装置を移動するとき....613
装置を輸送するとき....616

付　録 621

ユーザサポートサービス 622

お客様相談センターのご案内 622
消耗品・オプション・推奨紙のご案内 623
使用済み消耗品の回収について 624
その他のサービスについて 625

保証について 625
最新版のソフトウェアを入手したい 626
補修用性能部品の保有年数について 626

プリントジョブアカウンティングの使用について 627

プリントジョブアカウンティングの使用について 627

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID 数、および保存可能ログ数 .627
課金額の定義の追加 628

仕様 629

仕様 629

基本仕様 629
印刷部仕様 629
スキャナ部仕様 630
ファクス部仕様 630
コピー仕様 630
USB インタフェース仕様 631
ネットワークインタフェース仕様 631
パラレルインタフェース仕様 632
フォントサンプル(PostScript3 エミュレーションモード) 633
フォントサンプル（PCL エミュレーションモード) 634
印刷範囲と印刷精度（PostScript3 エミュレーションモード、PCL エミュレーションモード) 635
文字コード表(PostScript3 エミュレーションモード) 636
文字コード表（PCL エミュレーションモード) 639
外形寸法 641

索　引 643

1 いろいろな印刷のしかた

いろいろな用紙に印刷する 18
節約して印刷 34
大きさを変えて印刷 40
きれいに印刷 44
印刷結果を人に見られたくないとき 52
便利な機能を使って印刷する 59
こんなとき / その他 79

注

- この章では、Windowsでは[ワードパッド]、Mac OS Xでは[テキストエディット]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

いろいろな用紙に印刷する

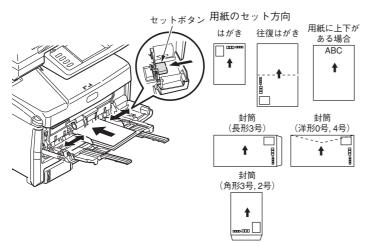
はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

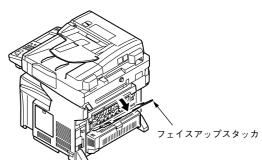
メモ　使用できるはがき・封筒の種類については、「使用できる用紙」（基本操作編）をご覧ください。

1 MP トレイ（マルチパーパストレイ）に用紙をセットし、セットボタンを押します。

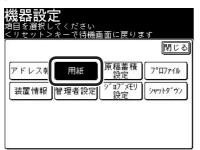
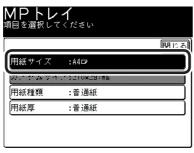
はがき、往復はがき、封筒は MP トレイから印刷します。

メモ　MP トレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくは基本操作編の「手差し印刷」をご覧ください。

- はがき、往復はがき、封筒は用紙トレイからの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。
- 角形 2 号封筒は 1 枚ずつセットして手差しで印刷してください。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

はがき、往復はがき、封筒はフェイスアップスタッカ（印刷面が上）に排出します。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。

❶ 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

❷［用紙］を押します。

❸［MP トレイ］を押します。
ここでは MP トレイの場合を例にしています。

❹［用紙サイズ］を押します。

❺［▼］を押し、MP トレイ 2/3 画面を表示します。

❻［はがき］を選択し、［確定］を押します。

❼<リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]を選択し、印刷します。

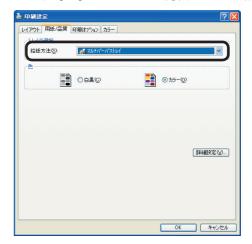
■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒※（※は封筒の種類）］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

- ［封筒※（※は封筒の種類）］で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- ［封筒※（※は封筒の種類）］で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙 / 品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180˚］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒※（※は封筒の種類）］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows 2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル]メニューの［ページ設定]を選択します。

❷ [対象プリンタ]でプリンタの機種名を選択し、[用紙サイズ]で［はがき]、[往復はがき]または［封筒※（※は封筒の種類)]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ [プリンタ]でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ [給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ

- [封筒※（※は封筒の種類)］で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。[ファイル］の「プリント」画面の［プリンタの機能］パネルの［印刷オプション］機能セットで［180°］にチェックを付けます。
- [封筒※（※は封筒の種類)］で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。
- Mac OS X 10.5 で、[プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

❻ [プリント］をクリックし、印刷します。

ラベル紙、OHP フィルムに印刷したい

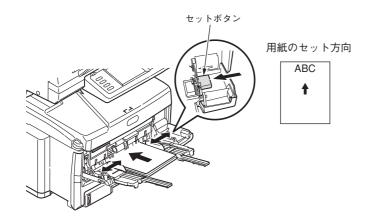
メモ 使用できるラベル紙・OHP フィルムの種類については、「使用できる用紙」（基本操作編）をご覧ください。

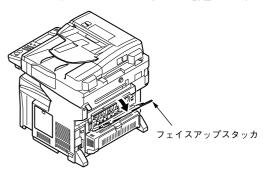
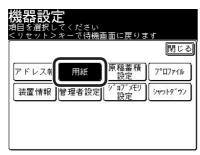
1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

ラベル紙、OHP フィルムは MP トレイ（マルチパーパストレイ）から印刷します。

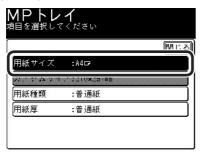
メモ
- MP トレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくは基本操作編の「手差し印刷」をご覧ください。
- ラベル紙、OHP フィルムは用紙トレイからの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

用紙のセット方向

ABC

2 フェイスアップスタッカを開きます。

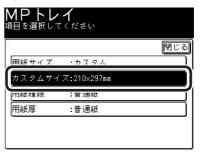
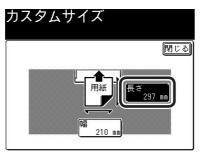
ラベル紙、OHP フィルムはフェイスアップスタッカに排出します。

3 操作パネルで用紙サイズと用紙種類を設定します。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［用紙］を押します。

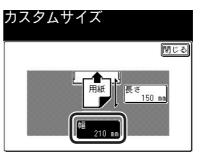
❸［MP トレイ］を押します。

❹［用紙サイズ］を押します。

❺［▼］を押し、MP トレイ 2/3 画面を表示します。

❻［カスタム］を選択し、［確定］を押します。

❼［カスタムサイズ］を押します。

❽［長さ］を押します。

❾ テンキーまたは［▼］［▲］で長さを入力します。

❿ サイズを入力後、［確定］を押します。

⓫［幅］を押します。

⓬ テンキーまたはカーソルキーで幅を入力します。

⓭ サイズを入力後、［確定］を押します。

⓮［閉じる］を押します。

⓯［用紙種類］を押します。

⓰［OHP］を押し、［確定］を押します。

⓱<リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]を選択し、印刷します。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル]メニューの［ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で［A4］または［レター］､[印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの［印刷]を選択します。

❹ [詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ [用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、[OK］をクリックします。
（Windows 2000 では、[OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

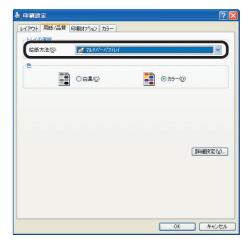
❶ [ファイル]メニューの [ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ] で [A4] または [レター]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。

❹ [詳細設定] をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❺ [設定] タブの [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択し、[OK] をクリックします。
(Windows 2000 では、[OK] をクリックする必要はありません。)

❻「印刷」画面で [OK] または [印刷] をクリックし、印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）

独自の用紙サイズをプリンタドライバに登録し、印刷するときに指定します。

［設定できるサイズ］
幅　：64 ～ 297mm
長さ：105 ～ 1200mm

［用紙トレイから給紙できるサイズ］

	トレイ 1	トレイ 2, 3
幅	：105 ～ 297mm	148 ～ 297mm
長さ	：148 ～ 431.8mm	182 ～ 431.8mm

［両面印刷できるサイズ］
幅　：148 ～ 297mm
長さ：182 ～ 431.8mm

- 長さが 432mm を超える用紙の印刷（長尺印刷）は、フェイスアップスタッカに排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定し、本機にセットしてください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが 355.6mm を超える用紙の印刷品位は保証できません。
- MP トレイから給紙する場合、用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 用紙トレイ（トレイ 1、トレイ 2/3（MC860dn ではオプション））から給紙する場合は、本機の操作パネルで<機器設定>キーを押し、［用紙］-［トレイ 1］-［用紙サイズ］-［カスタム］と選択してください。
- 幅が 100mm 未満の用紙は紙づまりの原因になりますので、保証できません。
- 「給紙オプション」画面の［自動トレイ切り替え］は、初期設定では有効（チェック有り）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することがあります。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
（Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［OKI MC860(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❹［用紙サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択します。

❺「PostScript カスタムページサイズの定義」画面で［幅］と［高さ］を入力します。

❻［OK］をクリックします。

❼ 印刷したいファイルを開きます。

❽［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❾ 用紙サイズを指定します。

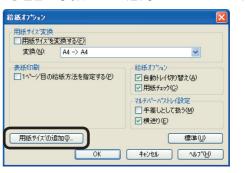
PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
（Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［OKI MC860(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❹「給紙オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

❺「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❻［追加］をクリックします。

作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

❼ 印刷したいファイルを開きます。

❽ 登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

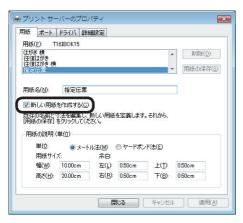
■ Windows PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❸［ユーザー アカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❹［プリントサーバーのプロパティ］の［用紙］タブを選択します。

❺［新しい用紙を追加する］にチェックをつけ、［用紙名］、［用紙サイズ］、［余白］を入力します。

❻［用紙の保存］をクリックします。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［用紙サイズ］で［カスタムサイズを管理］を選択します。（Mac OS X 10.4 未満では［設定］で［カスタム用紙サイズ］をクリックします。）

❹「カスタム·ページ·サイズ」画面で[+]（Mac OS X 10.4未満では[新規]）をクリックします。［名称未設定］をダブルクリックし、［カスタム用紙サイズ］の名前を入力します。ページサイズの［幅］、［高さ］を入力します。

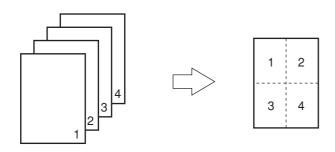
❺［OK］（Mac OS X 10.4 未満では［保存］）をクリックします。

作成した用紙は［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。

❻印刷します。

節約して印刷

複数ページを 1 枚に印刷したい

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- Windows PCL プリンタドライバではとじ代も設定できます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［シートごとのページ］を選択します。

メモ　Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は、必要に応じて、［境界線を引く］を設定してください。また、［詳細設定］-［シートごとのページレイアウト］でページ配置を変更することもできま

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に 0 ～ 30mm まで設定できます。

Windows PCL XPS プリンタドライバでは、とじ代の設定はできません。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［ページ数 / 枚］、［レイアウト方向］、［境界線］を選択します。

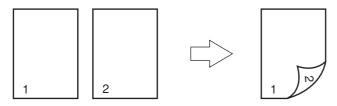
メモ
Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

両面印刷したい

用紙の両面に印刷することができます。

両面印刷できる用紙サイズは A3、A4、A5、B5、レター、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブおよびカスタムサイズです。A6 用紙は使用できません。

両面印刷できるカスタムサイズの幅と長さの範囲については、「任意の用紙サイズに印刷したい」（30 ページ）をご覧ください。

両面印刷できる用紙の厚さは、連量 55kg ～ 90kg（64 ～ 105g/m^2）です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使用しないでください。

アプリケーションによっては利用できない場合があります。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

❺ 印刷します。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

❺ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［両面］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

（Mac OS X 10.5 PS プリンタドライバ）

❹ 印刷します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

トナーを節約して試し印刷したい

全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約して印刷します。同時に 100% 黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしても画像のバランスが失われにくくするために中間調を明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが［グレースケール］のときは有効になりません。
- PostScript で CMYK 印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYK で印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScript でグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIE カラースペースで印刷データを作成する OS やアプリケーションでは無効となります。
- Wondows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

メモ ［トナーセーブ］と［オフィスドキュメント］の設定を有効／無効にした時の印刷の濃度の目安

［オフィスドキュメント］はプリンタドライバの［カラー］タブ、または［カラー］パネルで設定します。

例えば、シアン 100%の色を印刷した時の濃度は表のようになります。
数値が小さいほど、印刷結果は明るい感じになります。

✓：有効　－：無効

トナーセーブ	オフィスドキュメント	印刷の濃度
－	－	100%（標準の設定）
－	✓	約 95%
✓	－	約 85%
✓	✓	約 70%

実際のトナーセーブとオフィスドキュメントの設定による印刷の濃度の変化は、印刷する画像によって異なります。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません）

❹［カラー］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

（Windows XP PS プリンタドライバ）

❺ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［トナーセーブ］にチェックします。

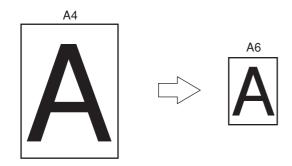
注 Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「オフィスカラー」を指定しても無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❹ 印刷します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

大きさを変えて印刷

用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

・アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
・Windows PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

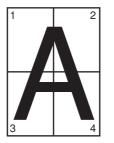
❹［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。

❺［オプション］をクリックします。

❻［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、［変換］で印刷したい用紙サイズを選択します。

❼ 印刷します。

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- Windows PCL プリンタドライバのみで利用できます。
- NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ［ポスター印刷］が動作しない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MC860(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

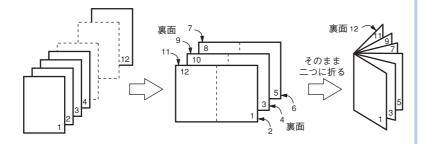
❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定できます。

小冊子を作りたい（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windows PCL XPS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- ［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MC860(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。
- ［小冊子］印刷では、ウォーターマークは正しく印刷できません。
- アプリケーション自身で PostScript データを生成する場合には、小冊子の指定は正常に動作しないことがあります。回避方法の有無はアプリケーションに依存します。お使いのアプリケーションのマニュアルをご確認ください。例えば Adobe Acrobat Professional または Adobe Reader では印刷ダイアログの詳細設定で、「画像として印刷」にチェックすることで小冊子の印刷が正常に動作するようになります。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。

❺ Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で実際に使用する用紙サイズを選択します。

- （例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
  ［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008 で、右折の小冊子（ページ目を表にした時、右側が綴じ位置になる冊子）を作る場合、［詳細設定］の［小冊子綴じ］で［右の端］を選択します。

■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

- 以下の場合には、小冊子印刷を利用できません。
  - NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合
  - ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合
- ［製本印刷］が選択できない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MC860(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択し、［詳細設定］をクリックします。

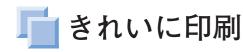
❺「製本印刷」画面で、必要に応じて［折丁］、［2up］、［右開き］、［とじ代］を設定します。

折丁
製本するページの単位です。

右開き
小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻［設定］タブの［サイズ］で用紙サイズを選択し、［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で該当する値を選択します。

（例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

きれいに印刷

印刷品位を変更したい

初期設定では、「ふつう（600 × 600dpi）」に設定されています。お使いの環境に合わせて［印刷品位］を設定してください。

PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［印刷品位］を変更します。

（Windows XP PS ドライバの画面）

❺ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの機能セットで［ジョブオプション］を選択し、［印刷品位］を変更します。

❹ 印刷します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

オフィス文書の見やすさを保ちながら、トナー消費量をセーブしたい

オフィス文書に適した濃度にトナー量を調整し、文書の見やすさを保ちながら、トナー消費量をセーブすることができます。
100%黒の濃度はそのまま保持しますので、黒文字の読みやすさも損ないません。

Windows PS/PCL XPS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

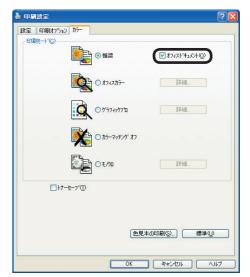
■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［オフィスドキュメント］をチェックします。

❺ 印刷します。

写真画像を鮮明に印刷したい（フォトモード）

写真などの画像を、より鮮明に印刷することができます。

- Windows PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- ［オフィスドキュメント］にチェックを付けている場合、［フォトモード］は設定できません。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［フォトモード］を選択します。

❺ 印刷します。

細線がかすれるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

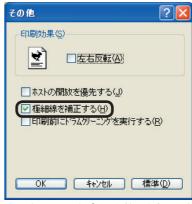
■ Windows PS / PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [その他] をクリックします。

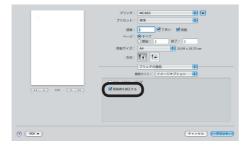
❺ [極細線を補正する] にチェックを付けます。

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

❻ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの機能セットで［イメージオプション］を選択し、［極細線を補正する］にチェックを付けます。

❹ 印刷します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- Windows PS プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
（Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［OKI MC860(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❻［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❼［TrueType フォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

❽ 印刷します。

■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻［フォント置き換えテーブル］で TrueType フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

❼ 印刷します。

置き換えフォント一覧表

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシック BBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック BBB- 等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体 W5
等幅ゴシック	—	PS	平成角ゴシック体 W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体 W5
Osaka- 等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
リュウミンライト -KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体 W3
リュウミンライト -KL- 等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体 W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体 W3
等幅明朝	—	PS	平成明朝体 W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体 W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体 W3
本明朝 -M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体 W3
B 太ゴ B101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体 W5
B 太ミン A101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体 W3
見出ゴ MB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体 W5
見出ミン MA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体 W3
丸ゴシック -M	MaruGothic-Medium	TT	—

TT：TrueType フォント
PS：PostScript フォント

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

- 印刷時間が長くなることがあります。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

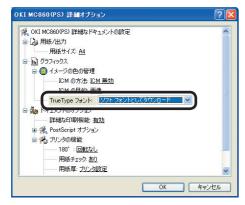
■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［TrueType フォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

❻ 印刷します。

■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

❻ 印刷します。

印刷結果を人に見られたくないとき

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

印刷ジョブを本機のハードディスクに蓄えて、操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し、印刷は行われません。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

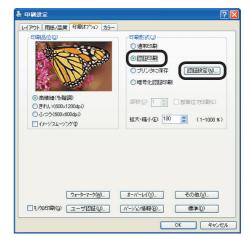
1 印刷したいファイルを開き、［認証印刷］を指定します。

■ **Windows PS / PCL プリンタドライバをお使いの方**

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

（Windows XP PS ドライバの画面）

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、[OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4 桁の数字で設定します。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

❻印刷します。

［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK］をクリックします。

認証印刷ジョブを起動したユーザが、そのジョブの存在を忘れた場合やパスワードを忘れてしまった場合には、装置のハードディスク内に放置されたままとなります。
ハードディスクに残ったままになっている認証印刷ジョブを削除したいときは、55 ページのメモ「OKI ストレージでバイマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法」をご覧ください。
その場合、” OKI ストレージデバイスマネージャ (Windows) でジョブを削除する方法” で認証印刷ジョブの削除ができます。

2 本機の操作パネルからパスワードを入力し、印刷します。

❶ <プリンタ>キーを押します。

❷［ジョブ印刷］を押します。

❸［保存ジョブ］を押します。

❹ 印刷するジョブのパスワードをテンキーから 4 桁入力すると検索を開始します。

メモ
・誤って入力した場合は、［クリア］を押し、設定しなおします。
・検索をキャンセルしたい時は<ストップ>キーを押します。

❺［印刷］を押します。

メモ ［削除］を押すとジョブを削除できます。

❻ 印刷する部数をテンキーまたは［▲］,［▼］にて入力し、「確定」を押します。

メモ OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、本機を接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウで本機を選択し、［プリンタ］メニューから［スプールジョブの管理］を選択します。

❺［認証印刷ジョブ］にチェックが付いていることを確認し、［ユーザジョブの参照］を選択し、パスワードを入力し［パスワードの適用］をクリックします。
［全てのジョブの参照］を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、［管理者パスワードの適用］をクリックすると、本機に格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、［削除］をクリックします。

❼ 完了画面で［OK］をクリックします。

機密文書や大切な書類を印刷したい（暗号化認証印刷）

印刷ジョブを暗号化してから装置へ転送します。そのため、装置の通信過程やハードディスクから印刷データを盗聴された場合でも、印刷内容の漏洩を防止することができます。またセキュリティをより強固にするため、ハードディスクにスプールされた印刷ジョブは、印刷されるか、一定期間が過ぎると自動的に削除されます。
印刷は、操作パネルでパスワードを入力してから印刷するため、印刷物の盗難を防止することもできます。

- Windows Vista/XP/Windows Server 2008/Windows Server 2003 64bit 版プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- PCL ドライバにおいて、ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合は、EMF 形式でスプールできないのでポスター印刷及び、製本印刷を行う事はできません。
- 印刷ジョブを保存する内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し､印刷は行われません。
- 暗号化認証印刷を利用する際は、「ホストの開放を優先する」を無効にしてください。詳しくは「コンピュータの開放を早くしたい」（83 ページ）をご覧ください。
- Windows PS プリンタドライバにおいて、Windows Vista/Windows Server 2008 では､[デバイスの設定］タブの［暗号化認証印刷ジョブのみ印刷する］機能は利用できません。

1 印刷したいファイルを開き､[暗号化認証印刷］を指定します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❸［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［暗号化認証印刷］を選択します。

❹「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、[OK］をクリックします。

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

パスワード
4 桁～ 12 桁の英数小文字で設定します。

印刷時にパスワードを入力する
印刷時にコンピュータ上に、パスワードを入力する画面がでるようになります。

Windows Vista/Windows Server 2008 PS ドライバでは使用できません。

印刷ジョブの保存期間
本機のハードディスクに印刷ジョブの保存する期間を 5 分～ 23 時間 59 分の間で設定します。保存期間を過ぎた印刷ジョブは、自動的にハードディスクより削除されます。

印刷ジョブの消去方法
ハードディスクから印刷ジョブを削除する時の方法を指定します。

単純消去
印刷ジョブをファイルシステムより削除します。この削除方法は、ハードディスクから印刷ジョブを復元される恐れがありますが、もっとも短時間で削除されます。

0x00 で 1 回上書き
特定データで 1 回上書きした後、印刷ジョブを削除します。単純消去に比べ安全な消去方法ですが、特殊な方法で印刷ジョブを復元される恐れがあります。

3 回上書きを行う
印刷ジョブに 3 回データを上書きした後、削除します。もっとも安全な消去方法ですが、消去するための時間がかかります。

❺ 印刷します。

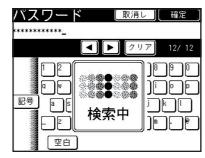
［印刷時にパスワードを入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

2 本機の操作パネルからパスワードを入力し、印刷します。

❶ <プリンタ>キーを押します。

❷［ジョブ印刷］を押します。

❸［暗号ジョブ］を押します。

❹ 印刷するジョブのパスワードをテンキーまたは入力画面から入力し、［確定］を押すと検索を開始します。

メモ　誤って入力した場合は、［クリア］を押し、設定しなおします。
検索をキャンセルしたい時は<ストップ>キーを押します。

❺［印刷］を押します。

メモ　［削除］を押すとジョブを削除できます。
暗号ジョブの中で、入力されたパスワードと一致するものすべてが印刷されます。

メモ
- 暗号化認証印刷を実行した後、印刷に使用されたファイルは、指定された消去方法で消去されます。ファイルの消去中は、［ファイル消去中］のメッセージが表示されます。
- データの転送に失敗したり、データが改ざんされたことを検出した場合は、［無効なデータを受信しました］というメッセージを表示し、当該データを消去します。

便利な機能を使って印刷する

ページ順に取り出したい

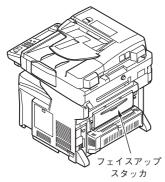
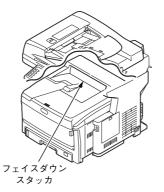
複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。
二通りの方法があります。

フェイスダウンスタッカに排出する

印刷面が下になって排出されます。

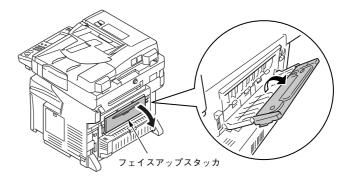
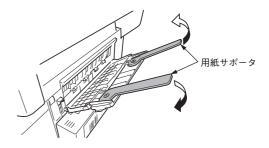
❶ 装置背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップスタッカが閉じているときは、フェイスダウンスタッカに用紙を排出します

連量が 111 ～ 172kg（129 ～ 200g/m²）の用紙、A6 サイズ、長さが 432mm を超えるカスタムサイズの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートは必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

フェイスアップスタッカを使い、逆順に印刷する

印刷面が上になって排出されます。

Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

❶ 装置背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの［印刷]を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

❺ 印刷します。

［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MC860(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［用紙処理］パネルの［ページの順序］で［逆送り］を選択します。

❹ 印刷します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ 1、トレイ 2/3（MC860dn ではオプション）、MP トレイ）を自動的に選択して印刷できます。

・必ず用紙サイズダイヤルで用紙トレイの用紙サイズを合わせ、操作パネルでトレイ 1、トレイ 2/3（MC860dn ではオプション）、MP トレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは「用紙のセットのしかた」（基本操作編）をご覧ください。
・メニュー設定の「MP トレイ使い方」の初期値は、「使用しない」になっています。この場合、MP トレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

❺［印刷メニュー］を押します。

❻［トレイ構成］を押します。

❼［MP トレイの使い方］を押します。

❽［用紙違いの時］を選び、［確定］を押します。

❾<リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

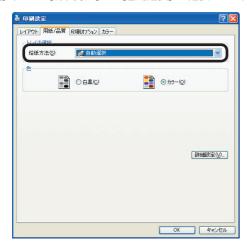
2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

❺ 印刷します。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［給紙］パネルで［全体］、［自動選択］を選択します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）

複数ページの印刷ジョブで1ページ目を別のトレイから給紙できます。1ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

Windows PS プリンタドライバでは利用できません。

▪ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺［表紙印刷］の［1ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

❻ 印刷します。

▪ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［給紙］パネルで［先頭ページのみ］をチェックし、［先頭ページのみ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）

アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- 小冊子印刷では、ウォーターマークは正しく印刷されません。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

- PS プリンタドライバの場合、初期設定ではウォーターマークは書類中の文字や図形の上に重なって印刷されます。文字や図形の下にウォーターマークを印刷したい場合は、［ウォーターマーク］ダイアログで［バックグラウンド］にチェックします。
- ［バックグラウンド］にチェックをすると、アプリケーションによってはウォーターマークが印刷されないことがあります。この場合は、［バックグラウンド］のチェックを外してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

（Windows XP PS ドライバの画面）

❺［新規］をクリックします。

（Windows XP PS ドライバの画面）

❻「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を設定します。

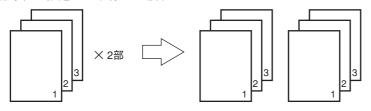
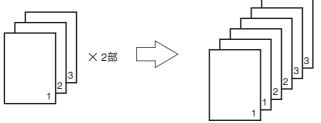
（Windows XP PS ドライバの画面）

❼［OK］をクリックします。

❽ 印刷します。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

印刷ジョブを本機のメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

・Mac OS X プリンタドライバでは本機のメモリを利用しないで印刷することもできます。
・アプリケーションによっては利用できない場合があります。

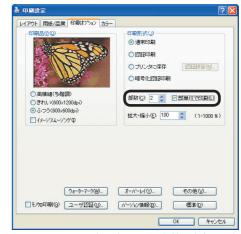
■ Windows プリンタドライバをお使いの方

PS プリンタドライバを利用する場合、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

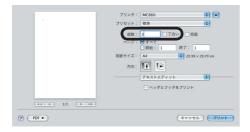
❹［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。

（Windows XP PS ドライバの画面）

❺ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

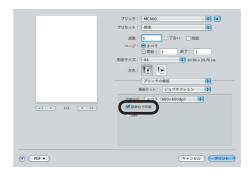
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力します。

メモ Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❹［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットで［部単位で印刷］にチェックを付けます。

メモ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］にチェックを付けると、本機のメモリを利用しないで印刷します。

❺ 印刷します。

データを保存して繰り返し印刷したい

印刷データを本機のハードディスクに保存し、操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返し印刷することができます。

- 印刷ジョブを保存する内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し、印刷は行われません。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 ジョブを本機に保存します。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［認証設定］をクリックします。

（Windows XP PS ドライバの画面）

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
　印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
　4 桁の数字で設定します。

ジョブ名
　最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

❻ 印刷します。

［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

2 本機の操作パネルからパスワードを入力し、印刷します。

❶ <プリンタ>キーを押します。

❷ ［ジョブ印刷］を押します。

❸ ［保存ジョブ］を押します。

❹ 印刷するジョブのパスワードをテンキーから 4 桁入力すると検索を開始します。

メモ 誤って入力した場合は、［クリア］を押し、設定しなおします。
検索をキャンセルしたい時は<ストップ>キーを押します。

❺［印刷］を押します。

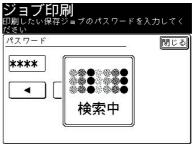
メモ　［削除］を押すとジョブを削除できます。

❻ 印刷する部数をテンキーまたは［▲］,［▼］にて入力し、［確定］を押します。

メモ　OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、本機を接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウで本機を選択し、［プリンタ］メニューから［保存ジョブの管理］を選択します。

❺［認証印刷ジョブ］にチェックが付いていることを確認し、［ユーザジョブの参照］を選択し、パスワードを入力し［パスワードの適用］をクリックします。
［全てのジョブの参照］を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、［管理者パスワードの適用］をクリックすると、本機に格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、［削除］をクリックします。

❼ 完了画面で［OK］をクリックします。

登録したフォームを重ねて印刷する

本機に帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」（302 ページ）をご覧ください。
- Windows PS プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成し、本機に登録します。

詳しくは「フォームを登録する（フォームオーバーレイ）」（303 ページ）をご覧ください。

2 フォームをプリンタドライバに登録し、印刷します。

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
（Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［OKI MC860(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸ フォームを使用する設定をします。

［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、［オーバーレイを使用する］を選択します。

オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❹［新規］をクリックします。

❺［フォーム名］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、［追加］をクリックします。

❻［オーバーレイ名］を入力し、［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❼［OK］をクリックします。

❽定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

❾印刷します。

■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成し、本機に登録します。

詳しくは「フォームを登録する（フォームオーバーレイ）」（303 ページ）をご覧ください。

2 フォームをプリンタドライバに登録し、印刷します。

❶印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

❺「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックを付け、［オーバーレイの定義］をクリックします。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つの ID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❻［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。

❼［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽［追加］をクリックします。

❾［閉じる］をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⓫ 印刷します。

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

Windows PS プリンタドライバ、ファクスドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
（Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。）

❷ [OKI MC860(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

❹ [設定] タブの [ドライバ設定] で [追加] を選択します。

❺ [設定名] に設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

用紙の情報を保存する
チェックを付けると、[設定] タブの [用紙] の設定も保存します。

最大 14 個まで保存することができます。

■ 保存した設定を呼び出して使うには

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 印刷します。

プリンタドライバの初期値を変更したい

よく使う機能を初期値に設定しておくと便利です。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
（Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。）

❷ [OKI MC860 (**)] (** は PS、PCL、PCL XPS または FAX（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK] をクリックします。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ [プリセット] で [別名で保存] を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、[OK] をクリックします。

❺ [キャンセル] をクリックします。

印刷時に [プリセット] で保存した設定名を選択してください。

こんなとき / その他

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ 1、トレイ 2/3（MC860dn ではオプション）、MP トレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

注
- 必ず用紙サイズダイヤルで用紙トレイの用紙サイズを合わせ、操作パネルで用紙トレイの用紙厚、用紙種類と MP トレイの用紙サイズ、用紙厚、用紙種類を一致させてください。詳しくは「用紙のセットのしかた」（基本操作編）をご覧ください。
- メニュー設定の「MP トレイ使い方」の初期値は、「使用しない」になっています。この場合、MP トレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

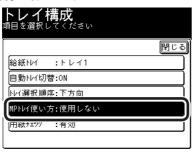
❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

❺［印刷メニュー］を押します。

❻［トレイ構成］を押します。

❼［MP トレイの使い方］を押します。

❽［用紙違いの時］を選び、［確定］を押します。

❾<リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

2 プリンタドライバで［自動トレイ切り替え］を設定します。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

❻ 印刷します。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

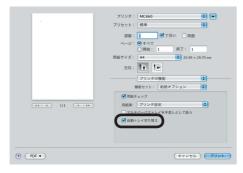
❺［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

❻ 印刷します。

■ Mac OS X 10.5 プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

❹ 印刷します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

■ Mac OS X 10.5 プリンタドライバ以外をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［エラー処理］パネルの［トレイの切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。

❹ 印刷します。

コンピュータの開放を早くしたい（バッファ印刷）

印刷ジョブを本機のハードディスクに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

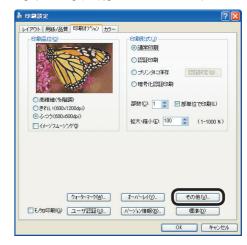
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し、印刷は行われません。
- スプールしない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

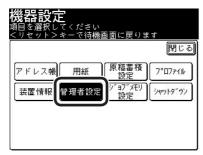
❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

❻ 印刷します。

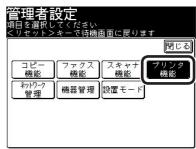
モノクロ（白黒）の印刷速度を変更したい

本機の操作パネルでモノクロ印刷速度を設定します。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

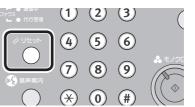
メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

❺［印刷メニュー］を押します。

❻［印刷設定］を押します。

❼［モノクロ印刷速度］を押します。

❽速度を選択し、［確定］を押します。

❾<リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

〈「ジドウ」の場合〉
印刷速度とイメージドラム寿命がバランス良く動作するよう制御します。
通常は［ジドウ］のままご利用ください。ジョブの先頭がモノクロページの場合に30PPM で印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来ると 26PPM に印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。

〈「34PPM」の場合〉
モノクロの大量印刷に適しています。ジョブの先頭がモノクロページの場合に 34PPM で印刷しますが､ジョブの途中にカラーページが来ると 26PPM に印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。［ジドウ］､［26PPM］､［30PPM］と比較し、モノクロ･カラーページが切り替わる際の待ち時間が長くなります。

〈「26PPM」の場合〉
カラーの大量印刷に適しています。モノクロ・カラーページいずれの場合も常に 26 PPM で印字しますのでモノクロ・カラーページの切り替わる際の待ち時間はありませんが、カラー（YMC）イメージドラムの寿命が短くなります。

〈「30PPM」の場合〉
1 つのジョブ内でカラーページの後にモノクロページを大量に含むデータを印刷する場合に適しています。モノクロページは常に 30PPM、カラーページは常に 26PPM で印刷します。モノクロ･カラーページが切り替わる際に待ち時間が発生しますが、［ジドウ］､［34PPM］､［26PPM］と比較し、カラー（YMC）イメージドラムの寿命を延ばすことができます。

PPM とは 1 分間あたりの印刷枚数のことです。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データを印刷せずに、ファイルに書き出して保存することができます。

コンピュータの管理者の権限が必要です。

■ Windows プリンタドライバ

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
（Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート]- [プリンタとFAX]を選択します。）

❷ [OKI MC860（**）]（** は PS、PCL、PCL XPS または FAX（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート] で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

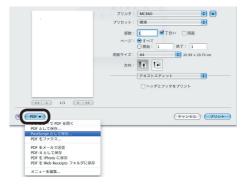
❹ 印刷します。[ファイルへ出力] で [出力先ファイル名] を入力し、[OK] をクリックします。

❺ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

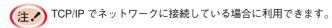
❸ [PDF] をクリックし、保存方法を選択します。

❹ [名前] に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存] をクリックします。

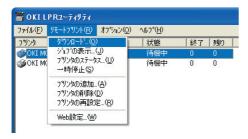
❺ 印刷します。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどを本機にダウンロードし、印刷することができます。

■ OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード ...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

ポストスクリプトエラーを印刷したい

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

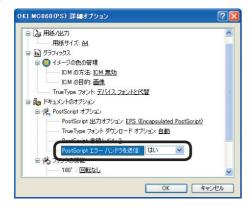
■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

❺ [PostScript オプション] - [PostScript エラーハンドラを送信] で [はい] を選択します。

❻ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X 10.5 では、この機能は利用できません。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [エラー処理] パネルの [PostScript エラー] で [詳細レポートをプリント] を選択します。

❹ 印刷します。

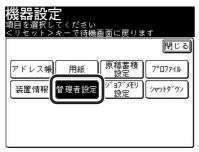
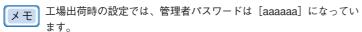
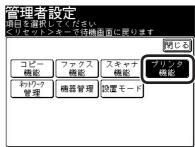
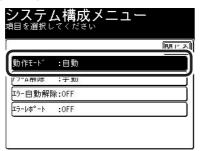
プリンタとして使うときの動作モードを変更したい

プリンタとして使うときの動作モードを変更することができます。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

❺［システム構成メニュー］を押します。

❻［動作モード］を押します。

❼設定したい動作モードを選択し、［確定］を押します。

❽<リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

アプリケーション別の設定

PS プリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker 7.0J/6.5J/6.0J（Windows 版）

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0J で印刷するには、PPD ファイルのインストールが必要です。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ セットアッププログラムが起動しますので、［MC860］画面の右上の×ボタンをクリックして、画面を閉じます。

❸［スタート］-［ファイルを指定して実行 ...］をクリックします。

❹［名前］に以下のように入力し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥MISC¥PPD¥SETUP.EXE

❺「インストール先の選択」画面が表示されたら、［参照］をクリックして、インストールするフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

PageMaker7.0J の場合	pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.5J の場合	pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.0J の場合	pm6¥rsrc¥ppd4

❻［次へ］をクリックします。
PPD ファイルがインストールされます。

❼［完了］をクリックします。

❽［終了］をクリックします。

❾ PageMakerの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

❿［プリンタ］と［形式］で［OKI MC860(PS)］を選択します。

［プリンタ］はプリンタドライバを、［形式］は PPD ファイルを意味しています。

⓫［印刷］をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- カラーマッチングを行うには、[補助] メニューの [Xtention マネジャー] で [Quark CMS] が ON になっている必要があります。
- [ファイル] メニューの [印刷] - [出力] パネルで [ハーフトーン] を必ず [プリンタ] にしてください。[計算値] にすると印刷が粗くなります。
- Macintosh と USB で接続している場合は [ファイル] メニューの [印刷] - [プリンタフォント] タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは [プリンタフォント] タブの [ポストスクリプト印刷] の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- [ファイル] メニューの [用紙設定] で [ハーフトーンスクリーン] をクリックし、[プリンタの初期設定値を使う] を必ず ON にしてください（Macintosh では [ファイル] メニューの [用紙設定] - [Adobe PhotoshopXX] パネルの [ハーフトーンスクリーン]）。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含む EPS ファイルは、印刷が粗くなることがあります。本機に最適なハーフトーンで印刷するには、EPS ファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- [ファイル] メニューの [書類設定] で [プリンタの初期設定値を使う] を必ず ON にしてください。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macromedia FreeHand9.0/8.0J（Macintosh 版）

- ICC プロファイルが表示されない場合は、[システムフォルダ] の [ColorSync 特性] または [ColorSync プロファイル] にある [OKI MC860 600dpi]、[OKI MC860 1200dpi]、[OKI MC860 600dpi (Multi)] ファイルを [システムフォルダ] - [初期設定] - [ColorSyncTM 特性] フォルダにコピーしてください。

2 いろいろなコピーのしかた

いろいろなコピーのしかた 96
用紙を仕分けする 96
印刷中に割り込んでコピーする 98
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）100
1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）................ 104
2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）................ 107
原稿の影を消す（枠消去）.. 110
原稿の影を消す（センター消去）...................................... 113
とじしろを付ける（とじしろ）.. 116
長さの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）.... 119
コピー機能組み合わせ一覧... 122
コピー機能設定 125
コピー機能設定... 125

いろいろなコピーのしかた

用紙を仕分けする

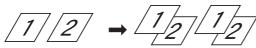
音声案内
操作案内（機能説明）

コピーをページ順にそろえることができます。コピーした後に手作業でページをそろえる手間が省けます。

操作の前に…

ソートの初期値を設定できます。「操作パネルの設定項目一覧」の「コピー機能」（418 ページ）をご覧ください。

■ ソート ON

コピー部ごとに用紙を仕分けします。

■ ソート OFF

原稿ごとに用紙を仕分けします。

メモ　オプションの増設メモリを取り付けると、より大きなジョブを印刷できるようになります。

1 ［ソート］を押します。

2 ソートを行う場合は［ON］を押し、［確定］を押します。

ソートが設定されます。

メモ <リセット>キーを押すと、ソート設定が解除されます。

3 テンキーで部数を入力します。

メモ 999 部までコピーできます。

4 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

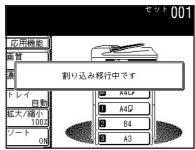
参照
- 継続読取を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。詳しくは、基本操作編の「継続読取」をご覧ください。
- 自動原稿送り装置とガラス面の混在コピーが可能です。詳しくは、基本操作編の「自動原稿送り装置とガラス面の混在コピー」をご覧ください。

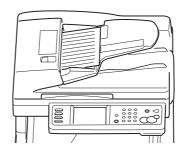
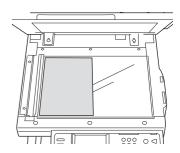
印刷中に割り込んでコピーする

コンピュータから印刷しているとき、レポート印刷しているときに割り込むことができます。

コピー中、ファクス印刷中に割り込むことはできません。
コピー待機画面以外では<プリント中割込み>キーは受け付けません。
印刷しているジョブが停止するまでの間に、最大 8 枚の印刷を継続します。

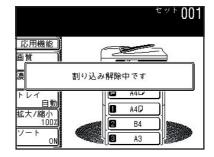
割り込みができなかったときは、もう一度<プリント中割込み>キーを押してください。

1 <プリント中割込み>キーを押します。

キーのランプが点灯します。

2 割り込んでコピーする原稿をセットします。

3 コピーを行います。

<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

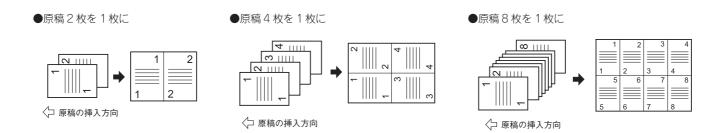
- 割り込みコピー中に<プリント中割込み>キーは受け付けません。中断したい場合は<ストップ>キーで割り込みコピーを中断してから、割り込みを解除してください。
- 一定期間操作が行われない場合には、割り込みモードを解除します。

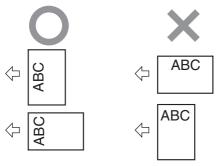
4 コピー終了後、<プリント中割込み>キーを押します。

割り込む前の状態に戻ります。

キーのランプが消灯します。

5 原稿を取り除きます。

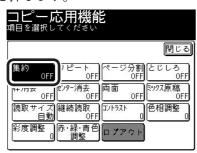
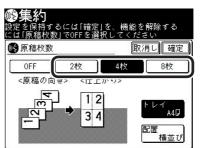
複数枚の原稿を１枚の用紙にコピーする（集約コピー）

複数枚の原稿を１枚の用紙にならべてコピーできます。

操作の前に…

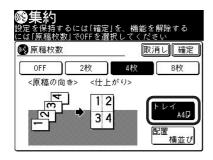
・原稿は、必ず、先端から読み込むようにセットしてください。

・１枚の用紙にならべることができる枚数は２、４、８枚です。
・コピー倍率を設定していても、集約コピーを設定した時点で自動倍率に設定されます。倍率を設定したいときは、集約コピー設定後に倍率を設定してください。
・用紙と原稿、及び倍率によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
・原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
・原稿は画面の表示どおりにセットしてください。

1 ① <コピー>キーを押します。

② ［応用機能］ を押します。

③ ［集約］ を押します。

2 1 枚の用紙に集約する原稿の枚数を選択します。

メモ　コピー倍率は「自動」に設定されます。

■ 使用する用紙の入ったトレイを選択する

3 ① 用紙を選択するときは［トレイ］を押します。

② 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

③［確定］を押します。

■ 原稿の順番を並び替える

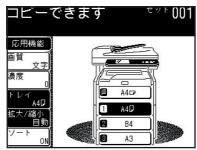
原稿枚数が 4 枚と 8 枚の場合、配置の横並び / 縦並びを設定できます。

① 原稿の位置を替えたいときは、［配置　横並び］を押します。

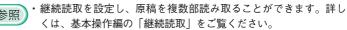
②［横並び］または［縦並び］を選択します。

③［確定］を押します。

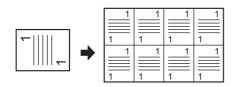
5 ［確定］を押します。

6 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ　＜リセット＞キーを押すと、集約コピー設定が解除されます。

7 原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

メモ　原稿は、画面の表示（原稿の向き）どおりにセットしてください。

参照
- 継続読取を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。詳しくは、基本操作編の「継続読取」をご覧ください。
- 自動原稿送り装置とガラス面の混在コピーが可能です。詳しくは、基本操作編の「自動原稿送り装置とガラス面の混在コピー」をご覧ください。

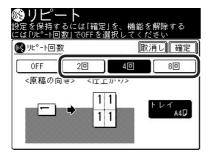
1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。

操作の前に…

- 1 枚の用紙にならべることができる枚数は 2、4、8 枚です。
- コピー倍率を設定していても、リピートを設定した時点で自動倍率に設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿、及び倍率によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿は画面の表示どおりにセットしてください。

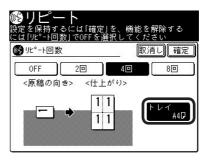
1　① <コピー>キーを押します。

② ［応用機能］を押します。

③ ［リピート］を押します。

2 リピートする回数を選択します。

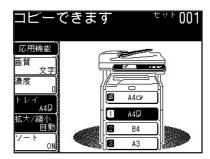
メモ コピー倍率は「自動」に設定されます。

■ 使用する用紙の入ったトレイを選択する

3 ① 用紙を選択するときは［トレイ］を押します。

② 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

③［確定］を押します。

4 ［確定］を押します。

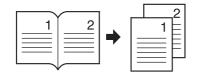
5 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ　<リセット>キーを押すと、リピートコピー設定は解除されます。

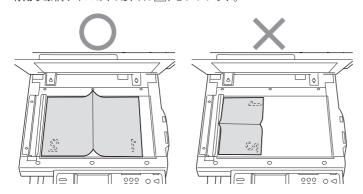
原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

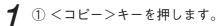
メモ　原稿は、画面の表示（原稿の向き）どおりにセットしてください。

- 継続読取を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。詳しくは、基本操作編の「継続読取」をご覧ください。
- 自動原稿送り装置とガラス面の混在コピーが可能です。詳しくは、基本操作編の「自動原稿送り装置とガラス面の混在コピー」をご覧ください。

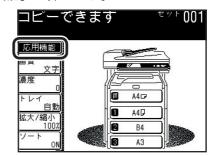
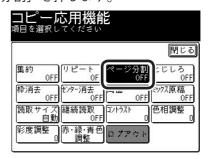
2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）

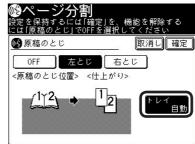
本などのとじた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーします。

操作の前に…

- 用紙と原稿、及び倍率によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 自動原稿送り装置は使用できません。ガラス面からのみコピーできます。
- 有効な原稿サイズは、A3、A4 、B4 のみです。

- 読取サイズとトレイを設定することにより、タブロイド、レターの原稿も有効になります。
- 見開き原稿は左右にて裏返して、ガラス面にセットします。

1 ① <コピー>キーを押します。

② ［応用機能］を押します。

③ ［ページ分割］を押します。

2
いろいろなコピーのしかた

2 セットする原稿のとじ方向を選択します。

3 ① 用紙を選択するときは［トレイ］を押します。

② 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

③［確定］を押します。

4 ［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、ページ分割設定が解除されます。

6 原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

2
いろいろなコピーのしかた

原稿の影を消す（枠消去）

操作案内（機能説明）

原稿カバーを開けてコピーしたときや、本や雑誌をコピーしたときに、周囲に黒い影が出ます。この影を消してコピーすることができます。

枠消去

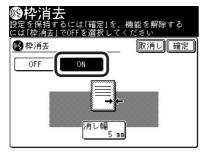
操作の前に…

- 原稿の影を消す方法には、周囲を消す「枠消去」と中央部分を消す「センター消去」とがあります。周囲も中央も消したいときは､枠消去とセンター消去をそれぞれ設定してください。
- 常に枠消去／センター消去を ON にできます。「操作パネルの設定項目一覧」の「コピー機能」（418 ページ）をご覧ください。

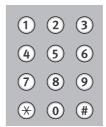
1 ① <コピー>キーを押します。

② ［応用機能］を押します。

③［枠消去］を押します。

2 ［ON］を押します。

■ 消し幅を設定するとき

3 ①［消し幅］を押します。

②テンキーまたは［▲］［▼］にて消去する範囲を設定します。

③［確定］を押します。

［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、枠消去設定が解除されます。

6 原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

原稿の影を消す（センター消去）

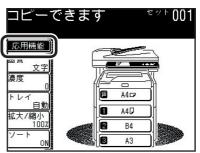
原稿カバーを開けてコピーしたときや、本や雑誌をコピーしたときに、中央に黒い影が出ます。この影を消してコピーすることができます。

センター消去

操作の前に…

- 原稿の影を消す方法には、周囲を消す「枠消去」と中央部分を消す「センター消去」とがあります。周囲も中央も消したいときは、枠消去とセンター消去をそれぞれ設定してください。
- 常に枠消去／センター消去を ON にできます。「操作パネルの設定項目一覧」の「コピー機能」（418 ページ）をご覧ください。

1 ① <コピー>キーを押します。

② ［応用機能］を押します。

③［センター消去］を押します。

2 ［ON］を押します。

3 ①［センター消し幅］を押します。

② テンキーまたは［▲］［▼］にて消去する範囲を設定します。

③［確定］を押します。

4 ［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ　<リセット>キーを押すと、センター消去設定が解除されます。

6 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

とじしろを付ける（とじしろ）

原稿を上下左右にずらしてコピーし、余白を付けます。原稿をとじたり、穴あけをしてファイルする場合に便利です。

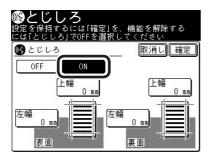
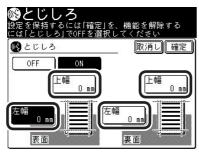
操作の前に…

- 設定分、画像をずらして余白を付けますので、原稿の一部が欠けてコピーされることがあります。
- 拡大または縮小コピーしても、とじしろの値は変わりません。
- 常にとじしろを ON にできます。「操作パネルの設定項目一覧」の「コピー機能」（418 ページ）をご覧ください。

1 ① <コピー>キーを押します。

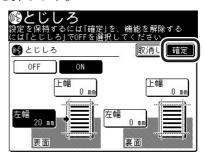
② ［応用機能］を押します。

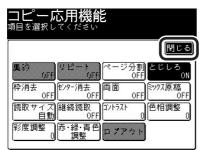
③ ［とじしろ］を押します。

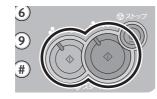
2 ［ON］を押します。

3 ① 設定したいとじしろの入力位置を選択します。

② テンキーまたは［▲］［▼］で余白量を入力します。

③［確定］を押します。

4 ① 手順 *3* を繰り返し、すべての余白量を入力します。

②［確定］を押します。

メモ　すべてのとじしろが 0mm の場合、とじしろの設定は OFF になります。
とじしろは、両面印刷時の表面設定と裏面設定は連動しないため、左右とじの場合、裏面の左右方向のみを逆方向に、上とじの場合、上下方向のみを逆方向に設定してください。

5 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

 <リセット>キーを押すと、とじしろ設定が解除されます。

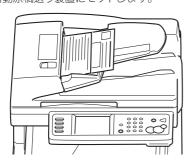
6 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

長さの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）

同じ幅で長さの違う原稿を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。

操作の前に…

- 同時にセットできる原稿サイズは A3 と A4, B4 と B5, A4 と A5 の組み合わせです。
- ミックス原稿を［ON］にすると、トレイ設定は自動になります。トレイを指定している場合は、ミックス原稿を設定できません。
- 拡大 / 縮小の設定が、100% か Fit 以外が設定されている場合も、ミックス原稿は設定できません。
- 枠消去及びセンター消去が設定されている場合は、ミックス原稿は設定できません。
- 2 種類の原稿を 2 種類の用紙に印刷するため、2 つのトレイの用紙を利用します。そのため、［機器設定］-［用紙］-［印刷トレイ指定］-［コピー］にて、2 つ以上のトレイが ON 設定になっていないと、ミックスコピーを行うことはできません。また、MP トレイの用紙を利用する場合には、上記設定を ON にして、MP トレイに用紙をセットしてから、ミックスコピーを起動します。

1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

原稿を揃え、自動原稿送り装置にセットします。

2 ① <コピー>キーを押します。

② ［応用機能］を押します。

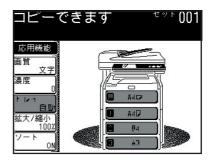
③［ミックス原稿］を押します。

3

①［ON］を押します。

②［確定］を押します。

4

［閉じる］を押し、待機表示に戻します。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、ミックス原稿設定は解除されます。

5

＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

こんなときには？

ミックス原稿コピー時に表示されるメッセージについて

ミックス原稿コピーを行った時、原稿に合った適切にコピーできる用紙がない場合や、普通紙以外の用紙が設定されている場合は、以下のように表示します。

ミックス原稿コピーは普通紙以外にはできません。原稿に合った普通紙の用紙をセットし直し、再操作してください。

自動原稿送り装置にミックスできない原稿がセットされた場合は、以下のように表示します。

同時にセットできる原稿サイズを確認してください。

自動原稿送り装置に原稿がセットされていない場合は、以下のように表示します。

自動原稿送り装置に原稿をセットし、再操作してください。

コピー機能組み合わせ一覧

この表では自動原稿送り装置を ADF と表記しています。

空白:同時設定可能、×:先に設定したものが有効、■:先に設定したものが有効(グレーアウトで選択不可)、■:同時設定不可、●:後から設定したものが有効、▲:自動に有効、△:ガラス面にセット時自動的に有効

設定されている機能＼後から設定しようとする機能		部数	読取方法			読取サイズ			継続読取	用紙選択		給紙ユニット			用紙種類		倍率指定			回転	ソート		とじしろ	枠消去	センター消去	集約コピー			リピートコピー			ページ分割(ガラス面)	両面コピー		
			ガラス面	自動原稿送り装置	ADF・ガラス面混在(継続読取)	自動	指定	ミックス原稿(ADF)		自動用紙選択	手動用紙指定	MPトレイ	トレイ1	トレイ2、トレイ3	普通紙/再生紙	普通紙/再生紙以外	自動倍率	固定倍率	任意倍率(ズーム)		ソートOFF	ソートON				原稿2枚→コピー1枚	原稿4枚→コピー1枚	原稿8枚→コピー1枚	2回	4回	8回		片面→両面	両面(ADF)→片面	両面(ADF)→両面
部数																																			
読取方法	ガラス面			●				■																										■	■
	自動原稿送り装置		×																													■			
	ADF/ガラス面混在(継続読取)							■																								■		■	■
読取サイズ	自動						●	●																											
	指定					●		●																											
	ミックス原稿(ADF)		■		■	▒×	▒×			▲	▒×					■	▒×		▒×					▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×		
継続読取																																			
用紙選択	自動用紙選択										●					■	●									●	●	●	●	●	●				
	手動用紙指定							▒×		●																									
給紙ユニット	MP トレイ												●	●																					
	トレイ 1											●		●																					
	トレイ 2、トレイ 3											●	●																						
用紙種類	普通紙 / 再生紙															●																			
	普通紙 / 再生紙以外							■		■					●																		*1		*1
倍率指定	自動倍率							▒×		●								●	●																
	固定倍率																●		●																
	任意倍率(ズーム)							▒×									●	●																	
回転																																			
ソート	ソート OFF																					●											●		●
	ソート ON																				●														
とじしろ																										▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×				
枠消去								▒×																											
センター消去								▒×																		▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×			
集約コピー	原稿 2 枚→コピー 1 枚							▒×	△	▒×							▲						▒×		▒×		●	●	▒×	▒×	▒×	▒×			
	原稿 4 枚→コピー 1 枚							▒×	△	▒×							▲						▒×		▒×	●		●	▒×	▒×	▒×	▒×			
	原稿 8 枚→コピー 1 枚							▒×	△	▒×							▲						▒×		▒×	●	●		▒×	▒×	▒×	▒×			
リピート	2 回							▒×		▒×							▲						▒×		▒×	▒×	▒×	▒×		●	●	▒×			
	4 回							▒×		▒×							▲						▒×		▒×	▒×	▒×	▒×	●		●	▒×			
	8 回							▒×		▒×							▲						▒×		▒×	▒×	▒×	▒×	●	●		▒×			
ページ分割(ガラス面)				×	×			▒×																	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×	▒×		▒×	▒×	▒×
両面	片面→両面							▒×	△							*1					▒×	▲										▒×		●	●
	両面(ADF)→片面		×		×																											▒×	●		●
	両面(ADF)→両面		×		×											*1					▒×	▲										▒×	●	●	

*1: 用紙指定時は、指定された用紙が両面印刷不可能な場合、スタートキー押下を受け付けません。用紙自動時は、両面印刷不可能な用紙は対象外とします。各用紙種類別(用紙サイズ、用紙種類、用紙厚)の両面印刷可否については、「用紙の給紙と排出について」(基本操作編)を参照してください。

設定されている機能＼設定しようとする機能		<スタート>キー		画質				画質調整					
		カラー	モノクロ	文字	文字／写真	写真	高精細	背景・裏写り除去	濃度	コントラスト	彩度調整	色相調整	赤・緑・青色調整
<スタート>キー	カラー		×										
	モノクロ	×									×	×	×
画質	文字				●	●	●						
	文字／写真			●		●	●						
	写真			●	●		●						
	高精細			●	●	●							
画質調整	背景・裏写り除去												
	濃度												
	コントラスト												
	彩度調整		●										
	色相調整		●										
	赤・緑・青色調整		●										

組み合わせできない応用コピーの表示

組み合わせて同時に使用できない応用コピーは、灰色で表示されます。

【例】集約コピーが既に設定されているとき

組み合わせた応用コピーを個別に取り消すには

組み合わせた応用コピーのうち、一つを解除するには、各応用コピーの設定画面に入り、初期値に戻します。

【例】集約コピー、枠消去が設定されているとき、枠消去だけを取り消す。

1 ①［応用機能］を押します。

②［枠消去］を押します。

2
いろいろなコピーのしかた

2 ①［OFF］を押します。

②［確定］を押します。

3 枠消去の設定が取り消されます。

■ 各機能別取消方法

 個別に取り消した後、再設定が必要になる場合があります。

機　能	手　順
画質	［画質］→［文字／写真］，［自動］→［確定］
濃度	［濃度］→［0］→［確定］
トレイ	［トレイ］→［自動］→［確定］
拡大／縮小	［拡大／縮小］→［100%］→［確定］
ソート	［ソート］→［OFF］→［確定］
集約	［応用機能］→［集約］→［OFF］→［確定］
リピート	［応用機能］→［リピート］→［OFF］→［確定］
ページ分割	［応用機能］→［ページ分割］→［OFF］→［確定］
とじしろ	［応用機能］→［とじしろ］→［OFF］→［確定］
枠消去	［応用機能］→［枠消去］→［OFF］→［確定］
センター消去	［応用機能］→［センター消去］→［OFF］→［確定］
両面	［応用機能］→［両面］→［OFF］→［確定］
ミックス原稿	［応用機能］→［ミックス原稿］→［OFF］→［確定］
読取サイズ	［応用機能］→［読取サイズ］→［自動］→［確定］
継続読取	［応用機能］→［継続読取］→［OFF］→［確定］
コントラスト	［応用機能］→［コントラスト］→［0］→［確定］
色相調整	［応用機能］→［色相調整］→［0］→［確定］
彩度調整	［応用機能］→［彩度調整］→［0］→［確定］
赤・緑・青色調整	［応用機能］→［赤・緑・青色調整］→［0］→［確定］

コピー機能設定

コピー機能設定

コピー機能の初期値や、コピーする原稿の種類や濃度の初期値を設定できます。よく使う機能は、初期値を変更しておくと、設定の手間が省けます。

参照 コピー機能に関する設定の一覧は、「コピー機能組み合わせ一覧」(122 ページ)をご覧ください。

操作の前に…

- 初期値とは、電源を入れたときや、＜リセット＞キーを押して待機画面に戻したときの状態をいいます。また、何も操作せずに一定時間放置すると初期値に戻ります。この機能は［画面自動リセット時間］で 1 分～ 10 分まで設定でき、工場出荷時は 3 分に設定されています。

コピー機能設定例

「画質」を設定する例を説明します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ①［コピー機能］を押します。

②［コピー初期値］を押します。

5 設定したい機能を、タッチパネルから選択します。

6 設定値を選択します。

7 ［確定］を押すと選択した設定値がセットされ、コピー初期値またはその他の設定の画面に戻ります。

メモ 操作を終了するときは<リセット>キーを押します。

他の設定を続けて行えます。

3 いろいろなファクスのしかた

いろいろなファクスのしかた 128
原稿の読み取りを途中から変更する（混在送信）............ 128
記録のしかた.. 131
多数の相手に一度に送信する... 134
送信時刻を指定する（時刻指定送信）................................ 138
ダイヤルするときに番号を追加する（プレフィクス）.... 140
セキュリティ機能 145
ポーリング通信.. 155
F コード通信をする... 157
原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ）.................... 181
ファクシミリ通信網及びサービスの利用について 184
ダイレクトメールを防止する.. 186
コンピュータからファクスを送信する 191
ファクスの機器設定... 197
送信初期設定... 197
その他の設定...200

いろいろなファクスのしかた

原稿の読み取りを途中から変更する（混在送信）

原稿は、ガラス面と自動原稿送り装置で読み込むことができます。両方の読み取り装置を使って、送り状と地図帳というような組み合わせの原稿を同時に送信することができます。

準備すること

以下の手順で継続読取を設定しておきます。

❶ <ファクス>キーを押します。

❷［応用機能］を押します。

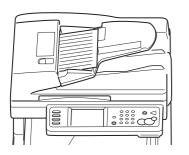
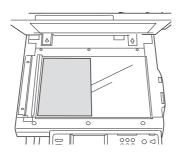
❸［継続読取］を押します。

❹［ON］を押して［確定］を押します。

❺［閉じる］を押します。

原稿の読み取りを途中から変更する

自動原稿送り装置またはガラス面に原稿をセットします。

1 自動原稿送り装置またはガラス面に原稿をセットします。

参照　原稿セットのしかたについては、基本操作編の「原稿セットのしかた」をご覧ください。

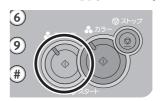
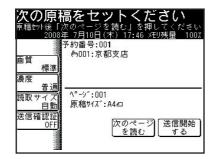
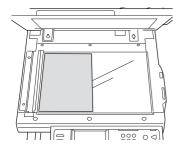
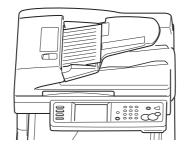
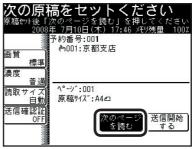
2 ① <ファクス>キーを押します。

② 相手先を指定します。

参照　相手先の指定方法は以下の方法があります。詳しくは、基本操作編の「送信のしかた」をご覧ください。

- テンキーで指定する
- 短縮ダイヤルで指定する
- 宛先表を用いて指定する

3 <モノクロスタート>キーを押します。

<カラースタート>キーは使用できません。

4 「次の原稿をセットください」と表示されたら、ガラス面または自動原稿送り装置に次の原稿をセットします。

5 ［次のページを読む］を押します。原稿の読み取りが始まります。

続けて送信する原稿がある場合は、手順 *4* から操作を繰り返します。

6 全ての原稿を読み取り後、［送信開始する］を押します。送信を開始します。

メモ 読み取りを中止したいときは<ストップ>キーを押します。

参照 送信の中止については、基本操作編の「送信文書を確認 / 中止する」を参照してください。

記録のしかた

有効記録サイズについて

用紙周辺の約 4.2mm は印刷することができません。このため､受信した内容が縮小､または切捨てられて印刷される場合があります。印刷できる部分を有効記録サイズと呼びます。

しきい値について

しきい値とは、受信文書が有効記録サイズに収まらない場合に、後端を切捨てたり、縮小をして 1 枚に収めるときの位置を決める値です。セットされている用紙より長い原稿を受信した場合、余白部分だけが次のページに印刷されることがありますが、「しきい値」を設定することによりこれを防止することができます。有効記録サイズを越えた原稿の長さがしきい値以内であれば縮小または切捨てをして 1 枚に収め、しきい値より長い場合のみページ分割されます。

しきい値は 0 ～ 85mm の間で、受信する頻度の高い原稿の余白の長さに合わせて設定します。しきい値については、「操作パネルの設定項目一覧」の「ファクス機能」（420 ページ）をご覧ください。

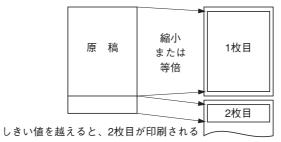
■ しきい値を設定したとき

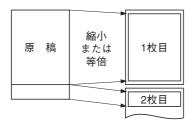
有効記録サイズを越えた長さが、しきい値以内であれば、1 枚に縮小または切捨てされます。

原　稿
縮小
または
等倍
有効記録
サイズ

■ しきい値を設定しないとき（しきい値＝ 0 のとき）

有効記録サイズを少しでも越えると、2 枚目が印刷されます。

3
いろいろなファクスのしかた

ページ分割について

有効記録サイズを越えた部分がしきい値より大きいときは、ページ分割して印刷されます。

回転受信について

受信原稿の幅と長さを自動的に測定し、セットしてある用紙から最適な用紙を選択します。

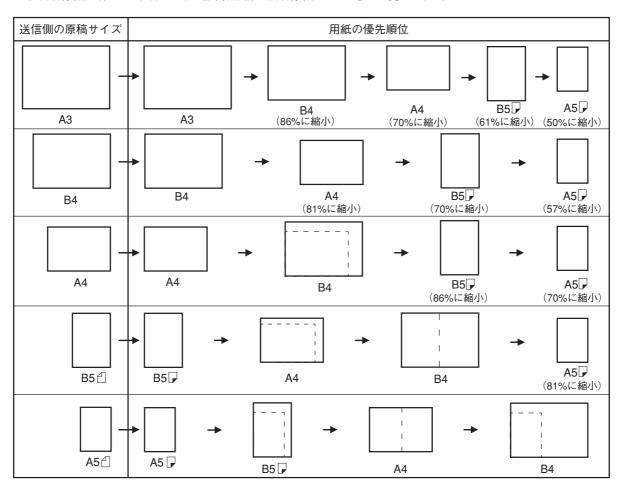
受信原稿の方向と用紙の方向が違う場合は、自動的に受信原稿を回転させ印刷します。

記録のしかた一覧

受信原稿のサイズ ＼ 受信縮小率		自動	固定 100%
定形サイズ原稿 (A3、B4、A4、B5)		原寸のまま ※少し縮小されることがあります。	原寸のまま
長尺原稿 (A3、B4、A4より少し長め)	有効記録サイズを越えた長さがしきい値以内のとき	用紙１枚に収まるよう縮小される	原寸のまま、用紙１枚に収まらない部分は切捨てられる
	有効記録サイズを越えた長さがしきい値より大きいとき	原寸のまま、用紙１枚に収まらない部分がページ分割される	原寸のまま、用紙１枚に収まらない部分がページ分割される

用紙サイズの優先順位

受信した原稿は、通常は送信側の原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。同じサイズの用紙がないときは、次の優先順位にしたがって用紙が選択されます。すべての用紙がなくなったときは代行受信を行います。詳しくは、基本操作編の「代行受信について」をご覧ください。

送信側の原稿サイズ	用紙の優先順位				
A3	A3	B4（86%に縮小）	A4（70%に縮小）	B5（61%に縮小）	A5（50%に縮小）
B4	B4	A4（81%に縮小）	B5（70%に縮小）	A5（57%に縮小）	
A4	A4	B4	B5（86%に縮小）	A5（70%に縮小）	
B5	B5	A4	B4	A5（81%に縮小）	
A5	A5	B5	A4	B4	

多数の相手に一度に送信する

同報送信のしかた

多数の相手へ 1 度の操作で送信する機能で、相手先ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

操作の前に…

- 相手先指定時に短縮ダイヤル、グループ、およびテンキー入力を組み合わせることにより、最大 530 宛先まで指定することができます。
- テンキー入力による指定は 30 宛先までです。

メモ 割り込み通信

同報通信中に別の通信を割り込んで実行することができます。
同報通信中に、リアルタイム送信、ポーリングを行うと、同報送信に割り込んで優先的に実行されます。急いで送信、ポーリングしたいときに便利です。ただし、ポーリングの場合は相手先が 1 宛先のときのみ優先的に実行されます。
リアルタイム送信、ポーリングについては、基本操作編の「送信方法の設定（メモリ送信 / リアルタイム送信）」、「ポーリング」をご覧ください。

1 原稿をセットします。

原稿セットのしかたについては、基本操作編の「原稿セットのしかた」をご覧ください。

2 ＜ファクス＞キーを押します。

3 相手先のファクス番号を入力します。

【例】テンキーで入力した場合

メモ テンキーで指定した場合は、相手先指定後［確定］を押します。

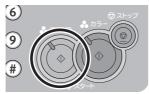
相手先の指定方法は以下の方法があります。詳しくは、基本操作編の「送信のしかた」をご覧ください。
- テンキーで指定する
- 短縮ダイヤルで指定する
- 宛先表を用いて指定する

【例】宛先表を用いて指定した場合
複数の宛先を選択していきます。

メモ 選択した相手先を解除するには、もう一度同じ相手先を押します。

4 手順 *3* の操作を繰り返して、すべての相手先を入力します。

5 <モノクロスタート>キーを押します。

<カラースタート>キーは使用できません。

メモ
- 同報宛先確認を ON に設定している場合は、宛先確認画面が表示されます。（149 ページ）
- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押してください。
- 読み取りを中止するときは、<ストップ>キーを押してください。

参照 原稿読み取り後は、<ファクス確認／中止>キーで削除、確認できます。詳しくは、基本操作編の「送信文書を確認 / 中止する」をご覧ください。

入力した相手先を確認／削除する

1 ［確認］を押します。

2 入力した相手先が表示されます。

3 入力した相手先を削除するには以下の操作を行います。

❶ 削除したい相手先を選択します。

❷［削除］を押すと選択された相手が削除されます。

こんなときには？

宛先表を使って相手先を削除するには ...。

短縮ダイヤルの場合は、宛先表で削除したい相手先を押して選択を解除するだけで、同報の宛先から削除することができます。

グループを使用する（グループ送信）

複数の送り先を 1 つのグループに登録しておくと、原稿セットを 1 回するだけで複数の相手先へ送信できます。

操作の前に…

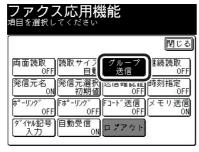
この機能を使うには、短縮ダイヤルの登録のときに、あらかじめグループ番号の登録が必要です。詳しくは、基本操作編の「短縮ダイヤルの登録 / 変更」をご覧ください。

1 原稿をセットします。

原稿セットのしかたについては、基本操作編の「原稿セットのしかた」をご覧ください。

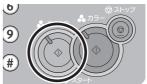
2 ① ＜ファクス＞キーを押します。

②［応用機能］を押します。

3 ［グループ送信］を押します。

4 ① グループを指定します。複数のグループを指定することもできます。

②［確定］を押します。

メモ グループを押すと反転表示して選択します。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。

5 ［閉じる］を押して待機画面に戻ります。<モノクロスタート>キーを押します。

参照 原稿読み取り後は、<ファクス確認／中止>キーで削除、確認できます。詳しくは、基本操作編の「送信文書を確認 / 中止する」をご覧ください。

送信時刻を指定する（時刻指定送信）

通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

操作の前に…

- 1カ月先までの送信時刻を指定でき、最大100件分の通信予約ができます。時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。
- リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。
- 他の応用機能（同報送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組み合わせて指定することもできます。

1 原稿をセットします。

原稿セットのしかたについては、基本操作編の「原稿セットのしかた」をご覧ください。

2 ①<ファクス>キーを押します。

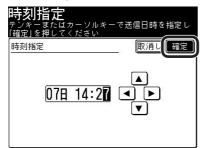
② 相手先を指定します。

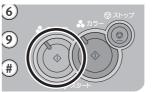
参照 相手先の指定方法は以下の方法があります。詳しくは、基本操作編の「送信のしかた」をご覧ください。

- テンキーで指定する
- 短縮ダイヤルで指定する
- 宛先表を用いて指定する

3 ［応用機能］を押します。

4 ［時刻指定］を押します。

5 ① 送信日時を入力します。
② ［確定］を押します。

メモ　テンキーまたはカーソルキーで入力します。

6 ［閉じる］を押して待機画面に戻ります。<モノクロスタート>キーを押すと原稿読み取りを開始します。

参照　原稿読み取り後は、<ファクス確認／中止>キーで削除、確認できます。詳しくは、基本操作編の「送信文書を確認 / 中止する」をご覧ください。

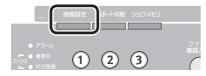
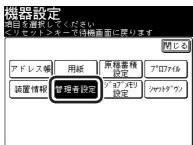
メモ　予約後に指定時刻を変更するには、予約した通信を消去して再度設定し直します。

ダイヤルするときに番号を追加する（プレフィクス）

あらかじめ登録しておいた番号を、相手先番号につけて発信することができます。
短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。

プレフィクス番号を登録する

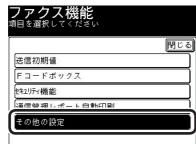
［プレフィクス］に登録する番号を設定します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

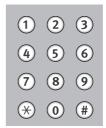
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5［その他の設定］を押します。

6［▶］を押します。

7［プレフィクス］を押します。

8 ① テンキーでプレフィクス番号を入力します。

②［確定］を押します。

メモ　プレフィクス番号は 40 桁まで登録できます。
番号を間違えて入力したときは、［クリア］で消去してから入力し直します。

参照　数字、#、＊、ポーズなどのダイヤル記号も登録できます。ダイヤル記号については、基本操作編の「ダイヤル記号について」をご覧ください。

使用例１　送信時に使用する

操作の前に…

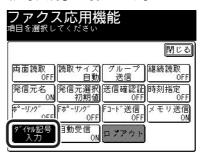
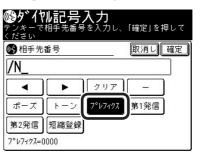
テンキーを使用するときだけプレフィクス番号を利用できます。プレフィクス番号の後に、短縮ダイヤルを挿入することはできません。

1 原稿をセットします。

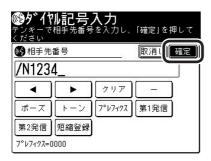
2 ① <ファクス>キーを押します。

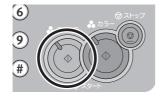
② 必要に応じて送信画質・濃度の設定を行います。

3 ①［応用機能］を押します。

②［ダイヤル記号入力］を押します。

③［プレフィクス］を押します。

メモ　プレフィクスを押すと「/N」と入力されます。

④ テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

⑤［確定］を押します。

4 ＜モノクロスタート＞キーを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

使用例２　短縮ダイヤルに登録する

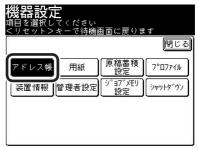
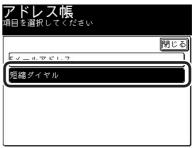
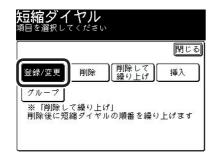
プレフィクス番号を短縮ダイヤルに登録することができます。

短縮ダイヤルの登録方法は、基本操作編の「短縮ダイヤルの登録 / 変更」を参照してください。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ①［短縮ダイヤル］を押します。

3
いろいろなファクスのしかた

②［登録／変更］を押します。

4 登録したい短縮ダイヤル番号を押します。

5 ①［プレフィクス］を押します。

メモ　プレフィクスを押すと「/N」と入力されます。

②続けて、テンキーで相手先番号を入力します。（40 桁まで）

③［確定］を押します。

6 相手先名、読み仮名などを登録します。

参照　短縮ダイヤルの登録については、基本操作編の「短縮ダイヤルの登録 / 変更」を参照してください。

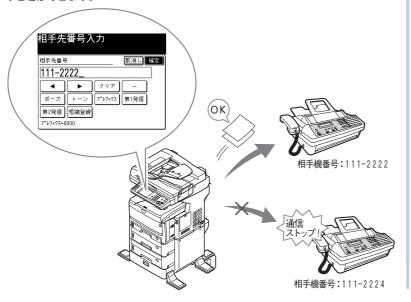
セキュリティ機能

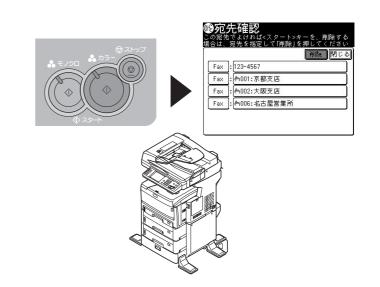
セキュリティ機能とその特長

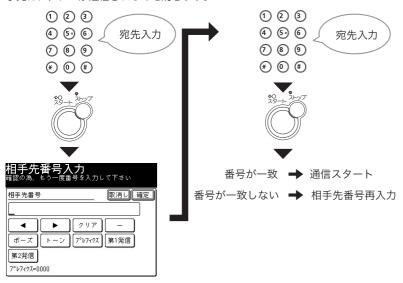
セキュリティ機能には以下の３つのメニューがあります。

- ID チェック送信
- 同報宛先確認
- ダイヤル２度押し

■ ID チェック送信とは

ID チェック送信を設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下４桁と相手機に登録されているファクス番号の下４桁を照合し、一致した場合のみファクスを送信します。入力した番号と相手先に登録されているファクス番号の下４桁が一致しなかった場合は送信を中断するので、間違った相手先にファクスの内容が送信されることがありません。相手先番号と違ったファクスに間違って送信されるトラブルを減らすことができます。

■ 同報宛先確認とは

送信を始める前に、同報送信しようとしているすべての宛先を確認することができます。間違った相手先にファクスが送信されるのを防ぎます。

■ ダイヤル 2 度押しとは

送信を始める前に、テンキーで入力したファクス番号を再度入力することで入力間違いがないかどうかを確認できます。ファクス番号の入力ミスにより、間違った相手先にファクスが送信されるのを防ぎます。

※短縮ダイヤルを使って入力した宛先は対象外です。

より確実な通信のために

■ ID チェック送信について

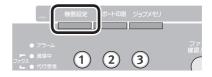
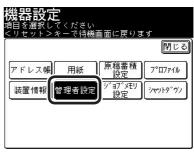
ID チェック送信を行った場合で、通信エラーとなりファクスが送信できないのは以下の場合です。(エラーコード T.2.2)

- 相手先に登録されているファクス番号の下 4 桁と、入力した番号の下 4 桁が一致しなかった場合
- 相手先にファクス番号が登録されていなかった場合

ID チェック送信の設定　初期値：OFF

ID チェック送信を設定すると、ダイヤルするファクス番号の下 4 桁と相手機に登録されているファクス番号の下 4 桁を照合し、一致した場合のみファクスを送信します。

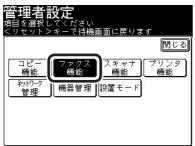
操作の前に…

・ ID チェック送信の ON または OFF を設定します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは [aaaaaa] になっています。

4 [ファクス機能] を押します。

5 [セキュリティ機能] を押します。

6 [ID チェック送信] を押します。

7 ① ID チェック送信をする場合は ON を、しない場合は OFF を選択します。

② 選択後、［確定］を押します。

8 ID チェック送信が設定されます。

ID チェック送信のしかた

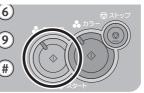
- ID チェック送信は手動送信では利用できません。
- 通常の送信方法で ID チェック送信ができます。

操作の前に…

ID チェック送信を［ON］に設定しておきます。

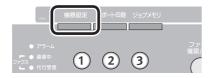
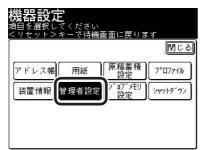
1 原稿をセットします。

2 ① ＜ファクス＞キーを押します。

3 宛先をすべて入力し、＜モノクロスタート＞キーを押します。

同報宛先確認の設定　初期値：ON

同報宛先確認を ON に設定すると送信を始める前に、入力した相手先番号を確認する画面が出てきます。

操作の前に…

- 同報宛先確認の ON または OFF を設定します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

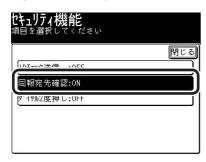
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［セキュリティ機能］を押します。

［同報宛先確認］を押します。

7 ①同報宛先確認をする場合は ON を、しない場合は OFF を選択します。
②選択後、［確定］を押します。

8 同報宛先確認が設定されます。

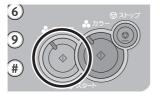
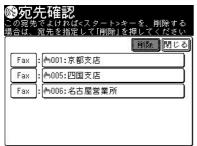
同報宛先確認の使いかた

同報宛先確認ができるのは、宛先が複数あった場合だけです。

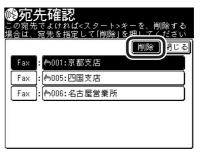
ダイヤル 2 度押し機能も ON に設定した場合は、先にダイヤル 2 度押しを確認し、その後に同報宛先の手順が始まります。

1 原稿をセットします。

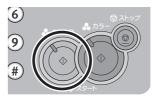
2 <ファクス>キーを押します。

3 宛先をすべて入力し、<モノクロスタート>キーを押します。

4 同報宛先を確認する画面が表示されます。

5 入力した相手先を削除するには以下の操作を行います。

❶ 削除したい相手先を選択します。

❷［削除］を押すと選択された相手先が削除されます。

メモ

- テンキーで入力したファクス番号が間違っていた場合は、相手先を削除してからもう一度送信をやり直してください。
- 6 件以上の同報宛先がある場合は［▲］または［▼］を押して、すべての宛先を確認してください。

6 <モノクロスタート>キーを押すと、送信が開始されます。

ダイヤル２度押しの設定　初期値：OFF

ダイヤル２度押しを ON に設定すると、送信を始める前にテンキーで入力したファクス番号を再度入力する画面が出てきます。再度入力した番号が１度目に入力した番号と一致した場合のみ送信が始まります。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［セキュリティ機能］を押します。

6 ［ダイヤル２度押し］を押します。

7 ① ダイヤル２度押しをする場合は ON を、しない場合は OFF を選択します。

② 選択後、［確定］を押します。

8 ダイヤル２度押しが設定されます。

ダイヤル２度押しの使いかた

２度入力が必要な宛先は、テンキーを使って入力した宛先のみです。短縮ダイヤルを使って入力した宛先は再度入力する必要はありません。

ポーズ（/P）などの記号を使って宛先を入力した場合は、記号も含めて再度入力してください。

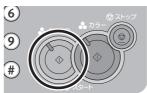
同報宛先確認機能も ON に設定した場合は、先にダイヤル２度押しを確認し、その後に同報宛先の手順が始まります。

1 原稿をセットします。

2 <ファクス>キーを押します。

3 テンキーで宛先を入力し、［確定］または＜モノクロスタート＞キーを押します。

① ダイヤル２度押しのメッセージが表示されます。

② テンキーで入力した宛先を再度入力し、＜モノクロスタート＞キーを押します。送信が開始されます。

メモ　［確定］を押すと、複数の宛先を選択できます。

ポーリング通信

ポーリング

■ポーリング：

相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させることができます。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

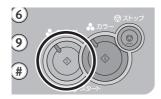
1 ＜ファクス＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［ポーリング］を押します。

4 ① ポーリングを行うには［ON］を選択します。

② 選択後、［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押して待機画面に戻ります。相手先を指定し、＜モノクロスタート＞キーを押します。

参照 ＜モノクロスタート＞キーを押した後は、＜ファクス確認／中止＞キーで通信を中止できます。詳しくは、基本操作編の「送信文書を確認 / 中止する」をご覧ください。

Fコード通信をする

Fコード送信とは

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信を利用できます。

参照 Fコードボックスは20個まで登録できます。

メモ 1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

サブアドレスは、メモリ内に設定されたさまざまなFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）

パスワードは、原稿をまちがって送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

暗証番号とは

ボックスの登録変更やボックスに受信/蓄積した原稿の印字の際の鍵となるものです。（親展ボックスでは必ず登録する必要があります）

Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

■ Fコード親展通信

通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。
親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書を印刷できませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

参照
・Fコード親展送信をする場合........ サブアドレスを使用した送信（171ページ）
・Fコード親展受信した場合............ 蓄積原稿の印刷（177ページ）

■ Fコード掲示板通信

通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

・相手先の掲示板へ送信する場合 .... サブアドレスを使用した送信（171ページ）
・相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合
.... サブアドレスを使用した受信（173ページ）
・自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合
.... 掲示板への原稿蓄積（175ページ）

Fコードボックスの登録（Fコード親展通信）

Fコード通信を利用するためにFコードボックスを登録します。Fコードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。

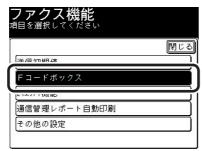
・サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
・暗証番号を設定すると、特定の人以外にFコードボックスの操作をできなくすることができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

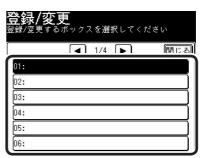
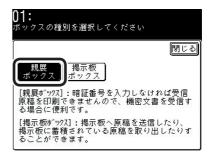
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［Fコードボックス］を押します。

6 ［登録／変更］を押します。

7 登録したいFコードボックスを選択します。

8 ［親展ボックス］を押します。

① テンキーでサブアドレスを入力します。

② [確定] を押します。

メモ
- サブアドレスは 20 桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
- 番号を間違えた場合は、[クリア] を押して正しい番号を入力し直してください。

10

① テンキーで暗証番号（4 桁）を登録します。

注 暗証番号はどこにも表示されません。忘れないように控えておいてください。

② [確定] を押します。

11 ボックス名を入力します。

❶ [ボックス名] を押します。

❷ ボックス名を入力します。

❸ [確定] を押します。

メモ 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照 文字入力については、基本操作編の「文字入力のしかた」を参照してください。

12 パスワード、保存期間の設定は必要に応じて行います。

■ パスワードを登録するとき

❶［パスワード］を押します。

❷ テンキーでパスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ
- パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、*が登録できます。
- パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

■ 保存期間を設定するとき

❶［保存期間］を押します。

メモ 保存期間
親展原稿を保持する期間です（0 ～ 31 日）。0 日に設定したときは無期限に原稿を保持します。

❷ テンキーまたは［▲］［▼］で保存期間を入力し、［確定］を押します。

13 続けて他の F コードボックスを登録する場合は、[閉じる] を 3 回押し、「F コードボックスの登録」（159 ページ）手順 5 から操作を繰り返します。

メモ　<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

F コードボックスの登録（F コード掲示板通信）

F コード通信を利用するために F コードボックスを登録します。F コードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。

- サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
- 暗証番号を設定すると、特定の人以外に F コードボックスの操作をできなくすることができます。

1 <機器設定>キーを押します。

2 [管理者設定] を押します。

3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

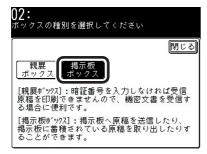
メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは [aaaaaa] になっています。

4 [ファクス機能] を押します。

5 [Fコードボックス] を押します。

6 [登録/変更] を押します。

7 登録したいＦコードボックスを選択します。

8 ［掲示板ボックス］を押します。

9 ① テンキーでサブアドレスを入力し、［確定］を押します。

メモ
- サブアドレスは 20 桁まで登録できます。数字、＃、＊が登録できます。
- 番号を間違えた場合は、［クリア］を押して正しい番号を入力し直してください。

10 ボックス名を入力します。

❶［ボックス名］を押します。

❷ ボックス名を入力します。

❸［確定］を押します。

メモ 半角文字では16文字、全角文字では8文字まで登録できます。

参照 文字入力については、基本操作編の「文字入力のしかた」を参照してください。

11 パスワード、受信禁止、同時印刷、上書き許可、送信後原稿消去、暗証番号の設定は必要に応じて行います。

■ パスワードを登録するとき

❶［パスワード］を押します。

❷ テンキーでパスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ
- パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、*が登録できます。
- パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

■ 受信禁止を設定するとき

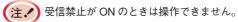
❶［受信禁止］を押します。

メモ 受信禁止を ON にした場合は、ポーリング送信のみになります。

❷［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

メモ 受信禁止を ON にすると同時印刷、上書き許可は OFF になり、設定できなくなります。

■ 同時印刷を設定するとき

注 受信禁止が ON のときは操作できません。

❶［同時印刷］を押します。

メモ 同時印刷を ON にした場合は、掲示板に受信した原稿を印刷します。

❷［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

■ 上書き許可を設定するとき

❶ ［上書き許可］を押します。

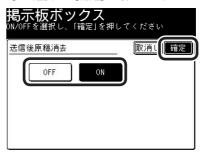
メモ 上書き許可を ON にした場合は、前に蓄積されていた原稿は受信した原稿で上書きされます。

❷ ［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

■ 送信後原稿消去を設定するとき

❶ ［▶］を押し、掲示板ボックス画面の［2/2］を表示し、［送信後原稿消去］を押します。

メモ 送信後原稿を消去 ON にした場合は、ポーリング送信後、原稿を消去します。

❷ ［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

■ 暗証番号を登録するとき

❶［▶］を押し、掲示板ボックス画面の［2/2］を表示し、［暗証番号］を押します。

メモ 暗証番号は、蓄積原稿の印刷などをするときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

❷ テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、［確定］を押します。

注 暗証番号はどこにも表示されません。忘れないように控えておいてください。

メモ 暗証番号を間違えたときは［クリア］で消去してから入力し直します。

12 続けて他の F コードボックスを登録する場合は、［閉じる］を 2 回押し、「F コードボックスの登録」（163 ページ）手順 *5* から操作を繰り返します。

メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

Ｆコードボックスの削除

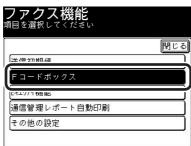
注 原稿が蓄積されているＦコードボックスを削除することはできません。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［F コードボックス］を押します。

6 ［削除］を押します。

7 削除したい F コードボックスを選択します。

8 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力します。

メモ 暗証番号が設定されていないときは、手順 9 に進みます。

9 削除してもよければ、［はい］を押します。

原稿が蓄積されている F コードボックスを削除することはできません。

メモ 削除を中止するときは［いいえ］を押します。

10 続けて他の F コードボックスを削除する場合は、手順 7 から操作を繰り返します。

メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

サブアドレスを使用した送信（Ｆコード送信）

サブアドレスとパスワードを入力することにより、Ｆコード親展送信、Ｆコード掲示板送信ができます。

操作の前に…

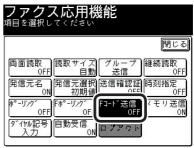
あらかじめ、相手機に登録されている機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。

1 原稿をセットします。

原稿セットのしかたについては、基本操作の「原稿セットのしかた」をご覧ください。

2 ①＜ファクス＞キーを押します。

②［応用機能］を押します。

3 ［Ｆコード送信］を押します。

4 ① テンキーで相手機に登録されている機能のサブアドレスを入力します。

② ［確定］を押します。

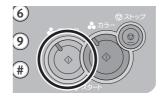
5 ① テンキーでパスワードを入力します。

② ［確定］を押します。

メモ
- パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
- パスワードの必要がないときは､何も入力しないで［確定］を押し、手順 6 に進みます。

6 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ
- もう一度［F コード送信］を押すと、手順 *4* の画面になり、サブアドレス・パスワードを修正することができます。
- <リセット>キーを押すと F コード送信の設定を解除できます。

7 相手先のファクス番号を入力し、<モノクロスタート>キーを押します。

メモ
- テンキー、短縮ダイヤル、宛先表、グループが使用できます。
- 最大 530 宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は 30 宛先までです。）

サブアドレスを使用した受信（Fコードポーリング）

相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

操作の前に…

あらかじめ、相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。

1 ① <ファクス>キーを押します。

② [応用機能] を押します。

2 [Fポーリング] を押します。

3 ① テンキーで掲示板のサブアドレスを入力します。

② [確定] を押します。

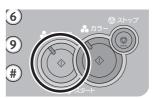
① テンキーでパスワードを入力します。

② ［確定］を押します。

メモ
- パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
- パスワードの必要がないときは､何も入力しないで［確定］を押し､手順 5 に進みます。

5 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ
- もう一度［F ポーリング］を押すと、手順 4 の画面になり、サブアドレス・パスワードを修正することができます。
- ＜リセット＞キーを押すと F ポーリングの設定を解除できます。

相手先のファクス番号を入力し、＜モノクロスタート＞キーを押します。

メモ
- テンキー、短縮ダイヤル、宛先表、グループが使用できます。
- 最大 530 宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は 30 宛先までです。）

掲示板への原稿蓄積

Ｆコードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。

１つのボックスには 30 件まで原稿を蓄積できます。

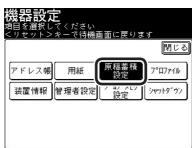
操作の前に…

Ｆコードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。（162 ページ）

1 原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかたについては、基本操作編の「原稿セットのしかた」をご覧ください。

2 ＜機器設定＞キーを押します。

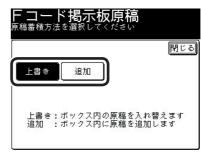
3 ［原稿蓄積設定］を押します。

4 ［蓄積］を押します。

5 ［Ｆコード掲示板原稿］を押します。

6 原稿を蓄積するＦコードボックスを選択します。

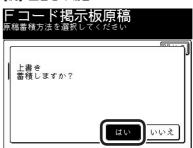
7 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力します。

メモ 暗証番号が設定されていないときは、手順 8 に進みます。

8 原稿蓄積方法を選択します。

メモ
- 上書き
  ボックス内の原稿を入れ替えます。
- 追加
  ボックス内に原稿を追加します。

9 ［はい］を押します。

原稿の読み取りを開始します。

【例】上書きの場合

メモ すでに 30 件の原稿が蓄積されているときに追加蓄積すると、「蓄積できません」と表示されます。

蓄積原稿の印刷

親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿を印刷します。

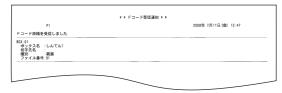
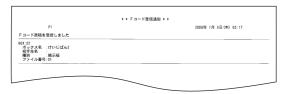
操作の前に…

Fコードボックスに原稿を受信した場合は､Fコード受信通知が印刷されます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿を印刷します。

・親展受信の場合

＊＊ Fコード受信通知 ＊＊
P1 2008年 7月11日(金) 13:47
Fコード原稿を受信しました
BOX:01
ボックス名 :しんてん1
相手先名 :
種別 :親展
ファイル番号:01

・掲示板に受信した場合

＊＊ Fコード受信通知 ＊＊
P1 2008年 1月 3日(木) 03:17
Fコード原稿を受信しました
BOX:02
ボックス名 :けいじばん2
相手先名 :
種別 :掲示板
ファイル番号:01

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［原稿蓄積設定］を押します。

3 ［印刷］を押します。

4 ［Fコード原稿］を押します。

5 印刷したい原稿が蓄積されているＦコードボックスを選択します。

6 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力します。

メモ 暗証番号が設定されていないときは、手順 7 に進みます。

7 ファイル番号を選択します。

メモ
- 「全登録済み原稿」を選択すると、このＦコードボックスに蓄積されているすべての原稿を印字します。
- 親展受信の場合、手順 7 はありません。

8 ［はい］を押します。

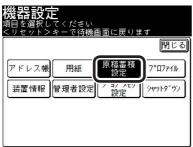
蓄積または受信した原稿を印刷します。

メモ
- 親展受信原稿は印刷すると自動的に消去されます。
- 掲示板に受信または蓄積した原稿は、印刷しても消去されません。

蓄積原稿の削除

掲示板に蓄積した原稿を削除します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［原稿蓄積設定］を押します。

3 ［削除］を押します。

4 ［Ｆコード掲示板原稿］を押します。

5 削除したい原稿が蓄積されているＦコードボックスを入力します。

メモ　は原稿が蓄積されていることを示します。

6 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力します。

7 ファイル番号を選択します。

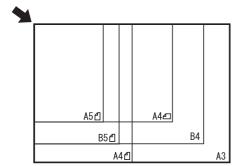
メモ 「全登録済み原稿」を選択すると、このファイル番号に蓄積されているすべての原稿を削除します。

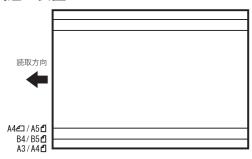
8 削除する場合は、［はい］ を押します。

原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ）

あらかじめ読取サイズを設定して送信することができます。原稿の一部を送信したいときや、原稿のサイズを指定したいときなどに便利です。（部分送信）
自動原稿送り装置から送信するときは、原稿幅の指定になります。

■ ガラス面

＊原稿セット基準位置が読み取りの基準になります。

- 設定したサイズ分だけ読み取ります。
- セット基準位置が読み取りの基準になります。

■ 自動原稿送り装置

- 設定したサイズの幅だけ読み取ります。
- 原稿の長さは、読み取った分だけ送信します。

1 原稿をセットします。

 原稿セットのしかたについては、基本操作編の「原稿セットのしかた」をご覧ください。

2 ① ＜ファクス＞キーを押します。

② ［応用機能］を押します。

3 ［読取サイズ］を押します。

4 ① 読み取りたいサイズを選択します。

② ［確定］を押します。

5 ① 読み取りサイズが設定されます。

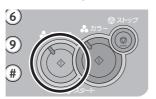
② ［閉じる］を押します。

6 相手先を指定します。

参照 相手先の指定方法は以下の方法があります。詳しくは、基本操作編の「送信のしかた」をご覧ください。

- テンキーで指定する
- 短縮ダイヤルで指定する
- 宛先表を用いて指定する

必要に応じて、画質や濃度を調整します。詳しくは、基本操作編の「送信画質・濃度の設定」をご覧ください。
送信の中止は、基本操作編の「送信文書を確認 / 中止する」を参照してください。

7 ＜モノクロスタート＞キーを押します。設定した読み取りサイズの部分だけ送信します。

ファクシミリ通信網及びサービスの利用について

ファクシミリ通信網サービス

一斉同報

1回のダイヤル操作で、10カ所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。ファクシミリ通信網サービスに事前登録された短縮ダイヤルを利用すれば、一度に最大10000宛先に同一原稿を送信できます。

自動再送信

一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

再コール・不達通知

相手先が話し中だった場合、ファクシミリ通信網サービスが2分間隔で5回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を通知文でお知らせします。

夜間配送指定通信

昼間ファクシミリ通信網サービスへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯にファクシミリ通信網サービスから相手先への送信をすることができます。

無鳴動自動受信

Fネットファクシミリ通信網サービスを使った受信では、呼出音を鳴らさず自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。

ファクシミリ案内サービス

レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわる様々な情報が、簡単に取り出せます。

■ 利用に際しての注意点

- ファクシミリ通信網をご利用する場合、本商品のポーリング、Fコード通信はご利用になれません。
- ファクシミリ通信網のお申し込みで無鳴動受信を選択した場合、本商品での受信は受信モードの設定とは無関係に常に自動的に受信します。

■ 通信のしかた

1. 送信

相手方を呼び出すダイヤルをする前に「161」「162」などの（局呼び出し番号）を付けるだけで、通常の送信操作と同じです。
※オートダイヤル機能により、ワンタッチ送信をすることができます。

〔例えば〕075-111-2222 ファクシミリ通信網を通じて送信する場合、次のようになります。

■通常送信
原稿をセットする→受話器を取り→〔161→プップップッ→075-111-2222→ピー〕→<スタート>キーを押す→受話器を戻す

■ファクスの短縮ダイヤルでの送信
原稿をセットする→ 短縮ダイヤルを選択する→<スタート>キー→送信開始

/P（ポーズ）、/S（第2発信） が使用できます。

※「162」発信も可能です。

2. 受信

ベルのならない「無鳴動着信」をします。
手動受信（電話待機）にセットしてあっても、自動受信しますので、電源は入れたままにしておいてください。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。）

新電電系（NCC 回線）の利用のしかた

詳しくは、それぞれのサービス会社にお問い合わせください。

■ 利用申し込みのしかた

直接、新電電系通信サービス会社または代理店へ登録申し込みを行います。

■ 利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

■ 通信のしかた

1. 送信
相手方を呼び出すダイヤルの前にそれぞれ利用する通信サービス会社固有の番号を入れて、通常の送信操作をします。短縮ダイヤルの登録により自動発信できます。（マイラインをご利用の場合は、固有番号を入れる必要がありません。）

2. 受信
通常と変わりません。

銀行のファクスサービスなどの利用のしかた

詳しくは、それぞれの取引銀行やデータベース会社にお問い合わせください。

■ 利用申し込みのしかた

それぞれの取引銀行やデータベース会社へ直接利用申し込みをします。
MC860 のファクス規格は「SG3（スーパー G3）機」です。

<オフファック>キーで申し込む場合
①<ファクス>キーを押します。
②[オフファック］を押します。
③テンキーで相手先の番号を入力します。
④それぞれのサービス会社の音声手順に従って操作してください。

■ 利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

■ 通信のしかた

1. 送信
それぞれのサービス会社の手順に従ってください。

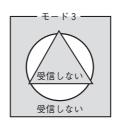
2. 受信
それぞれのサービス会社の手順に従ってください。尚、ポーズなど特定信号への対応は、基本操作編の「ダイヤル記号について」をご覧ください。短縮ダイヤルにも登録できます。

ダイレクトメールを防止する

短縮ダイヤルに登録されている番号からのみ受信できるようにしたり、登録した特定の番号からの受信を拒否したりできるので迷惑ファクスを防止できます。

操作の前に…

ダイレクトメール防止には 3 種類の方法があります。

モード 1　：短縮ダイヤルに登録されていない相手先からの受信を拒否する方法です。登録されているファクス番号の下 4 桁と相手先 ID を照合し、一致したときのみ受信します。
モード 2　：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下 4 桁を登録します。最大 50 件まで登録できます。
モード 3　：モード 1、2 を合わせた方法です。短縮ダイヤルに登録されていない相手先からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。
OFF　　　：ダイレクトメール防止を行いません。

□の部分：着信した番号
○の部分：短縮ダイヤルに登録されている番号
△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

登録する　　初期値：OFF

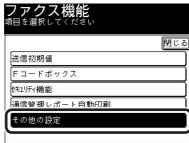
1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［その他の設定］を押します。

6 ［ダイレクトメール防止］を押します。

7 ［設定］を押します。

8 ① モードを選択します。

② ［確定］を押します。

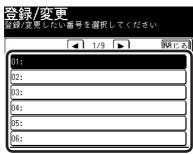
［OFF］または［モード 1］を選んだときは、この手順で終了です。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

■ モード 2、モード 3 を選択した場合

ダイレクトメールを防止する相手先の番号を登録します。

9 ［登録／変更］を押します。

10 登録ボックスを押します。

メモ 既に登録されている番号を変更する場合は、変更したい番号が登録されているボックスを押します。

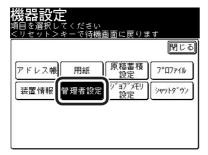
11 ① テンキーで、ダイレクトメール防止を行う電話番号の下 4 桁を入力します。

② ［確定］を押します。

12 続けて他の番号を登録する場合は、手順 *10* から操作を繰り返します。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

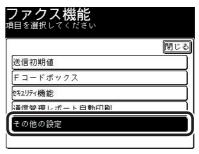
登録した番号の削除

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［その他の設定］を押します。

6 ［ダイレクトメール防止］を押します。

7 ［削除］を押します。

8 削除したい番号を選択します。

9 削除する場合は［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順8に戻ります。

10 選択した番号が削除されます。続けて他の番号を削除する場合は、手順8から操作を繰り返します。

メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

コンピュータからファクスを送信する

ファクスドライバを使うと、文書を印刷することが出来るアプリケーションから、ファクス送信することが出来ます。ファクスドライバでは以下の事が出来ます。

- アプリケーションの印刷機能を使ったファクス送信
- ファクスドライバ電話帳へのファクス番号の登録・編集
- 送付状の付加（宛先別、宛先毎共通）
- 電話帳のファクス番号のインポート、エクスポート

アプリケーションからファクスを送信する

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷]、プリンタの選択で [OKI MC860 (FAX)] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

❸ 送信先選択ダイアログが表示されますので、名前とファクス番号を入力し、追加ボタンをクリックします。

送信先は複数追加できます。

❹ 電話帳にファクス番号が登録してある場合は、「電話帳」タブをクリックし、電話帳から送信先を選んで追加ボタンをクリックします。

❺ 全ての送信先を追加したら、OK ボタンをクリックします。

ファクスの送信が開始されます。

電話帳を使ってファクス番号を登録する

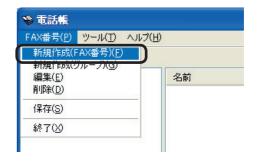
ファクスドライバの電話帳を使うと、よく使う送信先を登録しておくことが出来ます。

❶ Windows Vista/Windows Server 2008では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
(Windows XPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
Windows Server 2003では、[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ プロパティを開きます。

[OKI MC860(FAX)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ [設定]タブで[電話帳]ボタンをクリックします。

❹ 電話帳が起動します。送信先を登録するには、メニューの[FAX番号]-[新規作成(FAX番号)]をクリックします。

❺ 新規作成(FAX番号)ダイアログで、名前とファクス番号、説明を入力して、OKボタンをクリックすると、新しく番号が登録されます。

- 名前とファクス番号は必ず入力してください。説明は省略することが出来ます。
- ここで設定した名前とファクス番号は、送付状に印刷されます。

❻ 番号を登録し終わったら、メニューの［FAX 番号］-［新規作成（FAX 番号）］をクリックして保存します。メニューの［FAX 番号］-［終了］をクリックして電話帳を終了します。

メモ 送信先は 1000 件まで登録することが出来ます。

同じ名前の送信先を二つ以上登録することは出来ません。同じファクス番号は名前が異なれば登録出来ます。

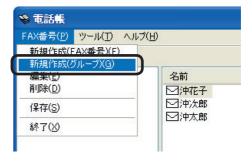
グループを使って管理する

グループを使うことで、複数の送信先にまとめてファクス送信することが出来ます。

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
(Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。)

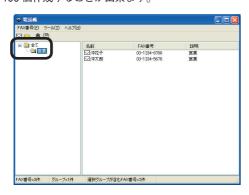
❷ プロパティを開きます。
［OKI MC860（FAX）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［設定］タブで［電話帳］ボタンをクリックします。

❹ メニューの［FAX 番号］-［新規作成（グループ）］をクリックします。

❺ 新規作成（グループ）ダイアログが表示されます。グループ名と説明（省略可）に任意の名前を入力して、左側のリストから、グループに登録したい送信先を選択して、［追加］ボタンをクリックすると、右側のリストに移動して、グループに登録されます。

送信先の登録が終わったら、［OK］ボタンをクリックして、登録を完了します。

❻ 左側のツリーに新しいグループが追加されます。追加されたグループを選択すると、グループに含まれる送信先が表示されます。

グループには送信先を 100 件まで含める事が出来ます。グループは 100 個作成することが出来ます。

グループを使って送信する

グループを登録しておくと、送信時に送信先をまとめて指定することが出来ます。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

❸［送信先選択］ダイアログが表示されますので、［電話帳］タブをクリックし、送信したいグループを選択して［追加］ボタンをクリックすると、グループに含まれる送信先がまとめて追加されます。

❹ 全ての送信先を追加したら、OK ボタンをクリックします。

ファクスの送信が開始されます。

送付状を付加して送信する

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要有りません。）

❹［送付状］タブをクリックし、［全員に同一シートを付加］または［送信先毎に別シートを付加］をクリックします。

［全員に同一シートを付加］を選択すると、送信先が複数有る場合には、一枚のシートに全送信先が印刷されます。

［送信先毎に別シートを付加］を選択すると、送信先が複数有る場合には、一枚にひとつの送信先が宛先毎に印刷されます。

❺［送付状のフォーマットを選択］のリストから、送付したい送付状のフォーマットを選択します。

- ［拡大表示］ボタンをクリックすると、フォーマットが拡大して表示されます。
- ［送信先の FAX 番号を印刷］をチェックすると、送付状に送信先のファクス番号が印刷されます。
- ［説明を印刷］をチェックすると、送付状に送信先の説明が印刷されます。

❻［発信元］タブで発信元の名前とファクス番号、コメントを設定しておくと、送付状に発信元の名前とファクス番号、コメントが印刷されます。

3
いろいろなファクスのしかた

電話帳のファクス番号のインポート、エクスポート

インポート、エクスポート機能を使って、他のパソコンで作成された電話帳のファクス番号を使用することが出来ます。

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
(Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。)

❷ プロパティを開きます。
［OKI MC860(FAX)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［設定］タブで［電話帳］ボタンをクリックします。

❹ メニューの［ツール］-［エクスポート］をクリックします。

❺［ファイルのエクスポート］ダイアログで、ファイル名に任意の名前を付けて［保存］ボタンをクリックします。電話帳が保存されます。

❻ 保存した電話帳ファイルを、他のパソコンに取り込みます。

❼ 取り込んだ先のパソコンにインストールされたファクスドライバで、同様に電話帳を起動し、メニューの［ツール］-［インポート］をクリックします。

❽［ファイルのインポート］ダイアログで、取り込む電話帳ファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックすると、データが電話帳にインポートされます。

・グループの登録はエクスポートすることは出来ません。(グループに含まれる送信先はエクスポートされます。)
・インポートするファクスドライバの電話帳に、同じ名前が既に含まれている場合はスキップされます。

ファクスの機器設定

送信初期設定

送信するときの初期値を設定できます。使用状況に合わせて設定してください。

ファクス機能の送信初期値の設定の一覧は、「操作パネルの設定項目一覧」の「ファクス機能」（420 ページ）をご覧ください。

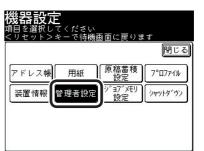
設定例

メモ 初期値とは、電源を入れたときや、<リセット>キーを押して待機画面に戻したときの状態をいいます。

何も操作せずに一定時間放置すると初期値に戻ります。初期値に戻るまでの時間を設定できます。「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。

ファクス送信の画質の初期値を設定する例を説明します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

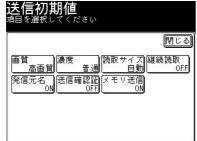
4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［送信初期値］を押します。

6 ［画質］を押します。

7 ① 初期値に設定したい値を選択します。

② ［確定］を押します。

画質の初期値が設定されます。続けて他の初期値も設置できます。

メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

その他の設定

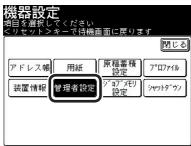
リダイヤル回数や呼出しベル回数など、設定できます。使用状況に合わせて設定してください。

設定例

リダイヤル間隔を設定する例を説明します。

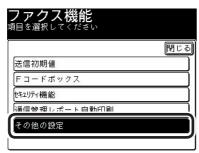
参照 その他の設定の一覧は、「操作パネルの設定項目一覧」の「ファクス機能」（420 ページ）をご覧ください。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［その他の設定］を押します。

6 ［リダイヤル間隔］を押します。

7 ① テンキーまたは［▲］,［▼］でリダイヤル間隔時間を設定します。

② ［確定］を押します。

8 リダイヤル間隔が設定されます。続けて他の初期値も設定できます。

メモ　<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

4 いろいろなスキャンのしかた

いろいろなスキャンのしかた 204
スキャナドライバ（TWAIN ドライバ、WIA ドライバ）を
インストールする 204
TWAIN ドライバを使う...208
WIA ドライバを使う...216
ActKey アプリケーションを使う...220
スキャナの設定を変更する 226
読み取り条件などの初期値を変更する 226
便利な機能（スキャン To メール）....................................... 229
送信者 / 返信先を設定する 229
定型文を使う...232
便利な機能（スキャン To メール /USB）.............................. 239
ファイル名を指定する 239
ファイル形式を指定する 241
グレースケールを有効にする...243
スキャン画像の向きを変更する...245
圧縮レベルを指定する 247
その他の機能...249

いろいろなスキャンのしかた

スキャナドライバ（TWAIN ドライバ、WIA ドライバ）をインストールする

TWAIN ドライバと WIA ドライバを同時にインストールします。「USB 接続で Windows にセットアップする」（基本操作編）記載の手順でプリンタドライバをインストールされている場合は、スキャナドライバはインストールされていますので、本手順によるインストールは必要ありません。ただし、「USB 接続で Windows にセットアップする」（基本操作編）の「PCL XPS プリンタドライバをインストールする」でスキャナドライバのインストールをキャンセルした場合は本手順によるインストールが必要です。

Windows Server 2008 でスキャナドライバを使用する場合は、OS の機能追加でデスクトップ エクスペリエンス（WIA サービス）をインストールする必要があります。
以下の手順でサービスを追加してください。

1. プログラムと機能を実行します。
2. Windows の機能の有効化または無効化を実行します。
3. サーバーマネージャー / 機能で機能の追加を実行します。
4. デスクトップ エクスペリエンスを選択しインストールを実行します。インストールが完了するとコンピュータの再起動があります。

Windows Server 2008/Windows Server 2003 では、標準で WIA サービスが停止されていることがあります。
WIA ドライバを使用する場合は、以下の手順で WIA サービスを開始してください。

1. コントロールパネル / 管理ツールを実行します。
2. サービスを実行します。
3. Windows Image Acquisition(WIA) のプロパティを開きます。
4. スタートアップの種類で自動を選択し、適用をクリックします。
5. サービスの状態で開始を選択し、OK をクリックします。

インストールする

コンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は Windows XP を例にしています。

1 USB ケーブルを準備します。

- USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

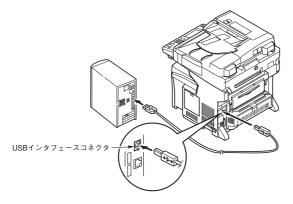
2 本機とコンピュータの電源を OFF にします。

- USB ケーブルはコンピュータ、MC860 の電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のスキャナドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここでは MC860 の電源を OFF にしておきます。
- 電源の切り方は基本操作編の「電源の切りかた」をご覧ください。

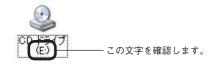
3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルを MC860 の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。故障の原因となります。

❷ USB ケーブルをコンピュータの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

4 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

❶［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❷［リムーバブル記憶域があるデバイス］-［CD ドライブ（E:)］のカッコ内に表示されている英文字を確認します。手順 5 で使用するので、覚えておいてください。
この場合は、[E］が CD-ROM のドライブです。

5 スキャナドライバをインストールします。

❶ MC860 の電源を ON にします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックします。

☞ Windows Vista の場合
「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されたら、[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、[続行］をクリックします。

❸ [一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]を選択し、[次へ]をクリックします。

☞ Windows Vista の場合
［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。
［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)］をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（207 ページ）へ進みます。

❹「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❺［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックを外します。

❻［次の場所を含める］にチェックを付け、［参照］ボタンを押して、以下の場所を指定します。または直接入力します。

指定する場所 ここでは CD-ROM ドライブが E: の場合を例にしています。 E:¥Drivers¥JPN¥WinAll¥TWAIN

［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んで下さい」画面が表示されたら、入力した場所が同じでかつバージョン番号の最も大きなものをリストから選択し、［次へ］をクリックします。

❼［完了］をクリックします。

❽［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］を選択し、［スキャナとカメラ］を開きます。

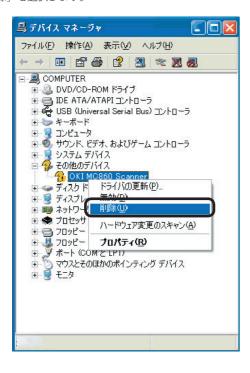
MC860 アイコンが表示されていることを確認します。

▪「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

スキャナドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたスキャナドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸［その他のデバイス］の「OKI MC860 Scanner」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「スキャナドライバをインストールします」（205 ページ）へ戻ります。

4

いろいろなスキャンのしかた

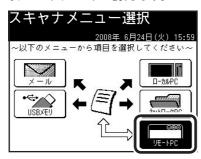
TWAIN ドライバを使う

スキャンする

A5、B5 サイズの原稿は、横向き（横長の四角で、左上が折れているマーク）にセットしてください。

ここでは本機に付属の PaperPort ソフトウェアを使った場合を例にしています。PaperPort ソフトウェアは本機に付属の CD-ROM からインストールしてください。

❶ スキャナ部の自動原稿送り装置（ドキュメントフィーダ）またはガラス面（フラットベッド）に原稿をセットします。

❷ 本機の操作パネルで、＜スキャナ＞キーを押します。

❸ 本機の操作パネルで、［リモート PC］ボタンを押します。

❹ コンピュータで PaperPort を起動します。

❺［選択］ボタンを押し、［TWAIN : OKI MC860 Twain］を選択します。

❻［スキャン］ボタンを押します。

ドライバが表示されます。（ドライバを初めて起動した場合は、簡易モードが表示されます。）

❼ あらかじめ用意されているスキャンボタン（例えば写真（高画質）モード）をクリックします。

読み取りが行われ、その状況がインジケータに表示されます。

簡易モードおよび詳細モードの設定項目については、「設定を変更する」をご覧ください。

❽ 読み取りが終わったら、［終了］をクリックします。

設定を変更する

PC スキャンを行うときにスキャナドライバの設定を変えることで、コンピュータに取り込む画像を微調整することができます。ここでは、スキャナドライバの設定項目について説明します。

■ 簡易モード

スキャン設定をカスタマイズしてスキャンボタンに割り当てることができるので、簡単な操作でスキャンを実行できます。

■ 設定

簡易モードの設定画面を開きます。解像度やカラーモードなどのスキャン設定をスキャンボタンに設定できます。
あらかじめ用意されるスキャンボタンには、次の 5 つがあります。

- 写真 (高画質) モード
- 写真 (普通) モード
- OCR モード
- Web モード
- カスタムモード

設定画面

設定したいスキャンボタンを押してから、必要に応じて設定を変更します。

設定項目の内容は、「詳細モード」をご覧ください。

詳細モード

カラーモードや解像度、スキャン領域、カラー調整などを詳しく指定してスキャンできます。

基本

スキャンする際のカラーモードや解像度、スキャンサイズを設定できます。

- 原稿の入力方法 : " 自動 " が選択されている場合、自動原稿送り装置に原稿があれば自動原稿送り装置からスキャンします。
  自動原稿送り装置に原稿がなければガラス面からスキャンします。
  オプション設定で原稿の読取向きと両面読取を指定できます。
- カラーモード : カラー原稿に見合った画像のタイプを選択できます。
- 解像度 : 画像の解像度を選択できます。

  注 スキャンニングソフトによっては、高解像度での読込みができない場合があります。

- 原稿サイズ : 読取り原稿のサイズを選択できます。

  原稿サイズを " 自動 " にしてスキャンして問題がある場合は、" 自動 " 以外の定型サイズを選択してスキャンしてください。

- 出力倍率 : スキャン画像の出力倍率を 1% から 999% まで変更できます。倍率を大きくするほどメモリ、ディスク容量を多く必要とします。

オプション

“原稿の入力方法” のオプションを設定します。

読取向き

原稿をセットする向きを設定します。

ガラス面（フラットベッド）に原稿をセットするときは、装置に対して原稿の上部を左向きか下向きにセットしてください。

自動原稿送り装置に原稿をセットするときは、装置に対して原稿の上部を左向きか上向きにセットしてください。

［左端］
原稿の上部を左向きにセットする場合に選択します。

［上端］
自動原稿送り装置に原稿の上部を上向き（奥側）にセットする場合に選択します。
ガラス面（フラットベッド）に原稿の上部を下向き（手前）にセットする場合に選択します。

両面読取

“原稿の入力方法” が “自動原稿送り装置” の場合に選択できます。両面をスキャンする場合は、原稿のとじ位置を指定します。

［オフ］
自動原稿送り装置から片面をスキャンする場合に選択します。

［左右とじ］
表と裏の上下が同じ場合に選択します。

［上とじ］
表と裏の上下が逆の場合に選択します。

カラー

出力画像の画質や色の調整を行います。
カラーには次の７つのオプションがあります。

- 自動調整
- 明るさ／コントラスト
- ガンマ調整
- ヒストグラム調整
- トーンカーブ調整
- カラーバランス調整
- HSB（色相、彩度、明るさ）

自動調整

チェックボックスをチェックすると、自動的にヒストグラムを調整して最適な状態にします。

プレビューした場合に機能します。

明るさ／コントラスト（カラー、グレースケール、ハーフトーン）

出力画像の明るさ、コントラストを調整します。

- 明るさ　　　：画像の明るさを調整できます。
- コントラスト：画像のコントラストを調整できます。

しきい値（白黒）

出力画像のしきい値を調整します。

- しきい値：しきい値の明るさレベルを調整できます。

ガンマ調整

コンピュータのモニタにあわせて画像の色調を調整できます。RGB、赤（R）、緑（G）、青（B）それぞれ調整できますので、ご利用の環境にあわせて調整してください。

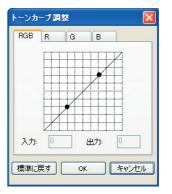
- RGB：RGB の色調を調整できます。
- R：赤（R）の色調を調整できます。
- G：緑（G）の色調を調整できます。
- B：青（B）の色調を調整できます。

ヒストグラム調整

画像のR、G、B、グレースケール、色相、彩度、明度の分布を示すヒストグラムを表示します。
水平軸は黒から白までの範囲（0 から 255）で画像の明度値を表します。垂直軸は各値でのピクセル数を表します。
ピクセルが多数ある明度は垂直軸方向にグラフが伸び、ピクセルがほとんどない明度は水平軸に近くなります。
暗い画像では、ヒストグラム左側のピクセルが多くなります。画像が非常に明るい場合は、ヒストグラム右側のピクセルが多くなります。

- ヒストグラム調整： 各色のヒストグラムを調整できます。

トーンカーブ調整

R、G、B のカラー曲線を表示します。合成色（RGB）は黒で表示されます。

- トーンカーブ調整： 濃度曲線（トーンカーブ）を調整することによって、画像全体の明るさとコントラストのバランスを調整できます。

カラーバランス調整

シャドウ部、中間色部、ハイライト部のそれぞれに対して、カラーレベル（赤、緑、青）の配分を変更して、画像の色の精度を向上することができます。また、画像の色調を変更する場合にも使用します。

- 輝度の保持：スキャン画像における輝度の変更を最小限にしたい場合にチェックします。
- 赤：　カラーレベル（赤）の配分を調整できます。
- 緑：　カラーレベル（緑）の配分を調整できます。
- 青：　カラーレベル（青）の配分を調整できます。

HSB

色相、彩度、明るさの観点で色を概念化します。

- 色相：　色相を調整することができます。
- 彩度：　彩度を調整することができます。
- 明るさ：明るさを調整することができます。

フィルター

- シャープネス：　画像の隣接ピクセルのコントラストを上げることによって、ぼやけた写真を鮮明にします。
- 背景除去：　画像の背景（下地）色を目立たないようにします。数字が大きいほど強く除去します。
- 枠消去：　原稿の縁部分にできる影を消去したい場合に使用します。指定された幅で枠の形で消去します。
- センター消去：　本を開いてスキャンする場合など、センター部分にできる影を消去したい場合に使用します。指定された幅だけセンター部分を消去します。
- フォントスムージング：文字をくっきりさせたい場合にチェックボックスをチェックします。
- 裏写り補正：　原稿裏面にある文字や図などがスキャン画像に表れないように補正したい場合にチェックボックスをチェックします。
- モアレ低減：　モアレ（波形模様）を除去したい場合にチェックボックスをチェックします。

■ ツールバー

項　目	内　容
選択	マウス左ボタンでプレビューウィンドウ内をクリックアンドドラッグするとスキャン範囲を選択できます。
複数選択	スキャン範囲を最大８つまで設定できます。また、それぞれの選択範囲に対して「カラーモード」「解像度」などを設定できます。
自動トリミング	自動的に原稿を含む最小の矩形を選択します。
移動	マウス左ボタンでプレビューウィンドウ内をクリックアンドドラッグしてプレビュー画像を移動できます。 プレビューイメージを拡大ズームしたときに使用します。
反転	スキャン画像を左右反転できます。
左 90° 回転	スキャン画像を反時計回りに 90° 回転できます。
右 90° 回転	スキャン画像を時計回りに 90° 回転できます。
ズーム	マウス左ボタンでプレビューウィンドウ内をクリックすることによって拡大できます（最大ズームは８倍）。マウス右ボタンクリックで縮小できます。また、スクロール機能付きマウスを利用すると、スクロールボタンで拡大縮小の操作ができます。スクロールボタンを手前に回すと拡大し、奥に回すと縮小します。

WIA ドライバを使う

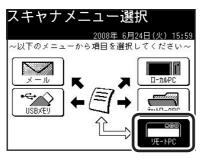
スキャンする

A5､B5 サイズの原稿は､横向き（横長の四角で､左上が折れているマーク）にセットしてください。

ここでは本機に付属の PaperPort ソフトウェアを使った場合を例にしています。PaperPort ソフトウェアは本機に付属の CD-ROM からインストールしてください。

❶ スキャナ部の自動原稿送り装置（ドキュメントフィーダ）またはガラス面（フラットベッド）に読み込み原稿をセットします。

❷ 本機の操作パネルで、<スキャナ>キーを押します。

❸ 本機の操作パネルで、［リモート PC］ボタンを押します。

❹ コンピュータで PaperPort を起動します。

❺［選択］ボタンを押し、［WIA：MC860］を選択します。

❻［スキャン］ボタンを押します。

ドライバが表示されます。

❼［給紙方法］を選択します。

☞［ドキュメントフィーダ］を選択した場合はプレビューできません。

❽ 画像の種類を選択します。

☞ 画像品質を調整したい場合は、［スキャンした画像の品質の調整］をクリックしてください。「詳細プロパティ」画面が表示されます。

❾ スキャンする範囲を指定します。

[フラットベッド]を選択した場合は[プレビュー]をクリックします。プレビュー画像が表示されたら、■を移動してスキャン範囲を指定します。[ドキュメントフィーダ] を選択した場合はプレビューできません。

[ドキュメントフィーダ] を選択した場合は [ページサイズ] を指定します。

❿ [スキャン] をクリックします。

読み取りが行われます。

⓫ 読み取りが終わったら、[キャンセル] をクリックします。

⓬ 読み込んだ画像が PaperPort の画面に表示されます。

スキャナとカメラウィザードからスキャンする

以下の説明は Windows XP を例にしています。

❶ スキャナ部の自動原稿送り装置(ドキュメントフィーダ)またはガラス面(フラットベッド)に読み込み原稿をセットします。

❷ 本機の操作パネルで、<スキャナ>キーを押します。

❸ 本機の操作パネルで、[リモート PC] ボタンを押します。

❹ [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] を選択し、[スキャナとカメラ] を開きます。

❺ スキャナのアイコン(MC860)をマウスの右ボタンでクリックし、[スキャナウィザードで画像を取得] を選択します。

❻ [スキャナとカメラウィザード] 画面が表示されるので、[次へ] をクリックします。

❼ 画像の種類を選択します。

☞ 詳細設定をする場合は［カスタム設定］をクリックします。

❽［給紙方法］を選択します。

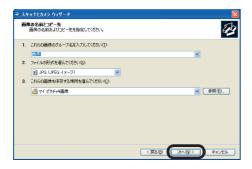
［フラットベット］（ガラス面）または［ドキュメントフィーダ］（自動原稿送り装置）を選択します。［ドキュメントフィーダ］を選択した場合は［ページサイズ］を指定します。

☞［ドキュメントフィーダ］を選択した場合はプレビューできませんので❿へお進みください。

❾［プレビュー］をクリックします。

プレビュー画像の■を移動してスキャン範囲を指定できます。

❿［次へ］をクリックします。

⓫ 保存する画像のグループ名、ファイルの形式、保存する場所を指定し、［次へ］をクリックします。

スキャンが開始されます。

☞スキャンを中止したいときは［キャンセル］をクリックします。

⓬［そのほかのオプション］を設定し、［次へ］をクリックします。

⓭［完了］をクリックします。

4

いろいろなスキャンのしかた

ActKey アプリケーションを使う

ActKey のボタンをクリックするだけで、あらかじめ決めておいた設定通りにスキャナ動作させせることが出来ます。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003　日本語版で動作しているコンピュータ
スキャナドライバと連動して動作するため、スキャナドライバのインストールが必要です。

ActKey の PC-Fax 送信機能は、Windows コンポーネントの FAX サービスを使用します。
FAX サービスをセットアップされていない場合は、FAX サービスをセットアップしてください。

Windows XP/Windows Server 2003 では［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］の［Windows コンポーネントの追加と削除］から FAX サービスをセットアップします。
（Windows Vista では［コントロールパネル］-［プログラム］の［Windows の機能の有効化または無効化］から FAX サービスをセットアップします。
Windows Server 2008 では［サーバーマネージャ］-［役割］の［役割の追加］から FAX サービスをセットアップします。）

Windows Server 2008 で ActKey を使用する場合は、OS の機能追加でデスクトップ エクスペリエンス（WIA サービス）をインストールする必要があります。
以下の手順でサービスを追加してください。
1. プログラムと機能を実行します。
2. Windows の機能の有効化または無効化を実行します。
3. サーバーマネージャー / 機能で機能の追加を実行します。
4. デスクトップ エクスペリエンスを選択しインストールを実行します。インストールが完了するとコンピュータの再起動があります。

スキャナドライバのインストールについては、「スキャナドライバ（TWAIN ドライバ、WIA ドライバ）をインストールする」（204 ページ）をご覧ください。

インストールする

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［その他のソフトウェア］-［ActKey］をクリックします。

❸ 画面の指示に従ってセットアップします。

❹ 完了をクリックします。

起動する

❶ デスクトップ上の ActKey アイコンをダブルクリックします。

または［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［ActKey］-［ActKey］を選択します。

スキャン To ローカル PC で ActKey が起動するように設定する

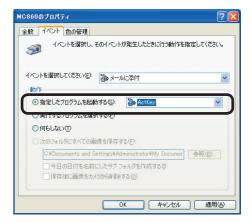
本機の［ローカル PC］を選択してスキャンする場合、常に ActKey が起動するようにするには、以下の設定を行います。

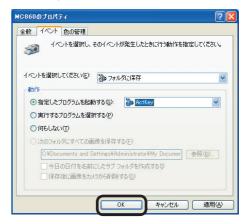
❶［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］を選択し、［スキャナとカメラ］を開きます。

❷［MC860］アイコンを右クリックし、プロパティを開きます。

❸［イベント］タブをクリックします。

❹［イベントを選択してください］に設定してある値を確認し、［指定したプログラムを起動する］で［ActKey］を選択します。

❺［イベントを選択してください］で、❹と異なる値を選択し、［指定したプログラムを起動する］で［ActKey］を選択します。

❻［イベントを選択してください］の全ての値について、［指定したプログラムを起動する］で［ActKey］を選択します。

❼［OK］をクリックします。

スキャンしたデータをファクス送信する（PC-FAX）

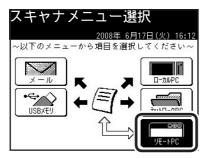
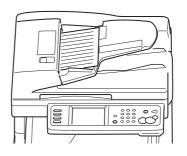
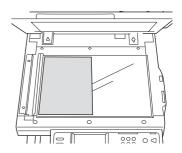
A5、B5 サイズの原稿は、横向き（横長の四角で、左上が折れているマーク）にセットしてください。

スキャンしたデータを Windows コンポーネントの FAX サービスを使用してコンピュータのモデムから送信します。

本機能は Windows コンポーネントの FAX サービスを使用します。

❶ ActKey を起動します。

❷ <スキャナ>キーを押します。

❸［リモート PC］ボタンを押します。

❹ 本機に原稿をセットします。

❺ ActKey の［PC-Fax 送信］ボタンをクリックします。

❻ コンピュータ上に［Fax 送信ウィザード］が起動するので、画面に従って進みます。

設定を変更する

ボタンの詳細設定を行います。

❶ ActKey を起動し、[オプション] メニューの [スキャンボタン設定] を選択します。

❷ 設定したいスキャンボタンを押してから、必要に応じて設定を変更します。

■ アプリケーション -1/ アプリケーション -2

画像編集アプリケーションを起動して、装置で読み取った画像を編集します。

❶ 使用する画像アプリケーションを選択します。
アプリケーションの実行ファイル (exe) がある場所のパスを指定してください。

❷ 必要に応じて入出力設定を変更します。

❸「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

注 装置の操作パネルから " スキャン "-" ローカル PC"-" アプリケーション " を指定してスキャンを実行した場合、ActKey のアプリケーション -1 に指定されているアプリケーションが起動します。

■ メールに添付

メールソフトを起動して、装置で読み取った画像を添付します。

❶［メールソフトウェア］で使用するメールソフトを選択します。

❷ 必要に応じて入出力設定を変更します。

❸「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

■ フォルダに保存

装置で読み取った画像を、ユーザのコンピュータ上に保存します。

❶［保存先］で読み取り画像の保存先を設定します。

❷ 必要に応じて入出力設定を変更します。

❸「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

■ PC-FAX 送信

Windows の FAX サービスを使用して、装置で読み取った画像をコンピュータのモデムから送信します。

❶ 必要に応じて入出力設定を変更します。

❷「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

スキャナの設定を変更する

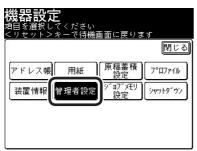
読み取り条件などの初期値を変更する

読み取り条件の初期値を設定します。よく使用する値を初期値に設定しておくと便利です。

設定の一覧は、「操作パネルの設定項目一覧」の「スキャナ機能」（422 ページ）をご覧ください。

初期値の設定

1 本体操作パネルの、＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［スキャン初期値］を押します。

6 変更したい項目を押します。

ここでは画質を変更する場合を例にしています。

7 設定したい値を押します。

8 ［確定］を押します。

［閉じる］を押します。

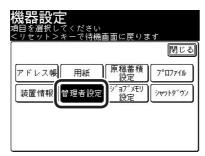
10 ＜リセット＞キーを押し、待機画面に戻ります。

便利な機能（スキャン To メール）

送信者 / 返信先を設定する

送信者と返信先のメールアドレスを設定できます。

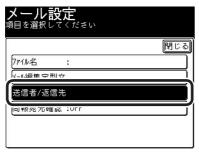
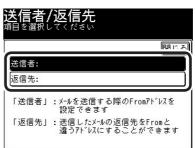
1 ＜機器設定＞キーを押します。

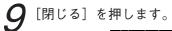
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

6 ［送信者 / 返信先］を押します。

7 ［送信者］または［返信先］を押します。

8 メールアドレスを入力し、［確定］を押します。返信先についてはアドレス帳からメールアドレスを選択することもできます。

9 ［閉じる］を押します。

10 <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

定型文を使う

決まった件名や本文を登録し、使うことができます。

定型文を登録する

▪ 件名を登録する

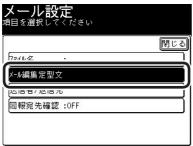
1 ＜機器設定＞キーを押します。

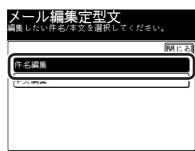
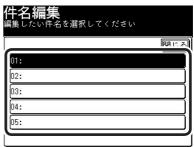
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

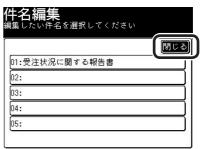
メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

6 ［メール編集定型文］を押します。

7 ［件名編集］を押します。

8 登録したい番号を押します。

9 登録したい件名を入力し、［確定］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

4
いろいろなスキャンのしかた

11 <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

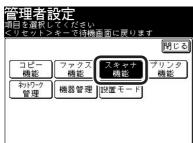
■ 本文を登録する

1 <機器設定>キーを押します。

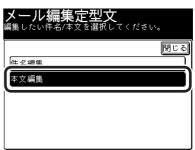
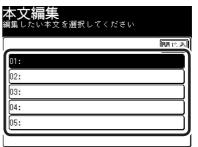
2 ［管理者設定］を押します。

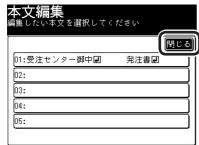
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

6 ［メール編集定型文］を押します。

7 ［本文編集］を押します。

8 登録したい番号を押します。

9 登録したい本文を入力し、［確定］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

11 ＜リセット＞キーを押し、待機画面に戻ります。

定型文を使う

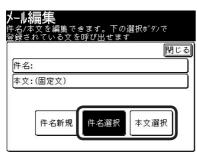
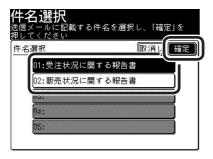
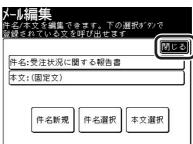
1 <スキャナ>キーを押します。

2 ［メール］を押します。

3 宛先を指定します。

4 ［応用機能］を押します。

5 ［メール編集］を押します。

6 ［件名選択］または［本文選択］を押します。

7 登録済みの件名または本文から、使用したい番号を押し、［確定］を押します。

8 ［閉じる］を 2 回押します。

9 宛先を確認したいときは、［確認］を押します。

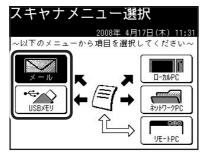
10 原稿をセットし、<カラースタート>または<モノクロスタート>キーを押します。

便利な機能（スキャン To メール /USB）

ファイル名を指定する

スキャンしたデータにファイル名を付けることができます。

1 <スキャナ>キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

【メールを選択した場合】

4 ［ファイル名］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

ファイル名を入力し、[確定] を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

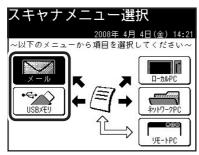
 [閉じる] を押します。

【メールを選択した場合】

ファイル形式を指定する

スキャンしたデータのファイル形式を指定できます。指定できる形式は、PDF、TIFF、JPEG、XPS です。

1 <スキャナ>キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

4 ［ファイル形式］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

5 ファイル形式を選択し、［確定］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

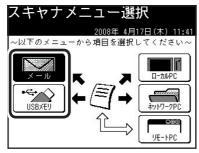
【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

グレースケールを有効にする

グレイスケールを有効にすると、<モノクロスタート>キーでスキャンしたデータが、白黒 (2 値) ではなく白黒 (255 階調) になります。

1 <スキャナ>キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

4 ［グレースケール］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

5 ［ON］を選択し、［確定］を押します。

［閉じる］を押します。

【メールを選択した場合】

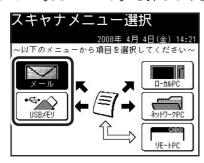
【USB メモリを選択した場合】

スキャン画像の向きを変更する

スキャン画像が期待した向きに表示されないときは、操作パネルで［読取向き］の設定を確認し、画面の表示通りに原稿をセットします。

メモ　読取向きの初期値を変更できます。「操作パネルの設定項目一覧」の「スキャナ機能」（422 ページ）をご覧ください。

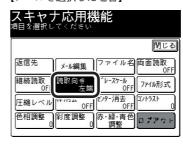
1 <スキャナ>キーを押します。

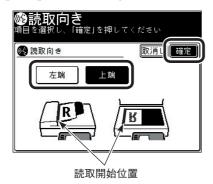
2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

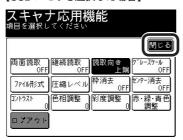
4 ［読取向き］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

5 読取向きの設定を確認し、原稿を画面の表示と同じ向きにセットし、［確定］を押します。

読取開始位置

メモ　左端：読取開始位置が取り込んだ画像の上端になります。
上端：読取開始位置が取り込んだ画像の左端になります。

6 ［閉じる］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

7 スキャン To メール、またはスキャン To USB メモリを行います。

圧縮レベルを指定する

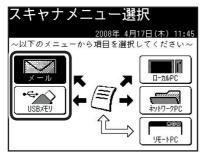
圧縮レベルを指定します。

1 ＜スキャナ＞キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

4 ［圧縮レベル］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

5 圧縮レベルを選択し、［確定］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

【メールを選択した場合】

【USB メモリを選択した場合】

その他の機能

継続読取は基本操作編の「継続読取」を、枠消去、センター消去の説明は「いろいろなコピーのしかた」を参考にしてください。

コピー・ファクス・スキャナ共通設定

ジョブメモリ機能

一連の操作をジョブメモリ機能キーに登録すると、一回キーを押すだけで登録した操作が実行されます。

いつも同じコピー、ファクスやスキャンをしたいときなど、定型操作を登録しておくと便利です。

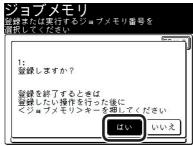
操作の前に…

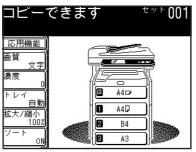
- あらかじめ登録したい設定をユーザーズマニュアル（基本操作編）および本書で調べておき、操作を書き留めておくとスムーズに登録できます。
- ジョブメモリ機能キーは 6 個あり、1 つのキーに 60 ステップの操作を登録できます。（1 ステップとは、キーを 1 回選択または押す操作です。）
- ジョブメモリ機能キー登録中は、「プッ、プッ」というブザー音と、画面切り替えキー（<コピー>キー・<ファクス>キー・<スキャナ>キー）の点滅にて登録中であることを知らせます。登録できるステップ数が少なくなると、ブザー音と画面切り替えキーの点滅間隔が短くなります。

ジョブメモリ機能キーへの登録

1 <ジョブメモリ>キーを押します。

2 登録したい番号を選択します。

3 ［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押すと手順 *2* に戻ります。

4 登録したい操作を行います。

メモ
- 60 ステップまで登録できます。
- 60 ステップを超えると、「これ以上登録できません　登録しますか？」とメッセージが表示されます。
- ［はい］を押すと登録され手順 7 に進みます。［いいえ］を押すと登録されずに待機画面面に戻ります。

5 登録を終了するときは、<ジョブメモリ>キーを押します。

メモ
- <リセット>キー・<ストップ>キーを押すと、登録を中止し待機画面に戻ります。
- <節電>キー・<ファクス確認 / 中止>キー・<プリント中割込み>キー・<プリンタ>キーを押すと、登録を終了し手順 *6* の画面になります。

6 タイトルを入力します。

メモ
- 半角文字では 40 文字、全角文字では 20 文字まで登録できます。
- 文字入力については、基本操作編の「文字入力のしかた」を参照してください。
- ジョブメモリ機能キーの一覧では、タイトルの頭から半角で 40 文字、全角で 20 文字までを表示します。

7 ［確定］を押すと登録を終了します。

メモ
- 登録した操作を変更することはできません。初めから登録し直してください。
- 登録中の操作ミスや、変更手順も登録されます。

こんなときは？

<スタート>キーを登録したとき ...。

操作の途中に<スタート>キーを押したとき、以下のメッセージが表示されます。

［はい］を押すと、<スタート>キーを押した操作まで登録されます。［いいえ］を押すと<スタート>キーを押す直前までの操作を登録します。

●例えばこんな使いかたができます。

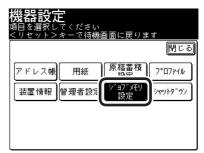
送信操作を登録中、［いいえ］を押して<スタート>キーを取り込まないでおきます。登録したジョブメモリ機能キーを実行すると<スタート>キーを押す直前まで動作します。その後に、時刻指定などを設定できます。

＊［はい］を押して<スタート>キーを取り込むと、送信されてしまうので、時刻指定などの設定はできません。

ジョブメモリ機能キーのタイトル変更

登録したジョブメモリ機能キーのタイトルを変更することができます。

1 <機器設定>キーを押します。

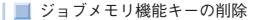
2 ［ジョブメモリ設定］を押します。

3 ［タイトル変更］を押します。

4 タイトルを変更したい、ジョブメモリ機能キーを選択します。

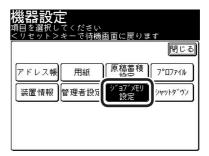
5 ［クリア］を押して、新しいタイトルを入力します。

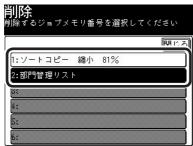
メモ
- 半角文字では 40 文字、全角文字では 20 文字まで登録できます。
- 文字入力については、基本操作編の「文字入力のしかた」を参照してください。

6 ［確定］を押すと、タイトルを変更します。続けてタイトルの変更を行うときは、手順 4 から操作を繰り返します。

メモ　<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

ジョブメモリ機能キーの削除

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［ジョブメモリ設定］を押します。

3 ［削除］を押します。

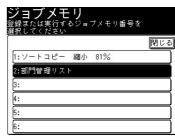
4 削除したい、ジョブメモリ機能キーを選択します。

5 削除する場合は［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押すと、手順*4*に戻ります。

ジョブメモリ機能を実行する

登録した操作を実行します。

1 <ジョブメモリ>キーを押します。

2 実行したい、ジョブメモリ機能キーを選択します。

メモ <ストップ>キーを押すと、ジョブメモリ機能キーの実行を中断します。

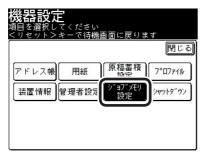
3 ［はい］を押します。

4 登録した操作を実行します。

ジョブメモリ機能の実行速度の設定

ジョブメモリ機能を実行したときの、１ステップごとのスピードを調整できます。動作をディスプレイで確認したいときに便利です。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［ジョブメモリ設定］を押します。

3 ［実行速度］を押します。

4 ① 実行速度を選択します。

② ［確定］を押すと実行速度が設定されます。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

ご愛用スイッチを変更する

よく使用する機能を待機画面に５つまで表示させることができます。よく使う機能を割り当てておくと、待機画面より素早く使うことができ便利です。

コピー待機画面例

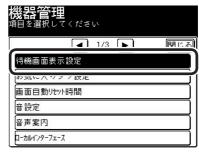
1 ＜機器設定＞キーを押します。

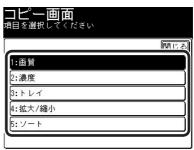
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［待機画面表示設定］を押します。

6 設定する待機画面を選択します。

7 設定したいご愛用スイッチを選択します。

8 ① ご愛用スイッチとして表示したい機能を選択します。

② ［確定］を押します。

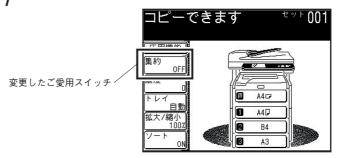
メモ　既に登録されている機能はグレー表示になり選択できません。

9 選択した機能が、ご愛用スイッチに登録されます。

コピー画面
項目を選択してください
閉じる
1:集約
2:濃度
3:トレイ
4:拡大/縮小
5:ソート

10 続けて他のご愛用スイッチを登録する場合は、手順 *7* から操作を繰り返します。

メモ　［閉じる］を押すと手順 *6* に戻り、他の待機画面のご愛用スイッチを登録できます。

11 ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

6 便利なユーティリティソフトウェア

ユーティリティの紹介 262
ユーティリティ一覧 262
ユーティリティのインストール方法 264
Windows をお使いの方 264
Macintosh をお使いの方 265
Windows ユーティリティ 266
Configuration Tool 266
Windows スクリーンフォント 301
ストレージデバイスマネージャ 302
PDF Print Direct 307
プリントジョブアカウンティング Lite 309
プリントジョブアカウンティングクライアント 310
プリンタ表示言語セットアップ 317
Macintosh ユーティリティ 320
パネル言語セットアップ 320
プリントジョブアカウンティングクライアント 322

ユーティリティの紹介

ユーティリティ一覧

Windows/Macintosh 共通ユーティリティ

ユーティリティ名	説　明	動作環境	参照ページ
PS ハーフトーン調整ユーティリティ	本機の CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整し、写真の印刷濃度を調整できます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版 Mac OS X 10.3 ～ 10.5 （日本語版）	392 ページ
カラー調整ユーティリティ	本機のカラーマッチングを調整します。 パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。		362 ページ
プロファイルアシスタント　※	本機のハードディスク内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。		353 ページ
Web ブラウザ	本機に表示されているメッセージを確認したり、ネットワークの設定の他、各種設定を行うことができます。	Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上、または、Safari がインストールされ、TCP/IP で動作しているコンピュータ	497 ページ
プリントジョブアカウンティングクライアント	プリンタドライバにユーザ名およびユーザ ID を設定することができます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 Mac OSX 10.3 ～ 10.5	310 ページ 322 ページ

※ ソフトウェア CD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。

Windows 用ユーティリティ

ユーティリティ名	説　明	動作環境	参照ページ
Configuration Tool	MC860 のメニューやアクセス制御の設定を変更したり、MC860 へ E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイル、自動配信を登録するユーティリティです。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ	266 ページ
Windows スクリーンフォント	本機に搭載されている書体のうち和文フォント名と欧文フォント名（136 書体中 115 書体）をアプリケーションのフォントリストに表示します。		301 ページ
色見本印刷ユーティリティ	本機で RGB 色の見本を印刷します。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのような RGB 色の指定をするか確認することができます。 プリンタドライバと同時にインストールされます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版	390 ページ
AdminManager	本機のネットワークの設定や IP アドレスの変更ができます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版 TCP/IP で動作しているコンピュータ	562 ページ
Quick Setup	ネットワークの各プロトコルの有効 / 無効を簡易に設定します。		567 ページ
OKI LPR ユーティリティ	ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、本機の状態を確認することができます。	Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2003 日本語版が TCP/IP で動作しているコンピュータ	570 ページ

ユーティリティ名	説　明	動作環境	参照ページ
Network Extension	プリンタドライバから本機の設定項目を確認したり、オプション構成の設定ができます。ネットワーク接続でプリンタドライバをインストールした時は、自動的にインストールされます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 TCP/IP で動作しているコンピュータ	580 ページ
PrintSuperVision MultiPlatform Edition ※ 1	ネットワークに接続されるMC860 やプリンタを管理するWeb ベースのアプリケーションです。複数の装置の設定情報や消耗品情報を確認できます。	Windows Server 2003、Windows XP または Windows 2000 詳しくは沖データホームページをご覧ください。	–
Web Driver Installer ※ 1	ネットワーク接続されるMC860 やプリンタを表示し、プリンタドライバインストールモジュールをダウンロードし、クライアントのコンピュータにインストールするWeb アプリケーションです。	Windows Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000 日本語版 詳しくは、沖データホームページをご覧ください。	–
ネットワークステータスモニタ ※ 1	ネットワーク接続されているMC860 やプリンタの状態を監視することができます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版※ 3 で TCP/IP で動作しているコンピュータ Microsoft Internet Explorer Ver.4.0 以上	–
TELNET	本機のネットワークの設定をすることができます。		583 ページ
ストレージデバイスマネージャ※ 1	フォームデータの登録や削除、スプールジョブの管理をします。	Windows XP/ Windows 2000/Windows Server 2003 日本語版 ※ 2	302 ページ
PDF Print Direct	アプリケーションを起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版	307 ページ

ユーティリティ名	説　明	動作環境	参照ページ
プリンタ表示言語セットアップ	本機の操作パネルの表示や、メニュー一印刷に使用する言語を設定します。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版	317 ページ
ActKey	スキャンするときに使用します。		220 ページ
プリントジョブアカウンティング Lite ※ 1	ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うことができます。	Windows Vista/ Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版 ※ 3	309 ページ

※ 1　ソフトウェア CD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。
※ 2　Windows Vista/Windows Vista(64 bit版)/Windows Server 2008/Windows Server 2008(64 bit版)/Windows XP(x64 版)/Windows Server 2003(x64 版)では使用できません。
※ 3　Windows Vista(64bit 版)/Windows XP(x64 版)/Windows Server 2008(64bit版)/Windows Server 2003(x64 版)では使用できません。

Macintosh 用ユーティリティ

ユーティリティ名	説　明	動作環境	参照ページ
NIC Setup Utility	本機のネットワーク関連の設定を行うことができます。	Mac OS X 10.3 ～ 10.5 日本語版 TCP/IP が動作しているコンピュータ	584 ページ
パネル言語セットアップ	本機の操作パネルの表示や、メニュー一印刷に使用する言語を設定します。	Mac OS X 10.3 ～ 10.5 (日本語版)	320 ページ

ユーティリティのインストール方法

Windows をお使いの方

以下の手順で、お使いになりたいユーティリティソフトウェアをインストールします。

「Windows スクリーンフォント」のインストールについては、「Windows スクリーンフォント」（301 ページ）をご覧ください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

Windows Vista 以降で、[自動再生] が表示されたら [setup.exe の実行] をクリックします。
Windows Vista 以降で、[ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❷「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❸ [カラーソフトウェア]、[ネットワークソフトウェア] または [その他のソフトウェア] をクリックします。

❹ インストールしたいユーティリティをクリックします。

❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

❻「OKI Printing Solutions」画面の右上の ☒ または [終了] をクリックします。

Macintosh をお使いの方

以下の手順で、お使いになりたいユーティリティソフトウェアをインストールします。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸ インストールしたいユーティリティと同じ名前のフォルダを開きます。

❹ フォルダ内のインストーラアイコンをダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

Windows ユーティリティ

Configuration Tool

Configuration Tool は MC860 の設定を変更したり管理するユーティリティです。
Configuration Tool は複数の MC860 を簡単に設定 / 管理するために以下の機能があります。

- デバイスの装置情報を表示する
- デバイスのメニューを設定する
- デバイスの設定を複製する
- デバイスのパスワードを変更する
- デバイスの E メールアドレスを登録 / 編集する
- デバイスの短縮ダイヤルを登録 / 編集する
- デバイスのプロファイルを登録 / 編集する
- デバイスのアクセス制御を設定する
- デバイスの自動配信を登録 / 編集する

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- ユーザー設定によっては、一部の機能が使えない場合があります。その場合は管理者の権限でコンピュータにログインしてください。
- Windows 2000 日本語版では、Service Pack4 及び KB891861 (http://support.microsoft.com/?kbid=891861) がインストールされている必要があります。
- Internet Explorer 5.5 SP1 以上がインストールされている必要があります。

本項の説明は、全て Windows XP Home Edition を例にしています。

セットアップする

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷「その他のソフトウェア」-「Configuration Tool」をクリックします。

❸ インストールしたいプラグインを選択します。

- User Setting プラグイン
  E メールアドレスや電話帳を登録・編集したりアクセス制御などを設定します。インストールすると User Setting タブが追加されます。詳しくは、268 ページを参照してください。
- Device Setting プラグイン
  MC860 のメニューを設定したり、設定を別の MC860 にクローニング（複製）します。インストールすると Device Setting タブが追加されます。詳しくは、293 ページを参照してください。
- Alert Info プラグイン
  ファクスを受信したり、印刷が完了したときなどに、それを知らせるメッセージをコンピュータに表示するを設定します。インストールすると Plug-in メニューに追加されます。詳しくは、296 ページを参照してください。

メモ　プラグインは、後で追加インストールすることもできます。

❹ インストール先のフォルダを指定します。
工場出荷時の設定では、C:¥Program Files¥Okidata¥Configuration Tool が指定されています。

❺［インストール］をクリックします。

❻「インストールが完了しました」が表示されたら、［閉じる］をクリックします。

メモ　再起動画面が表示されたら、画面の指示に従いコンピュータを再起動してください。

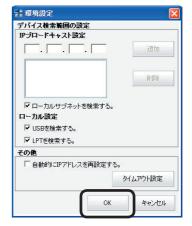
Configuration Tool を使用する

■ Configuration Tool に MC860 を登録する

初めて Configuration Tool を使うときや新しく MC860 を導入したときは、Configuration Tool に登録する必要があります。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［Configuration Tool］-［Configuration Tool］を選択します。

❷「ツール」メニューの「デバイスの登録」を選択し、登録可能なデバイスを検索します。

メモ　MC860 を検索する範囲を変更するには、「ツール」メニューの「環境設定」を選択します。

検索したい範囲を入力し、［OK］をクリックします。

❸ 設定や管理をしたい MC860 にチェックをつけ、［登録］をクリックします。

❹ ウインドウ右上の ☒ をクリックまたは［キャンセル］して、「デバイスの登録」画面を閉じます。

Device Info タブ

MC860 のステータスや詳細情報を見ることができます。
この機能は、Configuration Tool に標準で用意されています。

❶「登録デバイス一覧」から情報を見たい MC860 をクリックします。

MC860 の状態が表示されます。

情報を更新するには、［デバイスステータスの更新］をクリックします。

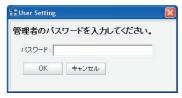
デバイスステータスは、デバイスがネットワークに接続されている場合に表示されます。

User Setting タブ

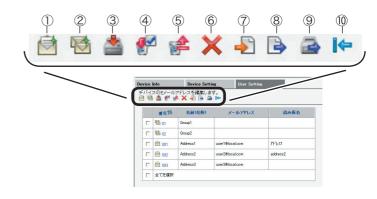
User Setting プラグインをインストールした場合に表示されます。
MC860 に E メールアドレスや短縮ダイヤルを登録・編集したり、PIN などを設定することができます。

- User Setting タブの機能を使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。管理者の権限が無いユーザーアカウントで Windows にログインしている場合は、User Setting タブは表示されません。
- MC860 へ登録している項目数が多いマネージャーは、表示に時間が掛かる場合があります。
- 各マネージャーを使用する前に［アドレス情報ロックタイムアウト］の設定を変更する事を推奨します。
  この時間を過ぎてしまうと MC860 に反映ができません。
  各マネージャーの使用後は、元の設定値に戻してください。
  ［アドレス情報ロックタイムアウト］には 1 分から 10 分の間で指定できます。

各マネージャーの実行には MC860 の管理者のパスワードが必要です。
「管理者のパスワードを入力してください」と表示されたら、MC860 の管理者のパスワードを入力して［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定では、管理者パスワードは[aaaaaa]になっています。
コンピュータの管理者のパスワードではありません。

E メールアドレスマネージャー（User Setting タブ内）

MC860 の E メールアドレスを登録・編集します。

- E メールアドレスマネージャー実行中は、他の Configuration Tool の E メールアドレスマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- E メールアドレスマネージャー実行中は、MC860 の操作パネルから E メールアドレスの登録・編集はできません。
- E メールアドレスマネージャー実行中は、MC860 の Web ブラウザから自動配信設定の登録・編集はできません。
- MC860 の操作パネルから E メールアドレスの登録・編集中は、E メールアドレスマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- MC860 の Web ブラウザから自動配信設定の登録・編集中は、E メールアドレスマネージャーは読み取り専用で表示されます。
- E メールアドレスマネージャーの実行後、MC860 への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、MC860 へ書き込みできなくなります。
  その場合は一度ファイルへエクスポートし、E メールアドレスマネージャーの再実行後にインポートする事で編集内容を復旧できます。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成（E メールアドレス）	E メールアドレスの新規作成を行います。	270 ページ
②		新規作成（グループ）	E メールアドレスグループの新規作成を行います。	271 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	–
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	272 ページ
⑤		削除して繰り上げ	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除した後、現在の項目に割り当てられている短縮番号を繰り上げます。	272 ページ
⑥		全て削除	全ての E メールアドレス、グループを削除します。	272 ページ
⑦		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	273 ページ
⑧		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	272 ページ
⑨		デバイスからインポート	他のデバイスに登録されている E メールアドレスを、現在の内容に追加、更新します。	273 ページ
⑩		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	–

■ E メールアドレスを MC860 に登録する

❶ ［新規作成（E メールアドレス）］アイコンをクリックします。

❷「名前」「メールアドレス」「読み仮名」を入力し、[OK] をクリックします。

メモ
- E メールアドレス番号は空いている番号が自動的に選択されます。変更したいときは、[番号を選択する] にチェックを付けます。
- 既に登録されている E メールアドレスに関連付けられている番号を使用する場合は、その番号以降の番号が繰り下がります。
この時 MC860 へ現在の内容を保存する必要があります。
- [読み仮名] は、半角英数字及び半角カタカナのみ 8 文字まで登録可能です。

❸［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ 登録した E メールアドレスを編集する

❶ 編集したい E メールアドレスの番号をクリックします。

❷「名前」「メールアドレス」「読み仮名」を編集し、[OK] をクリックします。

❸［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ グループを登録する

複数の宛先にEメールを送信したい場合、グループを登録しておくと一度の操作で送信できます。

❶ ［新規作成（グループ）］アイコンをクリックします。

❷ グループの名称を入力します。

❸ グループに入れるEメールアドレスを選択し、［追加］をクリックします。

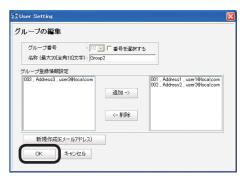
メモ　グループに入れたいEメールアドレスが登録されていない場合は、［新規作成（Eメールアドレス）］をクリックして、Eメールアドレスを登録します。

注　グループに登録するEメールアドレスには、［@］記号が含まれている必要があります。

❹ ［OK］をクリックします。

■ グループを編集する

❶ 編集したいグループの番号をクリックします。

❷ 登録内容を編集し、［OK］をクリックします。

メモ　読み取り専用になっていて、編集できない場合は、グループに登録されているEメールアドレスの確認のみできます。

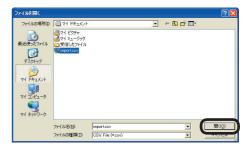
■ E メールアドレスやグループを削除する

❶ 削除したい E メールアドレスやグループを選択し、[削除] アイコンをクリックします。

メモ ［削除して繰り上げ］アイコンをクリックすると、E メールアドレスやグループを削除して番号を 1 つ繰り上げます。この時 MC860 へ現在の内容を保存する必要があります。
［全て削除］アイコンをクリックすると、全ての E メールアドレスとグループを削除します。

❷ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ ファイルから E メールアドレスを読み込む

ファイルへ書き出した E メールアドレスを復元できます。

❶ ［ファイルからインポート］アイコンをクリックします。

❷ ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸ 画面からインポートする E メールアドレスやグループを選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます。）

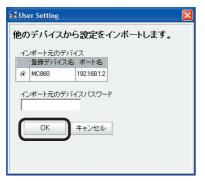
❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

メモ MC860 に接続された E メールアドレスマネージャー以外で作成された CSV ファイルはサポートされません。

■ 他の MC860 から E メールアドレスを読み込む

他の MC860 から E メールアドレスを読み込むことができます。

❶ ［デバイスからインポート］アイコンをクリックします。

❷ インポート元の MC860 を選択し、インポート元の MC860 の管理者のパスワードを入力して［OK］をクリックします。

❸ 画面からインポートする E メールアドレスやグループを選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます）

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ E メールアドレスをファイルへ書き出す

❶ ［ファイルへエクスポート］アイコンをクリックします。

❷ ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、［保存］をクリックします。

注 ファイルへ書き出された CSV ファイルを編集した場合、E メールアドレスマネージャーで正常に復元できない場合があります。

■ E メールアドレスの表示順を変更する

番号、名前（名称）、メールアドレス、読み仮名　それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に E メールアドレスを並び替えます。

6

便利なユーティリティソフトウェア

短縮ダイヤルマネージャー

MC860 の短縮ダイヤルを登録・編集します。

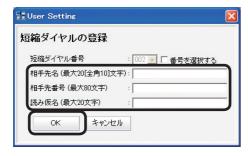
- 短縮ダイヤルマネージャー実行中は、他の Configuration Tool の短縮ダイヤルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 短縮ダイヤルマネージャー実行中は、MC860 の操作パネルから短縮ダイヤルの登録・編集はできません。
- 短縮ダイヤルマネージャー実行中は、MC860 の Web ブラウザから自動配信設定の登録・編集はできません。
- MC860 の操作パネルから短縮ダイヤルの登録・編集中は、短縮ダイヤルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- MC860 の Web ブラウザから自動配信設定の登録・編集中は、短縮ダイヤルマネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 短縮ダイヤルマネージャーの実行後、MC860 への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、MC860 へ書き込みできなくなります。
  その場合は一度ファイルへエクスポートし、短縮ダイヤルマネージャーの再実行後にインポートする事で編集内容を復旧できます。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成（短縮ダイヤル）	短縮ダイヤルの新規作成を行います。	275 ページ
②		新規作成（グループ）	短縮ダイヤルグループの新規作成を行います。	276 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	－
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	277 ページ
⑤		削除して繰り上げ	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除した後、現在の項目に割り当てられている短縮番号を繰り上げます。	277 ページ
⑥		全て削除	全ての短縮ダイヤル、グループを削除します。	277 ページ
⑦		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	278 ページ
⑧		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	277 ページ
⑨		デバイスからインポート	他のデバイスに登録されている短縮ダイヤルを、現在の内容に追加、更新します。	278 ページ
⑩		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	－

■ 短縮ダイヤルを MC860 に登録する

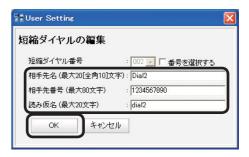
❶ ［新規作成（短縮ダイヤル）］アイコンをクリックします。

❷「相手先名」「相手先番号」「読み仮名」を入力し、［OK］をクリックします。

注
- 相手先番号は、市外局番、局番、番号の間にハイフンをいれず、続けて入力します。
- ダイヤル記号は、直接キーボードから入力する必要があります。

- 短縮ダイヤル番号は空いている番号が自動的に選択されます。変更したいときは、［番号を選択する］にチェックを付けます。
- 既に登録されている短縮ダイヤルに関連付けられている番号を使用する場合は、その番号以降の番号が繰り下がります。
  この時 MC860 へ現在の内容を保存する必要があります。
- 読み仮名は、半角英数字及び半角カタカナのみ 8 文字まで登録可能です。

■ 登録した短縮ダイヤルを編集する

❶ 編集したい短縮ダイヤルの番号をクリックします。

❷「相手先名」「相手先番号」「読み仮名」を編集し、［OK］をクリックします。

❸ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ グループを登録する

複数の宛先にファクスを送信したい場合、グループを登録しておくと一度の操作で送信できます。

❶ ［新規作成（グループ）］アイコンをクリックします。

❷ グループの名称を入力します。

❸ グループに入れる短縮ダイヤルを選択し、［追加］をクリックします。

メモ　グループに入れたい短縮ダイヤルが登録されていない場合は、［新規作成（短縮ダイヤル）］をクリックして、短縮ダイヤルを登録します。

❹［OK］をクリックします。

■ グループを編集する

❶ 編集したいグループの番号をクリックします。

❷ 登録内容を編集し、［OK］をクリックします。

メモ　読み取り専用になっていて、編集できない場合は、グループに登録されている短縮ダイヤルの確認のみできます。

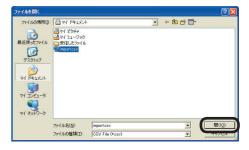
■ 短縮ダイヤルやグループを削除する

❶ 削除したい短縮ダイヤルやグループを選択し、［削除］アイコンをクリックします。

メモ ［削除して繰り上げ］アイコンをクリックすると、短縮ダイヤルやグループを削除して番号を 1 つ繰り上げます。この時 MC860 へ現在の内容を保存する必要があります。
［全て削除］アイコンをクリックすると、全ての短縮ダイヤルとグループを削除します。

❷ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ ファイルから短縮ダイヤルを読み込む

ファイルへ書き出した短縮ダイヤルを復元できます。

❶ ［ファイルからインポート］アイコンをクリックします。

❷ ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸ 画面からインポートする短縮ダイヤルやグループを選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます）

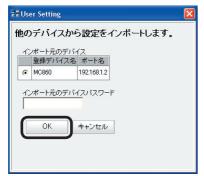
❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

メモ ファクスドライバからエクスポートした CSV ファイルを読み込む事も可能です。
MC860 に接続された短縮ダイヤルマネージャー以外で作成された CSV ファイルはサポートされません。

■ 他の MC860 から短縮ダイヤルを読み込む

他の MC860 から短縮ダイヤルを読み込むことができます。

❶ [デバイスからインポート］アイコンをクリックします。

❷ インポート元の MC860 を選択し、インポート元の MC860 の管理者のパスワードを入力して［OK］をクリックします。

❸ 画面からインポートする短縮ダイヤルやグループを選択して、[インポート] をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます ）

❹ [デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ 短縮ダイヤルをファイルへ書き出す

❶ [ファイルへエクスポート］アイコンをクリックします。

❷ ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、[保存］をクリックします。

ファイルへ書き出された CSV ファイルを編集した場合、短縮ダイヤルマネージャーで正常に復元できない場合があります。

■ 短縮ダイヤルの表示順を変更する

番号、相手先名（名称）、相手先番号、読み仮名　それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に短縮ダイヤルを並び替えます。

プロファイルマネージャー(User Setting タブ内)

MC860 のプロファイルを登録・編集します。

- プロファイルマネージャー実行中は、他の Configuration Tool のプロファイルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- プロファイルマネージャー実行中は、MC860 の操作パネルからプロファイルの登録・編集はできません。
- プロファイルマネージャー実行中は、MC860 の Web ブラウザからプロファイル、自動配信設定、通信データ保存設定の登録・編集はできません。
- MC860 の操作パネルからプロファイルの登録・編集中は、プロファイルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- MC860 の Web ブラウザからプロファイル、自動配信設定、通信データ保存設定の登録・編集中は、プロファイルマネージャーと自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- プロファイルマネージャーの実行後、MC860 への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、MC860 へ書き込みできなくなります。
  その場合は一度ファイルへエクスポートし、プロファイルマネージャーの再実行後にインポートする事で編集内容を復旧できます。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成	プロファイルの新規作成を行います。	280 ページ
②		コピーして新規作成	チェックボックスにチェックが入っている項目の内容をコピーして、プロファイルの新規作成を行います。	280 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	−
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	281 ページ
⑤		全て削除	全てのプロファイルを削除します。	281 ページ
⑥		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	283 ページ
⑦		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	282 ページ
⑧		デバイスからインポート	他のデバイスに登録されているプロファイルを、現在の内容に追加、更新します。	282 ページ
⑨		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	−

メモ　[コピーして新規作成] アイコンは、チェックが入っている項目が一つの場合のみ使用できます。

6 便利なユーティリティソフトウェア

■ プロファイルを MC860 に登録する

❶ [新規作成]アイコン、または [コピーして新規作成]アイコンをクリックします。

❷「プロファイル名」「プロトコル」などを入力し、[OK] をクリックします。

- プロファイル名　：プロファイルの名前を入力します。
- プロトコル　　　：プロファイルのプロトコルを選択します。
- 通信の暗号化　　：プロトコルに暗号化を使用するかを選択します。
- ポート番号　　　：プロトコルで使用するポート番号を入力します。[プロトコル] と [通信の暗号化] の設定により自動的に切り替わります。
- 対象 URL　　　　：保存先のサーバ名とディレクトリ名をパスの形式で入力します。
- CIFS 文字セット ：プロトコルで使用する文字セットを選択します。
- ホスト側漢字コード：[対象 URL] に日本語を入力した時の文字コードの種類を選択します。
- ユーザ名　　　　：サーバにアクセスするユーザ名を入力します。
- パスワード　　　：サーバにアクセスするユーザのパスワードを入力します。
- ファイル名　　　：保存するファイル名を入力します。

メモ

[コピーして新規作成] アイコンからの新規作成時には、[プロファイル名]、[ユーザ名]、[パスワード] 以外は予め入力、選択されています。

プロファイルでは「ファイル名」欄に #n や #d を指定することができます。
#n を指定した場合：00000 ～ 99999 の 5 桁の連番
#d を指定した場合：ファイル作成日時　yymmddhhmmss の 12 桁の数字
yy　：作成した年（西暦の下2 桁）hh　：作成した時（00 ～ 23）
mm：作成した月（01 ～ 12）　　mm：作成した分（00 ～ 59）
dd　：作成した日（01 ～ 31）　　ss　：作成した秒（00 ～ 59）
* ファイル作成日時は MC860 のタイマーの値となります。

ファイル名の指定例（ファイル形式が PDF の場合）
Data#n と指定した場合
　Data00000.pdf、Data00001.pdf などのファイル名で保存されます。
File#d と指定した場合
　File090715185045.pdf などのファイル名で保存されます。
Scan と指定した場合
　最初は Scan.pdf が作成され、その後は Scan#d.pdf という形式のファイル名で保存されます。#d は上記を参照してください。
無指定の場合
　最初は Image.pdf が作成され、その後は Image#d.pdf という形式のファイル名で保存されます。#d は上記を参照してください。

プロファイルに登録されているファイル名は、スキャン To CIFS/FTP/HTTP を実行する時に適用されます。これらのファイル名が指定されたプロファイルを使用して自動配信を行った場合には、上記のファイル名称は適用されません。
自動配信時のファイル名称は yymmddhhmmss_xxxxxxxx.pdf という固定の形式になります。
yymmddhhmmss の部分は上記の #d のファイル作成日時で、_xxxxxxxx の部分は他のファイル名と重複しないように 8 桁の英数字（無意味な値）を付加しています。

[詳細表示] をクリックすると、画面が以下のようになり、より詳細な設定ができます。

- 画質　　　　　　：画質を選択します。
- 背景除去 (画質)：画質の背景除去を選択します。
- 濃度　　　　　　：濃度を選択します。
- 解像度　　　　　：解像度を選択します。
- 読取サイズ　　　：読取サイズを選択します。
- コントラスト　　：コントラストを選択します。
- 色相調整　　　　：色相調整を選択します。
- 彩度調整　　　　：彩度調整を選択します。
- 赤色調整　　　　：赤色調整を選択します。
- 緑色調整　　　　：緑色調整を選択します。
- 青色調整　　　　：青色調整を選択します。
- グレースケール　：グレースケールを使用するか選択します。ON に変更すると［ファイル形式］と［圧縮レベル］で、グレースケールが選択可能になります。
- ファイル形式 (カラー)　：カラー時のファイル形式を選択します。
- ファイル形式 (モノクロ): モノクロ時のファイル形式を選択します。［グレースケール］の設定によりグレースケールとモノクロのどちらかが表示されます。

- 圧縮レベル(カラー) ：カラー時の圧縮レベルを選択します。

メモ ファイル形式（カラー）で TIFF が選択された場合､圧縮レベル（カラー）は表示されなくなり変更できなくなります。

- 圧縮レベル(モノクロ): モノクロ時の圧縮レベルを選択します。
  ［グレースケール］の設定によりグレースケールとモノクロのどちらかが表示されます。

メモ ファイル形式(グレースケール)で TIFF が選択された場合､圧縮レベル(グレースケール）は表示されなくなり変更できなくなります。

- 枠消去 ：枠消去を使用するか選択します。OFF の場合は［消し幅(枠消去)］は表示されません。
- 消し幅(枠消去): 枠消去の消し幅を入力します。
- センター消去 ：センター消去を使用するか選択します。OFF の場合は［消し幅(センター消去)］は表示されません。
- 消し幅(センター消去) ：センター消去の消し幅を入力します。
- 簡易表示 ：簡易表示画面に切り換えます。

❸［OK］をクリックします。

❹［デバイスへ保存］をクリックします。

■ プロファイルを編集する

登録されたプロファイルを編集します。

❶ 編集したいプロファイルのプロファイル名をクリックします。

❷「プロファイルの編集」画面で、編集します。

設定できる内容は､「プロファイルを MC860 に登録します」の手順❷をご覧ください。

❸［OK］をクリックします。

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ プロファイルを削除する

❶ 削除したいプロファイルを選択し、［削除］アイコンをクリックします。

メモ ［全て削除］アイコンをクリックすると、全てのプロファイルを削除します。

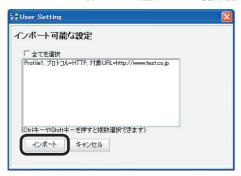
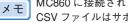
❷ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ ファイルからプロファイルを読み込む

ファイルへ書き出したプロファイルを復元できます。

❶ ［ファイルからインポート］アイコンをクリックします。

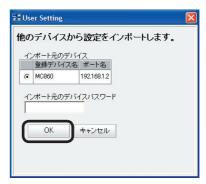
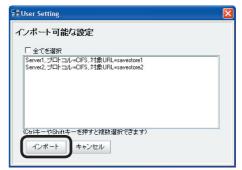
❷ ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸ 画面からインポートするプロファイルを選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます。）

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

メモ MC860 に接続されたプロファイルマネージャー以外で作成された CSV ファイルはサポートされません。

■ 他の MC860 からプロファイルを読み込む

他の MC860 からプロファイルを読み込むことができます。

❶ ［デバイスからインポート］アイコンをクリックします。

❷ インポート元の MC860 を選択し、インポート元の MC860 の管理者のパスワードを入力して［OK］をクリックします。

❸ 画面からインポートするプロファイルを選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます）

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ プロファイルをファイルへ書き出す

❶ ［ファイルへエクスポート］アイコンをクリックします。

❷ ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、［保存］をクリックします。

注
• パスワード情報はファイルに保存されません。
• ファイルへ書き出された CSV ファイルを編集した場合、プロファイルマネージャーで正常に復元できない可能性があります。

■ プロファイルの表示順を変更する

プロファイル名、プロトコル、対象 URL それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基にプロファイルを並び替えます。

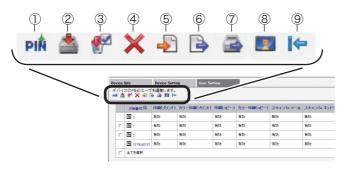
PIN マネージャー（User Setting タブ内）

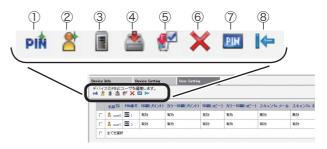
MC860 のアクセス制御を設定することができます。
アクセス可能なユーザを認証するには、MC860 にユーザ情報を持たせる方法と、LDAP サーバを利用する方法、セキュアプロトコルサーバを利用する方法があります。

PIN マネージャーの実行後、Web ブラウザや他のユーティリティで設定が変更されている場合は、MC860 へ書き込みはできません。
その場合は一度ファイルへエクスポートし、PIN マネージャーの再実行後にインポートすることで編集内容を復旧できます。
ただし、復旧できるのは PIN のみです。

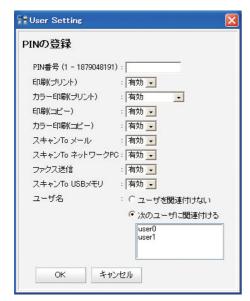
■ アクセス制御を設定する

❶［PIN マネージャー］を選択します。

〈PIN 基準画面の場合〉

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成（PIN）	PIN の新規作成を行います。	285 ページ
②		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	－
③		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	285 ページ
④		全て削除	全ての PIN を削除します。	285 ページ
⑤		ファイルへエクスポート	現在の内容を CSV ファイルへエクスポートします。	287 ページ
⑥		ファイルからインポート	CSV ファイルの内容を現在の内容に追加、更新します。	286 ページ
⑦		デバイスからインポート	他のデバイスに登録されている PIN を、現在の内容に追加、更新します。	286 ページ
⑧		ユーザを基準で表示	ユーザを基準とした画面表示に切り替えます。ユーザが基準の画面表示時は表示されません。	－
⑨		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	－
		PIN の編集	「PIN 編集画面」を表示します。	－
		表示ページの切り替え	複数に分割されている時の表示ページを選択します。	－
		1 ページに表示する数	1 ページに表示する項目数を選択します。	－
		ソート	選択された列を基準にソートします。	287 ページ
		全てを選択	画面上に表示されている全ての項目にチェックを付けます。	－

〈ユーザ基準画面の場合〉

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成（PIN）	PIN の新規作成を行います。	285 ページ
②		新規作成（ユーザ）	PIN と関連付けるユーザの新規作成を行います。PIN が基準の画面表示時は表示されません。	287 ページ
③		LDAP サーバの編集	PIN と関連付けるユーザの名前を参照する LDAP サーバを編集します。PIN が基準の画面表示時は表示されません。	288 ページ
④		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	－
⑤		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	288 ページ
⑥		全て削除	全てのユーザを削除します。	288 ページ
⑦		PIN を基準で表示	PIN を基準とした画面表示に切り替えます。PIN が基準の画面表示時は表示されません。	－
⑧		トップページに戻る	現在の内容を破棄して User Setting Plug-in のトップページに戻ります。	－
		ユーザの編集	「ユーザ編集画面」を表示します。	－

■ PIN を新規作成する

❶ 「新規作成（PIN）」アイコンをクリックします。

❷ PIN 番号に作成したい番号を入力します。

> メモ　既に登録されている PIN 番号は変更できません。

❸ 各値を設定・変更し、必要であれば関連付けるユーザを選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

> メモ　一覧画面で作成した PIN 番号をクリックすると、PIN の設定を変更することができます。

■ PIN を削除する

❶ 削除したい PIN を選択し、［削除］アイコンをクリックします。

> メモ　 ［全て削除］アイコンをクリックすると、全ての PIN を削除します。

❷ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

> 注　以下の PIN 番号は予約 PIN のため、削除できません。
> 0：　未登録の番号を意味します。
> 1879048192：設定印刷を意味します。

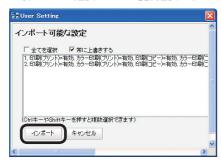
6　便利なユーティリティソフトウェア

■ ファイルから PIN を読み込む

ファイルへ書き出した PIN を復元できます。

❶ ［ファイルからインポート］アイコンをクリックします。

❷ ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸ 画面からインポートする PIN を選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます。）

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

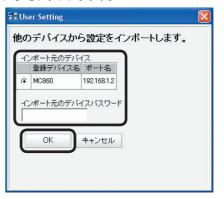
メモ MC860 に接続された PIN マネージャー以外で作成された CSV ファイルはサポートされません。
ただし、C3530MFP MFP セットアップツールの CSV ファイルはサポートされますが、［スキャン To USB メモリ］の設定値はデフォルトで無効になります。

注 ユーザ及びユーザの関連付けは読み込めません。

■ 他の MC860 から PIN を読み込む

他の MC860 から PIN を読み込むことができます。

❶ ［デバイスからインポート］アイコンをクリックします。

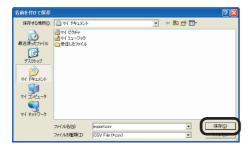
❷ インポート元の MC860 を選択し、インポート元の MC860 の管理者のパスワードを入力して［OK］をクリックします。

❸ 画面からインポートする PIN を選択して、［インポート］をクリックします。（Ctrl キーや Shift キーを押しながら選択すると、複数選択できます）

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

 ユーザ及びユーザの関連付けは読み込めません。

■ PIN をファイルへ書き出す

❶ [ファイルへエクスポート] アイコンをクリックします。

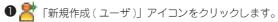
❷ ファイル名、ファイルの保存場所を入力し、[保存] をクリックします。

- ユーザ及びユーザの関連付けは書き出せません。
- ファイルへ書き出されたCSV ファイルを編集した場合、PIN マネージャーで正常に復元できない可能性があります。

■ PIN の表示順を変更する

PIN 番号、印刷 (プリント)、カラー印刷 (プリント)、印刷 (コピー)、カラー印刷 (コピー)、スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、ファクス送信 、スキャン To USBメモリそれぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に PIN を並び替えます。

PIN番号	印刷(プリント)	カラー印刷(プリント)	印刷(コピー)	カラー印刷(コピー)	スキャンTo メール	スキャンTo ネットワ
0	有効	有効	有効	有効	無効	無効
1	有効	有効	有効	有効	有効	有効
2	有効	有効	有効	有効	有効	有効
1879048192	有効	有効	有効	有効	有効	有効

■ ユーザを作成する

❶ 「新規作成 (ユーザ)」アイコンをクリックします。

❷ ユーザ名、パスワードを入力します。

以下のユーザ名は予約ユーザのため、登録できません。
Admin : 管理者のユーザ名を意味します。

[パスワード] 及び [パスワードの再入力] は、MC860 の [ユーザ認証方法] がローカルの場合のみ必要になります。
LDAP 及びセキュアプロトコルの場合は表示されません。

❸ [新しい PIN 番号] に PIN 番号を入力します。

メモ あらかじめ作成した PIN 番号を割り当てることもできます。

❹ 各値を設定し、[OK] をクリックします。

❺ [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

メモ 一覧画面で作成したユーザ名をクリックすると、ユーザの設定を変更することができます。

■ ユーザを削除する

❶ 削除したいユーザを選択し、［削除］アイコンをクリックします。

メモ ［全て削除］アイコンをクリックすると、全てのユーザを削除します。

❷ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

■ ユーザの表示順を変更する

名前、PIN 番号、印刷 (プリント)、カラー印刷 (プリント)、印刷 (コピー)、カラー印刷 (コピー)、スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、ファクス送信 、スキャン To USB メモリそれぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基にユーザを並び替えます。

■ LDAP サーバを設定する

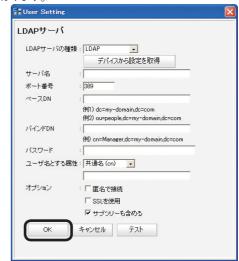
ユーザを作成･編集する時に､ユーザ名の一覧を取得するLDAP サーバを設定します。

この設定を変更しても、MC860 の［LDAP サーバ設定］には影響しません。

❶ ［LDAP サーバの編集］アイコンをクリックします。

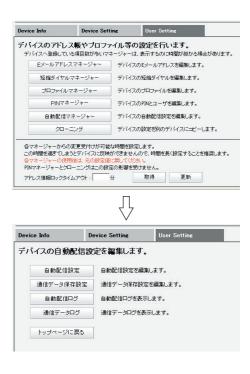
❷ 使用する LDAP サーバの種類、サーバ名、ポート番号、ベース DN、パスワード、ユーザ名とする属性を入力し、［OK］をクリックします。

サーバの種類によって、表示される画面と入力する項目が異なる場合があります。

[ユーザ名とする属性] を [直接入力] と選択した場合、[ユーザ名とする属性] の選択欄の下段の空白の欄に属性名を入力する必要があります。

メモ
- 必要に応じて、オプションをチェックします。
  MC860 で利用している LDAP サーバの設定を利用する場合は､[デバイスから設定を取得］をクリックします。
- 入力が終わったら、［テスト］ボタンをクリックして LDAP サーバに正常にアクセスできるか確認できます。

自動配信マネージャー（User Setting タブ内）

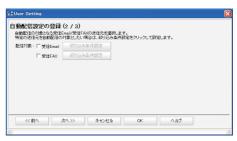
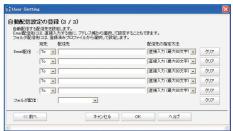
受信したファクスを自動的に E メールに変換して送信したり、MC860 が受信した E メールを自動的に配信できます。

- 自動配信マネージャー実行中は、他の Configuration Tool の E メールアドレスマネージャー、短縮ダイヤルマネージャー、プロファイルマネージャー、自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 自動配信マネージャー実行中は、MC860 の操作パネルから E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイルの登録・編集はできません。
- 自動配信マネージャー実行中は、MC860 の Web ブラウザからプロファイル、自動配信設定、通信データ保存設定の登録・編集はできません。
- MC860 の操作パネルから E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイルの登録・編集中は、自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- MC860 の Web ブラウザからプロファイル、自動配信設定、通信データ保存設定の登録・編集中は、自動配信マネージャーは読み取り専用で表示されます。
- 自動配信マネージャーの実行後、MC860 への登録間隔が［アドレス情報ロックタイムアウト］で指定された時間経過すると、MC860 へ書き込みできなくなります。
  その場合は［アドレス情報ロックタイムアウト］を変更することを推奨します。

■ 自動配信設定をする

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		新規作成	自動配信設定の新規作成を行います。	290 ページ
②		コピーして新規作成	チェックボックスにチェックが入っている項目の内容をコピーして、自動配信設定の新規作成を行います。	290 ページ
③		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	—
④		削除	チェックボックスにチェックが入っている項目を削除します。	291 ページ
⑤		全て削除	全ての自動配信設定を削除します。	291 ページ
⑥		前に戻る	自動配信の機能選択ページに戻ります。	—

メモ [コピーして新規作成] アイコンは、チェックが入っている項目が一つの場合のみ使用できます。

❶ [新規作成] アイコン、または [コピーして新規作成] アイコンをクリックします。

❷ [自動配信設定の登録ウィザード] が起動するので、画面に従って各項目を入力し、[OK] をクリックします。

メモ [配信先] の [フォルダ配信] は、空白の項目を選択すると設定が解除されます。
[コピーして新規作成] アイコンからの新規作成する時には、[配信設定名] 以外は予め入力、選択されています。

❸ [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

特定のEメールやファクスのみを自動配信したい場合は、[受信Email] 又は [受信FAX] にチェックを付け、[絞り込み条件設定] をクリックして、条件を入力します。

■ 自動配信設定を削除する

❶ 削除したい自動配信設定を選択し、[削除] アイコンをクリックします。

[全て削除] アイコンをクリックすると、全ての自動配信設定を削除します。

❷ [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

■ 自動配信設定の表示順を変更する

自動配信設定番号、配信設定名、配信設定それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に自動配信設定を並び替えます。

■ 通信データ保存設定をする

通信したデータをサーバなどに保存して置きたい場合に設定します。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	―
②		前に戻る	自動配信の機能選択ページに戻ります。	―

❶ [通信データ保存設定] をクリックします。

❷ 保存したい項目を [有効] にします。

❸ 保存先のプロファイルを選択します。

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

▪ 自動配信の履歴を確認する

❶［自動配信ログ］をクリックします。

❷ 確認しおわったら、［前に戻る］アイコンをクリックします。

▪ 通信データの履歴を確認する

❶［通信データログ］をクリックします。

❷ 確認しおわったら、［前に戻る］アイコンをクリックします。

クローニング（設定の複製）

現在使用している MC860 の設定を、別の MC860 にクローニング（複製）することができます

❶［クローニング］をクリックします。

❷ クローニング先の MC860 をポート名や登録デバイス名で確認し、チェックを付けます。

メモ　自動配信設定に E メールアドレスや短縮ダイヤル、プロファイルが関連付いている場合は、自動配信にチェックを付けるとこれらも自動的にチェックが付けられます。

❸ 複製する設定にチェックを付け、[実行] をクリックします。

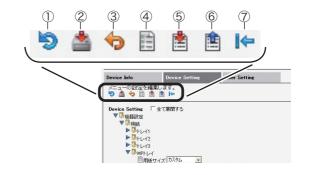
❹ クローニング先のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❺ クローニングが終了したら、結果が表示されます。

[成功] と表示されていることを確認します。

- [失敗] と表示されている箇所は、クローニングされていません。もう一度クローニングを行なってください。
- クローニング元の MC860 が、操作パネルや Web ブラウザ、他の Configuration Tool によって E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイル、自動配信を使用している時は、それらの使用されている機能のクローニングはできません。
- クローニング先の MC860 が、操作パネルや Web ブラウザ、他の Configuration Tool によって E メールアドレス、短縮ダイヤル、プロファイル、自動配信を使用している時、又は時刻指定送信に登録されている時は、それらの使用されている機能のクローニングはできません。

Device Setting タブ

Device Setting プラグインをインストールした場合に表示されます。
MC860 のメニューを設定したり、設定を別の MC860 にクローニング（複製）することができます。
Device Setting タブの機能を使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。管理者の権限が無いユーザーアカウントで Windows にログインしている場合は、Device Setting タブは表示されません。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作	説明ページ
①		設定の再読み込み	デバイスから設定を再度読み込みます。	–
②		デバイスへ保存	現在の内容を保存します。	–
③		変更前に戻す	現在の内容を破棄して、既に読み込んである設定に戻します。	–
④		管理者設定を表示	管理者設定を表示します。	–
⑤		設定のバックアップ	現在の内容をファイルに保存します。	294 ページ
⑥		設定のリストア	ファイルの設定で内容を復元します。	294 ページ
⑦		トップページに戻る	現在の内容を破棄して Device Setting Plug-in のトップページに戻ります。	–

メニューの設定を変更する

❶［メニュー設定］をクリックします。

❷ 変更したいメニューを、▶マークをクリックして開きます。

メモ [全て展開する]オプションをチェックするとメニューが全て開きます。チェックを外すとメニューが全て閉じます。

❸ ▼を押して、設定値を変更します。

- 数値や文字を入力する設定値においては、[有効値チェック]ボタンや［有効文字確認］ボタンをクリックしないと、変更されたことにはなりません。
- [プリンタ機能]-[ＰＣＬ設定]-[使用フォント]を変更して保存した場合、[フォント No.]は MC860 から再度設定を読み込む事によって変更可能になります。
- [スキャナ機能]-[スキャン初期値]-[ファイル形式]のカラー及びグレースケールで TIFF が選択された場合、圧縮レベル(カラー及びグレースケール)は表示されなくなり変更できなくなります。
- [コピー機能]-[コピー初期値]-[枠消去]及び[センター消去]の設定が OFF の場合、[消し幅]は表示されません。
- [スキャナ機能]-[スキャン初期値]-［枠消去］及び[センター消去]の設定が OFF の場合、[消し幅]は表示されません。

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

 管理者設定を表示するには、MC860 の管理者のパスワードが必要です。

 ネットワークメニューや一部のメニューは本機能でサポートしていません。

■ 設定をファイルに保存する

現在の設定を、ファイルに書き出して保存します。
メニューのバックアップをとっておくことができます。

❶［メニュー設定］をクリックします。

❷ ［設定のバックアップ］アイコンをクリックします。

❸ ファイル名、保存場所を入力して、[OK］をクリックします。

注 MC860 の管理者パスワード、ネットワークメニューや一部のメニューはバックアップされません。

■ 設定をファイルから読み込む

保存しておいた設定を読み込んで復元することができます。
保存しておいた設定を読み込むことで、メニューを簡単に復元することができます。

❶［メニュー設定］をクリックします。

❷ ［設定のリストア］アイコンをクリックします。

❸ 読み込むファイルを選択して、[OK］をクリックします。

 MC860 の管理者パスワード、ネットワークメニューや一部のメニューは復元されません。

 ［デバイスへ保存］アイコンをクリックするまでは、MC860 の設定値は反映されません。

クローニング（設定の複製）

現在使用している MC860 の設定を、別の MC860 にクローニング（複製）することができます

❶［クローニング］をクリックします。

❷ クローニング先の MC860 をポート名や登録デバイス名で確認してチェックを付け、［実行］をクリックします。

❸ クローニング元とクローニング先のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ ［クローニング元のパスワード］欄がグレーアウトしている場合は、入力する必要はありません。クローニング先のパスワードのみを入力してください。

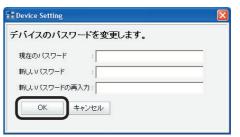
❹ クローニングが終了したら、結果が表示されます。
［成功］と表示されていることを確認します。

- ［失敗］と表示されている箇所は、クローニングされていません。もう一度クローニングを行なってください。
- MC860 の管理者パスワード、ネットワークメニューや一部のメニューはクローニングされません。

パスワードを変更する

MC860 のパスワードを変更します。

❶［パスワード変更］をクリックします。

❷ 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

新しいパスワードは、確認のため、［新しいパスワード］欄と、［新しいパスワードの再入力］欄の 2 ヶ所に入力します。両者が一致しない場合は、警告画面が表示されます。もう一度入力し直してください。

Alert Info メニュー

Alert Info プラグインをインストールした場合に、Plug-in メニューに表示されます。Alert Info を設定すると、ファクスを受信したり、印刷が完了したときなどに、それを知らせるメッセージをコンピュータに表示します。このプラグインでは、「ファクスを受信した」「印刷が完了した」などのジョブが完了することを、「イベント」と呼びます。

Alert Info プラグインを使用する時は、MC860 の時刻設定とタイムゾーンをコンピュータの時刻とタイムゾーンに合わせておく必要があります。

Alert Info プラグインの機能は、ネットワークで接続されている MC860 のみ使用できます。

▪ 設定します

❶「Plug-in」-「Alert Info」を選択します。

❷ 必要に応じて、各設定を変更します。

基本設定

Alert Info プラグインに対する全般的な設定をします。この設定は全ての MC860 に対して有効になります。

ポップアップ通知	MC860 からの通知を受けたとき、ポップアップ表示する、しないを設定します。
ポップアップ時間	ポップアップ表示する時間を設定します。0 の場合は、ポップアップ画面右上の ☒ をクリックするまで表示します。
通信タイムアウト	タイムアウトエラーになるまでの時間を設定します。
問い合わせ間隔	MC860 へイベントの発生状況を問い合わせる間隔を設定します。
取得期間	何日前までに発生したイベントを取得するかを設定します。
ログ保存期間	ログを保存する期間を設定します。

変更した設定を有効にするためには、[更新] をクリックします。

MC860 の時刻設定とタイムゾーンが正しく設定されていないと通知されない場合があります。

デバイス設定

個々の MC860 について設定します。
一覧から、設定する MC860 をクリックします。

［デバイスの更新］をクリックすると、Configuration Tool に登録されている最新の情報に更新されます。必要に応じて、設定を変更します。

通知	MC860 からイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、MC860 からイベントを取得しません。
ファクス送信	ファクス送信のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、ファクス送信の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。
ファクス受信	ファクス受信のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、ファクス受信の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。
文書印刷	文書印刷のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、文書印刷の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。
E メール受信	E メール受信のイベントを取得するかどうかを選択します。 無効にすると、E メール受信の通知は行われずログも保存されません。 ［通知］が無効の場合は変更できません。

変更した設定を有効にするためには、［OK］をクリックします。

- 通知を有効にできる MC860 は 1 台までです。
- 初めて MC860 の［通知］を有効にした時刻を基準として、それ以降に発生したイベントのみを取得します。

［通知］が有効に設定されていない MC860 からはイベントを取得しません。

フィルタ設定

ポップアップ通知の対象となるイベントの条件を設定します。

項　目	設定値	内　容
ファクス送信	全ての送信したファクスを対象	全てのファクス送信の完了を通知します。
	自分が送信したファクスのみ対象	自分が送信したファクスのみを通知します。
ファクス受信	全ての送信元から送られたファクスを対象	ファクス受信した全てを通知します。
	指定された送信元から送られたファクスのみ対象	あらかじめ設定した送信元からファクスが送られてきた場合のみ通知します。
文書印刷	全ての印刷した文書を対象	印刷者を限定せず、全ての場合に通知します。
	自分が印刷した文書のみ対象	自分の印刷が完了したときのみ通知します。
E メール受信	全ての送信者から送られた E メール対象	E メール受信した全てを通知します。
	指定された送信者から送られた E メールのみ対象	あらかじめ設定した送信者から E メールが送られてきた場合のみ通知します。

■ 送信元の指定方法

ここでは、ファクスの送信元を指定する場合を例に説明します。E メールの場合も同様に設定します。

❶［指定された送信元から送られたファクスのみ対象］をチェックします。

❷［ファクス番号］に登録したい相手先の番号を入力し、［追加］をクリックします。

複数の相手先を登録する場合は、手順❷を繰り返します。

❸［OK］をクリックします。

・ファクスの送信元には 100 件まで登録ができます。
・E メールの送信者には 100 件まで登録ができます。

ログの表示

登録した MC860 に発生したイベントのログを表示します。

ログを表示するデバイス	全てのデバイス	［デバイス設定］に登録されている全ての MC860 のログを表示します。
	次のデバイス	［デバイス設定］に登録されている MC860 の中で 1 台のみ選択して、ログを表示します。
表示するログの種類		チェックした種類のログのみを表示します。
ログに含める期間		何日前までのログを表示するか指定します。

■ ログ数の一覧

［ログ数の一覧］をクリックすると、通知されたイベントの総数を表示します。

■ ログの詳細

［ログの詳細］をクリックすると、ログの詳細情報をみることができます。

❶［表示するログの種類］を選択して、見たいログを表示します。

❷［OK］をクリックすると、画面を閉じます。

■ 通知の表示例

MC860 でイベントが発生すると、通知画面が、ポップアップで表示されます。
通知設定やフィルタ条件を設定している場合は、条件に一致したイベントが発生した場合にのみ、通知画面が表示されます。

（本図は 1 例です。設定により、表示される内容が変わります）

［ログの詳細］をクリックすると、詳細な情報を見ることができます。

（本図は 1 例です。設定により、表示される内容が変わります）

Windows スクリーンフォント

プリンタドライバをインストールするだけで本機に搭載されている書体のうち和文フォント名と欧文フォント名（136 書体中 115 書体）がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windows スクリーンフォントは添付されませんが、画面上では Windows のシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

欧文フォント 115 書体		
Albertus MT	Sans Condensed,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLD
Albertus MT Lt	GillSans ExtraBold	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
Albertus MT,ITALIC	GillSans Light	NewCenturySchlbk,ITALIC
Antique Olive Compact	GillSans Light,ITALIC	Optima
Antique Olive Roman	GillSans,BOLD	Optima,BOLD
Antique Olive Roman,BOLD	GillSans,BOLDITALIC	Optima,BOLDITALIC
Antique Olive Roman,ITALIC	GillSans,ITALIC	Optima,ITALIC
AvantGarde	Goudy	Oxford,ITALIC
AvantGarde,BOLD	Goudy ExtraBold	Palatino
AvantGarde,BOLDITALIC	Goudy,BOLD	Palatino,BOLD
AvantGarde,ITALIC	Goudy,BOLDITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Bodoni	Goudy,ITALIC	Palatino,ITALIC
Bodoni Poster	Helvetica	StempelGaramond Roman
Bodoni PosterCompressed	Helvetica Condensed	StempelGaramond Roman,BOLD
Bodoni,BOLD	Helvetica Condensed,BOLD	StempelGaramond Roman,BOLDITALC
Bodoni,BOLDITALIC	Helvetica Condensed,BOLDITALIC	StempelGaramond Roman,ITALIC
Bodoni,ITALIC	Helvetica Condensed,ITALIC	Symbol
Bookman	Helvetica,BOLD	Times
Bookman,BOLD	Helvetica,BOLDITALIC	Times,BOLD
Bookman,BOLDITALIC	Helvetica,ITALIC	Times,BOLDITALIC
Bookman,ITALIC	Helvetica-Narrow	Times,ITALIC
Clarendon	Helvetica-Narrow,BOLD	Univers 45 Light
Clarendon Light	Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	Univers 45 Light,BOLD
Clarendon,BOLD	Helvetica-Narrow,ITALIC	Univers 45 Light,BOLDITALIC
Cooper Black	Joanna MT	Univers 45 Light,ITALIC
Cooper Black,ITALIC	Joanna MT,BOLD	Univers 47 CondensedLight,BOLD
Copperplate32bc	Joanna MT,BOLDITALIC	Univers 47 CondensedLight,BOLDITALIC
Copperplate33bc	Joanna MT,ITALIC	Univers 55
Coronet,ITALIC	Letter Gothic	Univers 55,ITALIC
Courier	Letter Gothic,BOLD	Univers 57 Condensed
Courier,BOLD	Letter Gothic,BOLDITALIC	Univers 57 Condensed,ITALIC
Courier,BOLDITALIC	Letter Gothic,ITALIC	Univers Extended
Courier,ITALIC	Lubalin Graph	Univers Extended,BOLD
Eurostile	Lubalin Graph,BOLD	Univers Extended,BOLDITALIC
Eurostile Bold	Lubalin Graph,BOLDITALIC	Univers Extended,ITALIC
Eurostile ExtendedTwo	Lubalin Graph,ITALIC	ZapfChancery,ITALIC
Eurostile ExtendedTwo,BOLD	Marigold,ITALIC	ZapfDingbats
GillSans	Mona Lisa Recut	
GillSans Condensed	NewCenturySchlbk	

ストレージデバイスマネージャ

本機のフォームデータの登録や削除、スプールジョブの管理をするユーティリティです。

- ストレージデバイスマネージャは「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、PS パーティション (%disk0%) へのアクセス、フォームの登録、フォームのテスト印刷、保存ジョブの印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては､「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。
- ストレージデバイスマネージャは、MC860 の以下の機能を使用することはできません。
  - 内蔵ハードディスクの初期化
  - フラッシュメモリの初期化

これらの機能は、操作パネルから使用してください。

動作環境

Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0 以上がインストールされていること

Windows Vista/Windows Vista(64bit版)/Windows Server 2008/Windows Server 2008(64bit版)/Windows XP(x64版)/Windows Server 2003(x64版)では使用できません。

インストールする

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動する

❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

フォームを登録する（フォームオーバーレイ）

本機に帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。ここでは、フォームの登録方法を説明します。印刷方法については、「登録したフォームを重ねて印刷する」（73 ページ）をご覧ください。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

Windows PS プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 フォームを作成します。

❶［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは、「印刷データをファイルに出力したい」（87 ページ）をご覧ください。

❷ 本機に登録したいフォームを作成します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、［フォームの作成］を選択します。

（Windows XP の画面）

❻ 印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❼［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームを本機に登録します。

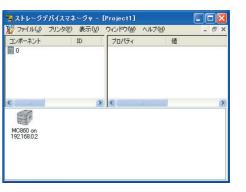
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で本機を接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。

プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、[OK] をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウで本機を選択し、[ファイル] メニューから [プロジェクトの送信] を選択します。フォームファイルが本機に登録されます。

❽ 完了画面で [OK] をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

❿ 登録したフォームを重ねて印刷するには、「登録したフォームを重ねて印刷する」(73 ページ) をご覧ください。

▪ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成します。

❶ [印刷先のポート] を [FILE:] にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」(87 ページ) をご覧ください。

❷ 本機に登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ [印刷先のポート] を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームを本機に登録します。

❶ [スタート] - [すべてのプログラム] (Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で本機を接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ [ファイル] メニューから [プロジェクトの新規作成] を選択します。

❺ [ファイル]メニューの[プロジェクトへファイルの追加]を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、[ID]に任意の数字を入力し、[OK]をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウで本機を選択し、[ファイル]メニューから[プロジェクトの送信]を選択します。フォームファイルが本機に登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

❿ 登録したフォームを重ねて印刷するには、「登録したフォームを重ねて印刷する」（73 ページ）をご覧ください。

内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）

内蔵ハードディスクやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](Windows 2000 では[プログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で本機を接続しているポートを選択し、[開始］をクリックします。

❸［終了］をクリックします。

❹［閉じる］をクリックします。

❺ 下のウィンドウで本機を選択し、[プリンタ] メニューから [リソースを表示する] を選択します。

❻ 内蔵ハードディスクの場合は ［DISK0]を、フラッシュメモリの場合は[FLASH0]を選択します。

❼［表示］メニューから［詳細］を選択します。

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量が Byte 単位で表示されます。

名前	サイズ	空き領域	ロケーション	用途
ボリューム 0:	2000576512	2000543744	HDD0	PCL
ボリューム 1:	5001453568	5000052736	HDD0	COMMON
ボリューム %dis...	3000868864	3000442880	HDD0	PS

フラッシュメモリの場合は、[PS] と [MIX] が別々に表示されますが、同じパーティションを示します。

内蔵ハードディスクの不要なジョブを削除する

「暗号化認証印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、内蔵ハードディスクの「COMMON」パーティションに残ったままになっていると、ハードディスクの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。

- 「COMMON」パーティションの空き容量が確保されます。「PS」および「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。
- 暗号化認証印刷ジョブは OKI ストレージデバイスマネージャからは削除できません。

❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、本機を接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウで本機を選択し、[プリンタ] メニューから [スプールジョブの管理] を選択します。

❺ [認証印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワードを入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、本機に格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

メモ 管理者パスワードの初期値は [PASSWORD] になっています。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除] をクリックします。

❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

PDF Print Direct

本機に PDF ファイルを直接送り印刷することで、Adobe Reader などのようなアプリケーションを起動してファイルを開く手間が省きます。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ

- セットアップにはコンピュータの管理者権限が必要です。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Acrobat Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 本機能ではマルチページ印刷は未対応です。
- 128bit-RC4 レベルで暗号化された PDF ファイルは印刷できません。
- 閲覧者に印刷許可を与えていない PDF ファイルを印刷する場合は、マスタパスワードを指定してください。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、本ユーティリティを使用しての印刷はできません。ジョブ制限モードについては、「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

PDF ファイルを印刷する

❶ プリンタフォルダに［OKI MC860(**)］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンがあることを確認します。

❷ 印刷したい PDF ファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。次のようなメニューが表示されるので、「PDF Print Direct」を選択します。

❸ 印刷可能な PDF ファイルの場合、下の画面が表示されます。[プリンタの選択] で使用するプリンタドライバを選択します。

❹ 暗号化ファイルを印刷する場合は、[パスワードの設定] にチェックを付けて、パスワードを入力します。今後も同じパスワードを使用する場合は、[パスワードの保存] をクリックします。パスワードが不要になった場合は、[登録パスワードの削除] をクリックします。登録できるパスワードは 1 つです。

❺ 必要な項目を設定し、[印刷] をクリックします。

プリントジョブアカウンティング Lite

プリントジョブアカウンティング Lite は、印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うソフトウェアです。

プリントジョブアカウンティング Lite は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ

Windows Vista(64bit版)/Windows XP(x64版)/Windows Server 2008(64bit版)/Windows Server 2003(x64版)では使用できません。

インストールする

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動する

❶ [スタート] - [すべてのプログラム](Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ]-[プリントジョブアカウンティング Lite]-[プリントジョブアカウンティング Lite] を選択します。

詳しくは「操作マニュアル」をご覧ください。「操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

- 工場出荷時の状態で保存可能ログ数につきましては、「プリントジョブアカウンティングの使用について」(627 ページ) をご覧ください。
- プリントジョブアカウンティング Lite では、ユーザ ID を登録することはできません。
- 読取サイズがハーフレターでスキャンした場合は、ログの原稿サイズにはステートメントと表示されます。
- 本機でログフル時の操作は [古いログを削除する] になります。
- ユーザ ID が 1900000000 のジョブは装置が起動したジョブを表します。

プリントジョブアカウンティングクライアント

プリンタドライバにユーザ名およびユーザ ID を設定するユーティリティです。

インストール方法は、264 ページをご覧ください。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Sever 2008/Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ

セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

本項の説明は、全て Windows XP Home Edition を例にしています。
プリンタドライバを例にしていますが、ファクスドライバにも設定可能です。

ジョブアカウントモードの変更

ジョブアカウントモードとは Windows クライアントコンピュータでユーザ名とユーザ ID を設定する方式です。4 つのモードがあります。

■ ジョブアカウントモードの種類

タブモード

プリンタドライバのプロパティに、ユーザ名とユーザ ID を設定するためのタブが表示されます。
ユーザ自身がユーザ名とユーザ ID の設定や変更を行う場合に使用します。

ポップアップモード

印刷ジョブを送信するごとに、ユーザ名とユーザ ID を設定するポップアップ画面が表示されます。
1 台のコンピュータを複数ユーザが使用している場合に使用します。

- WindowsXP の簡易ユーザ切り替え機能を使用する場合は選択しないでください。
- 共有プリンタのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。共有プリンタでは、非表示モードを使用してください。
- Windows Vista/Windows Server 2008 では選択できません。

非表示モード

共有プリンタのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。
共有プリンタでは、非表示モードを使用してください。システム管理者があらかじめ Windows へのログオンユーザ名に対応するユーザ ID とユーザ名を記述した ID ファイルを作成します。このファイルをクライアントソフトウェアで指定することで、印刷を行ったユーザを識別し、対応するユーザ ID を自動的に取得します。また、全てのログオンユーザに対して同じユーザ ID を設定することも可能です。ユーザは設定を行ったり、自分のユーザ ID について知る必要はありません。Windows コンピュータをプリントサーバとし、本機を共有プリンタとして使用する場合、プリントサーバとなるコンピュータにクライアントソフトウェアをインストールし、使用します。

未対応モード

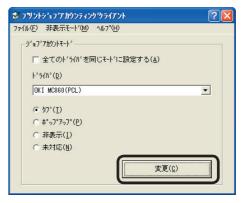
ユーザの識別を行わず、すべてのジョブは未登録 ID として認識されます。ユーザ名は Windows へのログオンユーザ名､ユーザ ID は 0 でログが残ります。ユーザの識別が必要ない場合に使用します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行うと未対応モードになりますので、再度ジョブアカウントモードを設定し直してください。ただし、全てのプリンタドライバを同じモードに設定する機能を使用している場合は、モードを設定しなおす必要はありません。

■ タブモードで使用するには

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［プリントジョブアカウンティングクライアント］-［ジョブアカウントモードの変更］を選択します。

❷ ［ドライバ］リストから設定する本機のプリンタドライバを選択します。全てのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は､「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

❸ ［タブ］を選択し、［変更］をクリックします。

❹ 変更通知画面で［OK］をクリックします。

❺ ［ファイル］メニューの［閉じる］を選択します。

❻ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
（Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）

❼ プリンタドライバアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。

❽［ジョブアカウント］タブでユーザ名とユーザ ID を入力し、［OK］をクリックします。初期設定ではユーザ名は Windows へのログオンユーザ名、ユーザ ID は 1 です。

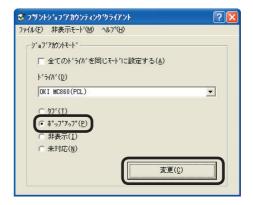
（Windows XP PCL ドライバの画面）

❾ アプリケーションから印刷します。

■ ポップアップモードで使用するには

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［プリントジョブアカウンティングクライアント］-［ジョブアカウントモードの変更］を選択します。

❷［ドライバ］リストから設定する装置のプリンタドライバを選択します。全てのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

❸［ポップアップ］を選択し、［変更］をクリックします。

❹ 変更通知画面で［OK］をクリックします。

❺［ファイル］メニューの［閉じる］を選択します。

❻ アプリケーションから印刷します。

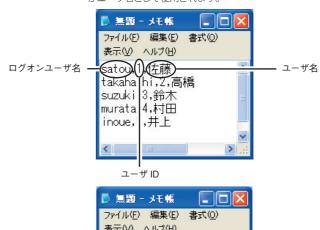
❼ ポップアップ画面が表示されるので、ユーザ名とユーザ ID を入力し、［OK］をクリックします。
［キャンセル］をクリックした場合、ユーザ名は空白、ユーザ ID は 0 でログが残ります。印刷ジョブはキャンセルされません。

■ 非表示モードでユーザ毎にユーザ ID を切り替えて使用するには

❶ メモ帳、市販の表計算ソフトウェア等で ID ファイルを作成します。

<メモ帳の場合>

① 各行に 1 ユーザずつ、ログオンユーザ名、ユーザ ID、ユーザ名を記載します。ログオンユーザ名、ユーザ ID、ユーザ名の間は「,」で区切ります。

ログオンユーザ名 ： Windows にログオンするときに入力するユーザ名
ユーザ ID ： ログオンユーザ名に対応するユーザ ID
ユーザ名 ： プリントジョブアカウンティングで使用するユーザ名
ユーザ名は省略できます。省略する場合、ログオンユーザ名がユーザ名として使用されます。

② テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

<市販の表計算ソフトウェアの場合>

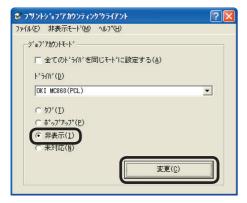
① 各行に 1 ユーザずつ、ログオンユーザ名、ユーザ ID、ユーザ名を記載します。

② CSV 形式でファイルを保存します。

❷ [スタート] - [すべてのプログラム](Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。

❸ [ドライバ] リストから設定する装置のプリンタドライバを選択します。全てのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

共有プリンタを使用している場合は、全てのプリンタドライバを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンタのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

❹ [非表示] を選択し、[変更] をクリックします。

❺ 変更通知画面で [OK] をクリックします。

❻ [非表示モード] メニューの [ID ファイルのインポート] を選択します。

❼ 手順❶で作成した ID ファイルを指定して [開く] をクリックします。

❽ [非表示モード] メニューの [全てのユーザを固定のユーザ ID にする] にチェックがついている場合は、チェックを外します。

❾ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。

❿ アプリケーションから印刷します。

登録されていないログオンユーザ名で Windows にログオンして印刷した場合、ユーザ名は現在のログオンユーザ名、ユーザ ID は 0 でログが残ります。

非表示モードメニューの「登録済みのユーザ ID の表示」を選択し、既に登録されているユーザ ID の確認や、不要なユーザ ID の削除、ID ファイルのインポートを行うことができます。

■非表示モードで全てのユーザを同じユーザ ID で使用するには

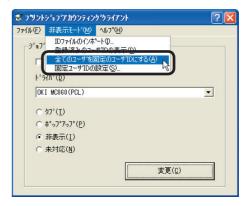
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［プリントジョブアカウンティングクライアント］-［ジョブアカウントモードの変更］を選択します。

❷［ドライバ］リストから設定する装置のプリンタドライバを選択します。全てのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

注 共有プリンタを使用している場合は、全てのプリンタドライバを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンタのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

❸［非表示］を選択し、［変更］をクリックします。

❹変更通知画面で［OK］をクリックします。

❺［非表示モード］メニューの［全てのユーザを固定のユーザ ID にする］にチェックをつけます。

❻［非表示モード］メニューの［固定ユーザ ID の設定］を選択します。

❼ ユーザ名とユーザ ID を入力し、[OK] をクリックします。

メモ ユーザ名を省略した場合は、ログオンユーザ名がユーザ名として使われます。

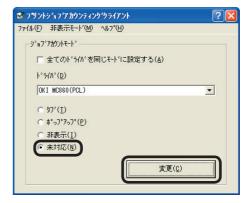
❽ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。

❾ アプリケーションから印刷します。

■ 未対応モードで使用するには

❶ [スタート] - [すべてのプログラム] (Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。

❷ [ドライバ] リストから設定する装置のプリンタドライバを選択します。全てのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

❸ [未対応] を選択し、[変更] をクリックします。

❹ 変更通知画面で [OK] をクリックします。

❺ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。

❻ アプリケーションから印刷します。

プリンタ表示言語セットアップ

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

本プログラムは、プリンタドライバを使用します。あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。詳しくは、ユーザーズマニュアル（基本操作編）をご覧ください。

起動します

❶ 本機の電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、本機添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。セットアッププログラムが起動します。

❸［使用許諾契約］をよく読み、［同意する］をクリックします。

❹［その他のソフトウェア］をクリックします。

❺［プリンタ表示言語セットアップ］をクリックします。

❻ プリンタ表示言語セットアップが起動します。［次へ］をクリックします。

タイトルバーの「プリンタ表示言語セットアップ ウィザード Ver.」の後に本ツールのバージョンが表示されます。

❼ 言語を切り替える装置を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ ［使用できるプリンタ］リストには本ツールがサポートされている装置が表示されます。

❽ セットアップする言語を選択し、［次へ］をクリックします。

言語選択画面が表示されない場合は、以下の手順で表示言語の切り替えを行います。ここでは、Windows XP Home Edition を例に説明します。

① プリンタの電源を ON にします。
② Windows が起動していることを確認し、本機に添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
③ ［スタート］-［ファイル名を指定して実行］を選択します。
④ 「D:\Utilities\PanelDwn\oppnlngs.exe」と入力し、OK をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブが（D:）の場合を例にしています。）
⑤ プリンタ表示言語セットアップが起動したら、317 ページ ❻ 以降の手順に従って表示言語を切り替えます。

❾ ［メニュー印刷を行う］をクリックし、メニュー印刷を実行します。［次へ］をクリックします。

メモ メニュー印刷結果はこの後の画面で使用します。

❿ メニュー印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ セットアップする内容を確認し、［セットアップ］をクリックします。

メモ　画面の［Language version:］の右の "X.X" は、本ツールに含まれる言語ファイルの Language version が表示されます。

⓬［完了］をクリックします。

⓭ 本機の操作パネルを見てダウンロードが成功したことを確認し、本機を再起動してください。

Power Off/On Message Data Received OK	装置を再起動してください メッセージデータ書込み完了
英語表示イメージ	日本語表示イメージ

Macintosh ユーティリティ

パネル言語セットアップ

操作パネルの表示言語を変更したい

本機の操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

❶ 操作パネルで現在の機器設定を出力します。

メモ　機器設定は［レポート印刷］-［機器設定］で出力できます。

❷ 機器設定に印刷されている「Language format」の数字を確認します。

❸ TCP/IP 接続する場合、機器設定に印刷されている IP アドレスを確認します。

❹「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❺［Utility］-［パネルダウンロード］-［パネル言語セットアップ］をダブルクリックします。

パネル言語セットアップ

❻ 接続方法を選択するためのダイアログが表示されます。［USB］もしくは［TCP/IP］を選択してください。TCP/IP 接続を選択した場合は、機器設定で確認した IP アドレスを入力します。

❼［OK］ボタンをクリックすると、メインダイアログが表示されます。

❽ 機器設定に印刷されている “Language format” が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認します。

メモ　画面右上の Language version は、本ツールが書き込む言語ファイルのバージョンです。
ツールの言語ファイルバージョンはマニュアルに記載のバージョンとは異なる場合があります。

＊＊機器設定＊＊

P1　　　2008年 1月 2日(水) 02:29
MC860

シリアル番号:BETA200007
CU Version:04.21 [I01.18 U02.09 S5.c.0v B01.00 L00.13 PPC750CL 500MHz 00087210 00080001 F60 J12540226]
SIP Version:04.23 553488
PU Version:00.06.06 [PI03.11 L000.01.03 DU00.00.11 T200.00.04 T300.00.04] ET:00000000405031C1D1D0900000000F0 KYMC-1111
PCL Program Version:04.40 [04.26 X03.18 P F]
PS Program Version:3015, PSE27.01.00
Scanner Version:S2601　D0A0A0, Voice Version:DB8MJPN8GG00, Country Code:Japan
両面印刷:装着済 TRAY1:A4 横送り TRAY2:A3 TRAY3:A3
Total Memory Size:512 MB
Flash Memory:8 MB [F60]
HDD:38 GB [F60]　　Language format:1.11 Language panel format:1.12
JP1 DPR:1.5 62
Network Version:03.02 Web Remote:03.03　　Language:Japanese
ENGINE:71308 K:67696 C:22983 T:11:10:8:20 I:2:2:2:6,B:1,F:0

❾［言語の選択］ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❿［ダウンロード］ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルが本機に送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

⓫本機を再起動します。

プリントジョブアカウンティングクライアント

プリンタドライバにユーザ名およびユーザ ID を設定するユーティリティです。

参照 インストール方法は、265 ページをご覧ください。

動作環境

Mac OS X 10.3 ～ 10.5 の日本語版が動作する Macintosh

ユーザ ID を登録する

［アプリケーション］-［OKIDATA］フォルダを開き、プリントジョブアカウンティングアイコンをダブルクリックします。

❶［新規］をクリックします。

❷ Mac OS X へのログイン名、プリントジョブアカウンティングで使用するユーザ ID、ユーザ名を入力し、［保存］をクリックします。

メモ 複数のユーザを登録する場合はこの操作を繰り返します。

❸［保存］をクリックします。

❹ パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺ クライアントソフトウェアを終了します。

複数のユーザを一度に登録するには

CSV ファイルを使用して一度に複数のユーザ ID、ユーザ名を登録できます。
MaxOSX を複数のログインユーザ名で使用している場合に便利です。

❶ 市販のソフトなどでを使用して、CSV ファイルを用意します。
CSV ファイルは、 MacOSX ログイン名，ユーザ ID，ユーザ名　の順番に記述します。

① 各行に 1 ユーザーづつ、MacOSX ログイン名，ユーザ ID，ユーザ名を入力します。

注 ユーザ ID は、半角数字で入力します。

② CSV 形式で保存します。

❷ クライアントソフトウェアを使用して登録します。

① ［アプリケーション］-［OKIDATA］フォルダを開き、プリントジョブアカウンティングアイコンをダブルクリックします。

② ファイルメニューからインポートを選択します。

③ 手順❶で作成した CSV ファイルを読み込みます。

④［保存］をクリックします。

⑤ パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

⑥ クライアントソフトウェアを終了します。

ユーザ ID、ユーザ名を変更するには

クライアントソフトウェアを使用して既に登録してあるユーザ ID、ユーザ名を変更することができます。

❶ [アプリケーション] - [OKIDATA] フォルダを開き、プリントジョブアカウンティングアイコンをダブルクリックします。

❷ 変更したいユーザを選択し、[編集] をクリックします。

❸ 新しいユーザ ID、ユーザ名を入力し、[保存] をクリックします。

❹ [保存] をクリックします。

❺ パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❻ クライアントソフトウェアを終了します。

ユーザ ID、ユーザ名を削除するには

❶ [アプリケーション] - [OKIDATA] フォルダを開き、プリントジョブアカウンティングアイコンをダブルクリックします。

❷ 削除したいユーザを選択し、[削除] をクリックします。

メモ 登録してあるユーザを全て削除する場合は、[全削除] をクリックします。

❸ [保存] をクリックします。

❹ パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❺ クライアントソフトウェアを終了します。

7 カラーを調整する

操作パネルで調整する 326
コピー・スキャンしたときのカラー調整 336
コンピュータから印刷したときのカラー調整 340
プロファイルアシスタント 353
カラー調整ユーティリティ 362
色見本印刷ユーティリティ 390
PS ハーフトーン調整ユーティリティ 392

操作パネルで調整する

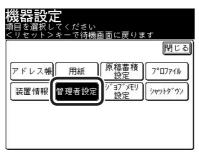
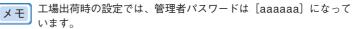
色ずれ補正調整をする

本機は電源を ON にしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき 400 枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、操作パネルで調整を行ってください。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

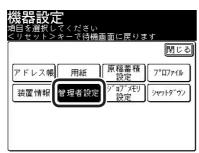
❺［カラーメニュー］を押します。

❻［▶］を 3 回押し、カラーメニュー 4/5 画面を表示します。

❼［色ずれ補正］を押します。

❽［はい］を押します。

濃度補正調整をする

本機は新しいイメージドラムカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき 500 枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、操作パネルで調整を行ってください。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

❺［カラーメニュー］を押します。

❻［濃度補正］を押します。

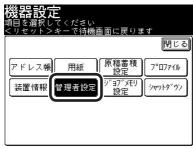
❼［はい］を押します。

色ずれ補正を微調整したい

シアン、マゼンタ、イエロー各色の黒に対する版ずれを色ずれと呼びます。
本機は自動色ずれ補正機能により定期的に補正を行っていますが、印刷条件によっては色ずれが気になる場合があります。
用紙送り方向の色ずれについては、自動補正結果に対してさらに手動で微調整することができます。実際の印刷結果で気になる部分を微調整してください。

ここでは、シアンを微調整する手順を説明します。調整したい色が他にもある場合は同様の手順で調整を行ってください。

1 シアンの色ずれを微調整します。

印刷結果をみて用紙送り方向に対してシアンが上方向にずれている場合

❶ ＜機器設定＞キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

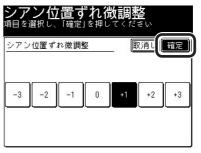
工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

❺［カラーメニュー］を押します。

❻［▶］を 3 回押し、カラーメニューの 4/5 画面を表示します。

❼［シアン位置ずれ微調整］を押します。

❽現在の値より大きい値を指定し、［確定］を押します。

メモ 用紙送り方向に対して上にずれている場合は +1 〜 +3、下にずれている場合は -1 〜 -3 を選択してください。

❾<リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

2 印刷します。

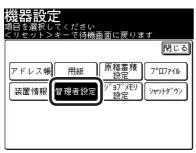
色ずれが気になる場合は上記手順を繰り返してください。

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

本機の色味を好みに合わせて調整する場合は、操作パネルで調整を行ってください。調整は、各色の淡い（Highlight）・濃い（Dark）・中間（Mid-tone）の３か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

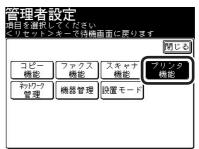
プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］、または［カラー印刷不可］に設定されている場合は印刷できません。

1 カラー調整パターンを印刷します。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

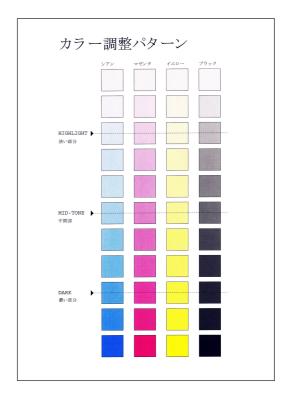
工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

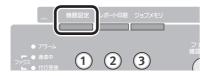
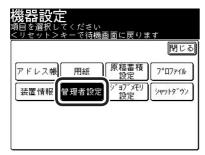
❹［プリンタ機能］を押します。

❺［カラーメニュー］を押します。

❻［調整パターン印刷］を押します。

❼［はい］を押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

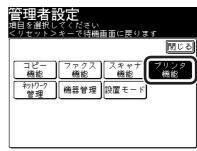
カラー調整パターンには四角が縦 11 行、横 4 列で配置されていて、縦 11 行は色の調子を表しており、[HIGHLIGHT 淡い部分]、[MID-TONE 中間部]、[DARK 濃い部分] とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。
横 4 列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] と印刷されています。

2 シアンの色を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［プリンタ機能］を押します。

❺［カラーメニュー］を押します。

❻［シアン淡い部分］を押します。

❼ 現在設定されている値より大きい値を指定し、［確定］を押します。

メモ 少し濃くする場合は +1 ～ +3、少し薄くする場合は -1 ～ -3 を選択してください。

❽ <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

3 印刷します。

好みの調子にならない場合は手順 *1*, *2* を繰り返してください。

コピー・スキャンしたときのカラー調整

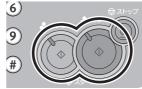
コントラストを変える

❶［応用機能］を押します。

❷［コントラスト］を押します。

❸ 設定したい値を選択し、［確定］を押します。

❹［閉じる］を押します。

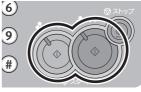
❺ 原稿をセットし、＜カラースタート＞または＜モノクロスタート＞キーを押します。

色相を調整する

❶［応用機能］を押します。

❷［色相調整］を押します。

❸設定したい値を選択し、［確定］を押します。

❹［閉じる］を押します。

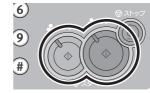
❺原稿をセットし、<カラースタート>または<モノクロスタート>キーを押します。

彩度を調整する

❶［応用機能］を押します。

❷［彩度調整］を押します。

❸設定したい値を選択し、［確定］を押します。

❹［閉じる］を押します。

❺原稿をセットし、<カラースタート>または<モノクロスタート>キーを押します。

赤・緑・青色を調整する

❶［応用機能］を押します。

❷［赤・緑・青色調整］を押します。

❸それぞれの色について、設定したい値を選択し、［確定］を押します。

❹［閉じる］を押します。

❺原稿をセットし、<カラースタート>または<モノクロスタート>キーを押します。

コンピュータから印刷したときのカラー調整

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の３色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します(加法混色)。一方プリンタは白(白色光)に対して､「赤」「青」「緑」の３色を反射光から取り除く､「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の４色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色)。
RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム(CMS)といいます。

本機では、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これは本機で再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

プリンタドライバ ＼ カラーマッチング	Windows PS	Windows PCL	Windows PCL XPS	Mac OS X 10.3 以降
装置に内蔵のカラーマッチング（[オフィスカラー] モード)	○	○	－	○
装置に内蔵のカラーマッチング（[グラフィックプロ]モード)	○	○	－	○
Windows の Image Color Matching（※）(ICM)	○	－	○	－
ColorSync	－	－	－	○
アプリケーションのカラーマッチング	○	○	○	○

※「Image Color Matching」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）

ワープロソフト・表計算ソフトやプレゼンテーション用ソフトなどビジネス文書をよく使用するユーザ向けに最適な方法のカラーマッチングを提供します。これらのソフトウェアで使用される RGB カラーで表現された色をお使いの装置用にカラーマッチングします。
カラーマッチングには装置に搭載されている専用のアクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGB カラースペースの印刷データを装置の CMYK カラースペースに変換する際に、カラーマッチング処理が適用されます。

- RGB カラースペースの印刷データに対してのみ有効です。
- CMYK カラースペースの印刷データに対しては［推奨］または［オフィスカラー］を選択してもカラーマッチングは適用されません。この場合は「グラフィックプロ」を選択してください。
- Windows で ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

メモ

［カラー調整］
カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- モニタ（6500K）／自動
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度 6500K）との相性を重視した上で、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。
- モニタ（6500K）／コントラスト重視
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度 6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- モニタ（6500K）／鮮やかさ重視
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度 6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
- モニタ（9300K）
  カラーマッチングの際に、モニタ（色温度 9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- デジタルカメラ
  カラーマッチングの際に、写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。
- sRGB
  装置の色再現域内の色はそのままとし、装置の色再現域内に入らない色は装置の色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

［CMYK シミュレーション］
本機で Japan Color、SWOP、EuroScale のようなオフセット印刷標準カラーをシミュレーションする場合に選択します。
ターゲットの印刷装置のインクを選択します。

［黒の生成］
カラーで印刷する時の黒の仕上がりを設定します。通常は自動のままご使用ください。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。

❺ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルで［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［詳細］ボタンをクリックし、［オフィスカラー詳細設定］ダイアログ内の［カラー調整］や［CMYK シミュレーション］、［黒の生成］を変更します。

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「推奨」または［オフィスカラー］を指定しても、無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❹ 印刷します。

黒の部分の仕上りを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。プリンタドライバの設定の印刷モードが［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］の場合に利用できます。

メモ　黒の生成

・自動
印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。印刷モードが［オフィスカラー］の場合のみ選択できます。

・CMYK トナーで生成
シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。

・黒（K）トナーのみで生成
黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。

メモ　テキストとグラフィックスに純ブラックを使用

テキストやグラフィックスに RGB 色空間で定義されたブラック（R=0、G=0、B=0）または CMYK 色空間で定義されたブラック（C=0、M=0、Y=0、K=100％）が指定されている場合に、黒（K）トナーのみで印刷するかどうかを指定します。

・オン
黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K）トナーのみで印刷します。

・オフ
黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングに指定しているプロファイルに依存して黒（K）トナーのみまたは CMYK で合成された黒になります。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺［黒の生成］から適当な項目を選択します。［グラフィックプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

（Windows XP PS ドライバ画面）

❻ 印刷します。

7
カラーを調整する

■ Windows PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［カラー（ユーザ設定）］を選択し、［黒の生成］から適当な項目を選択します。

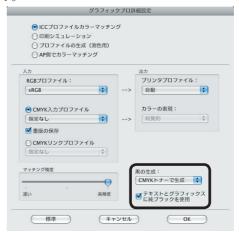
■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「オフィスカラー」を指定しても無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルで［グラフィックプロ］を選択します。

❹［詳細］ボタンをクリックし、［グラフィックプロ詳細設定］ダイアログ内［黒の生成］および［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❺ 印刷します。

モノクロ（白黒）で印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

- 「モノクロ印刷」を指定して印刷した後にカラー印刷を行なうとき、定着器の温度調整により待ち時間が発生することがあります。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

または、PS プリンタドライバでは［印刷オプション］タブ、PCL プリンタドライバでは［設定］タブの［モノクロ印刷］にチェックを付けます。

（Windows PCL プリンタドライバの画面）

❺ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルで［モノクロ］を選択します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❹ 印刷します。

文字と背景の間の白すじをなくしたい（ブラックオーバープリント）

黒 100% の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

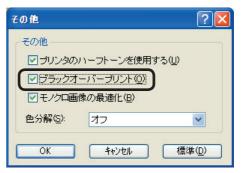
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒 100% でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 で Microsoft Office アプリケーションを使用する場合、True Type フォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合は装置内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合（トナー層厚として 240% を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン 50%、マゼンタ 50%、イエロー 50% の背景色の上に黒 100% の文字を描画すると、トナー層厚は 50+50+50+100=250% となり、240% を超えることになります。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［その他］をクリックします。

❺［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

❻ 印刷します。

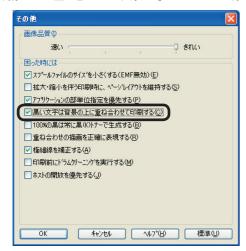
■ Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］にチェックを付けます。

❻ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「オフィスカラー」を指定しても無効となります。
Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックし、［その他］ダイアログ内の［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

メモ
Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❹ 印刷します。

印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい

CMYK カラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性を本機でシミュレートします。

- Windows PCL/PCL XPS ドライバでは利用できません。
- Mac OS X プリンタドライバでは、アプリケーションによっては利用できないことがあります。
- ［印刷モード］が［オフィスカラー］、または［グラフィックプロ］のとき有効になります。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺［印刷シミュレーション］を選択し、［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

メモ　ビジネス文書などの場合、❹、❺の手順で［カラー］タブの［オフィスカラー］を選択して［詳細］をクリックし、［CMYK シミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

❻ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「オフィスカラー」を指定しても無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルで［グラフィックプロ］を選択します。

❹［詳細］ボタンをクリックし、［グラフィックプロ詳細設定］ダイアログ内の［カラーマッチングタスク］で［印刷シミュレーション］を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❺［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

メモ ビジネス文書などの場合、❸、❹、❺の手順で［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［オフィスカラー］機能セットの、［CMYK シミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

❻ 印刷します。

分版印刷をしたい

アプリケーションが分版印刷の機能を持っていなくても、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の 4 色に色分解印刷を行うことができます。

- Windows PCL/PCL XPS ドライバでは利用できません。
- Adobe Illustrator を使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用してください。プリンタドライバの設定はカラーマッチングオフにしてください。

色分解の機能は版下作成用です。指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。

❺［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

❻ 印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックし、［その他］ダイアログ内の［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❹ 印刷します。

Macintosh の ColorSync を使いたい

- アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。
- モニタのキャリブレーション、ICC プロファイル設定が完了していることを確認してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ Mac OS X 10.5 では、[カラー･マッチング] パネルで [ColorSync] を選択し、[プロファイル］で［OKI C830 600 Multi(PS)］,［OKI C830 1200 dpi(PS)］または［OKI C830 600 dpi(PS)］を選択します。

Mac OS X 10.5 で、[プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、[プリンタ］ポップアップメニューの横にある[▼]三角ボタンをクリックしてください。

❹ Mac OS X 10.5 以外では、[ColorSync］パネルの［カラー変換］で［標準］を選択します。

❺ 印刷します。

プロファイルアシスタント

ICC プロファイルを本機にダウンロードする

本機では一般的なカラー管理によく使用される ICC プロファイルを使用したカラーマッチングワークフローを提供しています。この機能を使用するためには、本機とカラーマッチングの対象となる入出力装置（モニタ、スキャナ、デジタルカメラ、他の印刷装置）の ICC プロファイルをあらかじめ本機に登録しておく必要があります。ICC プロファイルの登録や参照には［プロファイルアシスタント］を使用します。

- プロファイルアシスタントのインストール方法については、沖データホームページのダウンロードページをご覧ください。
- お使いの入出力装置用のプロファイルがない場合には、その装置のメーカや販売店にご相談ください。
- 既に登録されている番号を選択して登録すると、上書きされます。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

以下の 4 つのタイプのプロファイルが登録できます。各 4 つのタイプごとに 12 個まで登録することができます。

- RGB ソース
  モニタ、スキャナ、デジタルカメラなどの RGB 入力装置用のプロファイル
- CMYK シミュレーション
  プリンタやイメージセッタなどの CMYK 出力装置用のプロファイル
- プリンタ
  お使いのプリンタのプロファイル。プリンタプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。
- リンクプロファイル
  CMYK から CMYK に直接変換するプロファイル。リンクプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。

■ Windows をお使いの方

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［プロファイルアシスタント］-［プロファイルアシスタント］を選択し、プロファイルアシスタントを起動します。

❷ 装置を検索します。
ネットワーク接続している場合は［TCP/IP ネットワーク］を、USB 接続している場合は［USB］をチェックして［開始］をクリックします。

❸ プリンタリストから登録したい装置を選択します。ユーティリティのメイン画面が表示されます。

注 次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択した装置に自動的に接続します。別の装置を選択したい場合には、メイン画面で「プリンタの変更」をクリックして❷、❸の手順で再度装置を選択してください。

❹［追加］をクリックします。「プリンタに登録したいICC/ICMプロファイルを選択します」画面が表示されます。

❺ 登録したいICCプロファイルを選択し、［開く］をクリックします。

- 必要に応じて［ファイルの場所］を変更して、お使いのコンピュータ上のICCプロファイルが格納されたディレクトリに移動してください。
- ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報（説明（デバイス情報）、サイズ、作成日、色空間など）が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。

❻ 表示されているヒント情報に従って登録するプロファイルのタイプを選択します。

❼ 1 ～ 12 の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。

登録されていない空き番号のボタンが白色で、既に登録されている番号のボタンが水色で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

メモ この情報は本機に登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（操作パネル）に使用されます。登録者以外の使用者が登録された ICC プロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾［OK］をクリックします。

❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、［終了］をクリックします。

メモ
- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（359 ページ）をご覧ください。
- 本機の操作パネルから本機に登録した ICC プロファイルの一覧表を印刷することができます。詳しくは 472 ページをご覧ください。

■ Mac OS X をお使いの方

❶ プロファイルアシスタントを起動します。

❷ 装置を検索します。
ネットワーク接続している場合は［ネットワーク］タブを、USB 接続している場合は［USB］タブをクリックします。

注 USB2.0 に対応していません。
USB 接続の場合、USB1.1 で接続してください。
USB1.1 で接続するには［機器設定］-［管理者設定］-［機器管理］-［ローカルインターフェース］-［USB メニュー］-［SPEED］を 12Mbps に設定してください。

❸ プリンタリストから登録したい装置を選択し、［選択］をクリックします。

❹ ユーティリティのメイン画面で［追加］をクリックします。

注 次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択した装置に自動的に接続します。別の装置を選択したい場合には、メイン画面で「プリンタの変更」をクリックして❷、❸の手順で再度装置を選択してください。

❺「プロファイルを選択してください」画面で登録したい ICC プロファイルを選択し、［選択］をクリックします。

メモ

- 必要に応じてお使いの Macintosh 上の ICC プロファイルが格納されたフォルダに移動してください。
- ICC プロファイルをクリックすると、リストに ICC プロファイルの情報（Description（デバイス情報）、Size（サイズ）、Date（作成日）、Color Space（色空間）など）が表示されます。登録したい ICC プロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。
- ICC プロファイルは通常以下のフォルダに格納されています。希望する装置のプロファイルが見つからない場合はその装置のメーカーにお問い合わせください。

  OS X :［起動ドライブ］: ライブラリ : ColorSync : Profiles

❻［プロファイル種類］メニューで登録するプロファイルのタイプを選択します。

❼ 1 〜 12 の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。
既に登録されている番号が太字＋下線で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を[コメント]欄に記載します。

メモ　この情報は本機に登録されたプロファイルの一覧表示(本ユーティリティのメイン画面)やカラープロファイルリストの印刷(操作パネル)に使用されます。登録者以外の使用者が登録されたICCプロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾［追加］をクリックして本機への登録を開始します。

❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、プロファイルアシスタントを終了します。

メモ
- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」(359ページ）をご覧ください。
- 操作パネルから本機に登録したICCプロファイルの一覧表を印刷することができます。詳しくは472ページをご覧ください。

ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）

DTP 向けのソフトウェアをよく使用するユーザ向けに ICC プロファイルを利用したカラーマッチングワークフローを提供します。
任意の RGB 入力装置（モニタやデジタルカメラ）と装置間のカラーマッチングや、任意の CMYK 出力機器のシミュレーション印刷を指定することができます。
カラーマッチングに、任意の入出力機器用の ICC プロファイルを使用する場合、あらかじめ ICC プロファイルを本機に登録する必要があります。ICC プロファイルの登録方法は「ICC プロファイルを本機にダウンロードする」（353 ページ）をご覧ください。

- CMYK リンクプロファイルは PCL プリンタドライバでは指定できません。
- Windows 上の PS プリンタドライバで ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

［詳細］をクリックして各種カラーマッチング設定を変更します。
（361 ページ参照）

❺ 印刷します。

7
カラーを調整する

■ **Mac OS X プリンタドライバをお使いの方**

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルで［グラフィックプロ］を選択します。

必要に応じて［詳細］ボタンをクリックし、［グラフィックプロ詳細設定］ダイアログ内の各種カラーマッチング設定を変更します。（361 ページ参照）

メモ　Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］三角ボタンをクリックしてください。

❹ 印刷します。

「詳細」画面では以下の設定が可能です。
カラーマッチングワークフローとして［ICC プロファィルカラーマッチング］、［印刷シミュレーション］、［プロファイルの生成（測色用）］、［アプリケーションでカラーマッチング］の 4 つのケース用に最適化されたタスクを用意しています。

ICC プロファィルカラーマッチング

DTP アプリケーションで扱われるデータは、RGB や CMYK カラー空間で表現されたデータが混在することがあります。
このタスクボタンを選択すると、RGB データと CMYK データのそれぞれに対してカラーマッチングの対象となるソースデバイスのプロファイルを指定することができます。

- ［RGB プロファイル］では RGB データの入力装置（通常モニタやデジタルカメラ）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［RGB ソース 1］から［RGB ソース 12］の中から RGB ソース用に登録したプロファイルを選択します。標準では［sRGB］装置用のプロファイルが登録されています。
- ［CMYK 入力プロファイル］では通常 CMYK データの最終的な出力対象となっている印刷装置（オフセット印刷機やインクなど）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［CMYK ソース 1］から［CMYK ソース 12］の中から CMYK シミュレーション用に登録したプロファイルを選択します。標準では［JapanColor］、［SWOP］、［Euroscale］用のプロファイルが登録されています。
- ［プリンタプロファイル］ではお使いの装置のプロファイルを選択します。通常［自動］を選択します。これにより本機にレジデントで組み込まれたお使いの装置用のプロファイルが選択されます。プロファイル作成用のソフトウェアなどによりプリンタプロファイルを作成、入手可能なユーザは、［プリンタ 1］から［プリンタ 12］に登録したプロファイルを選択することもできます。
- ［CMYK リンクプロファイル］では CMYK データのを直接、本機の CMYK に変換するためのリンクファイルを作成可能な上級ユーザのみ使用してください。通常はリンクファイルは使用しないでください。

印刷シミュレーション

他の出力装置（プリンタ、オフセット印刷機、イメージセッタ）の出力結果をシミュレートする場合に選択します。
RGB データ、CMYK データ共にターゲットになっている印刷装置での印刷結果をシミュレートした結果となります。
ICC プロファイルカラーマッチングとの違いは、特に RGB データに関していったん RGB プロファイルとターゲットの印刷装置間でカラーマッチングされた結果がお使いの装置でシミュレーションされる点となります。

プロファイルの生成（測色用）

ICC Profile を作成する場合の測色用データを印刷するために用います。このモードではカラーマッチングを施さず、かつトナー層厚制限を緩いものとしますので、正確なカラーマッチング特性を得ることが可能となります。
このモードは通常の印刷目的で使用しないでください。

アプリケーションでカラーマッチング

アプリケーションでカラーマッチングを行う場合に指定します。装置およびドライバでのカラーマッチングを行いません。

カラー調整ユーティリティ

パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Windows）

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

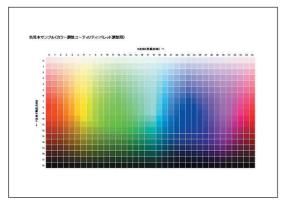
❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [パレットカラーを調整します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用する装置を選択し、[次へ] をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して [サンプル印刷] をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

（色見本サンプル）

❺［次へ］をクリックします。

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

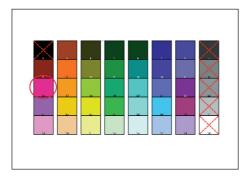
❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

（調整対象色サンプル）

 ×印がついている色は調整できません。

❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

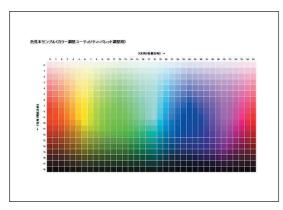
❾X 値、Y 値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓬「調整値入力」画面で、❿で確認した X 値と Y 値を選択し、[OK] をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、［次へ］をクリックします。

他にも調整したい色がある場合は、❽～⓭を繰り返します。

7 カラーを調整する

⓮ 設定の名前を入力し、[保存] をクリックします。

⓯ [OK] をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

⓰ [完了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー] タブの [印刷モード] で [オフィスカラー] を選択し、[詳細] をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の [RGB カラー設定] で [ユーザ設定] にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

❻ 印刷します。

パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ ［アプリケーション］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［MC860］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

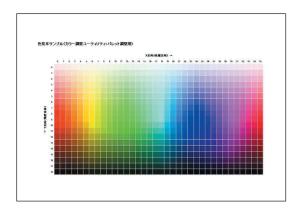
❷ 対象装置を選択します。

メモ　本ツールがサポートしている装置が表示されます。

❸ ［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ　カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

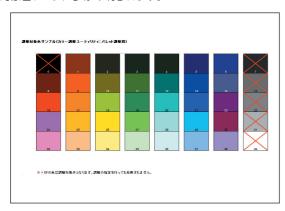
❹［パレットカラーの調整］をクリックします。

❺「パレットカラーの調整」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❻［次へ］をクリックします。

❼［テスト印刷］をクリックします。

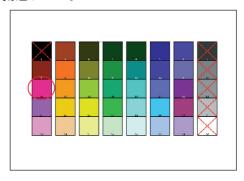
メモ　画面左下部に❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

注 ×印がついている色は調整できません。

❽「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

7 カラーを調整する

❾「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❿X 値、Y 値のポップアップメニューで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値(X 値、Y 値)を確認します。

⓬「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

パレットカラーの調整
4.「テスト印刷」をクリックして調整対象色サンプルを印刷します。
テスト印刷
終了
リセット
戻る
5. 画面のパレットの色と調整対象色サンプルの色を比較し、一致していないパレットをクリックします。続けて表示される画面の指示に従って調整を行います。
ヘルプ
6. 一致していないパレットすべてを調整し終えたら、「テスト印刷」をクリックします。調整対象色サンプルの色が指定した色に変わったことを確認します。
7. 設定名を入力し「保存」をクリックします。
設定名：
新規
保存
PPDファイル：　OKI MC860

「調整値入力」画面が表示されます。

⑬「調整値入力」画面で、⑪で確認したＸ値とＹ値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⑭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認します。
他にも調整したい色がある場合は、❾～⑭を繰り返します。

⑮ 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

⑯ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、[保存]をクリックします。
「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。
[キャンセル]をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

⑰［終了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

⑱ Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行った装置を一旦削除し、再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルで［オフィスカラー］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

❹［詳細］ボタンをクリックし、［オフィスカラー詳細設定］ダイアログ内の［ユーザーカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

❺ 印刷します。

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Windows）

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶ [スタート] - [すべてのプログラム] (Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [ガンマ・色相を補正します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整する装置を選択し、[次へ] をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹ リストボックスから基準となるモードを選択し、[次へ] をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向(＋)または逆方向(ー)に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(＋)方向に動かすと G(緑)に近づき、(ー)方向に動かすと R(赤)に近づきます。

メモ ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色 100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

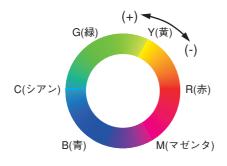
プリンタ色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% ＋ イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% ＋ イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% ＋ マゼンタトナー 100%

❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認します。
希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽［次へ］をクリックします。

❾ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

❿［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［完了］をクリックしてください。

⓫［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

■ Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGB カラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

❻ 印刷します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）

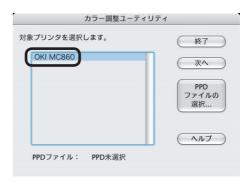
カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。
- ジョブ制限モードが有効（暗号化ジョブのみ）になっている場合、テスト印刷機能は使用できません。ジョブ制限モードについては、「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値･色相などを変更します。

❶［アプリケーション］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［MC860］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ 対象装置を選択します。

本ツールがサポートしている装置が表示されます。

❸［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ　カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

❹［ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整］をクリックします。

❺「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面が表示されたら、リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ

- 画面左下部に❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすとG（緑）に近づき、（－）方向に動かすと R（赤）に近づきます。

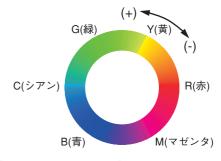
- ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色 100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% ＋ イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% ＋ イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% ＋ マゼンタトナー 100%

❼［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❽ 調整結果を確認します。
希望する調整結果が得られない場合は、手順❻、❼を繰り返します。

❾ 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

❿ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

⓫ カラー調整ユーティリティを終了します。

⓬ Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行った装置を一旦削除し、再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［カラー］パネルで［オフィスカラー］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

❹［詳細］ボタンをクリックし、［オフィスカラー詳細設定］ダイアログ内の［ユーザーカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

❺ 印刷します。

カラー調整の設定をファイルに保存したい（Windows）

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ 設定を保存したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。

「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

❷「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹［OK］をクリックします。

❺［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をファイルに保存したい（Macintosh）

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

・カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
・PPD ファイルごとに設定を行ってください。
・プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [アプリケーション] - [OKIDATA] - [カラー調整ユーティリティ] - [MC860] - [カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ 対象装置を選択します。

メモ 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

❸ [PPD ファイルの選択] をクリックして PPD ファイルを選択します。

❹ [設定のインポート / エクスポート / 削除] をクリックします。

「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

メモ 画面左下部に❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

❷「エクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ　Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹ カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Windows）

カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷［設定をインポート・エクスポート・削除します］を選択し、［次へ］をクリックします。

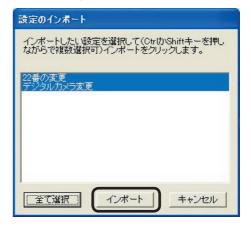
❸ 設定を読み込みたい装置を選択し、［次へ］をクリックします。

「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

2 設定を読み込みます。

❶［インポート］をクリックします。

❷読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.CCM”ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

メモ　Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹設定が読み込めたことを確認し、［完了］をクリックします。

カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Macintosh）

カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- プリンタの共有で接続されている装置では使用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [アプリケーション] - [OKIDATA] - [カラー調整ユーティリティ] - [MC860] - [カラー調整ユーティリティ] をダブルクリックします。

❷ 対象装置を選択します。

メモ 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

❸ [PPD ファイルの選択] をクリックして PPD ファイルを選択します。

❹ [設定のインポート / エクスポート / 削除] をクリックします。

「設定のインポート / エクスポート / 削除」画面が表示されます。

メモ 画面左下部に❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

2 設定を読み込みます。

❶［インポート］をクリックします。

❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.ccm”ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「インポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

メモ Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

❺「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が読み込めたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定を削除したい（Windows）

不要になったカラー調整を削除できます。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム]（Windows 2000 では[プログラム]）-[沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を削除したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。

❹ 削除したい設定をリストから選択し、[削除] をクリックします。

❺ [はい] をクリックし、設定を削除します。

❻ 設定が削除されたことを確認し、[完了] をクリックします。

カラー調整の設定を削除したい（Macintosh）

不要になったカラー調整を削除できます。

❶ ［アプリケーション］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［MC860］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

❷ 対象装置を選択します。

メモ 本ツールがサポートしている装置が表示されます。

❸ ［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

❹ ［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

❺ 削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

❻ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

❼「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が削除されたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

色見本印刷ユーティリティ

色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい（Windows）

色見本印刷ユーティリティは本機で RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのような RGB 値の指定を行えばよいかを確認することができます。

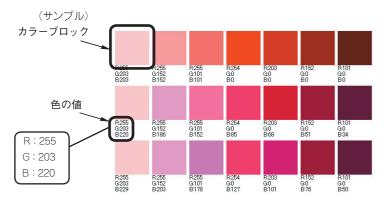
- Macintosh では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。

1 色見本を印刷します。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](Windows 2000 では[プログラム])-[沖データ] - [色見本印刷ユーティリティ] - [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。

❷ [印刷] ボタンをクリックします。

❸ 本機を選択します。

❹ [OK] または [印刷] をクリックします。
色見本が 3 ページ印刷されます。

カラーブロックの下に表示される RGB 値は、カラーブロックの R（赤）、G（緑）、B（青）の色の成分量（0 ～ 255）を表しています。

❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

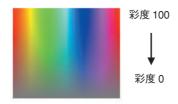
色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

① [切り替え]ボタンをクリックし､カスタム色見本に切り替えます。

② [詳細] ボタンをクリックし、[カスタム色見本の編集] ダイアログを表示します。

③ 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3 つのバーを調整し、[閉じる] をクリックします。

色相： 色相を変更します。0 は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度： 鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色(グレー)となります。

明度： 濃さを変更します。明度が最大(100%)の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

④［印刷］ボタンをクリックします。

⑤ 本機を選択します。

⑥［OK］または［印刷］をクリックします。
本機から 1 ページ印刷されます。

⑦ 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順①から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本の RGB 値を変更します。

アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸ 印刷します。

注
アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

PS ハーフトーン調整ユーティリティ

写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）

本機の CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整することができます。
写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

- Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティのセットアップについては、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。
- Windows では［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタドライバの［カラー］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5J の場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、または EPS ファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタと FAX］（Windows 2000 では［プリンタ］）フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。

■ Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1 ハーフトーン調整名を登録します。

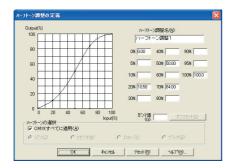
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

❷［プリンタの選択］から装置を選択します。

アプリケーション（Adobe PageMaker 等）によっては印刷時に独自に用意された PPD ファイルを使用するものがあります。この場合は［AP 用 PPD の選択］を選択し、［参照］をクリックしてアプリケーションの使用する PPD ファイルを選択します。

❸［新規］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

〈調整の目安〉

以下を参考にしてください。
赤を濃くする場合　シアンの値を上げます。
青を濃くする場合　イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合　マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合　シアンの値を下げます。
青を薄くする場合　イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合　マゼンタの値を下げます。

❺［追加→］をクリックします。
ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

❻［適用］をクリックします。
1 つの PPD ファイルに最大 6 つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPD への登録完了画面で［OK］をクリックします。

❽［終了］をクリックし、PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順 1 の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

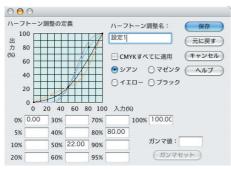
■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ ［アプリケーション］-［OKIDATA］-［Halftone］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

PSハーフトーン調整ユーティリティ

❷［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

❸ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❹ ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。
別の PPD ファイルが選択されている場合は［PPD ファイルの選択 ...］をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❺［追加→］をクリックします。
新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❻［保存］をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❼ PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているハーフトーン調整を行った装置を一旦削除し、再登録します。

❾ 印刷したいファイルを開きます。

❿［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

⓫［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［ハーフトーン調整］で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

メモ　Mac OS X 10.5 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

8 操作パネルの設定項目

操作パネルの設定項目一覧 396
コピー待機画面.. 396
ファクス待機画面 399
スキャナ待機画面 401
プリンタ待機画面 409
＜機器設定＞キーを押したとき.. 410

操作パネルの設定項目一覧

コピー待機画面

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	集約	原稿枚数	OFF 2 枚 4 枚 8 枚	複数枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめるレイアウトを設定します。
		トレイ	自動 MP トレイ トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3	給紙トレイを選択します。
		配置（並び替え）	横並び 縦並び	配置方法を設定します。 原稿枚数が「OFF」または「2 枚」の時は設定出来ません。
	リピート	リピート回数	OFF 2 回 4 回 8 回	1 枚の用紙に同じ原稿を繰り返してコピーする回数を設定します。
		トレイ	自動 MP トレイ トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3	給紙トレイを選択します。
	ページ分割	原稿のとじ	OFF 左とじ 右とじ	見開きページを 1 ページづつ別々の用紙にコピーする場合の閉じ方向を設定します。
		トレイ	自動 MP トレイ トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3	給紙トレイを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	とじしろ	設定	ON OFF	とじしろの有効 / 無効を設定します。
		左幅（表面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	表面のコピー出力画の右方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		上幅（表面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	表面のコピー出力画の下方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		左幅（裏面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	裏面のコピー出力画の右方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		上幅（裏面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	裏面のコピー出力画の下方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	枠消去	設定	ON OFF	本などの厚みのある原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm （1mm/Step） 0.2 ～ 2.0inch （0.1inch/Step）	枠消去の消し幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm （1mm/Step） 0.1 ～ 2.0inch （0.1inch/Step）	センター消去の消し幅を設定します。（システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	両面	ｺﾋﾟｰ方法	OFF 片面 -> 両面 両面 -> 両面 両面 -> 片面	両面コピーの種類を設定します。
		とじ位置、原稿の閉じ	左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	ﾐｯｸｽ原稿		ON OFF	大きさの違う原稿をそれぞれのサイズの用紙にコピーするか設定します。［トレイ設定］が「自動」の場合のみ設定可能です。
	読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問合せるかを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
応用機能	コントラスト	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	画像のコントラストを設定します。
	色相調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー画像の色相を設定をします。
	彩度調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー画像の彩度を設定します。
	赤・緑・青色調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真 高精細	画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景(下地)色・裏写りが目立たないようにするか設定します。
濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	画像の濃度を設定します。
トレイ		自動 MP トレイ トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3	給紙トレイを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目		内容
拡大 / 縮小	自動 100% Fit 拡大： 141% 122% 115% 縮小： 86% 81% 70% +、-: 25% ～ 400%（任意）	拡大 / 縮小を設定します。
ソート	ON OFF	コピーをページ順にそろえるかを設定します。

ファクス待機画面

オンフック状態のとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	両面読取	OFF 左右とじ 上とじ	原稿の閉じ位置を設定します。
	読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
	ｸﾞﾙｰﾌﾟ送信	グループ番号	宛先のグループを選択します。 登録されていないグループはグレーアウトになります。
	継続読取	ON OFF	次原稿の有無を問合せるかを設定します。
	発信元名	ON OFF	相手先の受信原稿にこちらの発信元名を印刷するかを設定します。
	発信元選択	1: 2: 3:	発信元名を選択します。 発信元名は「機器設定」-「管理者設定」-「設置モード」にて 3 つまで登録が出来ます。 選択しない場合は初期値になります。
	送信確認証	ON OFF	送信結果を自動印字するかを設定します。
	時刻指定	日、時、分	送信時刻を指定して送信します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	ON OFF	ポーリング受信を行うかを設定します。
	F ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	サブアドレス	サブアドレスを設定します。
		パスワード	パスワードを設定します。
	F ｺｰﾄﾞ送信	サブアドレス	サブアドレスを設定します。
		パスワード	パスワードを設定します。
	ﾒﾓﾘ送信	ON OFF	OFF にすると原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信になります。
	ﾀﾞｲﾔﾙ記号入力	▶ ◀ クリア - ポーズ トーン プレフィクス 第 1 発信 第 2 発信 短縮登録	専用キーを使用してダイヤル記号の入力が可能です。 短縮登録キーにより直接、短縮ダイヤルを登録することが出来ます。
	自動受信	ON OFF	ファクス受信モードを自動受信 / 手動受信に設定します。
短縮送信			宛先を登録済みの短縮ダイヤル番号により選択します。
画質		標準 高画質 超高画質 写真 背景除去	原稿読み取り画質を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目		内　容
濃度	濃く やや濃く 普通 やや薄く 薄く	原稿読み取り濃度を設定します。
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ		宛先をリダイヤル履歴 10 件分から選択します。
ｵﾌﾌｯｸ		電話画面へ遷移します。

オフフック状態のとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	画質	標準 高画質 超高画質 写真 背景除去	原稿読み取り画質を設定します。
	濃度	濃く やや濃く 普通 やや薄く 薄く	原稿読み取り濃度を設定します。
	発信元名	ON OFF	相手先の受信原稿にこちらの発信元名を印刷するかを設定します。
	発信元選択	1: 2: 3:	発信元名を選択します。 発信元名は「機器設定」-「管理者設定」-「設置モード」にて 3 つまで登録が出来ます。
	送信確認証	ON OFF	送信結果を自動印字するかを設定します。
	プレフィクス		プレフィクス番号を登録します。
短縮送信			送信先を登録済みの短縮ダイヤル番号により選択します。
ﾎﾞﾘｭｰﾑ設定		OFF 小 中 大	「オフフック」を押したときのスピーカー音量を設定します。
ﾄｰﾝ			ダイヤル記号の /T を入力します。
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ			宛先をリダイヤル履歴 10 件分から選択します。
ｵﾝﾌｯｸ			ファクス画面になります。 電話中に押すと、回線を一旦離す動作を実行します。

スキャナ待機画面

スキャナメニュー選択画面

項　目	内　容
メール	スキャンしたデータを E メールとしてコンピュータに送ります。
USB メモリ	スキャンしたデータを USB メモリに保存します。
ローカル PC	スキャンしたデータを ,USB ケーブルで接続しているコンピュータに保存します。
ネットワーク PC	スキャンしたデータをネットワークで接続しているサーバやコンピュータに保存します。
リモート PC	コンピュータから本機にスキャンの指示を出し、スキャンします。

メールを選択したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	返信先		送信したメールの返信先を送信者と違うアドレスに設定することが出来ます。アドレス帳からも、LDAP からも宛先を呼び出して入力出来ます。
	メール編集	件名	件名を入力します。 半角では 80 文字、全角では 40 文字まで登録できます。
		本文（固定文）	本文を入力します。 半角では 256 文字、全角では 128 文字まで登録できます。
		件名新規	件名を新規で入力します。
		件名選択	登録済みリストから選択します。 5 件まで登録することができます。
		本文選択	登録済みリストから選択します。 5 件まで登録することができます。
	ファイル名		イメージファイル名を入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。
	両面読取	OFF 左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	継続読取	ON OFF	次原稿の有無を問合せるかを設定します。
	読取向き	左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きを設定します。 左端 : 読取開始位置を取り込んだ画像の上端に定義します。 上端 : 読取開始位置を取り込んだ画像の左端に定義します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ(白黒)2値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(グレースケール)	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ(グレースケール)でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(2 値)	PDF TIFF	モノクロ(2 値)でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(グレースケール)	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON(モノクロ(グレースケール))の時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(2 値)	高 (G4) 中 (G3) Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF(モノクロ(2値))の時の圧縮率を設定する。
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5～50mm (1mm/Step) 0.2～2.0inch (0.1inch/Step)	枠消去の消し幅を設定します。(システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1～50mm (1mm/Step) 0.1～2.0inch (0.1inch/Step)	センター消去の消し幅を設定します。(システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストを設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度を設定します。
	赤・緑・青色調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
宛先指定	アドレス帳		アドレス帳番号により宛先 E メールアドレスを選択します。 1 つの E メールアドレスのみ指定することができます。
	直接入力		宛先の E メールアドレスを入力します。 半角では 80 文字(2bytes 文字は不可)まで入力できます。
	メール送信履歴		メール送信履歴を表示します。
	グループ送信		宛先のグループを選択します。 一度に 32 件のグループを指定することができます。
	LDAP		LDAP サーバからのアドレス検索用画面が表示されます。この画面では 、ユーザ名で検索します。詳細ボタンを押すことで、検索方法 (AND, OR)、ユーザ名、メールアドレスを指定して検索を行う詳細検索を利用することができます。 宛先として選択したアドレスを、ローカルのアドレス帳へインポートが可能です。 100 件の検索結果を表示することが可能です。
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景(下地)色・裏写りが目立たないように設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目		内容
濃度	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取り濃度を設定します。
解像度	75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	原稿読み取り解像度を設定します。
読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。

USB メモリを選択したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	両面読取		OFF 左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問合せるかを設定します。
	読取向き		左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きを設定します。 左端：読取開始位置を取り込んだ画像の上端に定義します。 上端：読取開始位置を取り込んだ画像の左端に定義します。
	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ（白黒）2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ（グレースケール）	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ（グレースケール）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ（2 値）	PDF TIFF	モノクロ（2 値）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ（グレースケール）	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON（モノクロ（グレースケール））の時の圧縮率を設定します。
		モノクロ（2 値）	高（G4） 中（G3） Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF（モノクロ（2値））の時の圧縮率を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm （1mm/Step） 0.2 ～ 2.0inch （0.1inch/Step）	枠消去の消し幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm （1mm/Step） 0.1 ～ 2.0inch （0.1inch/Step）	センター消去の消し幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストを設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	赤・緑・青色調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景色・裏写りが目立たないように設定します。
濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取り濃度を設定します。
解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	読み取り解像度を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目		内　容
読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
ファイル名		イメージファイル名を文字入力画面で入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。

ローカル PC を選択したとき

項　目	内　容
アプリケーション	スキャンしたデータを指定したアプリケーションにて開きます。
フォルダ	スキャンしたデータを指定したフォルダに保存します。
メール	スキャンしたデータを E メールの添付ファイルにします。
PC-FAX	スキャンしたデータを PC-FAX の送信イメージにします。

ネットワーク PC を選択したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
応用機能	プロファイル一覧			プロファイルを選択します。
	サブフォルダ			スタートキー押下前に、サブフォルダを作成する場合のサブフォルダ名を設定します。
	両面読取		OFF 左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問合せるかを設定します。
	読取向き		左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きを設定します。 左端：読取開始位置を、取り込んだ画像の上端に定義します。 上端：読取開始位置を、取り込んだ画像の左端に定義します。
	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ（白黒）2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ（グレースケール）	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ（グレースケール）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ（2 値）	PDF TIFF	モノクロ（2値）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ（グレースケール）	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON（モノクロ（グレースケール））の時の圧縮率を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
応用機能	圧縮レベル	モノクロ （2 値）	高（G4） 中（G3） Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF（モノクロ（2値））の時の圧縮率を設定します。
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5～50mm （1mm/Step） 0.2～2.0inch （0.1inch/Step）	枠消去の消し幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1～50mm （1mm/Step） 0.1～2.0inch （0.1inch/Step）	センター消去の消し幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストを設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	赤・緑・青色調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景（下地）色・裏写りが目立たないように設定します。
濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取りの濃度を設定します。
解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	原稿読み取り解像度を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目		内　容
読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿サイズを設定します。
ファイル名		イメージファイル名を文字入力画面で入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。

プリンタ待機画面

<table>
<tr><th colspan="4">項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td colspan="4">オンライン</td><td>オンライン / オフラインを切替えます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ジョブ印刷</td><td rowspan="2">保存ジョブ
*このメニューに入るには、パスワードが必要です。</td><td rowspan="2">パスワード</td><td>印刷</td><td>ハードディスクに格納された認証印刷ジョブ（Secure Job）を印刷する際に使用します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>保存ジョブを削除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">暗号ジョブ
*このメニューに入るには、パスワードが必要です。</td><td rowspan="2">パスワード</td><td>印刷</td><td>ハードディスクに格納された暗号化認証印刷ジョブ（Encrypted Job）を印刷する際に使用します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>暗号ジョブを削除します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">ジョブリスト</td><td>先順位の高いジョブリストを 100 件まで表示します。
ジョブを選択して処理を中止することが可能です。</td></tr>
</table>

＜機器設定＞キーを押したとき

機器設定　画面

項　目	内　容
アドレス帳	アドレス帳を作成、編集します。
用紙	トレイの用紙設定をします。
原稿蓄積設定	原稿読取データの蓄積設定をします。
プロファイル	プロファイルを作成、編集します。
装置情報	装置情報を確認します。
管理者設定	管理者設定をします。
ジョブメモリ設定	ジョブメモリ設定をします。
シャットダウン	シャットダウンをします。

［アドレス帳］を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
E メール ｱﾄﾞﾚｽ	登録 / 変更	名前	相手先名を入力します。 半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
		読み仮名	読み仮名を入力します。 半角英数字および半角カタカナで 8 文字まで登録できます。
		ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	E メールアドレスを入力します。 半角英数字で 80 文字まで登録できます。
		ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	グループを選択します。
	削除		アドレスを削除します。
	削除して繰り上げ		アドレスを削除して順番を繰上げます。
	挿入		アドレスを挿入します。
	グループ	名称	グループ名を設定します。 半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
		ｱﾄﾞﾚｽ番号	アドレス番号を選択します。 1グループに 256 件の登録が可能です。
短縮ダイヤル ※通信予約されている状態では、短縮ダイヤルの変更削除は行えません。	登録 / 変更	相手先番号	相手先番号を入力します。 最大 40 桁まで登録できます。
		相手先名	相手先名を入力します。 半角では 24 文字、全角では 12 文字まで入力できます。
		読み仮名	読み仮名を入力します。 半角英数字および半角カタカナで 8 文字まで登録できます。
		ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	グループを選択します。
	削除		アドレスを削除します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
短縮ダイヤル ※通信予約されている状態では、短縮ダイヤルの変更削除は行えません。	削除して繰り上げ		アドレスを削除して順番を繰上げます。
	挿入		アドレスを挿入します。
	グループ	名称	グループ名を設定します。半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
		短縮ダイヤル	短縮ダイヤルを選択します。1グループに500 件の登録が可能です。

［用紙］を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
トレイ 1	用紙サイズ		カセットサイズ カスタム	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	幅	105 mm 〜 210 mm 〜 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。（システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			4.1 inch 〜 8.3 inch 〜 11.7 inch	
		長さ	148 mm 〜 297 mm 〜 431 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。（システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			5.8 inch 〜 11.7 inch 〜 17.0 inch	

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
トレイ 1	用紙種類		普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。USERTYPE 1〜5 は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙	用紙の厚さを選択します。ごく厚い紙は設定出来ません。
	リーガルサイズ		リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	リーガルサイズを選択します。
トレイ 2	用紙サイズ		カセットサイズ カスタム	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	幅	148 mm 〜 210 mm 〜 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。（システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			5.8 inch 〜 8.3 inch 〜 11.7 inch	
		長さ	182 mm 〜 297 mm 〜 431 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。（システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			7.2 inch 〜 11.7 inch 〜 17.0 inch	

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
トレイ 2	用紙種類		普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。 USERTYPE 1～5は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙	用紙の厚さを選択します。
	リーガルサイズ		リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	リーガルサイズを選択します。
トレイ 3	用紙サイズ		カセットサイズ カスタム	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	幅	148 mm ～ 210 mm ～ 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			5.8 inch ～ 8.3 inch ～ 11.7 inch	

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
トレイ 3	カスタムサイズ	長さ	182 mm ～ 297 mm ～ 431 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			7.2 inch ～ 11.7 inch ～ 17.0 inch	
	用紙種類		普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。 USERTYPE 1～5は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙	用紙の厚さを選択します。
	リーガルサイズ		リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	リーガルサイズを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
MP トレイ	用紙サイズ		A3 A4 A4 A5 A6 B4 B5 B5 リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13 レター レター エグゼクティブ カスタム COM-10 DL C5 C4 はがき 往復はがき 長形 3 号封筒 洋形 0 号封筒 洋形 4 号封筒 角形 2 号封筒 角形 3 号封筒	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	幅	64 mm ～ 210 mm ～ 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			2.5 inch ～ 8.3 inch ～ 11.7 inch	

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
MP トレイ	カスタムサイズ	長さ	105 mm ～ 297 mm ～ 1200 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			4.1 inch ～ 11.7 inch ～ 47.2 inch	
	用紙種類		普通紙 レターヘッド OHP ラベル紙 ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。 USERTYPE 1～5は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙	用紙の厚さを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
印刷トレイ指定	ファクス	トレイ 1	ON OFF ON（優先）	受信原稿の印刷に使用するトレイを選択します。
		トレイ 2	ON OFF ON（優先）	
		トレイ 3	ON OFF ON（優先）	
		MP トレイ	ON OFF ON（優先）	
	コピー	トレイ 1	ON OFF ON（優先）	自動トレイ選択時に使用するトレイを選択します。
		トレイ 2	ON OFF ON（優先）	
		トレイ 3	ON OFF ON（優先）	
		MP トレイ	ON OFF ON（優先）	

［原稿蓄積設定］を押したとき

項目	内容
蓄積	掲示板へ原稿を蓄積します。（175 ページ参照）
削除	蓄積原稿を削除します。（179 ページ参照）
印刷	蓄積原稿を印刷します。（177 ページ参照）

［プロファイル］を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
登録 / 変更	プロファイル名		プロファイル名を入力します。 半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
	プロトコル	CIFS FTP HTTP	ファイル格納に使用するプロトコルを選択します。
	対象 URL		サーバアドレスと、スキャンデータを保存するディレクトリを指定します。 半角では 144 文字、全角では 72 文字まで登録できます。
	ポート番号	1 ≀ 445（CIFS） ≀ 65535	ポート番号を設定します。
	FTP Passive モード	OFF ON	FTP の Passive モードの有効 / 無効を選択します。 プロトコルで“FTP”を選択した場合のみ表示されます。
	ユーザ名		サーバへのログインに使用するユーザ名を入力します。 半角英数字で 32 文字まで登録できます。
	パスワード		サーバへのログインに使用するパスワードを入力します。 半角英数字で 32 文字まで登録できます。
	ホスト側漢字コード	EUC Shift-JIS UTF-8	ホスト側漢字コードを選択します。 プロトコルで FTP を選択した場合のみ表示されます。
	CIFS 文字セット	UTF-16 Shift-JIS	使用する文字コードを選択します。 プロトコルで CIFS を選択した場合のみ表示されます。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
登録 / 変更	通信の暗号化		(FTP) None Implicit Explicit (HTTP) None HTTPS STARTTLS	通信の暗号化方法を選択します。 選択されているプロトコルに応じて選択肢が変化します。 CIFS は暗号化を選択出来ません。
	ファイル名			イメージファイル名を入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。
	画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿の画質を設定します。
		背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	原稿の背景(下地)色・裏写りが目立たないように設定します。
	濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取りの濃度を設定します。
	解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	読み取り解像度を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
登録 / 変更	読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF:原稿をモノクロ(白黒)2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(グレースケール)	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ(グレースケール)でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(2 値)	PDF TIFF	モノクロ(2 値)でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(グレースケール)	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON(モノクロ(グレースケール))の時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(2 値)	高 (G4) 中 (G3) Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF(モノクロ(2値))の時の圧縮率を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
登録 / 変更	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
		消し幅	5 ～ 50mm（1mm/Step） 0.2 ～ 2.0inch（0.1inch/Step）	枠消去の消し幅を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm（1mm/Step） 0.1 ～ 2.0inch（0.1inch/Step）	センター消去の消し幅を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿のコントラストを設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー原稿の色相を設定をします。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
登録 / 変更	彩度調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー原稿の彩度を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
	赤・緑・青色調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
削除			プロファイルを削除します。

［装置情報］を押したとき

項目			内容
印刷カウンタ	印刷カウンタ	トレイ 1 ページカウント：nnnnnnnn	トレイ 1 の総印刷枚数を表示します。
		トレイ 2 ページカウント：nnnnnnnn	トレイ 2 の総印刷枚数を表示します。
		トレイ 3 ページカウント：nnnnnnnn	トレイ 3 の総印刷枚数を表示します。
		MP トレイ ページカウント：nnnnnnnn	MP トレイの総印刷枚数を表示します。
	A4/ レター換算カウンタ	カラーカウント：nnnnnnnn	A4/ レター換算したカラーの総印刷枚数を表示します。
		モノクロカウント：nnnnnnnn	A4/ レター換算したモノクロの総印刷枚数を表示します。

項　目			内　容
スキャナカウンタ	スキャンページ数累計	nnnnnnnn	総読み取り原稿枚数を表示します。
	スキャンページ数	nnnnnnnn	読み取り原稿枚数を表示します。
	自動給紙スキャンページ数累計	nnnnnnnn	自動原稿送り装置からの総読み取り原稿枚数を表示します。
	自動給紙スキャンページ数	nnnnnnnn	自動原稿送り装置からの読み取り原稿枚数を表示します。
消耗品残量	ブラックドラム	残り xxx%	ブラックのイメージドラムの残寿命を表示します。
	シアンドラム	残り xxx%	シアンのイメージドラムの残寿命を表示します。
	マゼンタドラム	残り xxx%	マゼンタのイメージドラムの残寿命を表示します。
	イエロードラム	残り xxx%	イエローのイメージドラムの残寿命を表示します。
	ベルト	残り xxx%	ベルトユニットの残寿命を表示します。
	定着器	残り xxx%	定着器の残寿命を表示します。
	ブラックトナー（n.nK）*	残り xxx%	トナーの残量を％表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。 （2.3K）： スタータートナーカートリッジ （7.0K）： トナーカートリッジ （2.5K）： トナーカートリッジSタイプまたは、イメージドラムに添付のトナーカートリッジ
	シアントナー（n.nK）*	残り xxx%	
	マゼンタトナー（n.nK）*	残り xxx%	
	イエロートナー（n.nK）*	残り xxx%	

項　目			内　容
ｼｽﾃﾑ情報	ｼﾘｱﾙ番号	xxxxxxxx xxxxxxxx	シリアルナンバ（最大16文字の英数字）を示します。
	管理番号	xxxxxxxx	アセット番号（最大8文字の英数字）を示します。
	ﾛｯﾄ番号	xxxxxxxx xxxxxxxx	ロット番号（最大16文字の英数字）を示します。
	CU ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	CU（Control Unit）ファームウェアの版数を示します。
	PU ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx.xx	PU（Print Unit）ファームウェアの版数を示します。
	SIP ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	SIP（Scanner Imaging Processor）の制御用ファームウェアのバージョンを表示します。
	ｽｷｬﾅ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	スキャナのファームウェアの版数を示します。
	ﾒﾓﾘ容量	xx MB	搭載されている全てのRAMのサイズを合計した値を示します。
	ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘ情報	xx MB［Fxx］	搭載されている全てのフラッシュメモリのサイズを合計した値を示します。
ﾈｯﾄﾜｰｸ	IPv4 ｱﾄﾞﾚｽ	xxx.xxx.xxx.xxx	［管理者設定］-［ﾈｯﾄﾜｰｸ管理］-［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］-［TCP/IP］が"無効"、あるいは［IPバージョン］が"IPv6"の場合、本メニューは表示されません。
	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	xxx.xxx.xxx.xxx	［管理者設定］-［ﾈｯﾄﾜｰｸ管理］-［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］-［TCP/IP］が"無効"、あるいは［IPバージョン］が"IPv6"の場合、本メニューは表示されません。
	ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ	xxx.xxx.xxx.xxx	［管理者設定］-［ﾈｯﾄﾜｰｸ管理］-［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］-［TCP/IP］が"無効"、あるいは［IPバージョン］が"IPv6"の場合、本メニューは表示されません。
	MAC ｱﾄﾞﾚｽ	xx:xx:xx:xx:xx:xx	MACアドレスを表示します。
	NIC ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	ネットワークF/Wのバージョンを表示します。

項　目			内　容
ﾈｯﾄﾜｰｸ	IPv6 ｱﾄﾞﾚｽ（ﾛｰｶﾙ）	xxxx:xxxx:xxxx: xxxx:xxxx:xxxx	「管理者設定」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ管理」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ設定」-「TCP/IP」が "無効"、あるいは「IP バージョン」が "IPv4" の場合、本メニューは表示されません。
	IPv6 ｱﾄﾞﾚｽ（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ）	xxxx:xxxx:xxxx: xxxx:xxxx:xxxx	「管理者設定」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ管理」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ設定」-「TCP/IP」が "無効"、あるいは「IP バージョン」が "IPv4" の場合、本メニューは表示されません。

［管理者設定］を押したとき

このメニューに入るには、［管理者パスワード］の入力が必要です。工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

■ コピー機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
コピー初期値	画質	画質	文字 文字 / 写真 写真 高精細	画質の初期値を設定します。
		背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	背景・裏写り除去の初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
コピー初期値	濃度	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	濃度の初期値を設定します。
	拡大 / 縮小	100% 自動	拡大 / 縮小の初期値を設定します。
	ソート	ON OFF	コピーをページ順にそろえるかの初期値を設定します。
	ミックス原稿	ON OFF	大きさの違う原稿をそれぞれのサイズの用紙にコピーするかの初期値を設定します。
	読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズの初期値を設定します。
	継続読取	ON OFF	次原稿の有無を問合せるかの初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
コピー初期値	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストの初期値を設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相調整の初期値を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度調整の初期値を設定します。
	赤・緑・青色調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱の初期値を設定します。
	とじしろ	設定	ON OFF	とじしろの有効 / 無効の初期値を設定します。
		左幅（表面）	0 ～± 25mm （1mm step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch step）	表面のコピー出力画の右方向への移動幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
コピー初期値	とじしろ	上幅（表面）	0 ～± 25mm （1mm step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch step）	表面のコピー出力画の下方向への移動幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		左幅（裏面）	0 ～± 25mm （1mm step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch step）	裏面のコピー出力画の右方向への移動幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		上幅（裏面）	0 ～± 25mm （1mm step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch step）	裏面のコピー出力画の下方向への移動幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかの初期値を設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm （1mm step） 0.2 ～ 2.0inch （0.1inch step）	枠消去の消し幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	センター消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかの設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm （1mm step） 0.1 ～ 2.0inch （0.1inch step）	センター消去の消し幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	両面	ｺﾋﾟｰ方法	OFF 片面 -> 両面 両面 -> 両面 両面 -> 片面	両面コピーの種類の初期値を設定します。
		とじ位置、原稿のとじ	左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置の初期値を設定します。

■ ファクス機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
送信初期値	画質	標準 高画質 超高画質 写真 背景除去	原稿読み取り画質の初期値を設定します。
	濃度	濃く やや濃く 普通 やや薄く 薄く	原稿読み取り濃度の初期値を設定します。
	読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズの初期値を設定します。
	継続読取	ON OFF	次原稿の有無を問合せるかの初期値を設定します。
	発信元名	ON OFF	相手先の受信原稿にこちらの発信元名を印刷するかの初期値を設定します。
	送信確認証	ON OFF	送信結果を自動印字するかの初期値を設定します。
	メモリ送信	ON OFF	メモリ送信の初期値を設定します。 OFF にするとリアルタイム送信になります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容	
F コードボックス	登録 / 変更	親展ボックス	ボックス名	親展ボックス名を入力します。	
			サブアドレス	親展ボックスのサブアドレスを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、‘0’ - ‘9’, ‘#’, ‘*’	
			パスワード	親展ボックスのパスワードを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、‘0’ - ‘9’, ‘#’, ‘*’	
			保存期間	00-31 日	
			暗証番号	親展ボックスの暗証番号を入力します。 4 文字固定、‘0’ - ‘9’ (数字のみ)	
		掲示板ボックス	ボックス名	掲示板ボックス名を入力します。 半角最大 16 文字、全角最大 8 文字 (文字数は親展と同じ)	
			サブアドレス	掲示板ボックスのサブアドレスを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、‘0’ - ‘9’, ‘#’, ‘*’	
			パスワード	掲示板ボックスのパスワードを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、‘0’ - ‘9’, ‘#’, ‘*’	
			受信禁止	OFF / ON	ON に設定した場合 ,F コード掲示板受信を禁止する。掲示板ポーリング送信のみを許可します。
			同時印刷	OFF / ON	ON に設定した場合は、F コード掲示板受信完了時に、自動的に受信画データの印刷を行います。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容	
F コードボックス	登録 / 変更	掲示板ボックス	上書き許可	OFF / ON	ON に設定した場合、上書き方式として、掲示板受信時にすでに保存されているすべての画データを消去して、新たな画データを保存します。
			送信後原稿消去	OFF / ON	ON に設定した場合,F コード掲示板ポーリング送信にて相手側に送信した保存画データを削除します。
			暗証番号	掲示板ボックスの暗証番号を入力します。	
	削除			F コードボックスを削除します。	
セキュリティ機能	ID チェック送信		ON OFF	ID チェック送信を設定します。	
	同報宛先確認		ON OFF	送信を始める前に相手先番号を表示するか設定します。	
	ﾀﾞｲﾔﾙ 2 度押し		ON OFF	ダイヤル 2 度押しを設定します。	
通信管理レポート自動印刷	設定		ON OFF	通信管理レポート自動印刷を設定します。	
	時刻指定		ON OFF	指定時刻の入力をします。	

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
その他の設定	リダイヤル回数		0 回 ≀ 3 回 ≀ 15 回	リダイヤル回数を設定します。
	リダイヤル間隔		0 分 ≀ 1 分 ≀ 5 分	リダイヤル間隔を設定します。
	ダイレクトメール防止	設定	OFF モード 1 モード 2 モード 3	ダイレクトメール防止の設定をします。
		登録 / 変更		モード 2、モード 3 の登録と変更をします。
		削除		モード 2、モード 3 の登録データを削除します。
	呼出ベル回数		0 回 ≀ 2 回 ≀ 10 回	呼出しベル回数を設定します。
	ポーズ時間		0 秒 ≀ 3 秒 ≀ 10 秒	ダイヤルポーズ時間を設定します。
	超高画質解像度		400 dpi 600 dpi	超高画質解像度の解像度を設定します。
	受信縮小率		自動 100%	受信縮小率を設定します。
	しきい値		0 mm ≀ 24 mm ≀ 85 mm	受信縮小のしきい値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
その他の設定	回転送信	ON OFF	回転送信を設定します。
	ECM モード	ON OFF	ECM モードの設定をします。
	プレフィクス	0000	プレフィックスを設定します。 最大 40 桁
	受信タイムスタンプ	ON OFF	受信タイムスタンプの設定をします。
	チェックメッセージ印刷	ON OFF	チェックメッセージ印刷を設定します。

■ スキャナ機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
スキャン初期値（ScanTo メール、ScanTo USB メモリ共通）	画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質の初期値を設定します。
		背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	背景・裏写り除去の初期値を設定します。
	濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	濃度の初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
スキャン初期値（ScanTo メール、ScanTo USB メモリ共通）	コントラスト	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストの初期値を設定します。
	解像度	75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	解像度の初期値を設定します。
	読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読み取りサイズの初期値を設定します。
	継続読取	ON OFF	次原稿の有無を問合せるかの初期値を設定します。
	読取向き	左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きの初期値を設定します。 左端：読取開始位置を取り込んだ画像の上端に定義します。 上端：読取開始位置を取り込んだ画像の左端に定義します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
スキャン初期値 （ScanTo メール、ScanTo USB メモリ共通）	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相の初期値を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度の初期値を設定します。
	赤・緑・青色調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱の初期値を設定します。
	グレースケール		ON OFF	グレースケールの初期値を設定します。 ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ（白黒）2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットの初期値を設定します。
		モノクロ（グレースケール）	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ（グレースケール）でのスキャン時のファイルフォーマットの初期値を設定します。
		モノクロ（2 値）	PDF TIFF	モノクロ（2値）でのスキャン時のファイルフォーマットの初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
スキャン初期値 （ScanTo メール、ScanTo USB メモリ共通）	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率の初期値を設定します。
		モノクロ（グレースケール）	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON（モノクロ（グレースケール））の時の圧縮率の初期値を設定します。
		モノクロ（2 値）	高 中 Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF（モノクロ（2値））の時の圧縮率の初期値を設定します。
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかの初期値を設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm （1mm step） 0.2 ～ 2.0inch （0.1inch step）	枠消去の消し幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかの初期値を設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm （1mm step） 0.1 ～ 2.0inch （0.1inch step）	センター消去の消し幅の初期値を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
メール設定	ファイル名		ファイル名	イメージファイル名の初期値を設定します。
	メール編集定型文		件名編集	件名を登録 / 編集します。
			本文編集	本文を登録 / 編集します。
	送信者 / 返信先		送信者	From 欄に付与する E メールアドレスを登録します。
			返信先	Reply to 欄に付与する E メールアドレスを登録します。
	同報宛先確認		ON OFF	同報送信を始める前に、入力した E メールアドレスを確認する画面を表示するかを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
USB メモリ 設定	ファイル名	ファイル名	ファイル名の初期値を設定します。 ファイル名として以下のオプションを指定出来ます。 #n:00000 ～ 99999 の連番を付与 #d: ファイル作成日時を付与 （yymmddhhmmss）

■ プリンタ機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
印刷 メニュー	トレイ構成	給紙トレイ	トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3 MP トレイ	給紙トレイを指定します。 トレイ 2/3 は実装時のみ表示されます。
		自動トレイ切り替え	OFF ON	自動トレイ切り替え機能を設定します。
		トレイ選択順序	下方向 上方向 給紙トレイ	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り換え時の、選択順序プライオリティを指定します。
		MP トレイ使い方	用紙違いのとき 使用しない	MP トレイの使い方を設定します。
		用紙 チェック	有効 無効	印刷データの用紙サイズとトレイの用紙サイズの不整合をチェックするか否かを設定します。
	印刷設定	コピー枚数	1 ～ 999	コピー枚数を設定します。 ローカル印刷には、デモデータを除き、本設定は無効です。
		両面印刷	ON OFF	両面印刷を指定します。
		とじ方	横とじ 縦とじ	両面印刷のとじ方を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
印刷 メニュー	印刷設定	解像度	600DPI 600x1200DPI 600DPI M-LEVEL	解像度の初期値を設定します。
		トナーセーブモード	ON OFF	トナーセーブモードの有効 / 無効を切り替えます。
		モノクロ印刷速度	自動 34PPM 30PPM 26PPM	モノクロ印刷速度を設定します。
		印刷方向	縦方向 横方向	印刷方向を設定します。
		1 ページ行数	5 行 ～ 64 行 ～ 128 行	1 ページに印字可能な行数を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
印刷メニュー	印刷設定	編集サイズ	カセットサイズ A3 A4 A4 A5 A6 B4 B5 B5 リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13 レター レター エグゼクティブ カスタム COM-10 DL C5 C4 はがき 往復はがき 長形 3 号封筒 洋形 0 号封筒 洋形 4 号封筒 角形 2 号封筒 角形 3 号封筒	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。［カセット　サイズ］を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。
		用紙幅	64 ～ 210 ～ 297 mm 2.5 ～ 8.3 ～ 11.7 inch	カスタム用紙の用紙幅の初期値を設定します。
		用紙長さ	105 ～ 297 ～ 1200 mm 4.1 ～ 11.7 ～ 47.2 inch	カスタム用紙の用紙長の初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
印刷メニュー	印刷補正	ﾏﾆｭｱﾙﾀｲﾑｱｳﾄ	無効 30 秒 60 秒	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。
		ﾀｲﾑｱｳﾄ印刷	無効 5 秒 10 秒 20 秒 30 秒 40 秒 50 秒 60 秒 90 秒 120 秒 150 秒 180 秒 210 秒 240 秒 270 秒 300 秒	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 PS はジョブをキャンセルします。
		ﾄﾅｰ不足時の印刷	継続 中止	［トナー不足］が初めて表示されたときに印刷を継続するかどうか設定します。 中止の場合は［***　トナー不足］（*** はトナー色）が表示されると印刷を停止します。
		ｼﾞｬﾑﾘｶﾊﾞｰ	有効 無効	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうかを設定します。
		普通紙ブラック設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。
		普通紙カラー設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
印刷メニュー	印刷補正	OHPブラック設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。
		OHPカラー設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。
		SMR 設定	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。画質にむらがある場合に値を変更します。
		BG 設定	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。下地が濃い場合に値を変更します。
	印刷位置補正	X 補正	0～± 2.00 mm (0.25mm Step)	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します。
		Y 補正	0～± 2.00 mm (0.25mm Step)	印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します。
		両面印刷X 補正	0～± 2.00 mm (0.25mm Step)	両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します。
		両面印刷Y 補正	0～± 2.00 mm (0.25mm Step)	両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
印刷メニュー	ドラムクリーニング	ON OFF	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。 画質改善の効果がある場合があります。
	ヘキサダンプ	ON OFF	16 進ダンプで印刷します。16 進ダンプの印刷を終了するには、電源を OFF にします。
カラーメニュー	濃度補正モード	自動 手動	装置で設定が必要または装置の設定が優先します。
	濃度補正	実行	濃度補正を実行します。
	調整パターン印刷	実行	カラー・パターン印刷を実行します。
	シアン淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	シアン中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。
	シアン濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	マゼンタ 淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	マゼンタ 中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。
	マゼンタ 濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。
	イエロー 淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	イエロー 中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	イエロー 濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。
	ブラック 淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	ブラック 中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。
	ブラック 濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。
	シアン 濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	マゼンタ濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。
	イエロー濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。
	ブラック濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。
	色ずれ補正	実行	このメニューを実行すると、装置は自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。
	シアン位置ずれ微調整	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの画像位置ズレを微調整します。
	マゼンタ位置ずれ微調整	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	イエロー位置ずれ微調整	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの画像位置ズレを微調整します。
	インクシミュレーション	OFF SWOP EUROSCALE JAPAN	インクシミュレーションを設定します。この設定は PS 言語ジョブに対してのみ有効です。
	UCR	少ない 普通 多い	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。 墨版の量を多くすると他の 3 色のトナー量の節約になります。
	CMY100%濃度	無効 有効	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効とするかどうかを選択します。
	CMYK 変換	OFF ON	［OFF］にすると、ポストスクリプト印刷データの中で CMYK データを多用される場合に印字時間を短縮するのに有効です。ただし、印刷結果の色合いが変わります。また、インクシミュレーション機能を利用する場合にはこのメニュー設定は無効になります。
システム構成メニュー	動作モード	自動 PCL PS3エミュレーション	プリント言語を選択します。［自動］にするとプリント言語を自動切替えします。
	アラーム解除	手動 自動	PS: この設定によらずジョブ中のみエラーを表示します。 PCL: 復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［手動］は〈ストップ〉キーを押すまでエラーを表示します。 ［自動］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。
	エラー自動解除	OFF ON	メモリオーバフロー発生時、自動的に装置を復旧させるかを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
システム構成メニュー	エラーレポート	OFF ON	ポストスクリプトエラーが発生したとき、エラーレポートを印刷するかどうか設定します。
PCL設定	使用フォント	内蔵フォント 内蔵フォント 2	使用するフォントの場所を指定します。
	フォント No.	I0 〜 I90 C1 〜 C4	使用するフォントの番号を選択します。［内蔵フォント］が選択されている場合には、I0 〜 I90 が選択できます。［内蔵フォント 2］が選択されている場合には、C1 〜 C4 が選択できます。
	フォントピッチ	0.44 〜 10.00 〜 99.99CPI	フォントの幅を設定します。0.01CPI 単位で増加 / 減少します。（単位 :character/inch）［フォント No.］で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。
	フォントサイズ	4.00 〜 12.00 〜 999.75 ポイント	フォントの高さを設定します。0.25 ポイント単位で増加 / 減少します。（単位 : ポイント）［フォント No.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。
	シンボルセット	PC-8 PC-8 Dan/Nor PC-8 TK PC-775 PC-850 PC-852 PC-855 PC-857 TK PC-858 PC-864 PC-866 PC-869 PC-1004 Pi Font	シンボルセットを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
PCL設定	シンボルセット	Plska Mazvia PS Math PS Text Roman-8 Roman-9 Roman Ext Serbo Croat1 Serbo Croat2 Spanish Ukrainian VN Int'l VN Math VN US Win 3.0 Win 3.1 Blt Win 3.1 Cyr Win 3.1 Grk Win 3.1 Heb Win 3.1 L1 Win 3.1 L2 Win 3.1 L5 Wingdings Dingbats MS Symbol OCR-A OCR-B OKIOCRB HP ZIP USPSFIM USPSSTP USPSZIP Bulgarian CWI Hung DeskTop German Greek-437 Greek-437 Cy Greek-737 Greek-928 Hebrew NC Hebrew OC IBM-437 IBM-850 IBM-860	シンボルセットを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
PCL設定	シンボルセット	IBM-863 IBM-865 ISO Dutch ISO L1 ISO L2 ISO L5 ISO L6 ISO L9 ISO Swedish1 ISO Swedish2 ISO Swedish3 ISO-2 IRV ISO-4 UK ISO-6 ASC ISO-10 S/F ISO-11 Swe ISO-14 JASC ISO-15 Ita ISO-16 Por ISO-17 Spa ISO-21 Ger ISO-25 Fre ISO-57 Chi ISO-60 Nor ISO-61 Nor ISO-69 Fre ISO-84 Por ISO-85 Spa Kamenicky Legal Math-8 MC Text MS Publish PC Ext D/N PC Ext US PC Set1 PC Set2 D/N PC Set2 US Win3.1 J	シンボルセットを選択します。
	A4 印字幅	78 桁 80 桁	A4 用紙の自動改行する桁数を設定します。
	白紙ページ除外	OFF ON	空白ページを印刷しないようにするかを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
PCL設定	CR 動作		CR のみ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。
	LF 動作		LF のみ LF+CR	LF コード受信時の動作を設定します。
	印刷領域		ノーマル 1/5 インチ 1/6 インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。
	イメージ黒選択		単色黒 混合黒	イメージデータの黒を CMYK 混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。
	ペン幅補正		OFF ON	細い線を見えるように補正します。 PS には無効です。
	トレイ ID#	トレイ 2	1 ~ 5 ~ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 2 指定の # を指定します。 *: オプションのセカンドトレイユニット
		トレイ 3	1 ~ 20 ~ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 3 指定の # を指定します。 *: オプションのサードトレイユニット
		MP トレイ	1 ~ 4 ~ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、MP トレイ指定の # を指定します。

■ ネットワーク管理

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定	TCP/IP	有効 無効	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	IP バージョン	IPv4 IPv4 + IPv6 IPv6*	使用する IP のバージョンを設定します。TCP/IP が無効の場合は表示されません。*Telnet を使用してアクセスした場合のみ、"IPv6" を選択できます。他の手段からは選択できません。
	NetBEUI	有効 無効	NetBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	NetBIOS over TCP	有効 無効	NetBIOS over TCP プロトコルの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	NetWare	有効 無効	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	EtherTalk	有効 無効	EtherTalk プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	フレームタイプ	自動 802.2 802.3 ETHERNET II SNAP	フレームタイプを設定します。 * NetWare が無効の場合は表示されません。
	IP ｱﾄﾞﾚｽ設定	自動 手動	IP アドレスの設定方法を設定します。TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	IPv4 ｱﾄﾞﾚｽ	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	Web	有効 無効	Web ブラウザからのアクセスの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効の場合は本メニューは表示されません。
	Telnet	有効 無効	TELNET を使用したアクセスの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効の場合は本メニューは表示されません。
	FTP	有効 無効	FTP でのアクセスの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効の場合は本メニューは表示されません。
	IPSec	有効 無効	IPSec が有効に設定されている場合のみ表示し、無効への変更のみ可能です。IPSec を有効にするには、Web から設定を行います。
	SNMP	有効 無効	SNMP でのアクセスの有効 / 無効を設定します。NETWARE が無効且つ、TCP/IP が無効の場合、本メニューは表示されません。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定	ネットワークの規模	普通 小規模	普通：一般的にはこの設定を使用してください。 スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN に接続すると装置が起動する時間が長くなるデメリットがあります。 小規模：コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
	ハブとの接続	自動 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB との接続モードを設定します。 通常は「自動」に設定します。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ PS- プロトコル	ASCII RAW	PS- プロトコルを設定します。
	出荷時設定に戻す	実行	ネットワーク、メールサーバ、LDAP サーバ、セキュアプロトコルサーバの設定を工場出荷時の設定に戻します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
メールサーバ設定	SMTP ｻｰﾊﾞ	IP アドレスまたは、サーバ名	SMTP サーバの IP アドレスもしくは、サーバ名を設定します。
	SMTP ﾎﾟｰﾄ	1 ≀ 25 ≀ 465（SMTPS） ≀ 65535	SMTP サーバのポート番号を設定します。 通常は初期設定でご使用ください。
	SMTP 送信暗号化方式	None SMTPS STARTTLS	メールサーバ（SMTP）との通信の暗号化を設定します。
	POP3 ｻｰﾊﾞ	IP アドレスまたは、サーバ名	POP3 サーバの IP アドレスもしくは、サーバ名を設定します。 「POP before SMTP」認証もしくは「メール受信印刷」を行うときに必要です。
	POP3 ﾎﾟｰﾄ	1 ≀ 110 ≀ 65535	POP3 サーバ側の POP3 で用意しているポート番号を設定します。 通常は初期設定でご使用ください。 「POP before SMTP」認証もしくは「メール受信印刷」を行うときに必要です。
	POP 暗号化方式	None POP3S STARTTLS	メールサーバ（POP）との通信の暗号化を設定します。
	認証方法	無し SMTP POP	E メール送信時の認証方法を設定します。 SMTP は、SMTP サーバ認証を行います。 POP は、POP before SMTP 認証を行います。
	SMTP ユーザ ID	ユーザ ID	SMTP 認証に使用するサーバへのログイン名を設定します。
	SMTP パスワード	パスワード	SMTP 認証に使用するサーバへのパスワードを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
メールサーバ設定	POP ユーザ ID		ユーザ ID	POP 認証もしくは「メール受信印刷」に使用するサーバへのログイン名を設定します。
	POP パスワード		パスワード	POP 認証もしくは「メール受信印刷」に使用するサーバへのパスワードを設定します。
LDAP サーバ設定	ｻｰﾊﾞ設定	LDAP ｻｰﾊﾞ	IP アドレスまたは、サーバ名	LDAP サーバの IP アドレスまたは、サーバ名を設定します。
		ﾎﾟｰﾄ番号	1 ～ 389 ～ 65535	LDAP サーバのポート番号を設定します。
		ﾀｲﾑｱｳﾄ	10 秒 ～ 30 秒 ～ 120 秒	LDAP サーバからの検索応答のタイムアウト値を設定します。
		最大ｴﾝﾄﾘ数	5 エントリ ～ 100 エントリ	取得する検索結果数の上限値を設定します。
		DN 名		LDAP ディレクトリの検索を開始する位置を指定します。
	属性	名前 1	名前検索条件 1	名前の検索に使用する属性を指定します。 初期値は "cn" です。
		名前 2	名前検索条件 2	名前の検索に使用する属性を指定します。 初期値は "sn" です。
		名前 3	名前検索条件 3	名前の検索に使用する属性を指定します。 初期値は "givenName" です。
		ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	メールアドレス検索条件	メールアドレスの検索に使用する属性を指定します。 初期値は "mail" です。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
LDAP サーバ設定	属性	追加ﾌｨﾙﾀ	追加設定	検索に使用する追加属性を指定します。
	認証	方法	Anonymous Simple Digest-MD5 Secure Protocol	認証方法を指定します。 Digest-MD5 の場合は DNS サーバ設定が必要です。 Secure Protocol の場合はセキュアプロトコルサーバ設定が必要です。
		ﾕｰｻﾞ ID	ﾕｰｻﾞ ID	LDAP サーバの認証用ユーザ ID を設定します。 LDAP サーバ設定の認証方法が "Anonymous" の場合、本メニューは表示されません。
		ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	LDAP サーバの認証用パスワード を設定します。 LDAP サーバ設定の認証方法が "Anonymous" の場合、本メニューは表示されません。
	暗号化		None LDAPS STARTTLS	LDAP サーバとの通信の暗号化を設定します。
セキュアプロトコルサーバ設定	ドメイン名		ドメイン名	ケルベロス認証時のレルム名をセットします。

■ 機器管理

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
待機画面表示設定	コピー画面	1. 画質 2. 濃度 3. トレイ 4. 拡大 / 縮小 5. ソート		コピー待機画面のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、集約、リピート、ページ分割、とじしろ、枠消去、センター消去、両面、ミックス原稿、読取サイズ、継続読取、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。
	ファクス画面	1. 短縮送信 2. 画質 3. 濃度 4. リダイヤル 5. オフフック		ファクス待機画面のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、両面読取、読取サイズ、グループ送信、継続読取、発信元名、発信元選択、送信確認証、時刻指定、ポーリング、F ポーリング、F コード送信、メモリ送信、ダイヤル記号入力、自動受信、ログアウトです。
	スキャナ画面	ネットワーク PC	1. 画質 2. 濃度 3. 解像度 4. 読取サイズ 5. ファイル名	スキャナ待機画面（ネットワーク PC）のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、サブフォルダ、両面読取、継続読取、読取向き、グレースケール、ファイル形式、圧縮レベル、枠消去、センター消去、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。
		メール	1. 宛先指定 2. 画質 3. 濃度 4. 解像度 5. 読取サイズ	スキャナ待機画面（メール）のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、返信先、メール編集、ファイル名、両面読取、継続読取、読取向き、グレースケール、ファイル形式、圧縮レベル、枠消去、センター消去、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
待機画面表示設定	スキャナ画面	USB メモリ	1. 画質 2. 濃度 3. 解像度 4. 読取サイズ 5. ファイル名	スキャナ待機画面（USB メモリ）のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、両面読取、継続読取、読取向き、グレースケール、ファイル形式、圧縮レベル、枠消去、センター消去、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。
	ﾃﾞﾌｫﾙﾄモード		コピー スキャナ ファクス プリント	装置の電源を入れたときや画面自動リセット時間を経過したときに選択されるモードを設定します。
お気に入りタブ設定	ファクス宛先表			番号順、一覧、グループなど
	メール宛先表			番号順、一覧、グループなど
画面自動ﾘｾｯﾄ時間	コピー画面	リセット時間	1 分 ≀ 3 分 ≀ 10 分	自動リセット時間を設定します。
		読取終了後にリセット	OFF ON	読取終了後の画面リセットを設定します。
	ファクス画面	リセット時間	1 分 ≀ 3 分 ≀ 10 分	自動リセット時間を設定します。
	スキャナ画面	リセット時間	1 分 ≀ 5 分 ≀ 10 分	自動リセット時間を設定します。
		読取終了後にリセット	OFF ON	読取終了後の画面リセットを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
音設定	ブザー音量		OFF 小 中 大	ブザー音量を設定します。
	キータッチ音量		OFF 小 中 大	キータッチ音量を設定します。
	キータッチ音色	ファクス	高音 中音 低音	ファクス操作時のキータッチ音色を設定します。
		コピー	高音 中音 低音	コピー操作時のキータッチ音色を設定します。
		スキャナ	高音 中音 低音	スキャナー操作時のキータッチ音色を設定します。
	呼出ブザー音		OFF ON	オプションの受話器がなくても、ファクス着信時に呼出ベル音を鳴るように設定します。
	動作完了音量		OFF 小 中 大	動作完了音量を設定します。
	動作完了音	コピー完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	コピー完了時の音色を設定します。
		ファクス送信完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ファクスの送信が完了した時の音色を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
音設定	動作完了音	ファクス受信完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ファクスの受信が完了した時の音色を設定します。
		ファクス受信印刷完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ファクスの受信印字が完了した時の音色を設定します。
		メール送信完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	メール送信が完了した時の音色を設定します。
		レポート印刷完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	レポート印刷が完了した時の音色を設定します。
		印刷完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	PC プリントが完了した時の音色を設定します。
		ガラス面読取完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ガラス面読取が完了した時の音色を設定します。
	紙づまりエラー音		OFF ON	用紙づまりが発生したときのアラーム音を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
音声案内	操作案内モード		自動 手動	動作モード（自動、手動）を設定します。 手動：1 回の操作後自動でガイダンスが流れます。 自動：案内があれば自動で全て流れます。
	操作案内音量		小 中 大 最大	操作案内の音量を設定します。
	エラー解除案内音量		OFF 小 中 大 最大	エラー解除案内の音量を設定します。 OFF に設定すると、エラー解除案内を行いません。
	お知らせガイダンス音量		OFF 小 中 大 最大	お知らせガイダンスの音量を設定します。 OFF に設定すると、お知らせガイダンスを行いません。
ローカルインターフェース※ 1	USB メニュー	USB	有効 無効	USB インタフェースの有効 / 無効を選択します。
		ソフトリセット	有効 無効	ソフトリセットコマンドの有効 / 無効を設定します。
		SPEED	480Mbps 12Mbps	USB インタフェースの最大転送速度を設定します。
		USB PS- プロトコル	ASCII RAW	USB PS- プロトコルを選択します。
		オフライン受信	有効 無効	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうかを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
ローカルインターフェース※ 1	USB メニュー	シリアルナンバー	有効 無効	USB シリアルナンバーの有効 / 無効を指定します。 USB シリアルナンバーは、PC が接続されている USB デバイスを識別するために使用されます。
	セントロメニュー	セントロ	有効 無効	セントロ I/F の有効 / 無効を設定します。
		双方向セントロ	有効 無効	双方向セントロの有効 / 無効を設定します。
		ECP	有効 無効	ECP モードの有効 / 無効を設定します。
		ACK 幅	狭い 普通 広い	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。 狭い = 0.5 μ s 普通 = 1.0 μ s 広い = 3.0 μ s
		ACK/BUSY タイミング	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。
		I-PRIME	3 マイクロ秒 50 マイクロ秒 無効	I-PRIME 信号の有効時間 / 無効を設定します。
		セントロ PS- プロトコル	ASCII RAW	セントロ PS- プロトコルを選択します。
		オフライン受信	有効 無効	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。
ｼｽﾃﾑ設定	ｱｸｾｽ制御		PIN ユーザ名 / パスワード 無効	アクセス制限の設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ｼｽﾃﾑ設定	ユーザ認証方法	ローカル LDAP ｾｷｭｱﾌﾟﾛﾄｺﾙ	アクセス制御でユーザを選んだときのみ表示します。
	表示単位	ｲﾝﾁ ﾐﾘ	MC860 が使用する単位（インチ / ミリメートル）の切り替えを行います。
	すべてのﾚﾎﾟｰﾄ印刷許可	有効 無効	個人情報に関わるレポートを印刷するか否かを設定します。 本メニューで［無効］が選択されている場合は、以下のレポートの印刷起動の際に管理者パスワードを要求します。 ・ｽｷｬﾝ To ﾛｸﾞ ・E メールアドレス帳 ・FAX 電話帳 ・宛先グループリスト ・通信確認レポート ・送信管理レポート ・受信管理レポート ・送信・受信管理レポート ・通信管理日報レポート
	ニアライフ時の LED	有効 無効	トナー、イメージドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のアラームランプ点灯制御を設定します。
	ニアライフ時のステータス	有効 無効	イメージドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のパネル表示制御を設定します。
	アドレス情報ロックタイムアウト	1（分） ≀ 3（分） ≀ 10（分）	アドレス帳 , 電話帳 , プロファイルをユーティリティなどからロックしたまま放置した際に、装置側でロックを解除するまでの時間を設定します。
	USB メモリインターフェース	有効 無効	本設定を無効にすると、スキャン To USB メモリ機能が使用できなくなります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
節電モード	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	ON OFF	省電力モードの有効 / 無効を設定します。
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ移行時間	5 分 15 分 30 分 60 分 240 分	低電力モードへの移行時間を設定します。
ﾒﾓﾘ設定	受信ﾊﾞｯﾌｧサイズ	自動 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32MB	ローカルインターフェースで確保する受信バッファサイズを設定します。
	リソースセーブエリア	自動 OFF 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32MB	リソースセービングエリアサイズを設定します。
フラッシュメモリ設定	初期化	実行	フラッシュメモリを初期化します。 登録した Demo データが削除されます。
ハードディスク設定	初期化	実行	ハードディスクを初期化します。 Demo データ、印刷ジョブが削除されます。
	フォーマット	PCL 共通 PS	ハードディスクをフォーマットします。 Demo データ、印刷ジョブが削除されます。

「節電モード」の「ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ」を「OFF」に設定した状態で長期間ご使用になると、電子部品（ファンなど）の寿命に影響を与える可能性があります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ストレージ保守設定	ファイルシステムチェック※ 1	実行	ファイルシステムの実（空き）容量と表示空き容量の不整合の解決と管理データ（FAT 情報）の修復を実行します。
	セクタチェック※ 1	実行	ハードディスクのセクタ情報不良の修復と上記ファイルシステムの不整合の修復を実行します。
	ハードディスクデータ消去	実行	ハードディスクの全データを消去します。Demo データ、印刷ジョブ、ログが削除されます。 この処理には 2 ～ 3 時間かかります。処理中は電源を切らないでください。
ストレージ保守設定	初期化の制限	有効 無効	ハードディスク・フラッシュメモリの初期化を伴う設定変更を許可するか否かを設定します。
暗号化設定	ジョブ制限	無効 暗号化ジョブのみ	"暗号化ジョブのみ" を選択した場合、暗号化認証印刷以外は受け捨てとなります。
言語保守設定	初期化※ 1	実行	ダウンロードされているメッセージファイルを削除します。
管理者パスワード		新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ / ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの再入力	管理者パスワードを変更します。 半角英数字で 6 ～ 12 文字 忘れると設定を変更できなくなります。
設定値初期化※ 2		実行	掲示板原稿、ジョブメモリ、ファクス送受信データ、履歴情報を削除し、各種設定を工場出荷時の設定に戻します。
ジョブログ消去※ 3		実行	ジョブログを削除します。

※ 1「変更すると装置が自動的に再起動します。変更してよろしいですか ?」と確認画面を表示し、「はい」を選んだ際は自動的に装置が再起動します。
「いいえ」を選んだ場合は、設定値を変更せずに確認画面を閉じます。
※ 2「実行すると装置が自動的に再起動します。実行してよろしいですか ?」と確認画面を表示し、「はい」を選んだ際は自動的に装置が再起動します。「いいえ」を選んだ場合は、確認画面を閉じます。
※ 3「実行するとジョブログがすべて削除されます。実行してよろしいですか？」と確認画面を表示し、「はい」を選んだ際はジョブログを削除します。「いいえ」を選んだ場合は、確認画面を閉じます。

■ 設置モード

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
時刻設定		1992/1/1 00 :00 ≀ 2008/1/1 00 :00 ≀ 2091/12/31 23 :59	時刻を設定します。
タイムゾーン		-12：00 ≀ +09：00 ≀ +13：00	GMT との時間差を、15 分単位で設定します。タイムゾーンの設定を変更した場合、変更前後の差分時間が現在時刻に反映されます。
ダイヤル種別		ﾌﾟｯｼｭ ﾀﾞｲﾔﾙ 10 ﾀﾞｲﾔﾙ 20	ダイヤル種別を選択します。
ファクス受信モード		ﾌｧｸｽ待機 電話 / ﾌｧｸｽ待機 ﾌｧｸｽ / 電話待機 留守 / ﾌｧｸｽ待機 電話待機	ファクス受信モードを選択します。
ダイヤルトーン検出		ON OFF	ダイヤルトーンを検出するか否かを設定します。
ビジートーン検出		ON OFF	ビジートーンを検出するか否かを設定します。
回線モニタ		OFF ﾀｲﾌﾟ 1 ﾀｲﾌﾟ 2	モニタしない、DIS までモニタする、通信中モニタするの 3 パターンから選択します。
発信元名登録 / 変更	発信元名 1		発信元名を登録 / 変更します。
	発信元名 2		発信元名を登録 / 変更します。
	発信元名 3		発信元名を登録 / 変更します。
標準発信元名		発信元名 1 発信元名 2 発信元名 3	標準で使用する発信元名を選択します。
自機電話番号			発信元番号を登録します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目		内　容
TTI カレンダータイプ	西暦 _ 月 _ 日 (曜日 yyyy/mm/dd mm/dd/yyyy dd/mm/yyyy	発信元情報のカレンダータイプを変更します。各設定での表示形式は、下記の通りです。 西暦 _ 月 _ 日 (曜日) :2007 年 7 月 11 日 (水) yyyy/mm/dd ：(2007 Jul 11) mm/dd/yyyy ：(Jul 11 2007) dd/mm/yyyy ：(11 Jul 2007)
スーパー G3	ON OFF	スーパー G3（超高速通信モード）で送信するか否かを設定します。
ミラーキャリッジ搬送用モード	実行	" はい " を選択すると、ミラーキャリッジを搬送用モードの位置へ移動します。
個人情報消去	実行	E メールアドレスや短縮ダイヤルなどの登録データ、ジョブ、ログを削除し、各種設定を工場出荷時の設定に戻します。

［ジョブメモリ設定］を押したとき

項　目		内　容
登録		ジョブメモリ機能を登録します。
削除		ジョブメモリ機能を削除します。
実行速度	最速 速い 普通 遅い	ジョブメモリ機能の実行速度を設定します。
タイトル変更		ジョブメモリ機能のタイトルを変更します。

［シャットダウン］を押したとき

項　目		内　容
シャットダウン	実行	装置のシャットダウンを実行します。

9 操作パネルを使うとき

操作パネルで設定を変更する 442
管理者パスワードを変更する 442
節電モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい 444
印刷をキャンセルしたい 446
内蔵ハードディスクを初期化したい 448
フラッシュメモリの空き容量を確保したい 452
レポート印刷キー 454
印刷できるレポート一覧 454
装置の設定に関するリスト 455
装置情報に関するリスト 456
ファクスに関するリスト 462
スキャナに関するリスト 469
プリンタに関するリスト 470

操作パネルで設定を変更する

管理者パスワードを変更する

管理者パスワードを変更します。工場出荷時の設定では、[aaaaaa] になっています。

❶ ＜機器設定＞キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

❹［機器管理］を押します。

❺［▷］を 2 回押し、［機器管理］画面［3/3］を表示します。

機器管理
項目を選択してください
3/3
閉じる
暗号化設定
言語保守設定
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
設定値初期化
ジョブログ消去

❻ ［管理者パスワード］を押します。

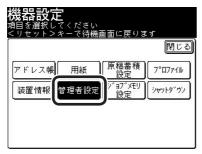
❼ 新しいパスワードを入力し、［確定］を押します。

 パスワードは 6 文字以上で設定してください。

❽ 新しいパスワードを再入力し、［確定］を押します。

❾ <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

節電モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい

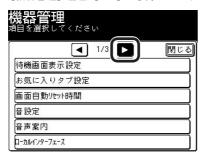
節電モードに入るまでの時間を設定できます。
設定された時間、装置を使用しないと節電モードになります。
工場出荷時の設定では、「5 分」になっています。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

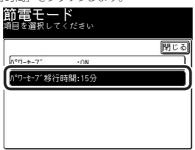
❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［機器管理］を押します。

❺［▷］を 1 回押し、［機器管理］画面［2/3］を表示します。

❻［節電モード］を押します。

❼［パワーセーブ］が［ON］になっていることを確認します。［OFF］になっている場合は、［パワーセーブ］を押して［ON］を選択し、［確定］を押します。

❽［パワーセーブ移行時間］をクリックします。

❾ 設定したい時間を選択し、［確定］を押します。

❿ <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

印刷をキャンセルしたい

印刷をキャンセルするには＜ストップ＞キーを押すか、ジョブリストからキャンセルしたいジョブを選択します。
コンピュータからの印刷中、コピー印刷中は、＜ストップ＞キーまたはジョブリストのどちらからでもキャンセルできます。

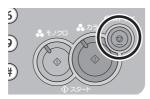
受信したファクスの印刷は、ジョブリストからキャンセル操作を行うことができ、一旦印刷を中断しますが、一定時間経過後に、1 ページ目から再印刷します。

＜ストップ＞キーを押してをキャンセルする

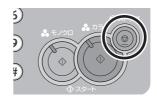
■ コピー印刷中にキャンセルする

1 ＜コピー＞キーを押してコピー待機画面を表示します。

コピー待機画面を表示しているときは *2* に進みます。

2 ＜ストップ＞キーを押します。

注 印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。

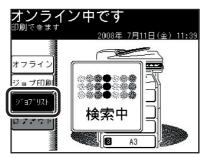
■ コンピュータからの印刷をキャンセルする

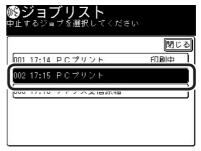
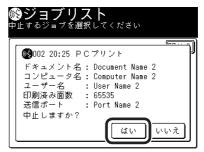
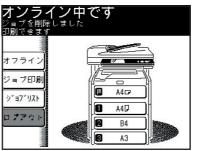
1 ＜プリント＞キーを押してプリント待機画面を表示します。

2 ＜ストップ＞キーを押します。

注
- 印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- ［データ削除中］が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

ジョブリストからキャンセルする

❶ <プリンタ>キーを押します。

❷［ジョブリスト］を押します。

メモ 検索をキャンセルしたいときは、<ストップ>キーを押します。

❸ 削除したいジョブを選択します。

❹［はい］を押します。

メモ
- コンピュータからの印刷やファクス受信の印刷は、用紙無し等による印刷停止時、タッチパネルに表示される［印刷中止］ボタンを押すことで、キャンセルができます。

内蔵ハードディスクを初期化したい

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
内蔵ハードディスクは３つのパーティションに分割されています。内蔵ハードディスクを初期化（イニシャライズ）すると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

内蔵ハードディスクのパーティションには［PS］、［PCL］、［COMMON］があります。

［PS］
PostScript モードのフォームを格納するエリアです。

［PCL］
PCL モードのフォームを格納するエリアです。

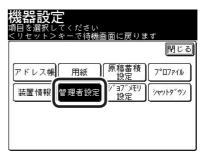
［COMMON］
「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」でジョブを登録するエリアです。

内蔵ハードディスクを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

・「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
・登録したフォーム

プリントジョブアカウンティング（オプション）に本機がすでに追加されている場合は、内蔵ハードディスクの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクからいったん削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングから本機を削除してください。削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

工場出荷時は「初期化の制限」が「有効」になっているためハードディスクの［初期化］は選択出来ません。
［ストレージ保守設定］から［初期化の制限］を無効にしてください。
詳しくは「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。

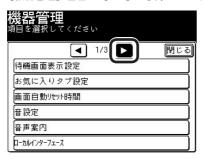
内蔵ハードディスクを初期化する

❶ ＜機器設定＞キーを押します。

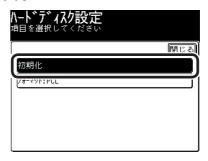
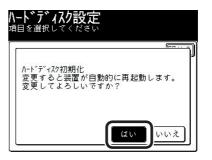
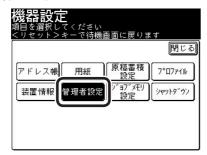
❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［機器管理］を押します。

❺［▶］を 1 回押し、［機器管理］画面の［2/3］を表示します。

❻［ハードディスク設定］を押します。

❼［初期化］を押します。

❽ 確認の画面を表示するので、［はい］を押します。

特定のパーティションをフォーマットする

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

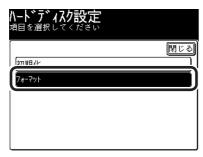
❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

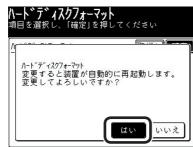
メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［機器管理］を押します。

❺［▶］を 1 回押し、［機器管理］画面の［2/3］を表示します。

❻［ハードディスク設定］を押します。

❼［フォーマット］を押します。

❽ フォーマットしたいパーティションを選び、［確定］を押します。

❾ 確認の画面を表示するので、［はい］を押します。

フラッシュメモリの空き容量を確保したい

フラッシュメモリを初期化する

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・登録したフォーム

- プリントジョブアカウンティング（オプション）に本機がすでに追加されている場合は、フラッシュメモリを初期化する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報を装置のフラッシュメモリから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングから本機を削除してください。削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 工場出荷時は「初期化の制限」が「有効」になっているためフラッシュメモリの［初期化］は選択出来ません。
［ストレージ保守設定］から［初期化の制限］を無効にしてください。
詳しくは「操作パネルの設定項目一覧」の「機器管理」（434 ページ）をご覧ください。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

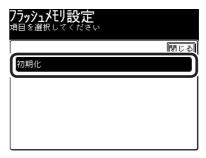
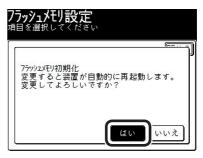
❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［機器管理］を押します。

❺［▶］を 1 回押し、［機器管理］画面の［2/3］を表示します。

❻［フラッシュメモリ設定］を押します。

❼［初期化］を押します。

❽ 確認の画面を表示するので、［はい］を選択します。

レポート印刷キー

印刷できるレポート一覧

リスト名		説　明	参照ページ
機器設定		全メニューのカテゴリ・アイテムと現在の設定値一覧を印刷します。また、ページの先頭部分に装置の詳細情報を印刷します。	455ページ
ファイルリスト		ファイルシステムに登録されたファイルの一覧を印刷します。	457ページ
デモページ		装置内に内蔵しているデモ用の印刷データを印刷します。	458ページ
エラーログ		装置で検出し記憶しているエラーを印刷します。	459ページ
スキャン To ログ		Scan to メール / Scan to ネットワーク PC / Scan to USB メモリ ジョブの実行結果をレポートとして出力します。	460ページ
印刷集計結果		印刷集計結果を印刷します。	461ページ
ネットワーク情報		ネットワーク情報を印刷します 。	456ページ
短縮ダイヤルリスト		短縮ダイヤルの登録内容一覧を印刷します。	462ページ
宛先グループリスト		グループに登録されている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。	463ページ
通信管理レポート	ファクス送信	直近 100 件の送信結果のみをレポート印刷します。	464ページ
	ファクス受信	直近 100 件の受信結果のみをレポート印刷します。	464ページ
	ファクス送受信	直近 100 件の送信、受信結果の通信結果をレポート印刷します。	464ページ
	通信管理日報レポート	24 時間以内にあった通信の結果をレポート印刷します。	464ページ
F コードボックスリスト		開設 F コードボックスの一覧をリスト印刷します。	466ページ
ダイレクトメール防止リスト		ダイレクトメール防止ダイヤルリストの登録内容一覧をリスト印刷します。	467ページ
蓄積原稿リスト		FAX 側に蓄積されている原稿のリストを印刷します。	468ページ
E メールアドレスリスト		登録されている E メールアドレス・グループアドレス一覧を印刷します。	469ページ
PCL フォントリスト		PCL のフォントサンプルを印刷します。	470ページ
PSE フォントリスト		PS のフォントサンプルを印刷します。	470ページ
カラー調整パターン		階調特性を調整するためのパターンを印刷します。	471ページ
カラープロファイルリスト		カラープロファイルリストを印刷します。	472ページ

[機器設定] - [管理者設定] - [機器管理] - [システム設定] - [すべてのレポート印刷許可] で [無効] を選択しているときは、以下のレポート印刷の実行に管理者パスワードの入力が必要です。

- スキャン To ログ
- E メールアドレスリスト
- 短縮ダイヤルリスト
- 宛先グループリスト
- 通信管理レポート
  - ファクス送信
  - ファクス受信
  - ファクス送受信
  - 通信管理日報レポート

レポート印刷をする時は、お使いのトレイに A4 サイズの用紙をセットしてから行ってください。

装置の設定に関するリスト

機器設定印刷

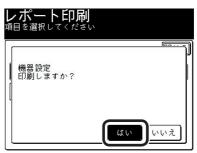
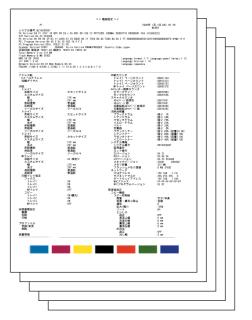
本機に関する情報を印刷します。
IP アドレスや MAC アドレス、その他の設定されている値や消耗品の残量を知りたいとき、本機の印刷部が正常に動作しているかを確認したいときなどに印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［機器設定］を押します。

❸ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

装置情報に関するリスト

ネットワーク情報印刷

本機のネットワークに関する情報を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ ＜レポート印刷＞キーを押します。

❷［装置情報］を押します。

❸［ネットワーク情報］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

Network Information

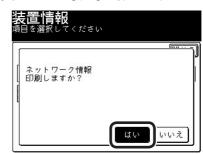
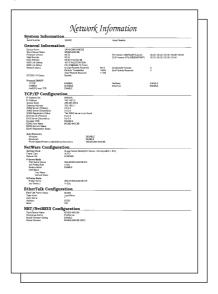
System Information

General Information

TCP/IP Configuration

NetWare Configuration

EtherTalk Configuration

NBT/NetBEUI Configuration

ファイルリスト印刷

ファイルシステムに登録してあるファイルの一覧を印刷します。

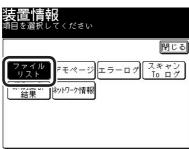
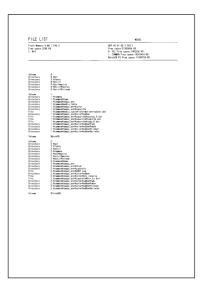
■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［装置情報］を押します。

❸［ファイルリスト］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

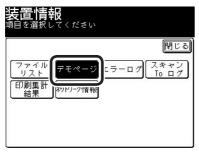
■ 印刷結果の見本

デモページ印刷

デモンストレーション用のページを印刷します。

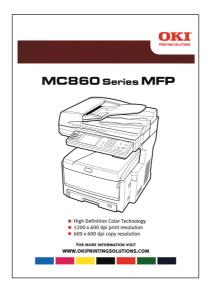
印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［装置情報］を押します。

❸［デモページ］を押します。

❹ デモページの一覧を表示するので、印刷したいものを 1 つ選択します。

❺ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

印刷結果の見本

エラーログ印刷

装置内で起こったエラーの履歴を印刷します。

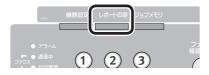
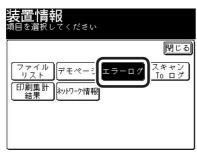
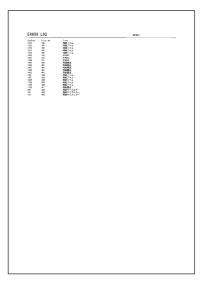
■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［装置情報］を押します。

❸［エラーログ］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

スキャン To ログ印刷

スキャンの種別、スキャンしたデータの格納先、スキャンの結果（OK/NG）などを印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

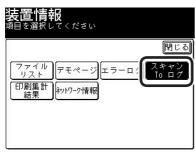
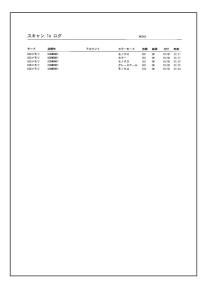
❷［装置情報］を押します。

❸［スキャン To ログ］を押します。

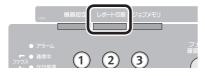
❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

スキャン To ログ　MC860

モード	送信先	アカウント	カラーモード	枚数	結果	日付	時刻
USBメモリ	USBMEM01		モノクロ	001	OK	01/01	23:21
USBメモリ	USBMEM01		カラー	001	OK	01/01	23:21
USBメモリ	USBMEM01		モノクロ	001	OK	01/01	23:22
USBメモリ	USBMEM01		グレースケール	001	OK	01/01	23:22
USBメモリ	USBMEM01		モノクロ	012	OK	01/01	23:24

印刷集計結果印刷

印刷集計結果を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷ ［装置情報］を押します。

❸ ［印刷集計結果］を押します。

❹ 印刷部数をテンキーまたは［▲］［▼］で指定し、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

印刷集計結果　　MC860

MFPシリアル番号 : 200002　　2008/07/25 11:11

コピー/印刷カウンタ（ページ数）

用紙サイズ	カラー A3/タブロイド	カラー A4/レター	モノクロ A3/タブロイド	モノクロ A4/レター
コピーページ数	0	135	0	338
印刷ページ数	0	1782	0	493
FAX受信ページ数			0	0
累計印刷ページ数	0	1917	0	831
A4/レター換算印刷ページ数	カラー: 1917		モノクロ: 831	

スキャンカウンタ（ページ数）

Eメールへのスキャン	: 60
USBメモリへのスキャン	: 78
ネットワークPCへのスキャン	: 179
PCへのスキャン	: 258
その他のスキャン	: 0
Faxへのスキャン	: 48
A4/レター換算スキャンページ数	: 623

ファクスに関するリスト

短縮ダイヤルリスト印刷

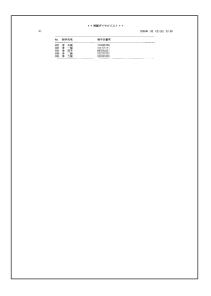
登録されている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［ファクス］を押します。

❸［短縮ダイヤルリスト］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

宛先グループリスト印刷

本機にグループ登録されている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

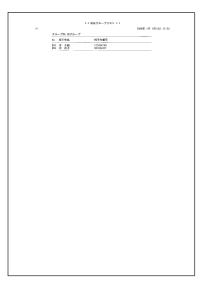
❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［ファクス］を押します。

❸［宛先グループリスト］を押します。

❹ 印刷したいグループを選択します。

❺ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

通信管理レポート印刷

ファクス通信結果の一覧を印刷します。

通信エラーになった場合には、結果欄にエラーコードが記載されます。エラーコードの内容については、基本操作編の「エラーメッセージが表示された」をご覧ください。

■ 印刷のしかた

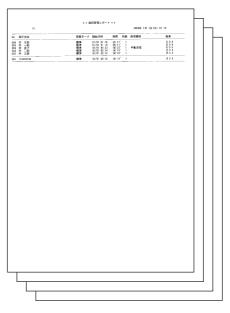
❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［ファクス］を押します。

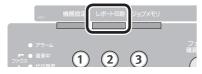
❸［通信管理レポート］を押します。

❹ 印刷したい項目を選択します。

❺ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

Ｆコードボックスリスト印刷

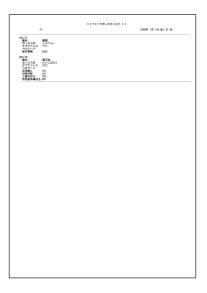
Ｆコードボックスの一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［ファクス］を押します。

❸［Ｆコードボックスリスト］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

ダイレクトメール防止印刷

本機のダイレクトメール防止ダイヤルリストに登録されている番号の一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［ファクス］を押します。

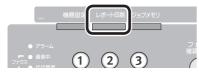
❸［ダイレクトメール防止］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

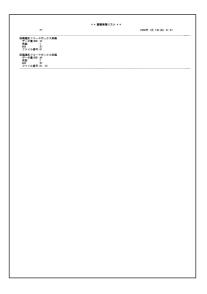
蓄積原稿リスト印刷

本機に蓄積されているファクス原稿の一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［ファクス］を押します。

❸［蓄積原稿リスト］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

スキャナに関するリスト

E メールアドレスリスト印刷

本機のアドレス帳に登録されている E メールアドレスの一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

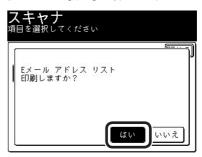
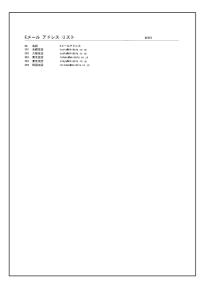
❷［スキャナ］を押します。

❸［E メールアドレスリスト］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

Eメール アドレス リスト　MC860

No.	名前	Eメールアドレス
001	京都支店	kyoto@okidata.co.jp
002	大阪支店	osaka@okidata.co.jp
003	東北支店	tohoku@okidata.co.jp
004	東京支店	tokyo@okidata.co.jp
005	四国支店	shikoku@okidata.co.jp

プリンタに関するリスト

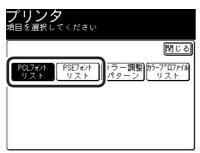
フォントリスト印刷

本機に搭載しているフォントのサンプルを印刷します。

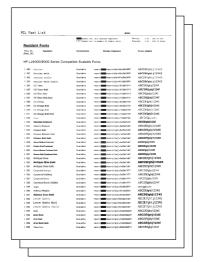
■ 印刷のしかた

❶ ＜レポート印刷＞キーを押します。

❷［プリンタ］を押します。

❸［PCL フォントリスト］または［PSE フォントリスト］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

〈PCL フォントリスト〉

〈PSE フォントリスト〉

カラー調整パターン印刷

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの色の調子（淡い、中間、濃い）を印刷します。

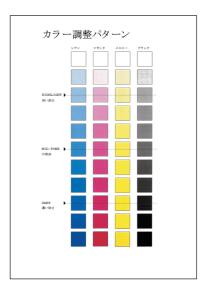
参照 印刷したカラー調整パターンを元に色味を調整するには、「特定の色味を強くしたい、または弱くしたい」（332 ページ）をご覧ください。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷［プリンタ］を押します。

❸［カラー調整パターン］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

カラープロファイルリスト印刷

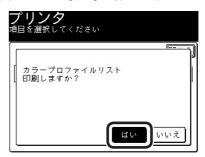
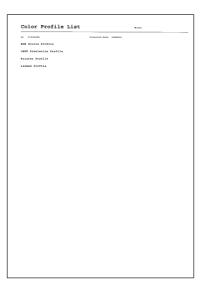
本機に登録している ICC プロファイルの一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

❶ <レポート印刷>キーを押します。

❷ ［プリンタ］を押します。

❸ ［カラープロファイルリスト］を押します。

❹ 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

10 ネットワークに関する設定

ネットワークについて 474
ネットワーク設定項目の一覧 474
ネットワーク機能を初期化する 490
DHCP/BOOTP を使用する 491
SNMP を使用する 495
IPv6 について 496
Windows/Macintosh 用ユーティリティ 497
Web ブラウザ 497
PDF ファイルを印刷する 557
Windows 用ユーティリティ 562
AdminManager 562
Quick Setup 567
OKI LPR ユーティリティ 570
Network Extension 580
TELNET 583
Macintosh 用ユーティリティ 584
NIC Setup Utility 584

ネットワークについて

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、<レポート印刷>キー - [装置情報] - [ネットワーク情報] で確認できます。
設定値を変更するには、TELNET, Web ブラウザ, AdminManager, Setup Utility を使用します。

■ TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
TCP/IP	–	TCP/IP プロトコルを使用する	TCP/IP プロトコルを使用する	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address Set	IP アドレス設定	–	–	AUTO（自動） MANUAL(手動)	DHCP/BOOTP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP Address	IP アドレス	IP アドレス	IP アドレス	192.168.100.100 または 169.254.xxx.xxx	IP アドレスを設定します。 ネットワークの初期化後、ネットワークケーブルをハブに接続していないと、192.168.100.100 になります。 IP アドレス設定が " 自動 " でも、DHCP サーバなどの IP アドレスを自動で付与するサーバがネットワーク上に存在しない場合、ネットワークケーブルをハブに接続しても、169.254.xxx.xxx になります。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0 または 255.255.0.0	サブネットマスクを設定します。 ネットワークの初期化後、ネットワークケーブルをハブに接続していないと、255.255.255.0 になります。 IP アドレス設定が " 自動 " でも、DHCP サーバなどの IP アドレスを自動で付与するサーバがネットワーク上に存在しない場合、ネットワークケーブルをハブに接続しても、255.255.0.0 になります。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Gateway Address	ゲートウェイアドレス	デフォルト ゲートウェイ	デフォルト ゲートウェイ	0.0.0.0	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
DNS Server (Pri.)	DNS サーバアドレス（プライマリ）	プライマリサーバ	–	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail)/POP/LDAP プロトコルを使用するときに設定してください。SMTP(E-Mail)/POP/LDAP サーバを IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNS サーバアドレス（セカンダリ）	セカンダリサーバ	–	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail)/POP/LDAP プロトコルを使用するときに設定してください。SMTP(E-Mail)/POP/LDAP サーバを IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
Dynamic DNS	ダイナミック DNS	DDNS を使用する	–	ENABLE（有効） DISABLE(無効)	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバに登録し直すか、しないかを設定します。
Domain Name	ドメイン名	ドメイン名	–	なし	プリンタが属するドメイン名を設定します。
WINS Server (Pri.)	WINS サーバ（プライマリ）	プライマリサーバ	–	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINS サーバ（セカンダリ）	セカンダリサーバ	–	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。
Scope ID	スコープ ID	スコープ ID	–	なし	WINS の ScopeID を設定します。1 ～ 223 文字の英数字です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Windows	Windows	Network PnP 設定 Network PnP を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE(無効)	Windows の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Macintosh	Macintosh	Bonjour を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE(無効)	Macintosh の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	デバイス名	プリンタ名	―	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	admin パスワード	イーサネットアドレス英数字下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。このパスワードは Telnet と AdminManager で使用されるパスワードです。
IP Version	IPv6	IPv6 を使用する	IPv6 機能を使用する	ENABLE（有効） DISABLE(無効) （TELNET では「IPv4」「IPv4+ v 6」「IPv6」となります）	IPv6 の機能の使用／未使用を設定します。

■ SNMP

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Contact to Admin	管理者の連絡先	SysCon-tact	SysCon-tact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で 225 文字以内です。
Printer Name	プリンタ名	SysName	SysName	なし	プリンタの名前を入力します。半角で 3 1 文字以内です。
Printer Location	設置場所	SysLoca-tion	SysLoca-tion	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	―	―	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で 8 文字以内です。
SNMP Version	使用する SNMP 設定	SNMP バージョン	―	SNMPv1 SNMPv3 SNMPv3+SNMPv1	使用する SNMP バージョンを設定します。
User Name	ユーザ名	ユーザ名	―	root	SNMP v 3 におけるユーザ名を設定します。1 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Pass-phrase	認証設定パスフレーズ	認証パスフレーズ	―	なし	SNMP v 3 パケット認証に使用する認証キーを生成するためのパスワードを設定します。 8 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Key	―	―	―	なし	SNMP v 3 パケット認証に使用される認証キーを HEX コードで設定します。選択されたアルゴリズムによって入力文字数が変動します。 MD5：16 オクテット（HEX コード 32 文字） SHA：20 オクテット（HEX コード 40 文字）
Auth Algorithm	認証設定アルゴリズム	認証アルゴリズム	―	MD5 SHA	SNMP v 3 パケット認証で使用するアルゴリズムを設定します。
Privacy Pass-phrase	暗号化設定パスフレーズ	暗号化パスフレーズ	―	なし	SNMP v 3 パケット暗号化に使用するプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。 英数字 8 ～ 32 文字です。
Privacy Key	―	―	―	なし	SNMP v 3 パケット暗号化に使用される認証キーを HEX コードで設定します。 DES：16 オクテット（HEX コード 32 文字）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Privacy Algorithm	暗号化設定アルゴリズム	暗号化アルゴリズム	－	DES	SNMP v 3 パケット暗号化で使用するアルゴリズムを設定します。設定値は" DES" 固定です。
Read Commu-nity	SNMP Read コミュニティの設定	SNMP Read Commu-nity	－	public	SNMP v 1 で使用する、Read Community を設定します。15 文字以内の英数字です。
Write Commu-nity	SNMP Write コミュニティの設定	SNMP Write Commu-nity	－	public	SNMP v 1 で使用する、Write Community を設定します。15 文字以内の英数字です。

■ NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NetWare	NetWare	NetWare プロトコルを使用する	NetWare プロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWare の使用／非使用を設定します。
TCP or IPX	通信プロトコル	プロトコル	－	IPX TCP/IP	NetWare を動作させるプロトコルを IPX か TCP/IP に設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO（自動） ETHER- Ⅱ（ETHERNET- Ⅱ） 802.2（IEEE802.2） 803.3（IEEE802.3） SNAP（SNAP）	NetWare 上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
Printer-Name	プリンタ名	NetWare プリンタ名	NetWare プリンタ名	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」+「-」+「PR」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
－	印刷モード	動作モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリンタサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。
NetWare Mode	－	－	－	NDS NDS+BIN RPINTER	NetWare の優先動作モードを設定します。

■ プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NDS Tree	ツリー	NDS ツリー名	NDS ツリー名	なし	NDS のツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31 文字以内の英数字です。
NDS Context	コンテキスト	NDS コンテキスト	NDS コンテキスト	なし	NDS のコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77 文字以内の英数字です。
Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」+「-」+「PR」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31 文字以内の英数字です。
Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31 文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目が必要です。
JobPolling Time (Sec.)	ジョブポーリング間隔	ジョブポーリング間隔	ジョブポーリング間隔	2 秒 4 秒 255 秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますがネットワーク回線が混みます。
—	バインダリモード	バインダリ設定	バインダリモード	チェックあり チェックなし	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWare のバージョンが、6.0/5.0/4.1 のバインダリネットワーク、または 3.12 へ接続するときには「ENABLE」、6.0/5.0/4.1 の NDS で使用するときには「DISABLE」を設定します。
File Server Name #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバ #1-8	接続するファイルサーバ #1-8 プリントサーバ名	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大 8 台のファイルサーバを指定できます。47 文字以内の英数字です。

■ リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Print Server Name #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-8	接続するプリントサーバ #1-9	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大 8 台のプリントサーバを指定できます。47 文字以内の英数字です。
Job Timeout (Sec.)	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4 秒 10 秒 255 秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルから印刷がなかなか始まらなくなります。

■ EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	EtherTalk プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk の使用／非使用を設定します。
Printer Name	EtherTalk プリンタ名	プリンタ名	プリンタ名	製品名	EtherTalk のプリンタ名を指定します。31 文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalk ゾーン名	ゾーン名	ゾーン名	*	EtherTalk ゾーン名を指定します。32 文字以内の英数字です。

■ NBT/NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUI プロトコルを使用する	NetBEUI プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI の使用／非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOSoverTCP の使用／非使用を設定します。
Short Device Name	ショートデバイス名	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	「製品名」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」	コンピュータ名を設定します。この名前で NetBIOSoverTCP/NetBEUI 上で識別されます。Windows であればネットワークコンピュータの中の PrintServer グループに表示されます。15 文字以内の英数字です。
Work group Name	ワークグループ名	ワークグループ名	ワークグループ名	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称で Windows のネットワークコンピュータ中に表示されます。15 文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	コメント	Ethernet Board OkiLAN 8500e	コメントを設定します。Windows のネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48 文字以内の英数字です。
Master Browser Setting	マスタブラウザ	マスタブラウザを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	マスタブラウザ機能の使用／非使用を設定します。

■ printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Prn-Trap Commu-nity	プリンタ Trap コミュニティ名設定	プリンタ Trap コミュニティ名	―	public	プリンタ Trap のコミュニティ名を設定します。31 文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap 送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trap を有効にする	―	ENABLE DISABLE	TCP #1-5 でプリンタ Trap を使用するかどうかを設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート	―	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正 Trap 受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常	―	ENABLE DISABLE	「プリンタ Trap コミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときに Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタが ＯＦＦ -LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし	―	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム	―	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン	―	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー	―	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
TCP #1-5 Trap Address	アドレス #1-5	TCP #1-5	―	0.0.0.0	TCP/IP の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は 10 進数「***.***.***.***」形式で入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合は、Trap を送信しません。アドレスは 5 か所まで指定できます。
IPX Trap Enable	IPX Trap 送信許可	IPX Printer Trap を有効にする	―	ENABLE DISABLE	IPX でプリンタ Trap を使用するかどうかを設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし	―	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム	―	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover Open Trap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン	―	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer Error Trap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー	―	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/Net	IPX	IPX	―	00000000：000000000000	IPX の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス（8 桁）＋ノードアドレス（12 桁）で入力します。「00000000：000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは 1 か所のみ指定できます。

■ SMTP（Email 送信）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SMTP Send	SMTP 送信	SMTP 送信	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP（Email）送信プロトコルを使用するかどうかを設定します。
SMTP Server Name	SMTP サーバ名	SMTP サーバ名	―	なし	SMTP サーバ名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS（Pri.）（Sec.）の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTP ポート番号	SMTP ポート番号	―	1 〜 25 〜 65535	SMTP のポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
Device Email Address	デバイス Email アドレス	送信元アドレス	―	なし	プリンタの Email アドレスを設定します。
Reply-To Address	返信先 Email アドレス	返信先アドレス	―	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
SMTP Encryption Algorithm	SMTP 暗号化方式	SMTP 送信暗号化方式	―	None SMTPS STARTTLS	SMTP（Email）送信プロトコルの暗号化を設定します。
Email Address 1-5	Email アドレス 1-5	送信先アドレス 1-5	―	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5 ヶ所 B まで指定できます。
Notify Mode 1-5	障害通知方法	モード設定	―	EVENT（障害発生時の通知） PERIOD（定期的な通知）	障害を通知する方法を設定します。
Email Alert Interval (Hours) 1-5	メール通知間隔	定期通知間隔	―	1 〜 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consumable Warning Event 1-5	消耗品警告	消耗品の注意	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	プリンタの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Consum-able Warning Period 1-5	消耗品警告	消耗品の注意	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Event 1-5	消耗品エラー	消耗品のエラー	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 48 H 45 M ENABLE (有効)	プリンタの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Period 1-5	消耗品エラー	消耗品のエラー	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Warning Event 1-5	メンテナンスユニット警告	メンテナンスの注意	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Warning Period 1-5	メンテナンスユニット警告	メンテナンスの注意	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Error Event 1-5	メンテナンスユニットエラー	メンテナンスのエラー	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 48 H 45 M ENABLE (有効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Error Period 1-5	メンテナンスユニットエラー	メンテナンスエラー	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Warning Event 1-5	用紙の補充　警告	用紙の補充の注意	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 0 H 15 M 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Paper Supply Warning Period 1-5	用紙の補充　警告	用紙の補充の注意	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Event 1-5	用紙の補充　エラー	用紙の補充のエラー	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Period 1-5	用紙の補充　エラー	用紙の補充のエラー	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Event 1-5	印刷中の用紙　警告	印刷中の用紙の注意	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Period 1-5	印刷中の用紙　警告	印刷中の用紙の注意	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Event 1-5	印刷中の用紙　エラー	印刷中の用紙のエラー	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Period 1-5	印刷中の用紙　エラー	印刷中の用紙のエラー	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Event 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	–	DISABLE(無効) Immediate (即時) 48 H 45 M ENABLE (有効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Period 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	–	ENABLE (有効) DISABLE(無効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果　警告	印刷の結果の注意	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果　警告	印刷の結果の注意	-	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果　エラー	印刷の結果のエラー	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果　エラー	印刷の結果のエラー	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Event 1-5	インターフェイスの異常警告	I/F の注意	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	インターフェース（ネットワークetc.）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インターフェイスの異常警告	I/F の注意	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インターフェース（ネットワークetc.）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インターフェイスの異常エラー	I/F のエラー	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	インターフェース（ネットワークetc.）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インターフェイスの異常エラー	I/F のエラー	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インターフェース（ネットワークetc.）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Security Warning Event 1-5	セキュリティ	セキュリティの注意	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Security Warning Period 1-5	セキュリティ	セキュリティの注意	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
FAX Warning/ Error Event1-5	ファクス	ファクスの注意 / エラー	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48H45M ENABLE（有効）	ファクスに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
FAX Warning/ Error Period1-5	ファクス	ファクスの注意 / エラー	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ファクスに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Scanner Warning/ Error Event1-5	スキャナ	スキャナの注意 / エラー	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48H45M ENABLE（有効）	スキャナに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Scanner Warning/ Error Period1-5	スキャナ	スキャナの注意 / エラー	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	スキャナに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Event 1-5	その他	その他のエラー	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	その他のエラー	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Attached Info Device Model	付加情報設定　デバイスモデル	付加情報設定　プリンタモデル	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Attached Info Network Interface	付加情報設定 ネットワークインターフェース	付加情報設定 ネットワークインターフェース	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインターフェース名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Serial Number	付加情報設定　シリアルナンバー	付加情報設定　シリアル番号	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、シリアルナンバを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Asset Number	付加情報設定　管理番号	付加情報設定 Asset 番号	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Device Name	付加情報設定　デバイス名	付加情報設定　システム名	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemName を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Location	付加情報設定　設置場所	付加情報設定　プリンタロケーション	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocation を含めるかどうかを設定します。
Attached Info IP Address	付加情報設定　IP アドレス	付加情報設定　IP アドレス	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、IP アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info MAC Address	付加情報設定 MAC アドレス	付加情報設定 Ethernet アドレス	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、MAC アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Short Device Name	付加情報設定 ショートデバイス名	付加情報設定 ショートプリンタ名	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Device URL	付加情報設定 URL	付加情報設定 プリンタ URL	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの URL を含めるかどうかを設定します。
Comment Line 1-4	コメント	コメント 1-4	−	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4 行設定できます。1 行は 63 文字まで入力でき、それを超える場合は地頭的に改行します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SMTP Auth-Method	認証方式	認証方法	−	None SMTP POP	SMTP 認証方式を設定します。
SMTP Server User ID	SMTP ユーザ ID	SMTP 認証設定 ユーザ ID	−	なし	SMTP 認証のユーザ ID を設定します。
SMTP Server Password	SMTP パスワード	SMTP 認証設定パスワード	−	なし	SMTP 認証のパスワードを設定します。

■ Email 受信

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
POP or SMTP	Email 受信設定	POP 受信プロトコルを使用する /SMTP 受信プロトコルを使用する	−	POP SMTP DISABLE（無効）	Email 受信機能の使用 / 非使用を指定します。使用する場合、そのプロトコル（POP/SMTP）を指定します。
POP3 Server	POP サーバ名	POP3 サーバ名	−	なし	POP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。
POP port number	POP ポート番号	POP3 ポート番号	−	1 〜 110 〜 65535	POP サーバにアクセスするためのポート番号を設定します。
POP3 Server UserID	POP ユーザ ID	POP3 ユーザ ID	−	なし	POP サーバにアクセスするためのユーザ ID を指定します。
POP3 Server Password	POP パスワード	POP3 パスワード	−	なし	POP サーバにアクセスするためのパスワードを指定します。
Use APOP	APOP サポート	APOP を使用する	−	YES（有効） NO（無効）	APOP の使用 / 非使用を指定します。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
MailPolling Time (min)	POP受信間隔	ポーリング間隔	—	OFF 1分 5分 10分 30分 60分	受信メールをPOPサーバに取得しに行く間隔を指定します。
POP Encryption Algorithm	POP暗号化方式	POP暗号化方式	—	None POP3S STARTTLS	POP通信の暗号化を設定します。
Domain filter	ドメインフィルタ	ドメインフィルタを使用する	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	ドメインフィルタ機能の使用/非使用を指定します。
Filter Policy	以下に設定したドメインからのEmail	フィルタポリシー	—	ACCEPT(許可) DENY(拒否)	指定したドメインからのEmailに対する許可/拒否を指定します。
Domain 1-5	ドメイン1-5	ドメインフィルタ.1-5	—	なし	ドメインフィルタ機能の対象となるドメイン名を指定します。
Port Number	SMTP受信ポート番号	SMTP受信ポート番号	—	1 ～ 25 ～ 65535	プリンタにSMTPでアクセスするときのポート番号を設定します。

■ Maintenance

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
LAN Scale Setting	LAN	LAN Scale	—	NORMAL(普通) SMALL(小規模)	NORMAL(普通):通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2, 3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小規模):コンピュータが2, 3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX Dump Mode	HEXダンプモード	—	—	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データを全て16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。
HUB Link Setting	HUBとの接続の設定	—	—	AUTO NEGOTIATION 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	ハブとの通信速度と通信方法を設定することができます。通常は「AUTO NEGOTIATION」を設定します。

■ Security

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
FTP	FTP	FTP Serviceを使用する	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Telnet	TELNET	TELNET Serviceを使用する	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web (Default Port 80)	Web(ポート番号:80)	Web Serviceを使用する	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタに対してWebブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Web (IPP)	Web	―	―	1 80 65535	プリンタの Web ページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP (Default Port 631)	IPP(ポート番号：631)	IPP サービスを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPP プロトコルの使用／非使用を設定します。
SNMP	SNMP	SNMP Service を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して SNMP でのアクセスの使用／非使用を設定します。通常は ENABLE（使用する）でお使いください。
SMTP (E-Mail)	―	SMTP 送信を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 送信の使用／非使用を設定します。
SNTP	SNTP	SNTP を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用／非使用を設定します。
POP3 (E-Mail)	POP	POP3 プロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	POP3 プロトコルの使用／非使用を設定します。
Local Ports	Local Ports	―	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	独自プロトコルの使用／非使用を設定します。
TCP/IP	―	TCP/IP プロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUI プロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI プロトコルの使用／非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOS over TCP プロトコルの使用／非使用を設定します。
NetWare	NetWare	NetWare プロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetWare プロトコルの使用／非使用を設定します。
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk プロトコルの使用／非使用を設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	admin パスワード	イーサネットアドレス英数字下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。

■ IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
IP Filtering	IP フィルタリング	IP フィルタを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレス毎のアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能は IP アドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE（使用しない）になるように設定しておいてください。ENABLE（使用する）に設定し、以下の設定をしないと TCP/IP によるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Start Address #1-10	開始アドレス #1-10	開始アドレス #1-11	―	0.0.0.0	プリンタへアクセスを許可する IP アドレスを指定します。 単一の IP アドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0 を入力すると無効になります。
End Address #1-10	終了アドレス #1-10	終了アドレス #1-11	―	0.0.0.0	
IP Address Range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの印刷を許可します。
IP Address Range #1-10 Configura-tion	設定 #1-10	設定を許可する #1-10	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者の IP アドレス	管理者の IP アドレス	―	0.0.0.0	管理者の IP アドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

■ MAC Address Filtering

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
MAC Address Filtering	MAC アドレスフィルタリング	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	イーサネットアドレス毎のアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能はイーサネットアドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE（使用しない）になるように設定しておいてください。ENABLE（使用する）に設定し、以下の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC Address Access	MAC アドレスからの通信	–	–	ACCEPT（許可） DENY（拒否）	MAC Address Access #1-50 で設定したイーサネットアドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
MAC Address #1-50	フィルタする MAC アドレス #1-50	–	–	00:00:00:00:00:00	プリンタへアクセスを許可（拒否）する MAC アドレスを指定します。00:00:00:00:00:00 を入力すると無効になります。
Admin MAC Address	設定される管理者の MAC アドレス	–	–	00:00:00:00:00:00	管理者のイーサネットアドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

■ SSL ／ TLS

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
HTTP/IPP	HTTP/IPP	HTTP/IPP	-	ON（オン） OFF（オフ）	HTTP/IPP 通信の暗号化の使用 / 非使用を設定します。
HTTP/IPP Cipher Strength	HTTP/IPP 暗号化強度	HTTP/IPP 暗号化強度	–	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	HTTP/IPP 通信暗号化の強度を設定します。
FTP Receive	FTP 受信	FTP 受信	–	ON（オン） OFF（オフ）	FTP 受信の暗号化の使用 / 非使用を設定します。
FTP Receive Cipher Strength	FTP 受信暗号化強度	FTP 受信暗号化強度	–	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	FTP 受信暗号化の強度を設定します。
SMTP Receive	SMTP 受信	SMTP 受信	–	ON（オン） OFF（オフ）	SMTP 受信の暗号化の使用 / 非使用を設定します。
SMTP Receive Cipher Strength	SMTP 受信暗号化強度	SMTP 受信暗号化強度	–	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	SMTP 受信暗号化の強度を設定します。
–	Common Name	Common Name	–	自身で署名した証明書を使用する（自己署名証明書） 認証局が発行した証明書を使用する（認証局証明書）	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR の作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
–	Organi-zation	Organi-zation	–	（プリンタ自身の IP アドレス）	自己署名証明書作成時には装置の IP アドレス（固定）となります。
–	Organi-zational Unit	Organi-zational Unit	–	なし	組織名：所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は 64 文字。
–	Locality	Locality	–	なし	組織単位：属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は 64 文字。
–	State/ Propvince	State/ Propvince	–	なし	都市名：組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
–	Country/ Region	Country/ Region	–	なし	州 / 県：組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は 128 文字。

ネットワークに関する設定

10

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
−	鍵タイプ	鍵交換の方法	−	RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
−	鍵サイズ	鍵のサイズ	−	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを指定します。

■ SNTP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SNTP	SNTP	SNTP を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用／非使用を設定します。
NTP Server (Pri.)	NTP サーバ（プライマリ）	NTP サーバ名　1	−	なし	時間取得をする NTP サーバ（プライマリ）の IP アドレスを設定します。
NTP Server (Sec.)	NTP サーバ（セカンダリ）	NTP サーバ名　2	−	なし	時間取得をする NTP サーバ（セカンダリ）の IP アドレスを設定します。
Local Time Zone	タイムゾーン	ローカル時間設定	−	00:00	GMT との時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間	夏時間設定	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	サマータイムを設定します。

■ Web 印刷

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
−	給紙トレイ	−	−	トレイ 1 MP トレイ トレイ 2 トレイ 3	印刷に使用する給紙トレイを選択します。 *：トレイ 2 〜トレイ 3 は、オプションのトレイユニット装着時に表示されます。
−	印刷部数	−	−	1 〜 999	1 度に印刷する部数を入力します。 1 〜 999 の範囲で設定できます。
−	部単位印刷	−	−	チェックあり チェックなし	複数の文書を印刷する場合、文書を部単位で印刷します。
−	用紙サイズに合わせる	−	−	チェックあり チェックなし	印刷の際に、印刷する PDF. ファイルの用紙サイズと、トレイの用紙サイズが異なる場合、印刷する PDF ファイルの用紙サイズをトレイの用紙サイズに合わせて編集するかどうかを選択します。
−	両面印刷	−	−	なし 長辺を綴じる 短辺を綴じる	両面印刷を行う際の、綴じ方を選択します。
−	印刷ページ指定	−	−	チェックあり チェックなし	開始ページ、終了ページを指定することで、印刷するページを指定します。
−	PDF パスワード	−	−	チェックあり チェックなし	暗号化された PDF ファイルを印刷する場合にチェックを付けてパスワードを指定します。

■ IEEE802.1X

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
802.1X	IEEE802.1X	IEEE802.1X を有効にする	—	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IEEE802.1X 機能の使用 / 非使用を設定します。
EAP Type	EAP タイプ	EAP タイプ	—	EAP-TLS PEAP	EAP 方式を選択します。
EAP User	EAP ユーザ	EAP ユーザ	—	なし	EAP で使用するユーザ名を指定します。EAP-TLS/PEAP 選択時に有効です。64 文字以内の英数字です。
EAP Password	EAP パスワード	EAP パスワード	—	なし	EAP User に対応したパスワードを指定します。PEAP 選択時のみ有効です。64 文字以内の英数字です。
Use SSL. Certificate	SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する	SSL/TLS の証明書を使用する	—	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	SSL/TLS 用の証明書を IEEE802.1X 認証に使用するかどうかを選択します。SSL/TLS 用証明書がインストールされていない場合は "ENABLE(有効)" は選択できません。EAP-TLS 選択時のみ有効です。
Authenticate Server	サーバを認証する	サーバを認証する	—	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	RADIUS サーバから送られてきた証明書を、CA 証明書を使って認証するか否かを選択します。
EAP retry	—	—	—	1 ≀ 3 ≀ 9	IEEE802.1X 認証動作のリトライ回数を設定します。1 回 -9 回までの範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。
EAP timeout	—	—	—	10 ≀ 60	IEEE802.1X 認証中にサーバレスポンスを待つためのタイムアウト値を設定します。10 秒 -60 秒の範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。

■ LDAP

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
LDAP Server	LDAP サーバ	LDAP サーバ	—	なし	LDAP サーバ名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS (Pri.) (Sec.) の設定が必要です。
LDAP Port Number	ポート番号	ポート番号	—	1 ≀ 389 ≀ 65535	LDAP サーバのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
LDAP Timeout	タイムアウト	タイムアウト	—	10 ≀ 30 ≀ 120	LDAP サーバからの応答を待つタイムアウト時間を設定します。
Max Entry	最大エントリ数	最大エントリ数	—	5 ≀ 100	検索結果として取得する最大件数を設定します。
Search Root	DN 名	検索フィルタ設定 DN 名	—	なし	LDAP 検索の BaseDN を設定します。
User Name 1	名前 1	検索フィルタ設定 名前 1	—	cn	ユーザ名として検索する属性名を設定します。
User Name 2	名前 2	検索フィルタ設定 名前 2	—	sn	
User Name 3	名前 3	検索フィルタ設定 名前 3	—	givenName	
Mail Address	メールアドレス	メールアドレス	—	mail	メールアドレスとして検索する属性名を設定します。
Additional Filter	追加フィルタ	検索フィルタ設定 追加フィルタ	—	なし	検索フィルタ式を追加したい場合に設定します。
Authentication Method	方法	認証方法	—	Anonymous Simple Digest-MD5 Secure Protocol	LDAP サーバの認証方法を設定します。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Authentication User ID	ユーザ ID	認証ユーザ ID	―	なし	LDAP サーバにアクセスするためのユーザ ID を指定します。
Authentication User Password	パスワード	認証パスワード	―	なし	LDAP サーバにアクセスするためのパスワードを指定します。
Encryption Algorithm	暗号化	暗号化方式	―	None LDAPS STARTTLS	LDAP 通信の暗号化を設定します。

■ Kerberos（セキュアプロトコル）

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Realm Name	ドメイン	ドメイン名	―	なし	ケルベロス認証で使用するレルム名を設定します。

■ Windows Rally

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
WSD Print	WSD Print	WSD Print を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	WSD Print の使用／非使用を設定します。
LLTD	LLTD	LLTD を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	LLTD の使用／非使用を設定します。

■ IPSec

網かけ部は初期値です。

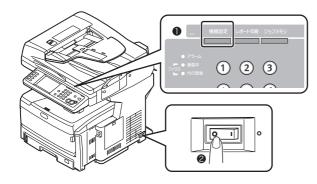
項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
IPSec	IPSec	―	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPSec の使用／非使用を設定します。
―	IP アドレス 1 ～ 50	―	―	0.0.0.0	IPSec で通信を許可するホストを設定します。 * IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。 * IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。 * IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
―	IKE 暗号化アルゴリズム	―	―	3DES-CBC DES-CBC	IKE の暗号化方式を設定します。
―	IKE ハッシュアルゴリズム	―	―	SHA-1 MD5	IKE のハッシュ方式を設定します。
―	Diffie-Hellman グループ	―	―	Group1 Group2	Phase1 Proposal で使用される Diffe-Helman グループを設定します。
―	ライフタイム	―	―	600 86400 28800	ISAKMP SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。
―	事前共有キー	―	―	なし	事前共有キーを設定します。
―	Key PFS	―	―	KEYPFS NOPFS	Key PFS (Perfect Forward Secrecy) の使用／非使用を設定します。
―	Key PFS 有効時の Diffie-Hellman グループ	―	―	Group2 Group1 None	Key PFS を使用する場合に、使用される Diffe-Helman グループを設定します。
―	ESP	―	―	有効 無効	ESP (Encapsulating Security Payload) の使用／非使用を設定します。
―	ESP 暗号化アルゴリズム	―	―	3DES-CBC DES-CBC	ESP で使用する暗号化アルゴリズムを設定します。

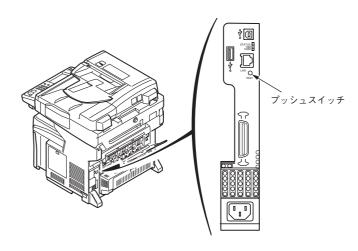
網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
ー	ESP 認証アルゴリズム	ー	ー	SHA-1 MD5 OFF	ESP で使用する認証アルゴリズムを設定します。
ー	AH	ー	ー	有効 無効	AH（Authentication Header）の使用／非使用を設定します。
ー	AH 認証アルゴリズム	ー	ー	SHA-1 MD5	AH で使用する認証アルゴリズムを設定します。
ー	ライフタイム	ー	ー	600 3600 86400	IPSec SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。

ネットワーク機能を初期化する

初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 本機の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源の切りかた」（基本操作編）をご覧ください。

2 プッシュスイッチを押したまま、本機の電源を ON にし、操作パネル上に［しばらくお待ちください　ネットワーク初期化中です］が表示されたら、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

DHCP/BOOTP を使用する

DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスを取得できます。

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCP サーバの設定

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

装置には、固定の IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバを設定してください。ランダムに IP アドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定の IP アドレスを割り当てる方法については、各 DHCP サーバのマニュアルをご覧ください。

■ 動作確認環境

Windows 2003 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Advanced Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows NT Server 4.0 日本語版 DHCP サーバ
Windows NT Server 4.0 日本語版 DHCP リレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、Windows NT Server 4.0 日本語版 DHCP サーバを例にしています。

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷［ネットワーク］をダブルクリックし、［サービス］タブを開きます。

［ネットワークサービス］に［Microsoft DHCP サーバー］が表示されている場合は？

☞ ❻へ進みます。

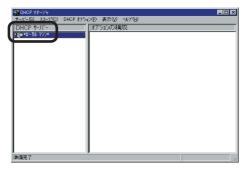
❸［追加］をクリックします。

❹［Microsoft DHCP サーバー］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ Windows を再起動します。

☞ ❷からの続き

❻［スタート］-［プログラム］-［管理ツール（共通）］-［DHCP マネージャ］を選択します。

❼ [DHCP サーバー] 一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

❽ [スコープ] メニューの [作成] を選択し、[IP アドレス　プール] の設定を行い、[OK] をクリックします。

❾ [スコープ] メニューの [予約の追加] を選択し、各項目を入力し、[追加] をクリックします。

① IP アドレスを入力します。

② [一意の ID] に、本機の MAC アドレスを入力します。

③ [クライアント名]、[クライアントコメント] に任意の名前を入力します。

- 必ず [予約の追加] で IP アドレスを割り当ててください。
- MAC アドレスは、操作パネルの [機器設定] キーを押し、[装置情報] - [ネットワーク] を押すと、表示されます。

❿ [閉じる] をクリックします。

⓫ [スコープ] メニューの [アクティブ化] を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

⓬ [DHCP マネージャ] を終了します。

BOOTP サーバの設定

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション：HP-UX 9.x の BOOTP サーバ
IP アドレス　：192.168.0.2
MAC アドレス　：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名　：MC860

注　MAC アドレスは、操作パネルの［機器設定］キーを押し、［装置情報］-［ネットワーク］を押すと、表示されます。

❶ /etc/hosts ファイルに、本機の IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 MC860
```

❷ /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

MC860:\	/etc/hosts に登録したホスト名
ht=ether:\	ハードウェアタイプを［ether］にします。
ha=008087849C9B:\	MAC アドレス
ip=192.168.0.2:\	IP アドレス
sm=255.255.255.0:\	サブネットマスク
gw=192.168.0.1:\	ゲートウェイ

❸ /etc/inetd.conf ファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/ bootpd bootpd
```

❹ inetd を再起動します。

```
# kill -1 1
```

❺ 本機の電源を ON にします。

本機の設定

以下の説明は、AdminManager と Windows XP Home Edition を例にしています。

本機の初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。MC860 を初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ 本機の電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、本機添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸［ネットワークソフトウェア］［NIC セットアップユーティリティ］をクリックします。

❹［日本語］をクリックします。

ネットワークに関する設定
10

❺［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❻［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

❼一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行う装置を選択します。

機種名には、OkiLAN 8500e と表示されます。

メモ MAC アドレスは、操作パネルの［機器設定］キーを押し、［装置情報］-［ネットワーク］を押すと、表示されます。

❽［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選びます。

❾［TCP/IP］タブの［DHCP/BOOTP を使用する］をチェックし、［設定］をクリックします。

❿設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値が装置に送信されます。

⓫設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

リブート後、装置は新しい設定値で動作します。

SNMP を使用する

MC860 は、SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP マネージャで本機の設定値の参照・変更をすることができます。
SNMP マネージャで参照・変更可能な設定項目は MIB と呼ばれ、MC860 は MIB-II および沖データプライベート MIB に対応しています。沖データプライベート MIB については、本機添付の「ソフトウェア CD-ROM」の［MISC］-［Mib］フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

IPv6 について

IPv6 機能を実装しています。
IPv6 アドレスは自動的に取得されます。IPv6 アドレスの手動設定はできません。
IPv6 では以下のプロトコルに対応しています。

印刷：LPD、Port9100、IPP、FTP
設定：HTTP、Telnet、SNMPv1/v3

SMTP 送信、IP フィルタリング、WINS 登録、SNMP Trap などは IPv4 にのみ対応しています。

本製品との正常動作を確認済みのアプリケーションは下表の通りです。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
LPD	Windows Vista Windows XP (IPv6 インストール済) コマンドプロンプトの LPR	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
Port9100	Redhat Linux 9.0 LPRng	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
FTP	Windows Vista Windows XP (IPv6 インストール済) コマンドプロンプトの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が "fe80" で始まるアドレス) を指定して接続することははできません。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
HTTP	Windows Vista Internet Explorer 7.0 Windows XP (IPv6 インストール済) Internet Explorer 6.0	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) またリンクローカルアドレス (先頭が "fe80" で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。
	Windows Vista Windows XP (IPv6 インストール済) Mozilla Firefox (Ver.1.0.6) Windows Vista Windows XP (IPv6 インストール済) Mozilla (Ver.1.7.8)	(1) IPv6 アドレスを "[]" で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X Safari (1.2.3-v125.9)	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が "fe80" で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。
	Mac OS X Safari (2.0-v412.2)	(1) IPv6 アドレスを "[]" で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス (先頭が "fe80" で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。
Telnet	Windows Vista Windows XP (IPv6 インストール済) コマンドプロンプトの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス(先頭が"fe80"で始まるアドレス)を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。

Windows/Macintosh 用ユーティリティ

Web ブラウザ

本機のネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

■ Windows をお使いの方

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.x の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [プライバシー] - [設定] を「中」に設定します。

Netscape Navigator 6.x ～ 7 の場合は、[編集] メニューの [設定] - [プライバシーとセキュリティ] - [Cookie] - [すべての Cookie を有効にする] に設定します。

■ Macintosh をお使いの方

Safari Ver.1.3 以上、Microsoft Internet Explorer Ver.5.1 以上もしくは Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

装置名：	MC860
装置の IP アドレス：	192.168.0.2
MAC アドレス：	00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ：	Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

起動する

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス] に URL「http:// 本機の IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）　正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

管理者としてログインする

Web ブラウザで本機の設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードは操作パネルの「管理者パスワード」と同様です。

❸ネットワーク上で確認できるプリンタ情報を設定し、［OK］または［スキップ］をクリックします。

- ［スキップ］をクリックすると、設定を省略できます。
- ［次回からこのページを表示しない］にチェックを付けて、［OK］または［スキップ］をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

❹下の画面が表示されます。

項目一覧

■ 装置情報

項　目	説　　明
ステータス	装置の現在のステータスを表示します。「障害情報」として装置に発生しているすべての警告やエラーを表示します。また、各ネットワークサービスの動作状況や装置情報の一覧、装置に設定されている IP アドレスも確認することができます。ステータスウィンドウについては、507 ページをご覧ください。
カウンタ	印刷、スキャンでの印刷数を表示します。
消耗品残量	消耗品の残量や寿命を表示します。
印刷集計	印刷集計結果を表示します。
ネットワーク	一般情報、TCP/IP ステータス、メンテナンス情報など、ネットワークに関する設定情報を確認することができます。
システム情報	各種バージョン、メモリ容量、フラッシュメモリ容量、システムに関する情報を表示します。

■ レポート印刷　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

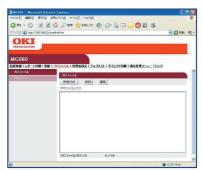
項　目	説　　明
機器設定	機器設定レポートを印刷します。
装置情報	ファイルリスト、ネットワーク情報などの設定内容を印刷します。
プリンタ	PCL フォントリスト、カラー調整パターンなどの設定内容を印刷します。

■ 用紙　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

項　目	説　　明
トレイ構成	各トレイの用紙サイズ、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。
印刷トレイ設定	受信原稿のプリント、自動用紙選択時に使用するトレイを選択します。

■ プロファイル　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

スキャン To ネットワーク PC 実行時に必要な情報を設定し、プロファイルとして登録しておくことができます。プロファイルの登録には、プロトコル、保存先 URL、ファイル名、濃度、原稿サイズ、カラー形式、モノクロ形式等を設定することができます。

■ 管理者設定　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

【PIN ID】

ユーザ毎に、印刷（プリント）、印刷（コピー）、カラー印刷（プリント）、カラー印刷（コピー）、スキャン To E メール、ファクス送信、スキャン To ネットワーク PC、スキャン To USB メモリの設定をすることができます。ユーザは 5002 件まで（内 2 件は予約 ID）登録することができます。

【ネットワーク管理】

項　目	説　　明
一般ネットワーク設定	使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。
TCP/IP	TCP/IP に関する情報を設定できます。 参照「IPv6 を使用する」（544 ページ）
NetWare	NetWare に関する情報を設定できます。
EtherTalk	EtherTalk に関する情報を設定できます。
NBT/NetBEUI	NetBIOS over TCP, NetBEUI/WINS に関する情報を設定できます。
Email	プリンタに発生した事象を Email で通知する機能を設定できます。 参照「エラーをメールで通知する」（535 ページ）

項　目	説　　明
SNMP	SNMP に関する情報を設定できます。 参照「SNMPv3 を使用する」（542 ページ）
IPP	IPP 印刷をする機能を設定できます。
Windows Rally	Windows Rally に関する情報を設定できます。
IEEE802.1X	IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。 参照「IEEE802.1X を使用する」（546 ページ）
セキュアプロトコルサーバ設定	セキュアプロトコルサーバに関する情報を設定できます。
LDAP サーバ設定	LDAP に関する情報を設定できます。
メールサーバ設定	メールサーバに関する情報を設定できます。
セキュリティ	
プロトコル ON/OFF	使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。
IP フィルタリング	TCP/IP によるアクセスを制限することができます。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなるような重大なトラブルを招きます。 参照「IP アドレスでのアクセス制限（IP フィルタ）を使用する」（530 ページ）
MAC アドレスフィルタリング	MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなるような重大なトラブルを招きます。 参照・「管理者としてログインする」（498 ページ） ・「MAC アドレスでのアクセス制限を使用する」（532 ページ）

項　目		説　　明
セキュリティ		
	暗号化（SSL/TLS）	Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）ープリンタ間の通信を暗号化できます。 参照「通信を暗号化する（SSL/TLS）」（508 ページ）
	IPSec	コンピュータ（クライアント）- 装置間通信の暗号化と改ざん防止のための設定をすることができます。 参照「通信を暗号化する（IPSec）」（515 ページ）
	ネットワークパスワード変更	管理者のパスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。 参照「パスワードの設定」（506 ページ）
メンテナンス		
	再起動 / 初期化	ネットワークの再起動や初期化をします。 再起動した場合、再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web Page は表示されません。初期化をした場合は、IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Page も表示できなくなります。
	LAN の規模の設定	ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つハブを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。
	ネットワーク PS- プロトコル	ネットワーク PS- プロトコルの設定をすることができます。

【コピー機能】

画質、濃度、読取サイズ、とじしろ、枠消去、両面等の設定ができます。

【ファクス機能】

項　目	説　　明
送信初期値	ファクス送信時の画質、濃度などの初期値を設定できます。
セキュリティ	ファクス送信時のセキュリティを設定することができます。
その他の設定	ファクス送信時のその他に関する設定をすることができます。

【スキャナ機能】

項　目	説　　明
スキャン初期値	スキャン時の画質、濃度などの初期値を設定することができます。
メール設定	スキャン To E メール実行時に必要なメール設定をすることができます。
USB メモリ設定	スキャン To USB メモリ実行時の USB メモリ設定をすることができます。

【プリンタ機能】

項　目		説　　明
印刷メニュー		
	トレイ構成	自動トレイ切り替えなど用紙に関する設定をすることができます。
	印刷設定	コピー枚数、モノクロ印刷速度等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。
	印刷補正	マニュアルタイムアウト、ジャムリカバーなど印刷補正に関する設定をすることができます。
	印刷位置補正	X 補正、Y 補正など印刷位置を調整することができます。
	ドラムクリーニング	イメージドラムのドラムクリーニングを設定することができます。
	ヘキサダンプ	受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

項　目	説　　明
カラーメニュー	色の濃度補正、色の位置ずれ補正など、装置が出力する色に関する設定をすることができます。
システム構成	動作モード、アラーム解除など、各種の状況に対する装置の動作を設定することができます。
エミュレーション	サポートしているエミュレーションを設定することができます。

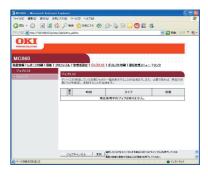
【機器管理】

機器に関する、ローカルインターフェース、システム設定、節電モード、メモリ設定、パスワード変更、初期値初期化の設定ができます。

項　目	説　　明
ローカルインターフェース	USB、セントロの設定をすることができます。
システム設定	アクセス制御、表示単位などの設定をすることができます。
節電モード	パワーセーブに関する設定をすることが出来ます。
メモリ設定	受信バッファサイズ、リソースセーブエリアの設定をすることができます。
管理者パスワード	管理者パスワードを設定することができます。
初期値初期化	短縮ダイヤルやコピー・ファクスの機能設定など「機器設定」で設定されているデータを全て消去します。

【設置モード】

項　目	説　　明
設置モード	ダイヤル種別、発信元名の編集などの設定をすることができます。
時刻設定	装置に時刻を設定することができます。 注 ［SNTP］を選択すると、操作パネルから時刻設定ができません。

■ ジョブリスト

項　目	説　　明
ジョブリスト	装置に送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

■ ダイレクト印刷

項　目	説　　明
Web 印刷	任意の PDF ファイルを指定して、印刷することが出来ます。 参照「PDF ファイルを印刷する」（557 ページ）
Email 印刷	装置が受信した Email に PDF ファイルが添付されていた場合に印刷することができます。 参照「メールに添付されたファイルを印刷する」（558 ページ）

■ 通信管理メニュー　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

項　目	説　　明
自動配信設定	受信したファクスを自動的に E メールに変換して送信したり、受信した E メールを自動的に配信する機能を設定できます。
通信データ保存	送受信したファクスやメールデータをサーバなどに保存する機能を設定できます。
自動配信ログ	自動配信を行った履歴を表示することができます。
通信データ保存ログ	通信データ保存を行った履歴を表示することができます。

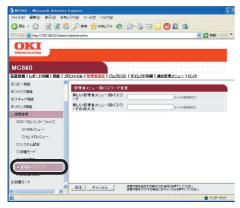
■ リンク

項　目	説　　明
リンク	製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。
リンク編集	管理者が好きな URL を設定できます。サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。URL は、http:// も含めて入力してください。

パスワードの設定

装置の管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［管理者設定］-［機器管理］をクリックします。

❷［管理者パスワード］をクリックします。

❸［新しい管理者メニュー用パスワード］に新しいパスワードを入力し、［新しい管理者メニュー用パスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると、画面上では「●●●●●」と表示されます。
- パスワードは 6 〜 12 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹［送信］をクリックします。

❺ 装置に設定値が保存されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。装置の電源の OFF/ON はありません。

このパスワードは TELNET、AdminManager のパスワードとは異なります。ここでパスワードを変更すると、パネルの管理者設定メニューへ入る際のパスワードも変更されます。

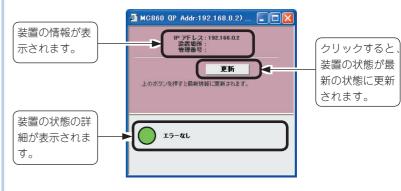
コンピュータから装置の状態を確認する

ネットワーク上のコンピュータから本機の状態を確認できます。

▪「ステータス画面」で確認する

❶ Web ブラウザを起動すると「ステータス」画面を表示します。

▪「ステータスウインドウ」で確認する

［ステータスウィンドウ］をクリックすると、下の画面を表示します。

装置状態アイコン	詳　細
●（緑）	エラーなし / オンライン
●（黄）	軽障害（印刷は可能）
●（赤）	重障害（印刷は不可能）
●（薄紫）	オフライン

コンピュータから装置の設定を変更したい

本機の設定の一部を変更することができます。

❶ 設定を変更したい項目をクリックします。

❷ 必要な変更をした後、［OK］をクリックします。

通信を暗号化する（SSL/TLS）

Web ページからの設定、IPP 印刷、SMTP プロトコルでのメール受信印刷、FTP プロトコルでの受信印刷時に、コンピュータ（クライアント）- 装置間の通信を暗号化できます。
（SSL/TLS による通信の暗号化）

■ 設定方法

設定の流れ

Web を使用して本機で証明書を作成する手順を示します。
作成できる証明書の種類は以下の 2 種類があります。

自己署名証明書
認証局証明書（CSR の作成）

本機の IP アドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後は本機の IP アドレスを変更しないでください。

❶ 管理者としてログインします。

「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュリティ］タブをクリックします。

❸［暗号化（SSL/TLS)］をクリックします。

❹ステップ 1 で作成する証明書の種類を選択します。

❺CommonName、Organization、等の項目を入力します。

「認証局が発行した証明書を使用する」を選択した場合、入力内容等証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。

メモ

自己証明書を選択したときは、「Common Name」に装置の IP アドレスが設定されます。

鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは？
（初期値は RSA、1024bit です。通常はそのまま変更せずにご使用ください。）
☞「詳細を変更する」をクリックします。

自己証明書の場合は、以下のような手順になります。

❻ 入力内容が表示されます。
内容を確認し、［OK］をクリックしてください。証明書を作成します。

以上で自己署名証明書の作成は完了です。

本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

❼ 手順❶から❸に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示し、暗号化を有効にするプロトコルを設定します。

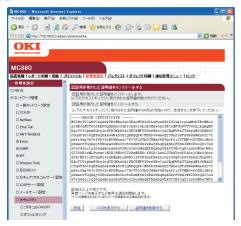
❽「送信」をクリックします。

認証局証明書の場合は、以下のような手順になります。

❻ 入力内容が表示されます。
内容を確認し、［OK］をクリックしてください。

❼ CSR を取り出し認証局へ送付します。（認証局証明書の場合）

テキストボックス内の「----- BEGIN CERTIFICATE REQUEST -----」から「----- END CERTIFICATE REQUEST -----」をコピーしてください。CSR の送付方法は、認証局によって Web ページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付する等があります。

❽ 認証局から発行された証明書を（Web を使用して）インストールします。（認証局証明書の場合）

手順❶～❸に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示します。

発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

これで認証局証明書の作成は完了です。

本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

❾ 手順❶から❸に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示し、暗号化を有効にするプロトコルを設定します。

❿「送信」をクリックします。

■ 使用方法

Web ページからの設定

❶ Web ブラウザを起動し、アドレスに「https:// 本機の IP アドレス」と入力し、接続します。

■ IPP 印刷（Windows をお使いの方のみ）

❶ コンピュータの電源を ON にし Windows を起動します。

工場出荷時の設定では、IPP は無効になっています。
IPP で印刷を行うためには、ネットワーク設定の［IPP］（501 ページ）の設定を行ってください。

❷ 本機を追加します。

〈Windows XP の場合〉
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。
［プリンタのタスク］ - ［プリンタのインストール］をクリックします。

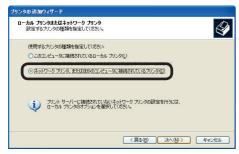
〈Windows Server 2003 の場合〉
［スタート］ - ［プリンタと FAX］をクリックします。
［プリンタの追加］をダブルクリックします。

〈Windows Vista/Windows Server 2008 の場合〉
［スタート］ - ［コントロールパネル］ - ［プリンタ］をクリックします。
［プリンタのインストール］をクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹［ネットワークプリンタまたは他のコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

（Windows Vista/Windows Server 2008 では、［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックし、「プリンタの追加」ダイアログ画面で［探しているプリンタはこの一覧にありません］をクリックします。）

メモ ［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❺［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］（Windows Vista/Windows Server 2008 では、［共有プリンタを名前で選択する］）を選択し、URL の設定を https:// 本機の IP アドレス /ipp または https:// 本機の IP アドレス /ipp/lp と入力し、［次へ］をクリックします。

❻［ディスク使用］をクリックします。

❼「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。

PS ドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥JPN¥WinXP2K¥PS
PCL ドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥JPN¥WinXP2K¥PCL
PCL XPS ドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥JPN¥WinXP2K¥XPS

メモ ポストスクリプトに対応しているアプリケーション（Adobe Illustrator など）から印刷する場合は PS を選択します。
その他のアプリケーションから印刷する場合は、どちらでも選択できます。

⑨ プリンタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

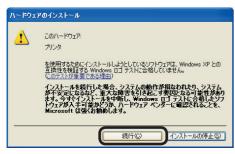
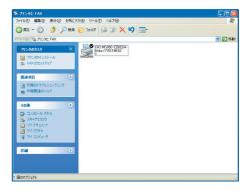
⑩ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑪ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑫ [完了] をクリックします。

⑬「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⑭ プリンタアイコンを選択し、右クリックでプロパティを開きます。[テストページの印刷] をクリックします。

プリンタテストページが印刷されたら、セットアップは完了です。

印刷したいファイルを開きます。

⑮ [ファイル] - [印刷] を選択し、作成した IPP プリンタを指定して印刷を行います。

通信を暗号化する（IPSec）

ネットワークレイヤレベルで、コンピュータ（クライアント）- 装置間通信の暗号化と改ざん防止が可能になります。

メモ　本プリンタでサポートしている IKE プロトコルは「IKEv1」です。
本プリンタがサポートしている通信モードは「トランスポートモード」です。「トンネルモード」では動作しません。
IPSec を有効にしている場合、ネットワークの通信状況によっては装置の応答が遅くなる場合があります。
IPSec を有効にしている場合は、ネットワーク印刷中のスキャン To メール、複数 PC からのネットワーク印刷などの多重動作は実行しないことをお勧めします。

■ 設定方法

設定の流れ

装置の設定をしてからコンピュータの設定を行います。

■ 装置の設定

Web を使用して IPSec を有効にする手順を示します。

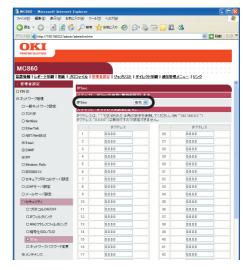
❶ 管理者としてログインします。

参照「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュリティ］タブをクリックします。

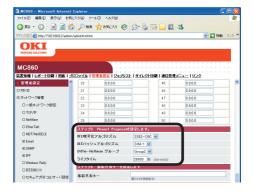
❸［IPSec］タブをクリックします。

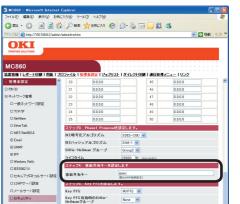
❹「ステップ 1」で、［IPSec］を有効にします。

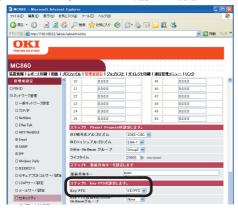
・IPSec を「有効」にすると、「ステップ 2」で設定した IP アドレス以外のコンピュータからのアクセスが一切できなくなります。
・設定したパラメータがコンピュータと一致しない等の理由により IPSec の設定に失敗した場合、Web ページを開くことができなくなります。その場合、本機の操作パネルからネットワーク設定項目の［IPSec］を無効にするか、またはネットワークの初期化を実行して IPSec を無効にします。

❺「ステップ 2」で、ホストの IP アドレスを入力します。

・IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストを指定してください。
・IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
・IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。
・IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
・IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。

❻「ステップ 3」で、Phase1 Proposal の各パラメータを設定します。

- [IKE 暗号化アルゴリズム] に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。
- [IKE ハッシュアルゴリズム] に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。
- [Diffie-Hellman グループ] に、Group2, Group1 から選択して設定します。
- [ライフタイム] に、600(秒) - 86400(秒)の範囲から入力して設定します。

❼「ステップ 4」で、事前共有キーを設定します。

[事前共有キー] に、1 文字以上最大 64 文字、半角英数字で入力して設定します。ここでは、文字列に「ipsec」と入力されている場合を例にしています。

❽「ステップ 5」で、Key PFS を設定します。

- ［Key PFS］に、KEYPFS, NOPFS から選択して設定します。

［Key PFS］を選択した場合、以下の項目を設定します。

- ［Key PFS 有効時の、Diffie-Hellman グループ］に、Group2, Group1 から選択して設定します。

❾「ステップ 6」で、Phase2 Proposal を設定します。

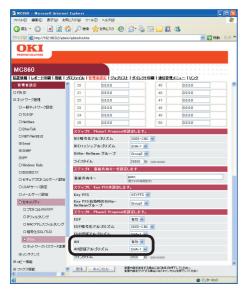
- ［ESP］に、有効 , 無効から選択して設定します。

［ESP］に、有効を設定した場合、以下の項目を設定します。

- ［ESP 暗号化アルゴリズム］に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。
- ［ESP 認証アルゴリズム］に、SHA-1, MD5, OFF から選択して設定します。OFF を選択した場合、ESP 認証アルゴリズムは適用されません。

- ［AH］に、有効 , 無効から選択して設定します。

［AH］に、有効を設定した場合、以下の項目を設定します。

- ［AH 認証アルゴリズム］に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。

- ［ライフタイム］に、600（秒）- 86400（秒）の範囲から入力して設定します。

［ESP］,［AH］のどちらか、または両方を有効に設定してください。

⑩［送信］をクリックします。

⑪ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

■ コンピュータの設定

以下の説明は Windows XP Professional SP1 日本語版を例にしています。

❶［コントロールパネル］の、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。

❷［管理ツール］をクリックします。

❸［ローカルセキュリティ ポリシー］をダブルクリックします。

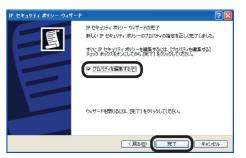
❹［ローカルコンピュータの IP セキュリティポリシー］をクリックします。

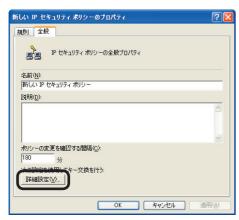
❺［操作］メニューから、［IP セキュリティポリシーの作成］を選択します。

❻［次へ］をクリックします。

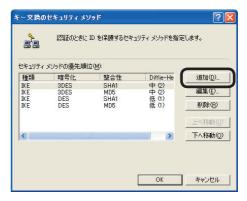
❼［名前］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの名前を、［説明］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの説明を入力して、［次へ］をクリックします。

❽［規定の応答規則をアクティブにする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

❾［プロパティを編集する］にチェックし、［完了］をクリックします。

❿［全般］タブをクリックします。

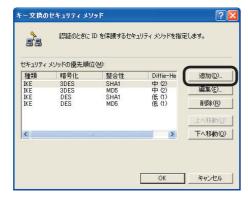
⓫［詳細設定］をクリックします。

⓬［新しいキーを認証して生成する間隔］(分単位)に、「装置の設定」❻(517 ページ)の Phase1 Proposal のライフタイムと同じ時間を、分単位で入力します。

注 Phase1 Proposal の［ライフタイム］では秒単位の入力ですが、ここでは分単位の入力になります。

⓭［メソッド］をクリックします。

⓮［追加］をクリックします。

⓯［セキュリティメソッドの優先順位］に、Phase1 Proposal で設定した内容を追加し、［OK］をクリックします。

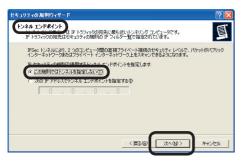
⑯［キー交換のセキュリティメソッド］画面で、［OK］をクリックします。

メモ　追加した以外のセキュリティメソッドは、削除しても構いません。

⑰［キー交換の設定］画面で、［OK］をクリックします。

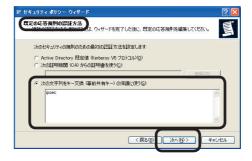
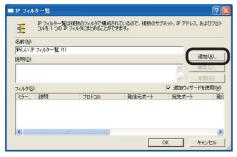
⑱［新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ］画面で、［規則］タブをクリックします。

⑲［追加］をクリックします。

⑳［次へ］をクリックします。

㉑［トンネルエンドポイント］画面で［この規制ではトンネルを指定しない］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

㉒［ネットワークの種類］画面で［すべてのネットワーク接続］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

㉓［既定の応答規制の認証方法］画面で、［次の文字列をキー交換（事前共有キー）の保護に使う］を選択して、文字列を入力し、［次へ］をクリックします。

ここでは文字列に［ipsec］と入力されている場合を例にしています。

㉔［追加］をクリックします。

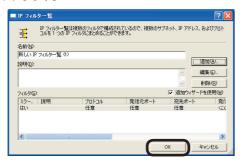
㉕［追加］をクリックします。

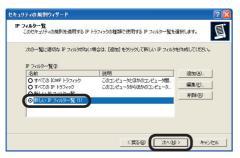
㉖［次へ］をクリックします。

㉗［次へ］をクリックします。

㉘［次へ］をクリックします。

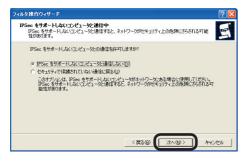
㉙［次へ］をクリックします。

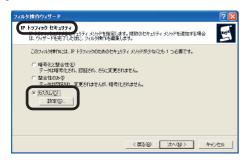
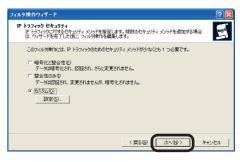
㉚［完了］をクリックします。

㉛［OK］をクリックします。

㉜ 作成した IP フィルタを選択し、［次へ］をクリックします。

㉝［追加］をクリックします。

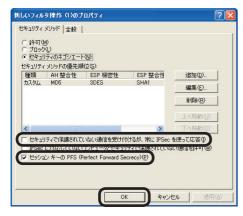
㉞［次へ］をクリックします。

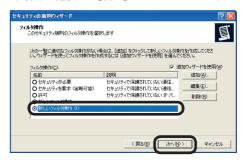
㉟［次へ］をクリックします。

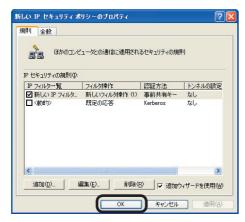
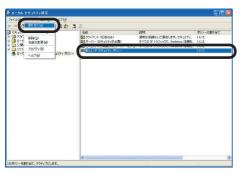
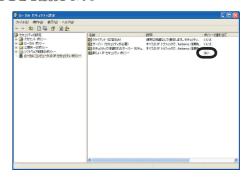
㊱［次へ］をクリックします。

㊲［次へ］をクリックします。

㊳［IP　トラフィック　セキュリティ］画面で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

㊴「装置の設定」❾ （518 ページ）Phase2 Proposal で設定した内容に合わせ、［OK］をクリックします。

㊵［次へ］をクリックします。

㊶［プロパティを編集する］にチェックを入れ、［完了］をクリックします。

㊷ Key PFS を有効する場合は、［セッションキーの PFS(Perfect Forward Secrecy)］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

注 IPv6 グローバルアドレスを使用した IPSec 通信を行う場合は、［セキュリティで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPSec を使って応答］にチェックを入れる必要があります。

㊸ 作成したフィルタ操作を選択し、［次へ］をクリックします。

㊹［完了］をクリックします。

㊺ ［新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ］画面で、［OK］をクリックします。

㊻ 作成した新しい IP セキュリティポリシーを選択し、［操作］メニューから、［割り当て］を選択します。

㊼ 作成した新しい IP セキュリティポリシーの［ポリシーの割り当て］が「はい」になっていることを確認します。

㊽ 画面左上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

IP アドレスでのアクセス制限機能（IP フィルタ）を使用する

本機へのアクセスを IP アドレスを用いて管理できます。

- 本機の初期設定では、「IP フィルタ」が「無効」に設定されています。
- IP アドレスの入力を間違えると、IP プロトコルを用いて本機へアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュリティ］タブをクリックします。

❸［IP フィルタリング］をクリックします。

❹「ステップ 1」で、「IP フィルタリングの設定」を［有効］にします。

IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ 2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❺「ステップ 2」で、IP アドレスの範囲を設定します。

- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IP アドレスは、“.”で区切られた半角の数字を使用してください。
- IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ 2 の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

❻［アドレス範囲バーの表示 / 更新］ボタンをクリックします。

IP アドレスの範囲を、修正したい場合は、該当する IP アドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックしてください。

❼「ステップ 3」で、「登録する管理者の IP アドレス」の値を設定します。

「登録する管理者の IP アドレス」に管理者の IP アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「登録する管理者の IP アドレス」で設定した IP アドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由して本機にアクセスしている場合、「あなたのホスト IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、本機にまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者の IP アドレス」の欄を空欄にしてください。

❽「送信」をクリックします 。

❾ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

MAC アドレスでのアクセス制限機能を使用する

本機へのアクセスを MAC アドレスを用いて管理できます。

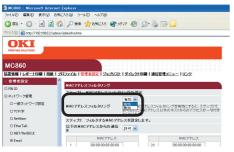
MAC アドレスの入力を間違えると、ネットワークを用いて本機へアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」(498 ページ)

❷ [管理者設定] - [ネットワーク管理] - [セキュリティ] をクリックします。

❸ [MAC アドレスフィルタリング] をクリックします。

❹ [ステップ 1] で [MAC アドレスフィルタリングの設定] を「有効」にします。

❺「ステップ 2」で特定の MAC アドレスからの通信を「許可 (拒否)」するかどうかを選択します。

注
- MAC アドレスを使用して通信を許可 (拒否) するホストの MAC アドレスを入力してください。
- MAC アドレスは、“：” で区切られた半角の数字を使用してください。
- ステップ 2 の指定に関わらず、通信が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

❻「ステップ 3」で、「登録する管理者の MAC アドレス」の値を設定します。

「登録する管理者の MAC アドレス」に管理者の MAC アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「登録する管理者の MAC アドレス」で設定した MAC アドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由して本機にアクセスしている場合、「あなたのホストの MAC アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの MAC アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 MAC アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、本機にまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の MAC アドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者の MAC アドレス」の欄を 00:00:00:00:00:00 にしてください。

❼「送信」をクリックします。

❽本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

エラーをメールで通知する

メール送信機能（SMTP）を実装しています。装置にエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。
また、スキャン To メールや自動配信を行うこともできます。（スキャン To メールや自動配信の設定を行う場合は、障害通知についての情報を設定する必要はありません）

■ 電子メール送信の設定をする

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［管理者設定］-［ネットワーク管理］をクリックします。

❸［Email］-［送信設定］をクリックします。

❹「ステップ 1」で、「SMTP 送信設定」を［有効］にします。

❺「ステップ 2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

①「SMTP サーバ」に、メールサーバのドメイン名または IP アドレスを設定します。

②「デバイス Email アドレス」に、装置に与えられたメールアドレスを設定します。

- 「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバの設定が必要です。
- メールサーバには装置からのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer 7 を初期設定でご使用されている場合、送信テストを行うことができません。
  送信テストを行うためには、Internet Explorer 7 の設定を変更する必要があります。
  ［ツール］-［セキュリティーレベルのカスタマイズ］-［スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに許可する］を有効にしてください。

❻以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ 3」で［SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。］をクリックします。

それ以外の場合は⓲へ進みます。

❼［セキュリティ設定］をクリックします。

❽「SMTP ポート番号」でメールサーバのポート番号を設定します。

❾「認証方式」でメールサーバに接続するための認証方式を選択します。

「SMTP」を選択した場合は「SMTP-Auth」方式で認証します。
「POP」を選択した場合は「POP before SMTP」方式で認証します。

「SMTP」を選択した場合は以下の設定を行います。

①「SMTP ユーザ ID」にメールサーバに接続するためのユーザ ID を設定します。

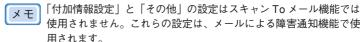
②「SMTP パスワード」にメールサーバに接続するためのパスワードを設定します。

「POP」を選択した場合は以下の設定を行います。

①「POP ユーザ ID」にメールサーバに POP プロトコルで接続するためのユーザ ID を設定します。

②「POP パスワード」にメールサーバに POP プロトコルで接続するためのパスワードを設定します。

③「POP 暗号化方式」で POP プロトコルの暗号化方式を選択します。

「付加情報設定」と「その他」の設定はスキャン To メール機能では使用されません。これらの設定は、メールによる障害通知機能で使用されます。

❿「SMTP 暗号化方式」でメールサーバへのメール送信の暗号化方式を選択します。

⓫「OK」をクリックします。

⓬［付加情報設定］をクリックします。

⓭ Email 送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⓮［OK］をクリックします。

⓯［その他］をクリックします。

⓰「返信先 Email アドレス」に、装置から送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、装置の管理者のメールアドレスを設定してください。

⓱［OK］をクリックします。

⓲「送信」をクリックします。

⓳ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ 認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

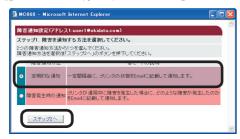
▪ 発生した障害を定期的に通知する

❶［Email］-［アラート設定］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ２へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

メモ　期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

①一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②2 つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

メモ　設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします 。

❿ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

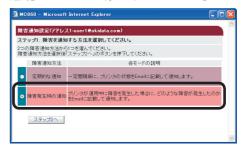
■ 障害が発生したことを通知する

❶［Email］-［アラート設定］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ２へ」をクリックします。

❺［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

・遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
・遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

①一覧表示したい場合
a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②2 つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ
設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします 。

❿ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

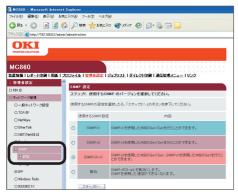
SNMPv3 を使用する

SNMPv3 対応エージェントを実装しています。
SNMPv3 対応 SNMP マネージャを使うと、SNMP による装置の管理を暗号化し安全に行うことができます。

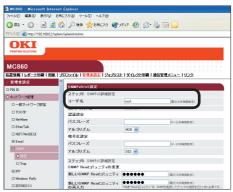
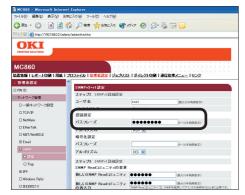
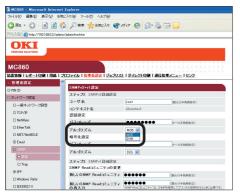
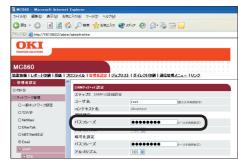
❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」(498 ページ)

❷ [管理者設定] - [ネットワーク管理] タブをクリックします。

❸ [SNMP] - [設定] をクリックします。

❹「ステップ 1」で使用する SNMP のバージョンにチェックを付け、「ステップ 2 へ」をクリックします。

メモ [SNMPv3] を選択した場合は、SNMPv1 での参照・設定はできなくなります。[SNMPv3+v1] を選択した場合は、SNMPv1 と SNMPv3 の両方で参照はできますが、設定は SNMPv3 でしかできません。

❺「ステップ 2」で [ユーザ名] に SNMPv3 ユーザ名を入力します。

❻「認証設定」で［パスフレーズ］に認証用パスフレーズを入力します。

❼［アルゴリズム］を選択します。

❽「暗号化設定」で［パスフレーズ］に暗号化用パスフレーズを入力します。

メモ 暗号化アルゴリズムは［DES］のみ選択できます。

❾「送信」をクリックします。

❿ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ お使いの SNMP マネージャのコンテキスト名には「v3context」を設定してください。

IPv6 を使用する

■ IPv6 の設定をする

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［管理者設定］-［ネットワーク管理］タブをクリックします。

❸［TCP/IP］をクリックします。

❹［IPv6］で［有効］を選択します。

❺「送信」をクリックします。

❻ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

Telnet を使うと、IPv4 を無効にし、IPv6 のみ有効に設定することができます。この場合、IPv4 でしか機能しないネットワーク機能は使用できなくなりますので注意してください。

■ IPv6 アドレスを確認する

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。
取得された IPv6 アドレスは、Web ブラウザ、レポート印刷の [ネットワーク情報] に表示されます。

❶ [装置情報] タブをクリックします。

❷ [ネットワーク] - [TCP/IP] をクリックします。

リンクローカルアドレスとグローバルアドレスを確認します。(図示した環境ではグローバルアドレスは取得されていません。)

- グローバルアドレスがすべて "0" で表示されている場合は、ルータからネットワークプレフィックスを取得できていません。お使いのルータが正しく設定されているか確認してください。
- お使いのコンピュータから IPv6 を使って本機に接続するための設定方法は、お使いのコンピュータまたはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

IEEE802.1X を使用する

IEEE802.1X による認証機能に対応しています。

■ IEEE802.1X セットアップの流れ

本機に IEEE802.1X の設定を行うために、まず、本機とコンピュータとを通常のハブを経由してセットアップ用の接続をします。IEEE802.1X の設定完了後、認証スイッチにプリンタを接続します。

1. 本機とコンピュータとを接続します。
2. コンピュータにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
3. 本機にセットアップ用の IP アドレスを設定します。
   本機とコンピュータとの接続および本機とコンピュータ（Windows）の IP アドレス設定方法については、基本操作編「ネットワークケーブルを接続する」と「セットアップする（3 本機に IP アドレス等を設定します。）」をご覧ください。
4. 本機に IEEE802.1X の設定をします。
5. 本機を認証スイッチに接続します。

■ IEEE802.1X の設定をする

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［ネットワーク管理］タブをクリックします。

❸［IEEE802.1X］メニューをクリックします。

■ PEAP を使用する場合

メモ EAP-TLS を使用する場合は、548 ページへ進んでください。

❹ [IEEE802.1X] で [有効] を選択します。

❺ [EAP タイプ] で [PEAP] を選択します。

❻ [EAP ユーザ] にユーザ名を入力します。

❼ [EAP パスワード] にパスワードを入力します。

❽ [サーバを認証する] をチェックします。

❾ [CA 証明書のインポート] をクリックします。

メモ [サーバを認証しない] をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
[サーバを認証しない] をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

❿ CA 証明書のファイル名を入力し、[OK] をクリックします。

- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書が本機にインポートされます。

⓫「送信」をクリックします。

⓬ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

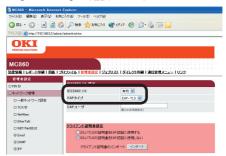
操作パネルに待機画面が表示されたら、本機の電源を切ります。

本機の電源の切り方はユーザーズマニュアル（基本操作編）をご覧ください。

「本機を認証スイッチに接続する」（550 ページ）に進みます。

■ EAP-TLS を使用する場合

⓭［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

⓮［EAP タイプ］で［EAP-TLS］を選択します。

⓯［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

⓰［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない］をチェックします。

メモ 通常は［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する］にチェックしないでください。

⓱［クライアント証明書のインポート］をクリックします。

「クライアント証明書のインポート」画面が表示されます。

⑱ クライアント証明書のファイル名を入力します。

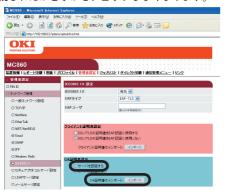
メモ　インポートできる証明書ファイルの形式は PKCS#12 です。

⑲ クライアント証明書のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

クライアント証明書が本機にインポートされます。

⑳ [サーバを認証する] をチェックします。

㉑ [CA 証明書のインポート] をクリックします。

メモ　[サーバを認証しない] をチェックした場合は､CA 証明書のインポートは必要ありません。
[サーバを認証しない] をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

㉒ CA 証明書のファイル名を入力し、[OK] をクリックします。

- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書が本機にインポートされます。

㉓「送信」をクリックします。

㉔ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに待機画面が表示されたら、本機の電源を切ります。

本機の電源の切り方はユーザーズマニュアル（基本操作編）をご覧ください。

「本機を認証スイッチに接続する」に進みます。

■ 本機を認証スイッチに接続する

メモ 本機の電源が切れていることを確認してください。

1. イーサネットケーブルを本機のネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。
2. イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに差し込みます。
3. 本機の電源スイッチの On (|) を押します
4. 操作パネルに待機画面と表示したことを確認します。
5. 本機の IP アドレス等をお使いの環境に従って設定します。

LDAP サーバ設定をする

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」(498 ページ)

❷ [管理者設定] - [ネットワーク管理] - [LDAP サーバ設定] タブをクリックします。

❸「サーバ設定」で LDAP サーバの設定をします。

①「LDAP サーバ」に、LDAP サーバのドメイン名または IP アドレスを設定します。

②「ポート番号」に LDAP サーバのポート番号を設定します。

③「タイムアウト」に、LDAP サーバからの検索応答を待つためのタイムアウト時間を設定します。

④「最大エントリ数」に、LDAP サーバから取得する検索結果の最大件数を設定します。

メモ　検索結果が「最大エントリ数」以上だった場合は、検索結果として最大エントリ数分までが表示されます。ただし、検索内容によっては最大エントリ数分表示されない時（名前にヒットしたが、そのエントリにメールアドレスがない時など）があります。この場合は検索内容を絞り込んで再度検索してみてください。

⑤「DN 名」に LDAP サーバに接続するための BaseDN を設定します。

メモ　LDAP サーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❹「属性」で、検索のための属性を設定します。

①「名前 1 〜 3」にユーザ名として検索する属性名を設定します。

・初期値として「cn」「sn」「givenName」が設定されています。
・「名前 1 〜 3」の設定に関わらず、検索結果画面に表示されるのは属性「cn」の内容です。

②「メールアドレス」にメールアドレスとして検索する属性名を設定します。

メモ　初期値として「mail」が設定されています。

③ 検索条件を追加したい場合は、検索式を「追加フィルタ」に設定します。

❺「認証」で、LDAP サーバにアクセスするための設定をします。

①「方法」で認証方法を選択します。

「Digest-MD5」を選択した場合、DNS サーバ設定が必要です。
「Secure Protocol」を選択した場合、DNS サーバ設定とセキュアプロトコルサーバ設定が必要です。

もし、①で「Anonymous」以外を選択した場合は、以下の設定をします。

②「ユーザ ID」に LDAP サーバにログインするためのユーザ ID を設定します。

③「パスワード」に LDAP サーバにログインするためのパスワードを設定します。

❻「暗号化」で LDAP サーバとの通信を暗号化するかどうかを設定します。

メモ　暗号化設定についてはネットワーク管理者とご相談ください。

❼「送信」をクリックします。

❽本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

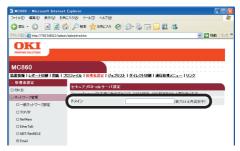
セキュアプロトコル設定をする

LDAP サーバへの接続時などに、ケルベロスサーバによる認証を行う機能に対応しています。
本機能を利用するためには SNTP サーバ設定、および DNS サーバ設定が必要です。

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷ ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュアプロトコルサーバ設定］タブをクリックします。

❸「ドメイン」にユーザの属するレルム名を設定します。

❹「送信」をクリックします。

❺ 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メール送信設定をする

スキャン To メール機能を使用するためには、本機にメール送信のための設定をしておく必要があります。
メール送信設定は、障害通知機能（535 ページ）でも使用されます。

❶ 管理者としてログインします。

参照「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［Email］-［送信設定］タブをクリックします。

❸「ステップ 1」で「SMTP 送信」を「有効」に設定します。

❹「ステップ 2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

①「SMTP サーバ」に、メールサーバのドメイン名または IP アドレスを設定します。

②「デバイス Email アドレス」に、装置に与えられたメールアドレスを設定します。

- 「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバの設定が必要です。
- メールサーバには装置からのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer 7 を初期設定でご使用されている場合、送信テストを行うことができません。
  送信テストを行うためには、Internet Explorer 7 の設定を変更する必要があります。
  ［ツール］-［セキュリティーレベルのカスタマイズ］-［スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに許可する］を有効にしてください。

メモ　スキャン To メール機能では、操作パネルの「スキャナ設定」-「メール設定」-「送信者」に設定されたメールアドレスが使用されます。

❺ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ 3」で［SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。］をクリックします。

それ以外の場合は⑩へ進みます。

❻［セキュリティ設定］をクリックします。

❼「SMTPポート番号」でメールサーバのポート番号を設定します。

❽「認証方式」でメールサーバに接続するための認証方式を選択します。

> **メモ**　「SMTP」を選択した場合は「SMTP-Auth」方式で認証します。
> 「POP」を選択した場合は「POP before SMTP」方式で認証します。

「SMTP」を選択した場合は以下の設定を行います。

①「SMTPユーザID」にメールサーバに接続するためのユーザIDを設定します。

②「SMTPパスワード」にメールサーバに接続するためのパスワードを設定します。

「POP」を選択した場合は以下の設定を行います。

①「POPユーザID」にメールサーバにPOPプロトコルで接続するためのユーザIDを設定します。

②「POPパスワード」にメールサーバにPOPプロトコルで接続するためのパスワードを設定します。

> **メモ**　「付加情報設定」と「その他」の設定はスキャンToメール機能では使用されません。これらの設定は、メールによる障害通知機能で使用されます。

❾「OK」をクリックします。

❿「送信」をクリックします。

⓫本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

❽で認証方式として「POP」を選択していた場合、以下の手順でPOPサーバの設定を行います。

⓬［Email］-［受信設定］タブをクリックします。

⓭「POPサーバ名」にPOPサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

⓮「詳細」をクリックすることでさらに詳細を設定することができます。

⓯「送信」をクリックします。

⓰本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

EtherTalk プリンタ名を変更したい（Macintosh をお使いの方）

EtherTalk の場合に、本機に識別しやすい名前を付けることができます。

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷ ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［EtherTalk］タブをクリックします。

❸ ［EtherTalk プリンタ名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

注
- プリンタ名は 32 文字以内の英数字で設定できます。
- プリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用しないでください。

EtherTalk ゾーンを変更したい（Macintosh をお使いの方）

複数の論理ゾーンで区切られている EtherTalk で、本機を現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

注 選択できるゾーンは同一セグメント内です。

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷ ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［EtherTalk］タブをクリックします。

❸ ［EtherTalk ゾーン名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

PDF ファイルを印刷する

プリンタドライバをインストールしていなくても PDF ファイルを印刷できます。
Web ブラウザからファイルを指定して本機に送信します。

- 印刷するファイルによっては、本機に増設メモリが必要な場合があります。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Acrobat Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 印刷ページ指定をして印刷を行った場合は本機での処理に時間がかかる場合があります。

❶ 管理者としてログインします。

参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

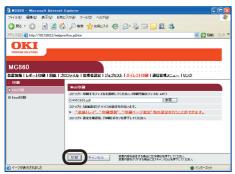
❷［ダイレクト印刷］タブをクリックします。

❸［Web 印刷］をクリックします。

❹「ステップ 1」で、印刷するファイルを指定します。

［参照］をクリックすると、ファイルダイアログでファイルを選択することができます。

❺「ステップ 2」で、印刷設定をします。

❻「ステップ 3」で、「印刷」をクリックします。

❼ファイル名と印刷設定を確認して、「OK」をクリックします。

メールに添付されたファイルを印刷する

本機が受信した電子メールに添付されているファイルを印刷します。本機では、POP/SMTP プロトコルでの受信が可能です。ただし、POP/SMTP を同時に動作させることはできません。
印刷できるファイルは PDF 形式と JPEG 形式のファイルです。
印刷するには、以下の電子メール受信の設定を行います。

- 印刷するファイルによっては、本機に増設メモリが必要な場合があります。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Acrobat Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- メール本文は印刷しません。
- PDF 形式と JPEG 形式でないファイルが添付されていた場合、印刷しません。
- 添付できる最大ファイル数は 10 ファイルです。（PDF, JPEG 合せて）
- 1 ファイルの上限サイズは 8M バイトです。（上限を超えた場合、そのメールの添付ファイルは受け捨てられます）

■ POP 受信の設定をする

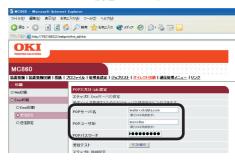
❶管理者としてログインします。

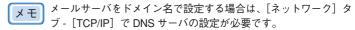
参照 「管理者としてログインする」（498 ページ）

❷［管理者設定］-［ネットワーク管理］タブをクリックします。

❸［Email］-［受信設定］をクリックします。

❹「ステップ 1」で、「POP3」を有効にして「ステップ 2 へ」を押します。

❺「ステップ 2」で、POP サーバの設定をします。

①「POP サーバ名」に、メールサーバのドメイン名または IP アドレスを設定します。

メモ　メールサーバをドメイン名で設定する場合は、［ネットワーク］タブ -［TCP/IP］で DNS サーバの設定が必要です。

②「POP アカウント」に、メール受信用のアカウント名を設定します。

③「POP パスワード」に、アカウントに対するパスワードを設定します。

❻「ステップ 3」で、メールサーバからメールを取得する間隔を設定します。

❼「ステップ 4」で、そのほかの設定をします。

①「POP ポート番号」でメールサーバのポート番号を設定します。通常は初期設定のままお使いください。

② お使いのメールサーバが APOP プロトコルをサポートしている場合は、「APOP サポート」を［有効］に設定します。

メールサーバが APOP プロトコルをサポートしていない場合に、「APOP サポート」を［有効］に設定すると、メールの受信が正しく行われません。

APOP プロトコルでは、パスワードを暗号化してメールサーバに送信するため、より安全なメール受信が行われます。

③「POP 暗号化方式」で「POP3S」、「STARTTLS」を選択することにより POP 通信を SSL 暗号化することができます。

POP サーバで SSL 暗号機能が未サポートな場合はメールの受信が正しく行われません。

❽「送信」をクリックします。

これで、本機が受信したメールの添付ファイルを印刷することができるようになります。

■ SMTP 受信の設定をする

電子メールにファイルを添付する方法については、お使いの電子メールソフトのマニュアルをご覧ください。

■ 本機の設定

❶ お使いの電子メールソフトを起動します。

❷ 宛先に本機の電子メールアドレスを入力します。

件名と本文には何を入力してもかまいません。

❸ 印刷したいファイルを添付します。

❹「ステップ 1」で SMTP を有効にして「ステップ 2 へ」を押します。

❺「ステップ 2」で SMTP の設定をします。

①「ドメインフィルタ」を「有効」にします。

メモ
- ドメインフィルタの設定で本機側で SMTP 受信したメールの「許可」または「拒否」が設定できます。特にフィルタを設定していない場合は「無効」にします。
- ドメインフィルタは POP 受信には適用されません。

②「以下に設定したドメインからの Email を」を「許可」または「拒否」に設定します。
「ドメイン 1」～「ドメイン 5」で設定したドメイン名が設定された電子メールの印刷を設定できます。

ドメインとはメールアドレスの「@」以下です。

このドメインは電子メールの From に適用されます。

❻「SMTP 受信ポート番号」で SMTP ポート番号を設定します。通常は初期設定のままお使いください

❼「送信」をクリックします。

これで本機が受信したメールのファイルを印刷することが出来るようになります。

本機が電子メールを受信すると、添付された PDF ファイルが印刷されます。

電子メールを送信してから、本機がその電子メールを受信するまでにしばらく時間がかかることがあります。

Windows 用ユーティリティ

AdminManager

本機のネットワークの設定ができます。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータは本機と同一セグメント上に存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動する

❶ 本機の電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、本機添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

❸「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❹ [ネットワークソフトウェア] [NIC セットアップユーティリティ] をクリックします。

❺ [日本語] をクリックします。

❻ [OKI Device Standard Setup] をクリックします。

❼ [インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する] を選択し、[次へ] をクリックします。

AdminManager が起動します。

ネットワークの設定をする

本機のネットワークの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(474 ページ) をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行う装置を選択します。

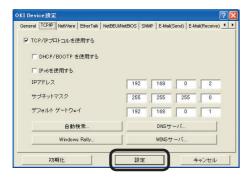
機種名には、OkiLAN 8500e と表示されます。

- Ethernet アドレスは、操作パネルの [機器設定] キーを押し、[装置情報] - [ネットワーク] を押すと、MAC アドレスとして表示されます。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ [設定] メニューの [OKI Device の設定] を選択します。

❸［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の英数字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 リブート後、装置は新しい設定値で動作します。

❼ AdminManager を終了します。

ネットワーク設定項目

General タブ

パスワードを変更します。

NetBEUI/NetBIOS タブ

NetBEUI を利用する場合に設定します。

E-mail (Receive) タブ

SMTP/POP プロトコルを利用する場合に設定します。

SSL_TLS タブ

SSL/TLS を利用する場合に設定します。

Kerberos タブ

Kerberos を利用する場合に設定します。

TCP/IP タブ

IP アドレスなどの設定をします。

SNMP タブ

SNMP を利用する場合に設定します。

SNTP タブ

SNTP を利用する場合に設定します。

IEEE802.1X タブ

IEEE802.1X を利用する場合に設定します。

EtherTalk タブ

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

E-mail (Send) タブ

SMTP 送信プロトコルを利用する場合に設定します。

Maintenance タブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

LDAP タブ

LDAP を利用する場合に設定します。

環境を設定する

AdminManager の環境を設定することができます。
［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

TCP/IP タブ

TCP/IP で装置の検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

SNMP タブ

SNMP でプリンタ名の取得をするかどうか設定します。
対象のコミュニティ名を設定します。

Timeout タブ

装置からの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManager と装置の間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManager と装置の間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

本機のネットワークの簡易設定ができます。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータは本機と同一セグメントに存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動する

❶ 本機の電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、本機添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

　セットアップブログラムが起動します。

❸「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❹ [ネットワークソフトウェア][NIC セットアップユーティリティ]をクリックします。

❺ [日本語]をクリックします。

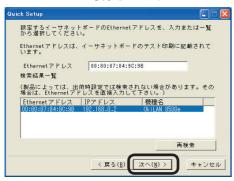
ネットワークに関する設定

10

❻［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

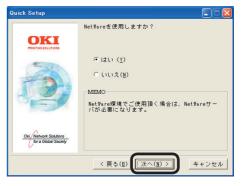
❼［次へ］をクリックします。

❽ 設定を行う装置の Ethernet アドレスを選択して、［次へ］をクリックします。

機種名には、OkiLAN 8500e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、操作パネルの［機器設定］キーを押し、［装置情報］-［ネットワーク］を押すと、MAC アドレスとして表示されます。

設定する

❶ TCP/IP の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❷ NetWare の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❸ EtherTalk の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❹ NetBEUI の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❺ 設定内容を確認し、［実行］をクリックします。

設定値が本機に送信されます。

❻ 設定値を有効にするために、［完了］をクリックします。

注 リブート後、本機は新しい設定値で動作します。

❼ Quick Setup を終了します。

OKI LPR ユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、本機のステータス確認ができます。

インストール方法は、「ユーティリティのインストール方法」(264 ページ) をご覧ください。

動作環境

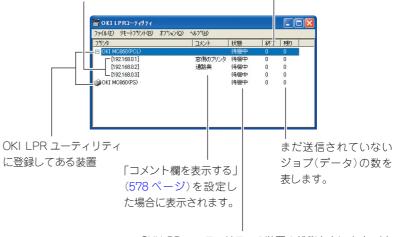
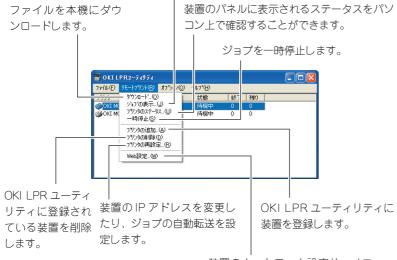
Windows XP /Windows 2000/Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 印刷方式機能は利用できません。
- Windows Vista/Windows Server 2008 では利用できません

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動する

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](Windows 2000 では[プログラム])-[沖データ] - [OKI LPR ユーティリティ] - [OKI LPR ユーティリティ] を選択します。

下のような画面が表示されます。

リモートプリントの設定

ファイルのダウンロード

ファイルを本機にダウンロードすることができます。

❶ 装置を選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブの表示、削除と手動転送

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、本機が使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他の装置へ転送することができます。

- 他社装置へは転送できません。
- 同じ機種名へ転送してください。

❶ 装置を選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先の装置を選択します。

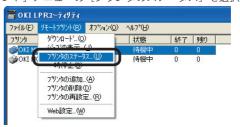
転送先の装置にジョブが送られます。

転送できる装置は、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

❶ 装置を選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

装置の追加

印刷先のポートを OKI LPR ポートに変更することができます。

すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷［プリンタ］を選択し、［IP アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

［プリンタ］には、「プリンタと FAX」（Windows 2000 の場合は「プリンタ」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。ネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

メモ ［検索］をクリックしてネットワーク上の沖データ製装置を検索することもできます。

メインウィンドウに装置が追加されます。

ジョブの自動転送

本機が使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他の装置へ転送することができます。

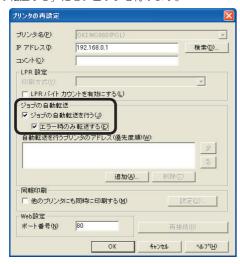
・他社装置へは転送できません。
・必ず、同じ機種名へ転送してください。

❶ 装置を選択します。

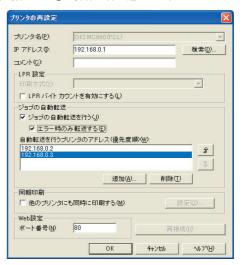
❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックを付けます。

装置が「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

❺［追加］をクリックし、転送先の IP アドレスを設定します。

メモ　［検索］をクリックして、ネットワーク上の沖データ製装置を検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ　転送先の優先順を変更するには、［自動転送を行うプリンタのアドレス］から優先順を変更する装置を選択し、横の［↑］ボタン、または［↓］ボタンをクリックします。（［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります。

❼［OK］をクリックします。

複数の装置で同時に印刷する

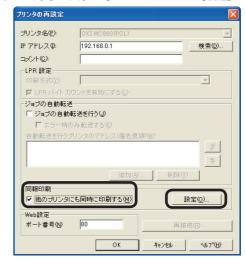
一度の印刷指示で複数の装置に印刷することができます。

同時に印刷する装置は、必ず同じ機種を指定してください。

❶ 装置を選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺［追加］をクリックし、同時に印刷する装置の IP アドレスを設定します。

同時に印刷する装置に対しても、コメントを追加することができます。（577 ページ）

❻ 追加したい装置の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ

- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加した装置の情報を保存することができます。
- 保存した装置の情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

❼［OK］をクリックします。

Web ブラウザを起動する

OKI LPR ユーティリティより、装置のネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザを起動します。

各設定の設定方法については「Web ブラウザ」（497 ページ）をご覧ください。

❶ 装置を選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［Web 設定］を選択します。

Web ポート番号が変更されている場合は、OKI LPR ユーティリティのポート番号の設定を以下の手順で変更してください。

① 装置を選択します。

②［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

③［詳細設定］をクリックします。

④［ポート番号］に、Web ポート番号を入力します。

⑤［OK］をクリックします。

コメントを追加する

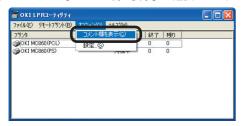
OKI LPR ユーティリティに追加した装置へ、コメントを追加することができます。

メモ　装置の設置場所、オプション装置などを入力すると便利です。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

❹［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

自動的に IP アドレス再設定する

DHCP サーバに接続し装置の電源を入れる度に装置の IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

検索対象は、OKI LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

削除（アンインストール）する

❶［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷［スタート］-［すべてのプログラム］(Windows 2000 では［プログラム］)-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティの削除］を選択します。

❸［はい］をクリックします。

削除が開始されます。

Network Extension

プリンタドライバから装置の設定項目を確認したり、装置のオプション構成の設定が容易にできます。

 インストール方法は、「ユーティリティのインストール方法」（264 ページ）をご覧ください。

動作環境

Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IP のネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

装置の設定を確認する

接続している装置の設定内容などが確認できます。

 Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
（Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）

❷［OKI MC860(PS)］、［OKI MC860(PCL)］または［OKI MC860(PCL XPS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［オプション］タブをクリックします。

❹［更新］ボタンをクリックします。

（Windows XP PCL ドライバ の画面）

「デバイス設定」に装置の設定内容が表示されます。

❺［OK］をクリックします。

［Web 設定］ボタンをクリックすると、自動的に Web ブラウザが起動し、装置の設定内容が表示されます。詳しくは、「Web ブラウザ」（497 ページ）をご覧ください。

オプションの自動設定をする

接続している装置のオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

■ Windows PS ドライバをお使いの方

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
（Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）

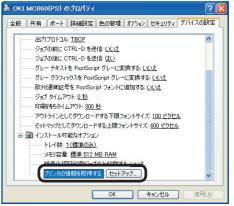
❷［OKI MC860(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックし、［セットアップ］をクリックします。

（Windows XP PS ドライバの画面）

❺［OK］をクリックします。

ネットワークに関する設定
10

■ Windows PCL/PCL XPS ドライバの場合

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
（Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）

❷［OKI MC860(PCL)］または［OKI MC860(PCL XPS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

（Windows XP PCL ドライバの画面）

❺［OK］をクリックします。

削除（アンインストール）する

■ Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

❷［OKI Network Extension］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❹ 画面に従って削除します。

■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

❷［OKI Network Extension］を選択し、［削除］をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

■ Windows 2000 の場合

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

❷［OKI Network Extension］を選択し、［変更と削除］をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

TELNET

本機の各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定する

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

OS　　　　　: Windows XP Professional
装置　　　　: MC860
IP アドレス　: 192.168.0.2
MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

注 MAC アドレスは､操作パネルの［機器設定］キーを押し､[装置情報] -［ネットワーク］を押すと、表示されます。

❶ Windows のコマンドプロンプトを起動します。

❷ ping コマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnet で本機に接続します。

ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。

```
telnet 192.168.0.2

MC860 TELNET Server (Ver 01.01).

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  M E N U (level.1)
----------------------------------------------------------------
  1 : Status / Information
  2 : Device Config
  3 : Network Config
  4 : Security Config
  5 : Maintenance
 99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)?
```

❹ 変更する項目の番号を入力し､「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ 本機からログアウトします。

新しい設定が本機に送信されます。

Macintosh 用ユーティリティ

NIC Setup Utility

本機のネットワークの設定ができます。

動作環境

Mac OS X 10.3 ～ 10.5 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。［コントロールパネル］-［TCP/IP］で設定を行ってください。

起動する

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ 本機の電源が ON になっていることを確認します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、本機添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［Utility］-［Network］-［Mac OS X］フォルダの中の［Installer］をダブルクリックします。

❹ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

初期設定では、ログインユーザのホームディレクトリの[OKI Tools]フォルダにインストールされます。

❺ ［Setup Utility を起動しますか？］で［はい］を選択し、［完了］をクリックします。

Setup Utility が起動します。

Oki Device の設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(474 ページ)をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行う装置を選択します。

機種名には、MC860 の代わりに OkiLAN 8500e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、操作パネルの[機器設定]キーを押し、[装置情報] - [ネットワーク] を押すと、MAC アドレスとして表示されます。

❷ [設定] メニューの [Oki Device の設定] を選択します。

設定
Oki Device の設定... ⌘M
HTTP による設定
リセット
テスト印刷
IPアドレス設定...

❸ [パスワード入力] に [Ethernet アドレスの下 6 桁] を入力し、[OK] をクリックします。

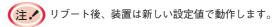
- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、[設定] をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値が装置に送信されます。

❻ 新しい設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

リブート後、装置は新しい設定値で動作します。

❼ Setup Utility を終了します。

ネットワークに関する設定

10

■ General

パスワードを変更します。

■ EtherTalk

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

■ SNMP

SNMP を利用する場合に設定します。

■ TCP/IP

IP アドレスなどの設定をします。

■ NetBEUI

NetBEUI を利用する場合に設定します。

11 UNIX、Linux で使用する場合

LPD プロトコルを利用する..588
FTP プロトコルを利用する..591

LPD プロトコルを利用する

TCP/IP の LPD プロトコル(lpr, lp コマンド)を使用して印刷する方法を説明します。
lpr, lp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

LPD について

LPD(Line Printer Daemon)はネットワーク上の装置に印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本機には 3 つの論理プリンタがあります。

論理プリンタ	機　能
lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

装置名　: MC860
装置の IP アドレス　: 192.168.0.2
MAC アドレス　: 00:80:87:84:9C:9B

UNIX を設定し印刷する

■ Sun Solaris2.6 および 8 の場合

- スーパーユーザーの権限が必要です。
- OpenWindows 上より Admintool を使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本機では利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.x はシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルに本機の IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m netstandard -o protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/
null
```

- 「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。
- 印刷するファイル形式によりプリンタタイプやファイル内容形式を設定する必要があります。詳細は OS 付属のマニュアルを参照ください。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❽ 本機の状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.X および 10.X の場合

・スーパーユーザーの権限が必要です。
・HP-UX9.03 を例にしています。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルに本機の IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用している HP-UX マシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon rlpdaemon -i
```

③ inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -ormML -orplp -ocmrcmodel
-osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❿ 本機の状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

FTP プロトコルを利用する

TCP/IP の FTP プロトコル（ftp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。
ftp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

FTP について

FTP（File Transfer Protocol）はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本機には 3 つの論理ディレクトリがあります。

論理プリンタ	機　能
/lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
/sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
/euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

装置名　　　　　　: MC860
装置の IP アドレス : 192.168.0.2
MAC アドレス　　　: 00:80:87:84:9C:9B

印刷する

❶ 本機にログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし､「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。

```
#ftp 192.168.0.2
Connected to 192.168.0.2
220 EthernetBoard OkiLAN 8500e Ver 01.01 FTP Server.
User (192.168.0.2:none):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
Remote system type is FTP.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには､ファイルの内容をそのまま出力する「BINARY モード」と、LF コードを CR+LF コードに変換する「ASCII モード」の 2 種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は､「BINARY モード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例 1）印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例 2）印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

quote コマンドの「stat」を使って、クライアントの IP アドレス、ログインユーザ名、転送モードの 3 つの状態を確認することができます。また、stat の後に論理ディレクトリ（lp, sjis, euc）を指定すると、本機の状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

12 こんなときには

ドライバの削除 / 更新.. 594
プリンタ・ファクスドライバを削除する.........................594
プリンタ・ファクスドライバを更新する.........................598
スキャナドライバの削除 / 更新..600
日常のお手入れ.. 604
装置の表面を清掃する...604
原稿ガラス・ガラス面を清掃する 606
原稿押さえパッドを清掃する..607
原稿搬送ローラと原稿押さえローラを清掃する 608
給紙ローラとパッドを清掃する..610
LED ヘッドを清掃する 611
移動する.. 613
装置を移動するとき 613
装置を輸送するとき 616

ドライバの削除 / 更新

プリンタ・ファクスドライバを削除する

Windows をお使いの方

注
・コンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では[スタート]-[コントロールパネル]-［プリンタ］を選択します。
（Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷ [MC860(**)](** は PS、PCL、PCL XPS または FAX(ドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

❹ Windows Vista をお使いの方は❺へ進みます。
Windows XP/Windows Server 2003 をお使いの方は⓮へ進みます。

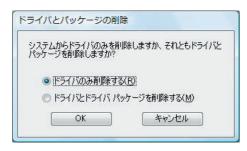
❺ アイコンを選択しないで､右ボタンでクリックして､[管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❻ ［ユーザー アカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❼「プリント サーバーのプロパティ]の、[ドライバ]タブを選択します。

❽ [MC860(**)]（** は PS、PCL、PCL XPS または FAX(ドライバの種類))を選択し、[削除] をクリックします。

「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度ドライバの削除を行ってください。

❾ [ドライバとパッケージの削除]が表示されたら、[ドライバとドライバ パッケージを削除する]を選択して[OK] をクリックします。

❿ 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

⓫ [ドライバパッケージの削除] が表示されたら、[削除] をクリックします。

⓬ 削除が終了したら、[OK] をクリックします。

⓭ ⓰へ進みます。

⓮ 「プリンタと FAX」フォルダ(Windows 2000では「プリンタ」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

⓯ [ドライバ] タブで、該当する機種名を選択し、[削除] をクリックします。

⓰ [プリントサーバーのプロパティ]で、[閉じる] をクリックします。

⓱ Windows を再起動します。

プリンタドライバと一緒にインストールされる OKI LPR ユーティリティと Network Extension と色見本印刷ユーティリティは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPR ユーティリティと Network Extension を削除する場合は、「Windows 用ユーティリティ」の「OKI LPR ユーティリティ」(570 ページ)、「Network Extension」(582 ページ) をご覧ください。
色見本印刷ユーティリティを削除する場合は、[コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] から削除してください。

Mac OS X をお使いの方

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

■ Mac OS X 10.5 プリンタドライバをお使いの方

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。プリンタ名を選択し、[-] をクリックします。

❸［システム環境設定］を閉じます。

■ Mac OS X 10.5 プリンタドライバ以外をお使いの方

❶ ハードディスクの［アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタリスト］を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダを開きます。

❹［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❽「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❾ ▲▼ をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫［終了］をクリックします。

プリンタ・ファクスドライバを更新する

Windows をお使いの方

・コンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
（Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［MC860（**）］（** は PS、PCL、PCL XPS または FAX（ドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［設定］タブ（PS プリンタドライバでは［印刷オプション］タブ）の［バージョン情報］をクリックします。

❹ バージョン情報確認画面が表示されたら、バージョン情報を控えて［OK］をクリックします。

❺「プリンタ・ファクスドライバを削除する」（594ページ）に従って、ドライバを削除します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするドライバと同じ種類（PS、PCL、PCL XPS または FAX）のすべてのドライバを削除してください。

❻ Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は❿へお進みください。
Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 をお使いの方は、❼～❾を行ってから❿へお進みください。

❼ Windows XP/Windows Server 2003では「プリンタとFAX」フォルダ（Windows 2000では「プリンタ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❽ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除] をクリックします。

❾ Windows を再起動します。

❿ 新しいドライバをセットアップします。
詳しくは、基本操作編の「2 プリンタとして使うとき」の「セットアップする」をご覧ください。

注
- 必ずプリンタの電源が ON になっていることを確認してください。
- Windows XP では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓫ ❶～❹の手順でバージョン情報を表示し、新しいドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

Mac OS X をお使いの方

❶ [プリンタリスト] から本機を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタ・ファクスドライバを削除する」(594 ページ) をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「2 プリンタとして使うとき」の「セットアップする」(基本操作編) をご覧ください。

スキャナドライバの削除 / 更新

スキャナドライバを削除する

「USB 接続で Windows にセットアップする」（基本操作編）記載の手順でスキャナドライバをインストールした場合、以下の手順でスキャナドライバを削除します。

コンピュータの管理者の権限が必要です。

■ Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し､［プログラムのアンインストール］を開きます。

❷ ［OKI MC860 Scanner］を選択し､［アンインストールと変更］をクリックします。

❸ ［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

■ Windows XP/Windows Server 2003 をお使いの方

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］を開きます。

❷ ［OKI MC860 Scanner］を選択し、［削除］をクリックします。

■ Windows 2000 をお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

❷ ［OKI MC860 Scanner］を選択し、［変更と削除］をクリックします。

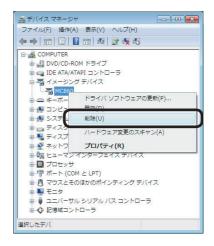
「スキャナドライバ（TWAIN ドライバ、WIA ドライバ）をインストールする」（204 ページ）記載の手順でスキャナドライバをインストールした場合、以下の手順でスキャナドライバを削除します。

■ Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ ［スタート］-［コンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷ ［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸ ［イメージングデバイス］の［MC860］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❹ [このデバイスのドライバソフトウェアを削除する] にチェックを付け、[OK] をクリックします。

❺ Windows¥System32¥ にある以下のファイルを削除します。

- okis1lda*.dll
- okscllda*.dll
- okisclda.ini

❻ Windows¥twain_32¥Okidata¥001 フォルダを削除します。

■Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [スキャナとカメラ] を選択します。(Windows Server 2003 では [スタート] - [コントロールパネル]-[スキャナとカメラ]を選択します。Windows 2000 では[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [スキャナとカメラ] を選択します。)

❷ [MC860] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除] を選択します。(Windows 2000 では [MC860] アイコンを選択して、[削除] ボタンをクリックします。)

❸ 上記削除終了後、パソコンと MFP をつなぐ USB ケーブルを抜きます。

❹ 続いてセットアップ情報ファイルを削除します。Windows¥inf¥ の下にセットアップ情報ファイルのコピー (oem*.inf) がありますので、これを削除します。
ファイルの中身を見て、Device.DeviceDesc0="MC860" の記述があるファイルが削除対象のファイルです。
そのファイルと同じファイル名の oem*.pnf も削除します。
(Windows 2000 では WINNT¥inf¥ の下にセットアップ情報ファイルのコピーがあります。)

❺ Windows¥System32¥ にある以下のファイルを削除します。
- okis1lda*.dll
- oksclida*.dll
- okisclda.ini

（Windows 2000 では WINNT¥System32¥ の下にこれらのファイルがあります。）

❻ Windows¥twain_32¥Okidata¥001 フォルダを削除します。
（Windows 2000 では WINNT¥twain_32¥Okidata¥001 フォルダを削除します。）

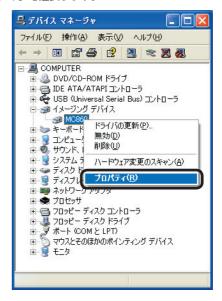
スキャナドライバを更新する

■ Windows をお使いの方

 コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
（Windows Vista/Windows Server2008 では ［スタート］- ［コンピュータ］ をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］ を選択します。Windows2000 では ［スタート］- ［設定］- ［コントロールパネル］- ［システム］ を選択します。）

❷ ［ハードウェア］ タブの ［デバイスマネージャ］ をクリックします。
（Windows Vista/Windows Server2008 では ［デバイスマネージャ］ をクリックします。）

❸ ［イメージングデバイス］ の ［MC860］ アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］ を選択します。

❹［ドライバ］タブの［バージョン］を確認します。

❺スキャナドライバを削除します。詳しくは「スキャナドライバを削除する」をご覧ください。

❻新しいスキャナドライバをセットアップします。
詳しくは「スキャナドライバ（TWAIN ドライバ，WIA ドライバ）をインストールする」（204 ページ）をご覧ください。

❼❶～❹の手順で新しいスキャナドライバのバージョンを確認します。

日常のお手入れ

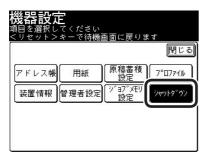
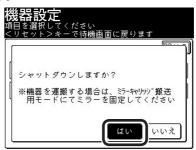
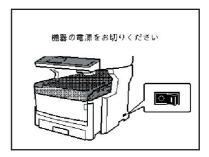
装置の表面を清掃する

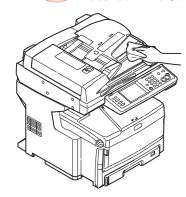
ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

1 本機の電源を OFF にします。

電源の切り方はユーザーズマニュアル（基本操作編）の「電源を切ります」をご覧ください。

❶ ＜機器設定＞キーを押します。

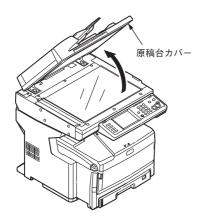
❷［シャットダウン］を押します。

❸［はい］を押します。

❹ 下の画面が表示されたら、本機の電源 S/W を OFF にします。

2 表面を拭きます。

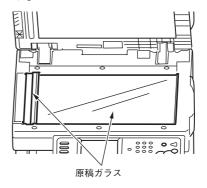
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本機は油をさす必要はありません。注油しないでください。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

原稿ガラス・ガラス面を清掃する

原稿ガラスやガラス面が汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒いすじが発生したり、汚れが印刷されたりします。きれいな画質を得るために、約１カ月に一度の清掃をしてください。

ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

1 原稿台カバーを開けます。

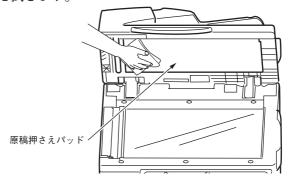
2 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、原稿ガラスのガラス面を拭きます。

3 原稿台カバーを閉じます。

汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

原稿押さえパッドを清掃する

原稿押さえパッドが汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒点や汚れなどが発生します。きれいな画質を得るために、約１カ月に一度の清掃をしてください。

1 原稿台カバーを開けます。

2 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、原稿押さえパッドを拭きます。

メモ　汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

3 原稿台カバーを閉じます。

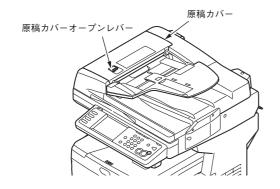
原稿搬送ローラと原稿押さえローラを清掃する

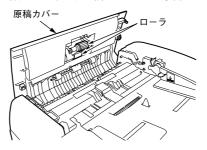
原稿搬送ローラが汚れていると、原稿を汚すばかりではなく、相手側での受信文書やコピーの汚れの原因ともなります。また、原稿づまりの原因ともなります。

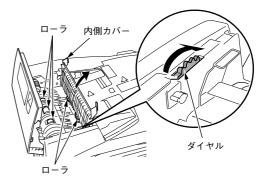
原稿押さえローラが汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒点や汚れなどが発生します。

きれいな画質で、スムーズに原稿を送るために、約 1 カ月に一度の清掃をしてください。

ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

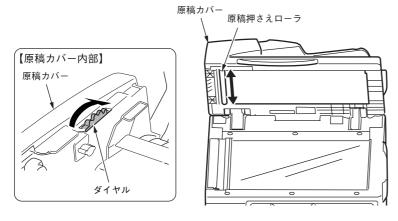
1 原稿カバーオープンレバーを上げ、原稿カバーを開けます。

2 原稿搬送ローラを清掃します。

❶ 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、ローラを拭きます。

メモ
- ローラを手で回しながら、ローラ全面を拭いてください。（1 方向にしか回らないローラもあります。）
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

❷ 内側のカバーを開けます。
水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、ローラを拭きます。

メモ
- ダイヤルを回しながらローラ全面を拭いてください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

3 原稿押さえローラを清掃します。

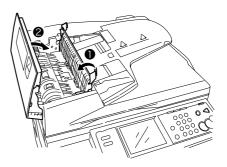
❶ 原稿台カバーを開けます。

❷ ダイヤルを矢印方向に回しながら原稿押さえローラを矢印方向に拭きます。

メモ
- ダイヤルを回しながらローラ全面を拭いてください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

❸ 原稿台カバーを閉じます。

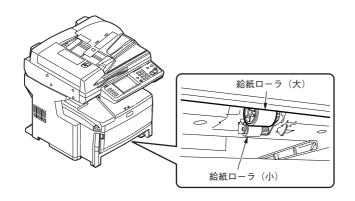
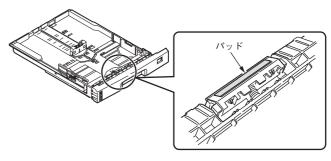
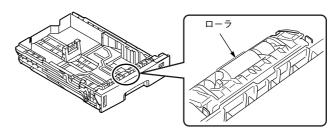
4 原稿カバーを閉じます。

❶ 内側のカバーを閉じます。

❷ 原稿カバーを閉じます。

給紙ローラとパッドを清掃する

紙づまりが頻発する場合に行ってください。
トレイ2、トレイ3の場合も同様の手順で行います。
MPトレイの場合は、給紙ローラのみ同様の手順で行います。(パッドはありません。)

1 トレイを引き出します。

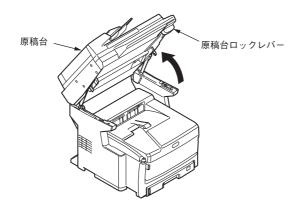
2 給紙ローラ(大)、給紙ローラ(小)を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

3 トレイのパッドまたはローラ部分を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

トレイ1の場合

トレイ2、トレイ3の場合

LED ヘッドを清掃する

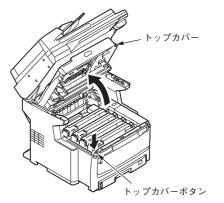
印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

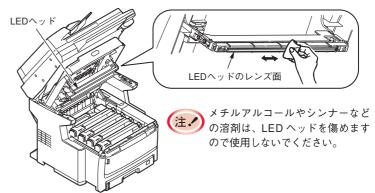
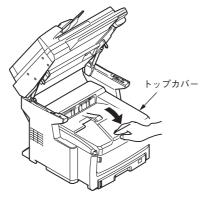
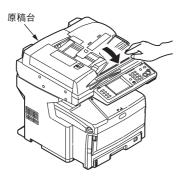
1 本機の電源を OFF にします。

注 電源の切り方は「電源の切りかた」（基本操作編）をご覧ください。

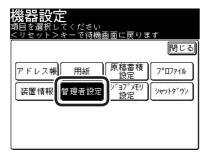
2 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

3 トップカバーボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意　やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

4 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面(4 ヶ所)を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

6 原稿台を元の位置に戻します。

移動する

装置を移動するとき

1 ミラーキャリッジ搬送モードを ON にします。

❶ <機器設定>キーを押します。

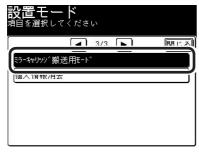
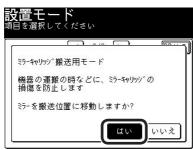
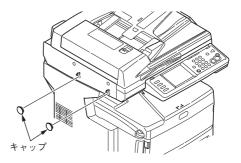
❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［設置モード］を押します。

❺［▶］を 2 回押し、［設置モード］画面の［3/3］を表示します。

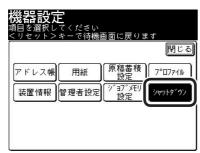
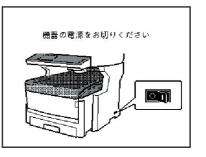
❻［ミラーキャリッジ搬送用モード］を押します。

❼ 確認の画面を表示するので、［はい］を選択します。

❽ 2 か所のキャップを取り外します。

❾ 2 箇所のネジを添付の専用工具で矢印方向に回し、ミラーを固定してください。

❿ ❽で取り外した 2 か所のキャップを元の位置に取り付けます。

⓫ 専用工具を元の位置に戻します。

⓬［閉じる］を押します。

⓭＜機器設定＞キーを押します。

⓮［シャットダウン］を押します。

⓯ 以下の画面が表示されたら、本機の電源 S/W を OFF にします。

2 次の部分を取り外します。

- 電源コード、アース線
- ケーブル
- トレイに入っている用紙

必ず 3 人以上で持ち、移動します。

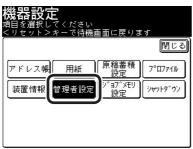
移動後、必ずミラーキャリッジのロックを解除してから電源を入れ、ミラーキャリッジ搬送モードを OFF にしてください。

MC860dtn 及び増設トレイユニットを取り付けている場合

転倒防止足を取り外しキャスターのロック（2 箇所）を解除して移動してください。
移動後はキャスターをロックし転倒防止足を元の位置に取り付けてください。
詳しくは「増設トレイユニット」（基本操作編）をご覧ください。

装置を輸送するとき

本機は精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

1 ミラーキャリッジ搬送モードを ON にします。

❶ <機器設定>キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

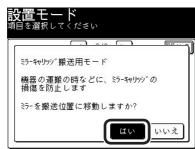
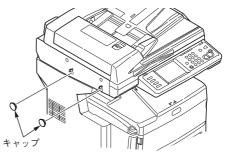
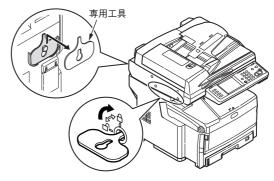
❸ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

❹［設置モード］を押します。

❺［▶］を 2 回押し、［設置モード］画面の［3/3］を表示します。

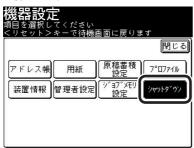
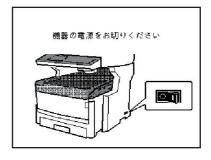
❻［ミラーキャリッジ搬送用モード］を押します。

❼ 確認の画面を表示するので、［はい］を選択します。

❽ 2 か所のキャップを取り外します。

❾ 2 箇所のネジを添付の専用工具で矢印方向に回し、ミラーを固定してください。

❿ ❽で取り外した 2 か所のキャップを元の位置に取り付けます。

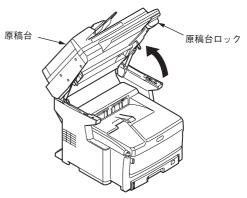
⓫ 専用工具を元の位置に戻します。

⓬［閉じる］を押します。

⓭ <機器設定>キーを押します。

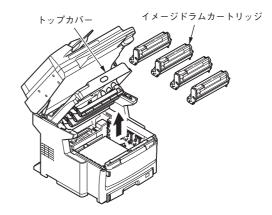
⓮［シャットダウン］を押します。

⓯ 以下の画面が表示されたら、本機の電源 S/W を OFF にします。

2 次の部品を取り外します。

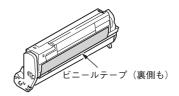
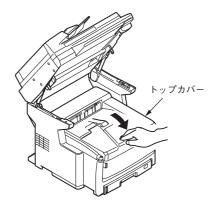
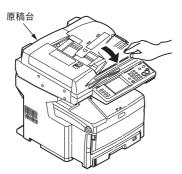
- 電源コード、アース線
- ケーブル
- トレイに入っている用紙

3 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

4 トップカバーボタンを押し、トップカバーを開けます。

5 イメージドラムカートリッジ(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

6 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、本機に戻します。

本機にイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

7 トップカバーを閉じます。

8 原稿台を元の位置に戻します。

9 装置本体と増設トレイユニットを分離します。

増設トレイユニットを取り付けていない場合は *10* へ進んでください。

分離の手順は取り付けの逆手順でお願いします。詳しくはユーザーズマニュアル（基本操作編）「増設トレイユニット」をご覧ください。

10 緩衝材で本機を保護します。

購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。
また輸送後、必ずミラーキャリッジのロックを解除してから電源を入れ、ミラーキャリッジ搬送モードを OFF にしてください。

11 必ず 3 人以上で持ち、梱包箱に入れます。

付　録

ユーザサポートサービス 622
お客様相談センターのご案内..622
消耗品・オプション・推奨紙のご案内..............................623
使用済み消耗品の回収について..624
その他のサービスについて..625
プリントジョブアカウンティングの使用について........... 627
プリントジョブアカウンティングの使用について 627
仕様... 629
仕様 629

ユーザサポートサービス

お客様相談センターのご案内

操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、沖データ製品に関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音させていただいております。

お客様相談センター　0120-654-632

（携帯電話からは 03-5846-5921）

受付時間　9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日
9：00 ～ 17：00 土曜日
(但し、祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆ 沖データ製品のサポートサービスは（株）沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。

b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。

c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。

d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 装置の非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

製品の情報
機種名：＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月
追加オプション：　なし　・　あり（　　　　）

コンピュータ環境
□Windows　バージョン：＿＿＿＿
□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿

接続方法
□パラレル　□USB　□ネットワーク(有線)　□ネットワーク(無線)　□TCP/IP
□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBIOSoverTCP/NetBEUI　□Bonjour(Rendezvous)
□その他(　　　)

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿

エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿
装置操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿
装置のLEDランプの状態：＿＿＿＿

その他
他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない
他のコンピュータからの印刷　：□正常　□印刷できない

消耗品・オプション・推奨紙のご案内

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名	型　名	内　容
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3KK1	トナーカートリッジ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3KY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3KM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3KC1	
トナーカートリッジ　ブラック S	TNR-C3KK3	トナーカートリッジ S タイプ
トナーカートリッジ　イエロー S	TNR-C3KY3	
トナーカートリッジ　マゼンタ S	TNR-C3KM3	
トナーカートリッジ　シアン S	TNR-C3KC3	
イメージドラム　ブラック	ID-C3KK	イメージドラムカートリッジ トナーカートリッジ S タイプ
イメージドラム　イエロー	ID-C3KY	
イメージドラム　マゼンタ	ID-C3KM	
イメージドラム　シアン	ID-C3KC	
ベルトユニット	BLT-C3C	ベルトユニット
定着器ユニット	FUS-C3E	定着器ユニット
増設トレイユニット D4	TRY-C3D4	増設トレイユニット（トレイ 2､3､専用キャビネット）
増設トレイユニット D5	TRY-C3D5	増設トレイユニット（トレイ 2､専用キャビネット）
512MB 増設メモリ	MEM512C	増設メモリ（512MB）
給紙ローラセット（トレイ 1 用）	RS-C3D	トレイ 1 用給紙ローラ、分離パッド、スプリング
給紙ローラセット（トレイ 2、3 用）	RS-C3E	トレイ 2、3 用給紙ローラ 2 ヶ、リタードローラ Assy
給紙ローラセット（MPT 用）	RS-C3F	MPトレイ用給紙ローラ
カード認証キット F9	JCK-F9	IC カード認証キット
カード認証キット F10	JCK-F10	IC カード認証キット （グループ印刷機能対応）

品　名		型　名	内　容
プリントジョブアカウンティング		MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	
	A3	PPR-CA3NA	
	A3（厚口）	PPR-CA3DA	
	A3 長尺	PPR-CT5DA	
ML カラー OHP シート		MLOHP01	専用 OHP フィルム

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 〜 35℃、湿度：20 〜 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

付録

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの沖データ製品の消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下の用紙をコピーし、必要事項を記入して FAX、または、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ 1 本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No. ：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品目		数量
イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他沖データ製消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　個□

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

その他のサービスについて

保証について

ご購入日から起算して 5 年以内に発生した故障については、弊社保証規定に基づき無償で修理いたします。
お客様登録（必須）をしていただくことにより、製品保証書を発行させていただきます。
インターネットから弊社ホームページ（http://www.okidata.co.jp/）へアクセスしていただき、登録をお願いいたします。
インターネット環境がご利用になれない場合は、お客様相談センターへお電話ください。
書類にて登録ができるお客様登録申込書を郵送させていただきます。

無償修理を受けるにはお客様登録後に発行される保証書が必要となります。

■ 無償保証規定

1. お客様の正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態）で故障が発生した場合には保証期間内に限り保証規定に基づき、無償で修理させていただきます。

2. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
   (1) 保証書の提示がない場合。
   (2) 保証書の字句が書き換えられている場合。
   (3) 火災、天災、公害、塩害、異常電圧等の外部要因に起因する故障及び損傷の場合。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等、お取扱いが不適当なために生じた故障及び損傷の場合。
   (5) 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取扱い（不安定な電力供給、仕様に定める動作可能温度及び動作可能湿度の範囲外での使用等の使用環境の問題も含む）によって発生した故障及び損傷の場合。
   (6) 弊社指定の保守サービス会社以外で修理、改造された場合。
   (7) 接続している他の機器に起因した本製品の故障及び損傷の場合。
   (8) 弊社指定以外のメンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム）、用紙等の使用に起因して生じた故障及び損傷の場合。
   (9) 正常なご使用方法でもメンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム）、用紙等が自然消耗、磨耗、劣化した場合。

3. メンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラム）、用紙等は本保証による保証対象とはなりません。また、パソコン本体の OS 改変やプリンタードライバーソフトの改変に関しても、保証対象とはなりません。メンテナンス品・消耗品の交換については、お客様で行っていただきます。
   弊社に依頼される場合は、部品代金に加えて工賃（出張費を含む）をお客様にご負担いただきます。

4. 製品によっては、メンテナンス品及び消耗品に該当する部品を追加する場合があります。
   その場合には、当該製品のカタログ、取扱説明書等に追加されたメンテナンス品及び消耗品を記載します。

5. 製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社はその責に任じません。

6. 設置場所の変更、転居、贈答等の場合で、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、お客様相談センターにお問い合わせください。

7. 弊社における保証は、製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶部品に記憶されたデータ・プログラム・設定内容の消失または損害について保証するものではありません。

8. 修理を行った場合の修理内容につきましては、修理伝票等で代替いたします。

9. 保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

付録

■ オプション品の保証について

オプション品によっては、保証期間が 6 ヶ月の保証書が同梱されている場合があります。
この場合でも、製品本体と同様にお客様登録をしていただくことにより、オプション品についても登録頂いた本体保証期間と同期間の保証をいたします。
ただし、オプションを購入された時点で本体の保証期間の残りが 6 ヶ月に満たない場合は、オプション品の保証期間は 6 ヶ月とさせていただきます。

最新版のソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

補修用性能部品の保有年数について

本製品の補修用性能部品の保有年数は、製造終了後 7 年間とさせていただきます。
詳しくは、沖データホームページをご覧ください。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

プリントジョブアカウンティングの使用について

プリントジョブアカウンティングの使用について

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。
- 本機がプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、機器設定印刷で「JobAccounting : ON」と印刷されます。「機器設定印刷」については、455 ページをご覧ください。
- 読取サイズがハーフレターでスキャンした場合は、ログの原稿サイズにはステートメントと表示されます。
- アクセス制御が無効の状態で本機のログの取得を開始すると、自動的にアクセス制御が有効になります（プリンタの追加時に［使用制限は使用しないで、ログのみ取得する］にチェックを付けなかった場合のみ）。アクセス制御の設定(PIN もしくはユーザ)は前回の設定（未設定時は PIN）になります。
- 本機が取得状態の場合は、アクセス制御やユーザ認証方法の設定を変更することはできません。
- 本機ではログフル時の操作は［古いログを削除する］になります。
- ユーザ ID が 1900000000 のジョブは装置が起動したジョブを表します。

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID 数、および保存可能ログ数

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID の数と保存可能なログの数は以下の通りです。ログの内容によっては、少なくなる場合があります。

登録可能ユーザ ID 数	保存可能ログ数
5000ID	約 5000 ログ

付録

課金額の定義の追加

本機の各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。

「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

❶ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

❷ 沖データホームページよりファイルをダウンロードし、解凍します。

❸ CPADD.EXE ファイルをダブルクリックします。

❹ 確認画面で［はい］をクリックします。

❺ 完了画面で［はい］をクリックします。

❻ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

❼［プリンタ］メニューから［課金額の定義］を選択します。

❽ 課金額の定義一覧に「860」が追加されていることを確認します。

課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

仕様

仕様

基本仕様

型式	N34223C
CPU	PowerPC750 プロセッサ (500MHz)
RAM 容量	512MB(最大 768MB)
装置重量 *4	MC860dn ：約 68kg MC860dtn ：約 96kg
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	動作時： 最大 1300W、平均 700W(25℃)
	待機時： 平均 160W(25℃)
	節電モード時： 25W 以下 電源オフ時には電力は消費されません。
突入電流	80A 以下 (25℃)
使用環境条件	動作時 : 10 ～ 32℃ /20 ～ 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
	停止時 :0 ～ 43℃ /10 ～ 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
外部インタフェース	USB (Hi-Speed USB をサポート)、100BASE-TX/10BASE-T
表示	グラフィック LCD パネル (5.8 インチ QVGA 320dots x 240dots)
対応 OS	Windows Vista/XP/2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版 Mac OS X 10.3 ～ 10.5 日本語版 *6 詳しくは動作環境をご覧ください。

印刷部仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード) を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600 ドット / インチ (LED ヘッド) 600 × 600dpi/600 × 1200dpi/600 × 600dpi × 2 bit(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の 4 色
印刷言語	PostScript3 エミュレーション、PCL5c エミュレーション
印刷速度 *1	カラー ： 26 ページ / 分 (普通紙、A4 コピーモード時)、 9.5 ページ / 分 (104kg(121g/m²) 以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙)、 22 ページ / 分 (両面印刷時：普通紙、A4 時) モノクロ ： 34 ページ / 分 (普通紙、A4 コピーモード時)、 9.5 ページ / 分 (104kg(121g/m²) 以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙)、 23 ページ / 分 (両面印刷時：普通紙、A4 時)
用紙サイズ *2	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒
用紙種類 *2	普通紙 (55 ～ 172kg)、郵便はがき、封筒、ラベル紙、OHP フィルム
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、MP トレイによる自動給紙と手差給紙 増設トレイユニット (トレイ 2、トレイ 3) (オプション) による自動給紙
給紙容量	用紙カセット：普通紙 300 枚 / 連量 70kg (82g/m²) 総厚 30mm 以下 MP トレイ ：普通紙 100 枚 / 連量 70kg (82g/m²) 総厚 10mm 以下 はがき 40 枚、封筒 10 枚 / 坪量 85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ (表排出)/ フェイスダウン (裏排出)
排出容量 *3	フェイスアップ：約 100 枚 / 連量 70kg (82g/m²) フェイスダウン：約 250 枚 / 連量 70kg (82g/m²)
印刷保証範囲	用紙の端から 6.35mm 以上 (封筒などの特殊な用紙は除く)
印刷精度	書き出し位置精度± 2mm 用紙の斜行± 1mm/100mm 画像伸縮± 1mm/100mm(連量 70kg (82g/m²) の場合)
ウォームアップ時間	電源投入後 90 秒以内 (25℃) *5
平均印刷枚数	10,000 枚 / 月
印刷品質保証条件	温度 10℃時 湿度 30 ～ 73%RH、温度 32℃時 湿度 30 ～ 54%RH、 湿度 30%RH 時 温度 10 ～ 32℃、湿度 80%RH 時 温度 10 ～ 27℃、 カラー印刷時 温度 17 ～ 27℃、湿度 50 ～ 70%RH
消耗品・メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラセット
ユニット寿命	5 年または 60 万枚 (A4 横)

*1 用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2 用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3 はがき、往復はがきのフェイスアップの最大排出容量は 10 枚です。
*4 装置重量には、消耗品も含んでいます。
*5 濃度補正を含みません。
*6 TWAIN ドライバは、Mac OS には対応していません。

付録

スキャナ部仕様

スキャナタイプ	自動原稿送り装置（ADF）付きフラットベッドスキャナ
イメージセンサ	カラー CCD （R, G, B 3Line）
ADF 原稿用紙厚さ	52 ～ 105g/m2
ADF 原稿トレイ容量	50 枚（80g/m2）A4, B5, レター / 25 枚（80Kg/m2）A3, B4
可能読取幅	原稿台 ：最大 297mm ADF ：最大幅 297mm 最小原稿 128.5 x 148.5mm
読取速度	最大 32 ページ / 分（300dpi, モノクロモード , A4 片面 ）
ユニット寿命	原稿台 ：5 年または 300,000 回スキャン ADF ：5 年または 120,000 ページスキャン （80,000 ページスキャン後に給紙ローラとパッドを交換した場合）
蛍光灯寿命	1,000 時間（累積点灯）

ファクス部仕様

互換性	ITU-T スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR JBIG
通信速度（最大）	33600 bps（自動フォールバック）
原稿サイズ	自動検出 ：A3、A4、A5、B4、B5 読取サイズ設定：A3、A4、A5、B4、B5、タブロイド、リーガル（14"）、レター、ハーフレター
電送時間	約 2 秒 *1
代行受信件数	最大 250 件
蓄積枚数	最大 1,024 枚 *2
走査線密度	主走査 ： 8 ドット / mm
	副走査 ： 3.85 本 / mm（標準）
	： 7.7 本 / mm（高画質）
	： 15.4 本 / mm（超高画質）
適用回線	PSTN（公衆回線網）
回線接続方式	通信コネクタ （RJ-11）
網制御機能	自動及び手動
選択信号方式	PB/DP （10/20PPS） ソフトウェア切り替え
直流抵抗	最大約 240 Ω
最大収容回線数	1

*1 A4 判 700 字程度の原稿 1 枚を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で高速モードで送った時の電送時間です（MMR圧縮時）。これは、画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含みません。実際は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2 A4 判 700 字程度の原稿 1 枚を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で蓄積した場合です（MMR圧縮時）。

コピー仕様

項　目	仕　様
原稿サイズ	自動検出 ： A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5 読取サイズ設定 ：A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、レター、レター、タブロイド、リーガル（14"）、ハーフレター
ファーストコピータイム	カラー ：14.5 秒（普通紙、A4 、トレイ 1 、デフォルトコピーモード時） モノクロ ：13.0 秒（普通紙、A4 、トレイ 1 、デフォルトコピーモード時）
連続コピー速度	カラー ：26 ページ / 分（普通紙、A4 、デフォルトコピーモード時） モノクロ ：34 ページ / 分（普通紙、A4 、デフォルトコピーモード時）
コピー部数	1 ～ 999 部

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB（Hi-Speed USB をサポート）

コネクタ

B レセプタクル (メス) アップストリームポート

ケーブル

5m 以下の USB2.0 仕様のケーブル（2m 以下を推奨）
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

フルスピード (最大 12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード (最大 480Mbps ± 0.05%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

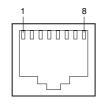
ネットワークプロトコル
　TCP/IP 関連
　NetWare 関連
　EtherTalk 関連
　NetBEUI 関連

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　　能
1	TxD+	FROM PRINTER	送信データ +
2	TxD-	FROM PRINTER	送信データ -
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ +
4	—	—	使用していません。
5	—	—	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ -
7	—	—	使用していません。
8	—	—	使用していません。

付録

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36 極レセプタクル（メス）　57RE-40360-830B-D29 型（第一電子工業製または相当品）
ケーブル側　36 極プラグ（オス）　57FE-30360 型（第一電子工業製または相当品）

ケーブル

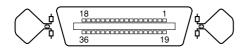
1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

コンパチブル／ニブル／ ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋0.0 ～＋0.8V
ハイレベル　＋2.4 ～＋5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 ～ 9	DATA 1 ～ DATA 8	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	—	—	使用していません。
16	GND	—	信号グランド
17	FG	—	シャーシグランド
18	+5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	—	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	—	信号グランド
34	—	—	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定する IEEEstd1284-1994 のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

フォントサンプル(PostScript3 エミュレーションモード)

日本語 2 書体

Macintosh、Mac OS X では使用できません。

平成角ゴシック体™W5
株式会社　沖データ

平成明朝体™W3
株式会社　沖データ

欧文 136 書体

- OS によって使用できる書体に制限があります。
- Mac OS X では使用できません。

AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Candid

Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic
Copperplate-ThirtyThreeBC
Copperplate-ThirtyTwoBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol　ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Taffy

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular
Wingdings2
Wingdings3
ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

フォントサンプル（PCL エミュレーションモード）

Macintosh 環境では使用できません。

日本語 4 書体

平成明朝	平成角ゴシック
株式会社 沖データ	株式会社 沖データ
P平成明朝	**P平成角ゴシック**
株式会社 沖データ	株式会社 沖データ

欧文 91 書体

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line Printer は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントと USPS POSTNET Bar Codes は、固定サイズです。

Scalable Font（87 書体）

No.	
000	Courier
001	Courier Bold
002	Courier Italic
003	Courier Bold Italic
004	CG Times
005	CG Times Bold
006	CG Times Italic
007	CG Times Bold Italic
008	CG Omega
009	CG Omega Bold
010	CG Omega Italic
011	CG Omega Bold Italic
012	Coronet
013	Clarendon Condensed
014	Univers Medium
015	Univers Bold
016	Univers Medium Italic
017	Univers Bold Italic
018	Univers Medium Condensed
019	Univers Bold Condensed
020	Univers Medium Condensed Italic
021	Univers Bold Condensed Italic
022	Antique Olive
023	Antique Olive Bold
024	Antique Olive Italic
025	Garamond Antiqua
026	Garamond Halbfett
027	Garamond Kursiv
028	Garamond Kursiv Halbfett
029	Marigold
030	Albertus Medium
031	Albertus Extra Bold
032	Letter Gothic
033	Letter Gothic Bold
034	Letter Gothic Italic
035	Arial
036	Arial Bold
037	Arial Italic
038	Arial Bold Italic
039	Times New
040	Times New Bold
041	Times New Italic
042	Times New Bold Italic
043	ITC Avant Garde Gothic Book
044	ITC Avant Garde Gothic Demi
045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
047	ITC Bookman Light
048	ITC Bookman Demi
049	ITC Bookman Light Italic
050	ITC Bookman Demi Italic
051	CourierPS
052	CourierPS Bold
053	CourierPS Oblique
054	CourierPS Bold Oblique
055	Helvetica
056	Helvetica Bold
057	Helvetica Oblique
058	Helvetica Bold Oblique
059	Helvetica Narrow
060	Helvetica Narrow Bold
061	Helvetica Narrow Oblique
062	Helvetica Narrow Bold Oblique
063	New Century Schoolbook Roman
064	New Century Schoolbook Bold
065	New Century Schoolbook Italic
066	New Century Schoolbook Bold Italic
067	Palatino Roman
068	Palatino Bold
069	Palatino Italic
070	Palatino Bold Italic
071	Times Roman
072	Times Bold
073	Times Italic
074	Times Bold Italic
075	ITC Zapf Chancery Medium Italic
076	Symbol
077	SymbolPS
078	Wingdings
079	ITC Zapf Dingbats
080	Koufi
081	Koufi Bold
082	Naskh
083	Naskh Bold
084	Ryadh
085	Ryadh Bold
086	OKI-OCRB

ビットマップ フォント（3 書体）

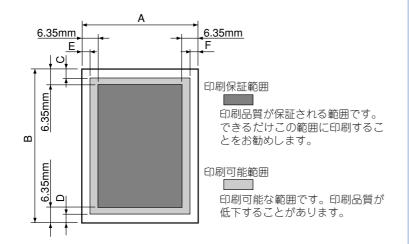
No.	
087	Line Printer ABCDEfghij12345
088	OCR-A ABCDEfghij12345
089	OCR-B ABCDEfghij12345

USPS POSTNET Bar Codes

No.	
090	USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度（PostScript3 エミュレーションモード、PCL エミュレーションモード）

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kg（82g/m²）の場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は± 2.5mm です。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	PS プリンタドライバ				PCL プリンタドライバ（Windows）			
			上余白	下余白	左余白	右余白	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A3	297	420	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B4	257	364	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13 インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5 インチ）	215.9	342.9	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14 インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	64 ～ 297	148 ～ 1,200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（長形 3 号）	125	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（洋形 0 号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（洋形 4 号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（角形 2 号）	240	332	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（角形 3 号）	216	277	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表（PostScript3 エミュレーションモード）

- ***-83pv-RKSJ-H は、主に Macintosh で使用します。（*** はフォント名）
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-H および ***-Ext-RKSJ-H は、主に Windows で使用します。（*** はフォント名）
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「ソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダに PDF ファイルで入っています。
  [Windows]........ [OKI] - [MISC] - [KanjiCode] フォルダ
  [Macintosh] ...... [OKI] - [漢字コード表] フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code

High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	"	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	ϕ	γ	η	ι	φ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	∼	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

Wingdings-Regular

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	○	🞅	🞇	🞉	⊙	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮲	⮱	⮳	⮴	⮶	⮵	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	🢬	🢭	🗶	✔	🗷	🗹	⊞

文字コード表（PCL エミュレーションモード）

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

WIN3.1J
PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-864L/A
PC-866
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Sebro Croat1
Sebro Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int'l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L5
ISO L6
ISO L9

PCL 平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

付録

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∋	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			*	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				📁	🖎	🏱	♊	◻	⓪	❺	·	⌖	🕙	🙖	🡪	⇨
1			🖉	📂	✌	✈	♋	❑	①	❻	○	⌖	🕚	🙐	🡩	⇧
2			✂	📄	👌	☼	♌	❒	②	❼	⭕	✧	🕛	🙑	🡫	⇩
3			✁	🗏	👍	💧	♍	⬧	③	❽	🔾	⌑	⮰	🙒	🡬	⬄
4			👓	🗐	👎	❄	♎	⧫	④	❾	◉	⟐	⮱	🙓	🡭	⇳
5			🕭	🗄	☜	🕆	♏	◆	⑤	❿	◎	✪	⮲	⌫	🡯	⬁
6			🕮	⌛	☞	✞	♐	❖	⑥	🙢	🔿	✰	⮳	⌦	🡮	⬀
7			🕯	🖮	☝	🕈	♑	⬥	⑦	🙠	▪	🕐	⮴	⮘	🡸	⬃
8			☎	🖰	☟	✠	♒	⌧	⑧	🙡	□	🕑	⮵	⮚	🡺	⬂
9			✆	🖲	✋	✡	♓	⍓	⑨	🙣	🟂	🕒	⮶	⮙	🡹	▫
A			🖂	🖳	☺	☪	🙰	⌘	⑩	🙞	✦	🕓	⮷	⮛	🡻	▫
B			🖃	🖴	😐	☯	🙵	🏵	⓿	🙜	★	🕔	🙪	⮈	🡼	🗶
C			📪	🖫	☹	ॐ	●	🏶	❶	🙝	✶	🕕	🙫	⮊	🡽	✔
D			📫	🖬	💣	☸	🔾	🙶	❷	🙟	✷	🕖	🙕	⮉	🡿	🗷
E			📬	✇	☠	♈	■	🙷	❸	·	✹	🕗	🙔	⮋	🡾	🗹
F			📭	✍	🏳	♉	□		❹	•	✵	🕘	🙗	🡨	⇦	⊞

外形寸法

平面図

側面図

MC860dtn, オプション装着時

平面図

側面図

索　引

アルファベット

ActKey 220
AdminManager 474, 562
Configuration Tool....266
FTP 483, 496, 591
F コード通信をする 157
ICC プロファイル 353, 359, 472
ID チェック送信 145, 146
Linux....587
LPD.... 496, 588
Network Extension....580
NIC Setup Utility 474, 584
OHP フィルム.... 23, 623
OKI LPR ユーティリティ 88, 570
PDF Print Direct....307
PDF ファイルを印刷.... 307, 557
PS ハーフトーン調整ユーティリティ 392
Quick Setup 567
TELNET.... 474, 496, 583
TWAIN ドライバ 204, 208, 600
UNIX 587, 589
Web ブラウザ.... 474, 497
WIA ドライバ.... 204, 216, 600
Windows スクリーンフォント 301

ア行

圧縮レベルを指定....247
暗号化認証印刷 56, 448
色ずれ補正 326, 330
色相を調整 214, 337, 373, 376
色見本印刷 390
色味を強くしたい、弱くしたい 332
印刷品位.... 44
印刷をキャンセル 446
ウォーターマーク 66
オフィスカラー 340, 341
オフィスドキュメント....38, 45
往復はがき 18, 635
お客様相談センター....622
お手入れ....604
同じ用紙サイズ 79

カ行

拡大印刷.... 41
カスタムページ 30
カラー調整 210, 336, 340, 362, 380, 471
カラーマッチング 340, 359, 362, 367, 373, 376
ガンマ値.... 373, 376
管理者パスワード 442, 506
機器設定.... 197, 455, 499
機密文書.... 56
グラフィックプロ 340, 359
繰り返し印刷 70
グループ送信 136
グレースケール 212, 243, 280
黒の仕上り 343
コピー機能組み合わせ一覧 122
コピー待機画面 396
ご愛用スイッチ 258
混在送信....128
コントラスト 212, 280, 336
コンピュータからファクスを送信する....191
コンピュータの開放.... 83

サ行

細線がかすれる 47
彩度を調整 214, 338
時刻指定送信 138
シミュレート 349
写真 46, 392
集約コピー 100
仕様 629
小冊子 42
消耗品 499, 623, 624
白黒 84, 212, 345
ジョブメモリ機能 252
スキャナ待機画面 401
スキャナドライバ 204, 600
スキャン To メール 229
スキャン To メール /USB 239
スタンプ印刷 66
ストレージデバイスマネージャ 302
セキュリティ機能 145
センター消去 113
清掃 604
製本印刷 42
節電モード 444, 503

タ行

ダイヤル 2 度押し 146, 152
丁合印刷 68
長尺印刷 30
定型文 232
動作モード 90
同報宛先確認 149
同報送信 134
とじしろ 116
トナーセーブ 38
ドライバの削除 / 更新 594
トレイを自動的に選択する 61

ナ行

内蔵ハードディスク 305, 306, 448
任意の用紙サイズ 30
認証印刷 52
濃度補正 328, 503

ハ行

はがき 18, 635
パスワードを入力して印刷 52
パネル言語セットアップ 320
パワーセーブ 444, 503
表紙印刷 65
ファイル形式 241, 280
ファクス待機画面 399
ファクシミリ通信網サービス 184
封筒 18, 635
フォトモード 46
フォーム 73, 303
複数ページ 34
部単位 68
ブラックオーバープリント 347
プリンタ待機画面 409
プリンタ表示言語セットアップ 317
プリントジョブアカウンティング 627
プリントジョブアカウンティング Lite 309
プリントジョブアカウンティングクライアント 310, 322
プレフィクス 140
分版印刷 351
ページ分割 107, 132

ポスター印刷 41
ポストスクリプト 88, 89
ポーリング通信 155

マ行

ミックス原稿 119
モノクロ 84, 280, 345

ヤ行

用紙サイズ 30, 40, 79, 133, 500
用紙を仕分けする 96
読取サイズ 181, 280

ラ行

ラベル紙 23
リピート 104
両面印刷 30, 36
レポート印刷 454, 499

ワ行

枠消去 110
割り込んでコピー 98

カラー複合機

MC860

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2009年　11月　第２版
発行者　株式会社 沖データ

44143601EE

株式会社 沖データ
お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）